

平成 18 年度

事業実績及び主要施策成果説明書

小 布 施 町

地方自治法第 233 条第 5 項の規定により、平成 18 年度決算に係る主要施策
成果説明書を次のとおり提出する。

平成 19 年 9 月 10 日

小布施町長 市 村 良 三

目 次

1. はじめに		1
2. 平成18年度決算の概要		1
3. 平成18年度会計別歳入歳出決算の状況		2
4. 普通会計決算の状況		3
普通会計決算状況調書（決算カード）		9
5. 会計別決算概要		
I 一般会計		11
款1 議会費	項1 議会費	14
款2 総務費	項1 総務管理費	17
	項2 徴税費	39
	項3 戸籍住民基本台帳費	43
	項4 選挙費	45
	項5 統計調査費	47
	項6 監査委員費	48
款3 民生費	項1 社会福祉費	49
	項2 児童福祉費	73
	項3 災害救助費	81
款4 衛生費	項1 保健衛生費	82
	項2 環境保全費	93
款5 農林水産業費	項1 農業費	99
	項2 林業費	110
款6 商工費	項1 商工費	112
款7 土木費	項1 土木管理費	122
	項2 道路橋梁費	123
	項3 河川費	129
	項4 都市計画費	133
	項5 まちづくり費	135
	項6 住宅費	142
款8 消防費	項1 消防費	144
款9 教育費	項1 教育総務費	148
	項2 小学校費	150
	項3 中学校費	152
	項4 幼稚園費	154
	項5 社会教育費	155
	項6 保健体育費	169
	項7 給食センター費	172
款10 公債費	項1 公債費	174
款12 災害復旧費	項1 農林水産業施設災害復旧費	175
	項2 公共土木施設災害復旧費	175
II 国民健康保険特別会計		176
III 老人保健特別会計		191
IV 介護保険特別会計		196
V 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計		211
VI 霊園事業特別会計		214
VII 下水道事業特別会計		216
VIII 農業集落排水事業特別会計		221
IX 水道事業会計		225
6. 第四次総合計画・後期基本計画評価指標の達成度		230

1. はじめに

本説明書（事業実績及び主要施策成果説明書）は、地方自治法第 233 条第 3 項の規定に基づき、町長が決算を議会の認定に付すにあたり、同法同条第 5 項の規定により施策の成果を説明するものです。

一般会計ほか 8 会計の各決算概要および総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計、同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計、霊園事業特別会計の各特別会計の合計額から会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要とそれらの平成 18 年度の主要な施策の成果について取りまとめたものです。

なお、予算科目区分と施策の目的、成果をよりわかりやすくするため、成果を示す事業の区分については、原則として「平成 18 年度小布施町予算事業説明書 ここに使います ことしの予算！」にあわせて作成しています。

2. 平成18年度決算の概要

平成18年度各会計歳入歳出決算の状況は、「3. 平成18年度 会計別歳入歳出決算の状況」のとおりとなっています。

普通会計をみると、平成18年度は、基幹歳入である地方税が、前年度に比べて1,612万8千円（前年比1.6%）の増となり、前年度に引き続き増額となりました。一方、普通交付税は地方税など基準財政収入額の増加により3,667万8千円の減額となりました。

地方債は、前年度より8,470万円（△19.3%）の減額となっていますが、これは、地域総合整備資金貸付事業債の減額（△1億5,800万円）と、臨時財政対策債が1,670万円の減額となった影響です。この結果、平成18年度末の普通会計の地方債残高は56億3,864万1千円となりました。

さらに、歳出を性質別にみると、義務的経費のうち人件費は前年度より4,998万6千円（△6.5%）の減額となりましたが、扶助費については前年度より2,619万円（10.5%）、公債費については1,781万9千円（2.4%）の増額となりました。また、維持補修費は3,194万8千円（△42.8%）、繰出金は3,261万円（△5.5%）の減額、物件費は5,528万5千円（9.0%）の増額となりました。

歳出を目的別に分析すると、災害復旧費が7月梅雨前線豪雨災害等の影響から前年度より8,204万7千円の増額となりました。また、教育費が7,691万7千円（18.6%）、土木費が5,909万6千円（10.8%）の増額、総務費が1億734万8千円（△20.9%）、衛生費が8,421万9千円（△18.5%）の減額となりました。

3. 平成18年度 会計別歳入歳出決算の状況

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	平成18年度	4,429,484	4,137,171	292,313	9,552	282,761	150,904
	平成17年度	4,188,502	4,037,800	150,702	18,845	131,857	40,345
	差引	240,982	99,371	141,611	△ 9,293	150,904	110,559
国民健康保険特別会計	平成18年度	1,081,295	1,018,236	63,059	0	63,059	27,883
	平成17年度	972,316	937,140	35,176	0	35,176	△ 10,456
	差引	108,979	81,096	27,883	0	27,883	38,339
老人保健特別会計	平成18年度	1,093,573	1,093,557	16	0	16	16
	平成17年度	995,445	995,445	0	0	0	△ 969
	差引	98,128	98,112	16	0	16	985
介護保険特別会計	平成18年度	658,304	608,372	49,932	1,132	48,800	43,213
	平成17年度	627,625	622,038	5,587	0	5,587	2,378
	差引	30,679	△ 13,666	44,345	1,132	43,213	40,835
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	平成18年度	8,479	8,469	10	0	10	△ 6
	平成17年度	5,142	5,126	16	0	16	△ 9
	差引	3,337	3,343	△ 6	0	△ 6	3
霊園事業特別会計	平成18年度	2,753	180	2,573	0	2,573	505
	平成17年度	4,337	2,269	2,068	0	2,068	209
	差引	△ 1,584	△ 2,089	505	0	505	296
下水道事業特別会計	平成18年度	524,730	523,615	1,115	206	909	△ 597
	平成17年度	516,409	514,903	1,506	0	1,506	△ 1,385
	差引	8,321	8,712	△ 391	206	△ 597	788
農業集落排水事業特別会計	平成18年度	63,114	62,991	123	0	123	△ 1,109
	平成17年度	65,528	64,296	1,232	0	1,232	△ 103
	差引	△ 2,414	△ 1,305	△ 1,109	0	△ 1,109	△ 1,006
計	平成18年度	7,861,732	7,452,591	409,141	10,890	398,251	220,809
	平成17年度	7,375,304	7,179,017	196,287	18,845	177,442	30,010
	差引	486,428	273,574	212,854	△ 7,955	220,809	190,799

水道事業会計 (収益的収支)	平成18年度	227,917	193,524	34,393	/
	平成17年度	229,756	196,139	33,617	
	差引	△ 1,839	△ 2,615	776	
水道事業会計 (資本的収支)	平成18年度	7,298	76,703	△ 69,405	
	平成17年度	4,016	68,781	△ 64,765	
	差引	3,282	7,922	△ 4,640	

4. 普通会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
町 税	996,644	22.5%	980,516	23.4%	16,128	1.6%
個人町民税	367,298	8.3%	335,667	8.0%	31,631	9.4%
法人町民税	35,916	0.8%	39,285	0.9%	△ 3,369	△ 8.6%
固定資産税	517,424	11.7%	532,025	12.7%	△ 14,601	△ 2.7%
軽自動車税	26,734	0.6%	26,032	0.6%	702	2.7%
町たばこ税	48,761	1.1%	47,001	1.1%	1,760	3.7%
入湯税	511	0.0%	506	0.0%	5	1.0%
地方譲与税	156,120	2.1%	110,819	2.1%	45,301	40.9%
利子割交付金	4,465	0.1%	7,369	0.2%	△ 2,904	△ 39.4%
配当割交付金	4,163	0.1%	2,312	0.1%	1,851	80.1%
株式等譲渡所得割交付金	3,152	0.1%	3,838	0.1%	△ 686	△ 17.9%
地方消費税交付金	97,110	2.2%	97,376	2.3%	△ 266	△ 0.3%
自動車取得税交付金	29,922	0.7%	29,384	0.7%	538	1.8%
地方特例交付金	26,108	0.6%	34,854	0.8%	△ 8,746	△ 25.1%
地方交付税	1,631,781	36.8%	1,652,057	39.4%	△ 20,276	△ 1.2%
普通交付税	1,538,815	34.7%	1,575,493	37.6%	△ 36,678	△ 2.3%
特別交付税	92,966	2.1%	76,564	1.8%	16,402	21.4%
交通安全対策特別交付金	1,793	0.0%	1,704	0.0%	89	5.2%
分担金及び負担金	7,392	0.2%	9,515	0.2%	△ 2,123	△ 22.3%
使用料	159,321	3.6%	169,639	4.0%	△ 10,318	△ 6.1%
手数料	6,821	0.2%	7,922	0.2%	△ 1,101	△ 13.9%
国庫支出金	304,312	6.9%	161,842	3.9%	142,470	88.0%
県支出金	140,970	3.2%	163,317	3.9%	△ 22,347	△ 13.7%
財産収入	4,444	1.3%	19,258	1.3%	△ 14,814	△ 76.9%
寄 付 金	4,017	0.1%	3,348	0.1%	669	20.0%
繰 入 金	201,364	4.5%	34,418	0.8%	166,946	485.1%
繰 越 金	152,786	3.4%	121,755	2.9%	31,031	25.5%
諸 収 入	151,712	3.4%	144,130	3.4%	7,582	5.3%
町 債	354,200	8.0%	438,900	10.5%	△ 84,700	△ 19.3%
うち臨時財政対策債	179,600	4.0%	196,300	4.7%	△ 16,700	△ 8.5%
合 計	4,438,597	100.0%	4,194,273	100.0%	244,324	5.8%

※ 普通会計：決算統計上の分類で、町の会計のうち、企業会計、収益事業会計等を除いた、一般会計、同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計、霊園事業特別会計を合算したもの。

【歳 出】

目的別決算状況

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
議 会 費	81,142	2.0%	77,542	1.9%	3,600	4.6%
総 務 費	406,396	9.8%	513,744	12.7%	△ 107,348	△ 20.9%
民 生 費	871,794	21.0%	827,286	20.5%	44,508	5.4%
衛 生 費	371,123	9.0%	455,342	11.3%	△ 84,219	△ 18.5%
労 働 費	2,958	0.1%	2,842	0.1%	116	4.1%
農林水産業費	236,316	5.7%	190,527	4.7%	45,789	24.0%
商 工 費	45,374	1.1%	71,942	1.8%	△ 26,568	△ 36.9%
土 木 費	608,790	14.7%	549,694	13.6%	59,096	10.8%
消 防 費	167,664	4.0%	176,657	4.4%	△ 8,993	△ 5.1%
教 育 費	489,830	11.8%	412,913	10.2%	76,917	18.6%
公 債 費	758,189	18.3%	740,377	18.3%	17,812	2.4%
災害復旧費	104,668	2.5%	22,621	0.6%	82,047	362.7%
合 計	4,144,244	100.0%	4,041,487	100.0%	102,757	2.5%

性質別決算状況

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
人 件 費	715,532	17.3%	765,518	18.9%	△ 49,986	△ 6.5%
うち職員給	438,445	10.6%	488,983	12.1%	△ 50,538	△ 10.3%
扶 助 費	274,987	6.6%	248,797	6.2%	26,190	10.5%
公 債 費	758,184	18.3%	740,377	18.3%	17,807	2.4%
元利償還金	758,184	18.3%	740,365	18.3%	17,819	2.4%
一時借入金利息			12	0.0%	△ 12	△ 100.0%
物 件 費	669,537	16.2%	614,252	15.2%	55,285	9.0%
維持修繕費	42,701	1.0%	74,649	1.8%	△ 31,948	△ 42.8%
補 助 費 等	465,411	11.2%	480,463	11.9%	△ 15,052	△ 3.1%
うち一組負担金	164,082	4.0%	171,605	4.2%	△ 7,523	△ 4.4%
操 出 金	561,498	13.5%	594,108	14.7%	△ 32,610	△ 5.5%
積 立 金	536	0.0%	141,063	3.5%	△ 140,527	△ 99.6%
投資及び出資金・貸付金	32,000	0.8%	190,000	4.7%	△ 158,000	△ 83.2%
前年度繰上充用金						
投資の経費	623,858	15.1%	192,260	4.8%	431,598	224.5%
うち人件費	3,836	0.1%		0.0%	3,836	100.0%
内 普通建設事業費	519,190	12.5%	169,639	4.2%	349,551	206.1%
うち単独事業費	266,303	6.4%	161,358	4.0%	104,945	65.0%
内 災害復旧事業費	104,668	2.5%	22,621	0.6%	82,047	362.7%
失業対策事業費						
合 計	4,144,244	100.0%	4,041,487	100.0%	102,757	2.5%

【財政構造】

平成18年度普通会計決算における各財政指標は次のとおりです。

- ・ 財政の豊かさを計る財政力指数（過去3ヵ年平均）は0.39（平成17年度0.38）
- ・ 財政の堅実度を見る実質収支比率は10.0%（平成17年度4.7%）
- ・ 財政の弾力性を判断する経常収支比率は89.0%（平成17年度85.2%）
- ・ 一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源等比率は102.5%（平成17年度102.8%）
- ・ 一般会計の実質的な公債費の負担を見る起債制限比率は13.2%（平成17年度13.4%）
- ・ 公営企業会計や一部事務組合に係る公債費も考慮した、実質的な公債費の負担を見る実質公債費比率は18.8%（平成17年度18.1%）

【地方債現在高】

平成18年度末における地方債の現在高は56億3,864万1千円となり、前年度に比べ2億7,729万3千円減少しました。これは、発行額において一般債が1億6,550万円、減税補てん債及び臨時財政対策債等の特例債が1億8,870万円で、総額3億5,420万円と前年度に比べ8,470万円減少したためです。

【基金残高】

基金の平成18年度末現在高（普通会計）は、14億9,504万9千円で、前年度末に比べ1億6,830万9千円減少しました。これは、中核的医療施設整備事業に社会福祉積立基金を1億円、森の駐車場整備事業に土地開発基金を3,000万円、また、美術品購入のため芸術文化振興基金を3,900万円繰り入れたためです。

町債の概要（普通会計）

[町債発行額の推移]

(単位:千円)

	H11決算	H12決算	H13決算	H14決算	H15決算	H16決算	H17決算	H18決算
町債発行額	987,200	282,000	212,100	557,163	772,400	461,100	438,900	354,200
うち減税補てん債	16,600	15,500	15,800	15,100	14,100	13,500	13,300	9,100
うち臨時財政対策債	-	-	82,300	165,100	368,100	253,100	196,300	179,600

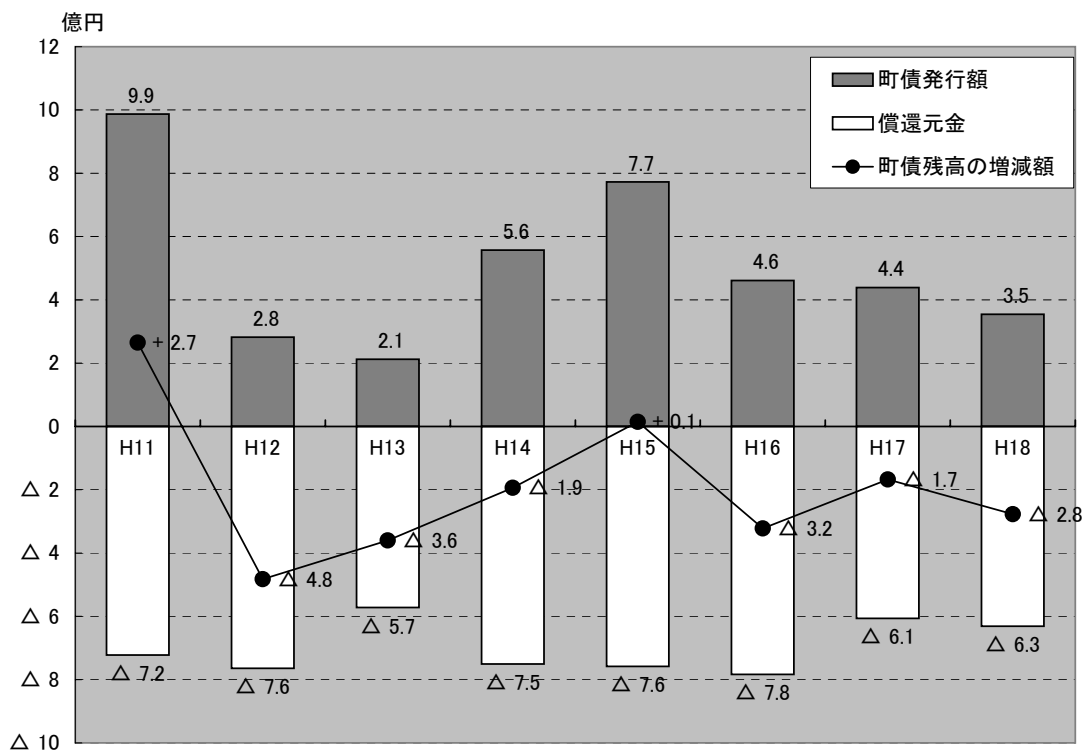
※ H16は、減税補てん債の借り換え(1億3,000万円)を除いた実質的な町債発行額。

[公債費(町債元利償還金額)の推移]

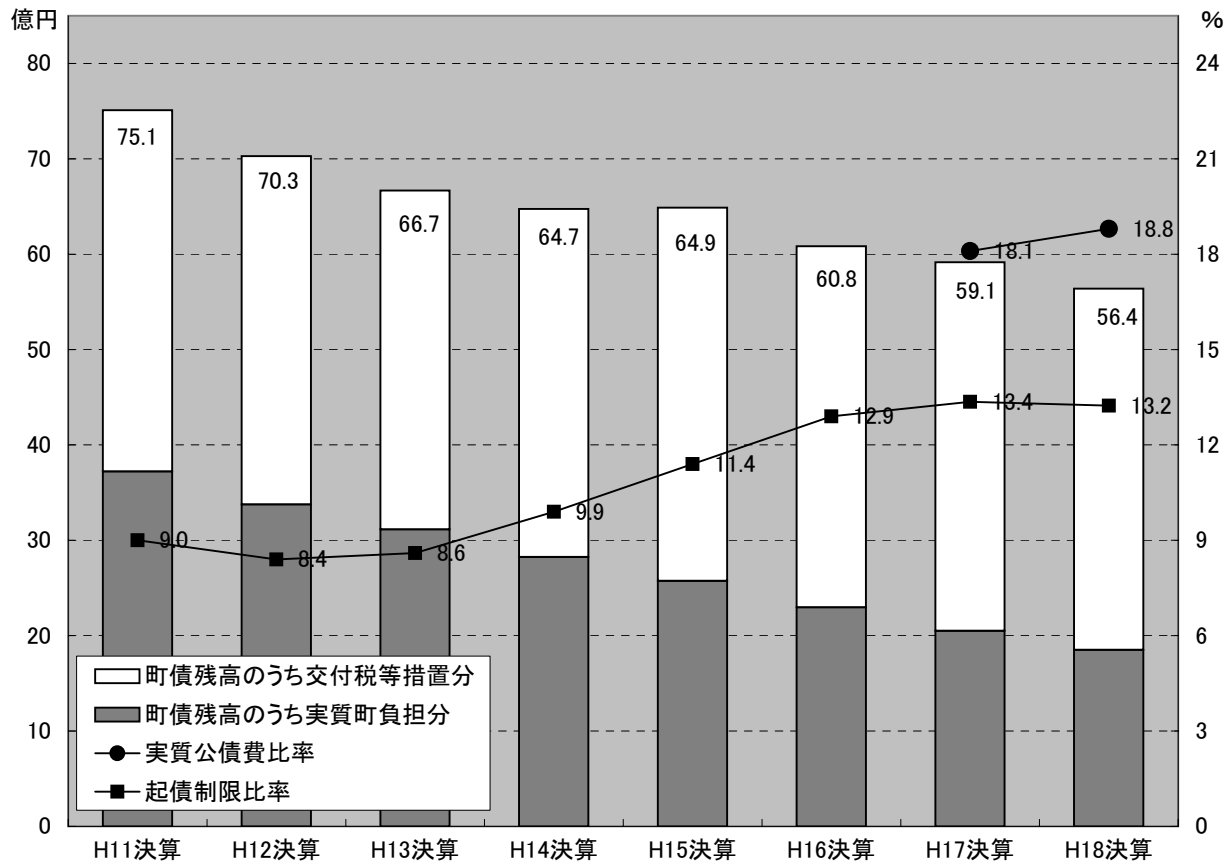
(単位:千円)

	H11決算	H12決算	H13決算	H14決算	H15決算	H16決算	H17決算	H18決算
町債元利償還金額	962,030	989,625	777,057	939,159	923,850	935,748	740,365	758,184
償還元金	722,130	764,393	572,117	750,819	758,015	783,332	606,376	631,493
うち繰上償還分	304,933	269,802	-	114,562	90,932	114,430	-	9,459
支払利子	239,900	225,232	204,940	188,340	165,835	152,416	133,989	126,691

※ H16は、減税補てん債の借り換え(1億3,000万円)を除いた実質的な元利償還金額



[年度末町債残高と実質公債費比率・起債制限比率の推移]



○町債残高：

新たな起債を極力抑え、計画的に繰上償還を実施してきた結果、普通会計の町債残高は、平成11年度の75.1億円をピークに年々減少傾向にある。

平成18年度末の残高56.4億円のうち、38億円(67%)程度は、後年度に地方交付税で措置されたり、貸付金の回収金や住宅家賃など特定の収入でまかなうなど、実質的には町の負担とならない。

○起債制限比率：

地方債の許可制限のための指標として、公債費比率（一般財源に占める地方債の償還の割合を示す指標）から地方交付税で措置される償還額を除くことなどにより、実質的な公債費の負担の程度を表した比率をいう。

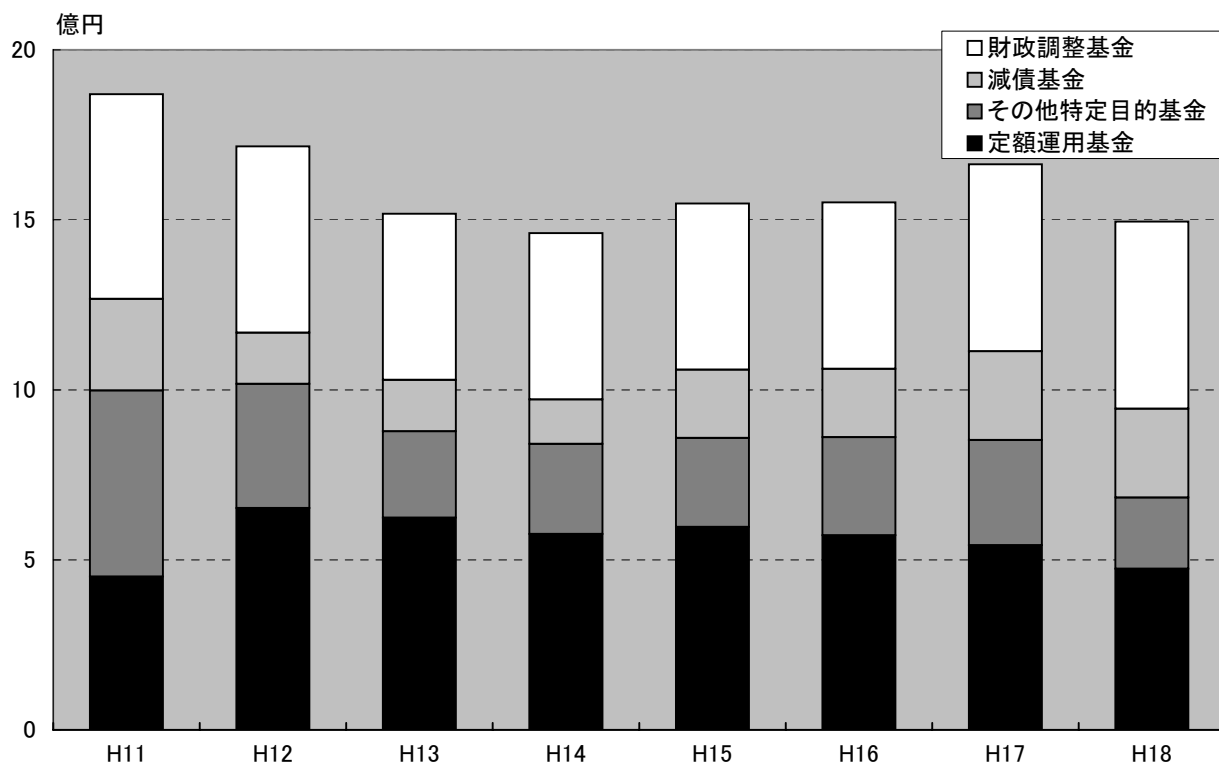
(H17県平均：10.5%)

○実質公債費比率：

地方債協議制度への移行に伴い新設された指標。起債制限比率の算定においては対象とされていなかった公営企業会計（上水道事業、下水道事業等）の公債費に充当した繰出金や、一部事務組合の公債費に係る負担金等を含め、実質的な公債費が標準財政規模に占める割合を示したもの。18%以上の場合は、地方債の発行に際し許可が必要となる。

(H17県平均：16.4%)

基金残高の推移（普通会計）



- 財政調整基金： 年度間の財源の不均衡を調整し、財政の健全な運営を図るための基金
- 減債基金： 町債償還の財源を確保し、計画的な償還と信用維持を図るための基金
- その他特定目的基金： 図書館建設基金、社会福祉積立基金、大規模建設事業積立基金 ほか
- 定額運用基金： 土地開発基金、芸術文化振興基金、育英金貸付基金 ほか

[年度末基金残高の推移]

（単位：千円）

	H11決算	H12決算	H13決算	H14決算	H15決算	H16決算	H17決算	H18決算
財政調整基金	601,647	547,716	488,481	488,681	488,908	489,447	549,901	550,165
減債基金	269,504	150,655	150,769	130,829	200,882	200,993	261,164	261,255
その他特定目的基金	547,258	365,033	254,372	265,178	261,653	288,840	309,279	209,459
定額運用基金	450,995	652,601	624,149	576,175	596,828	572,157	543,014	474,170
計	1,869,404	1,716,005	1,517,771	1,460,863	1,548,271	1,551,437	1,663,358	1,495,049

平成18年度 普通会計決算状況調書 (決算カード)		国調人口		世帯数		
		H17年国調		11,477人	H17年国調 3,406世帯	
		H12年国調		11,460人	H12年国調 3,264世帯	
		増減率		0.1%		
		住民基本台帳人口		H19. 3.31 11,704人	人口集中地区人口	
		H18. 3.31 11,744人	H17年国調 0人			
		増減率	△ 0.3%	H12年国調 0人		
歳入の状況 (単位 千円・%)						
区分	決算額	構成比	増減率	経常一財等	構成比	
地方税	996,644	22.5	1.6	996,644	34.1	
地方譲与税	156,120	3.5	40.9	156,120	5.3	
利子割交付金	4,465	0.1	△ 39.4	4,465	0.2	
配当割交付金	4,163	0.1	80.1	4,163	0.0	
株式等譲渡所得割交付金	3,152	0.1	△ 17.9	3,152	0.1	
地方消費税交付金	97,110	2.2	△ 0.3	97,110	3.3	
自動車取得税交付金	29,922	0.7	1.8	29,922	1.0	
地方特例交付金	26,108	0.6	△ 25.1	26,108	0.9	
地方交付税	1,631,781	36.8	△ 1.2	1,538,815	52.6	
普通交付税	1,538,815	34.7	△ 2.3	1,538,815	52.6	
特別交付税	92,966	2.1	21.4			
(一般財源計)	2,949,465	66.5	1.1	2,856,499	97.6	
交通安全対策特別交付金	1,793	0.0	5.2	1,793	0.1	
分担金及び負担金	7,392	0.2	△ 22.3			
使用料	159,321	3.6	△ 6.1	4,480	0.2	
手数料	6,821	0.2	△ 13.9			
国庫支出金	304,312	6.9	88.0			
県支出金	140,970	3.2	△ 13.7			
財産収入	4,444	0.1	△ 76.9	3,692	0.1	
寄附金	4,017	0.1	20.0			
繰入金	201,364	4.5	485.1			
繰越金	152,786	3.4	25.5			
諸収入	151,712	3.4	5.3	59,477	2.0	
地方債	354,200	8.0	△ 19.3			
うち都道府県貸付金	12,800	0.3	△ 66.3			
うち減税補てん債	9,100	0.2	△ 31.6			
うち臨時財政対策債	179,600	4.0	△ 8.5			
歳入合計	4,438,597	100.0	5.8	2,925,941	100.0	
性質別歳出の状況 (単位 千円・%)						
区分	決算額	構成比	増減率	充当一財等	経常経費充当一財等	経常収支比率
人件費	715,532	17.3	△ 6.5	633,219	624,814	20.1
うち職員給	438,445	10.6	△ 10.3	357,288	-	-
扶助費	274,987	6.6	10.5	112,160	107,903	3.5
公債費	758,184	18.3	2.4	727,683	727,680	23.4
元利償還金	758,184	18.3	2.4	737,683	727,680	23.4
一時借入金利息						
(義務的経費計)	1,748,703	42.2	△ 0.3	1,473,062	1,460,397	46.9
物件費	669,537	16.2	9.0	461,452	410,884	13.2
維持補修費	42,701	1.0	△ 42.8	42,500	42,500	1.4
補助費等	465,411	11.2	△ 3.1	442,646	410,153	13.2
うち一組負担金	164,082	4.0	△ 4.4	161,162	143,001	4.6
繰出金	561,498	13.5	△ 5.5	532,898	449,418	14.4
積立金	536	0.0	△ 99.6			
投資及び出資金・貸付金	32,000	2.0	△ 83.2			
前年度繰上充用金						
投資的経費	623,858	15.1	224.5	185,349		
うち人件費	3,836	0.1				
普通建事業費	519,190	12.5	206.1	179,194		
うち単独事業費	266,303	6.4	65.0	116,978		
災害復旧事業費	104,668	2.5	362.7	6,155		
失業対策事業費						
(減税補てん、臨時債含む)						89.0%
歳入一般財源等						
歳出合計	4,144,244	100.0	2.5	3,137,907		3,432,260千円

面積		19.07km ²	人口密度(H17年国調)		601.8人	指定団体等の指定状況		都道府県名		団体名		市町村類型		
産業構造														
区分		H17年国調(構成比)		H12年国調(構成比)		新産		×	20	5419	Ⅲ-2			
第1次産業		1,592人	23.9%	1,587人	23.6%	工特		×	ナガノケン	オブセマチ	地方交付税種地			
第2次産業		1,865人	28.0%	2,149人	31.9%	低開		×	長野県	小布施町	Ⅱ-2			
第3次産業		3,203人	48.1%	2,997人	44.5%	産炭		×						
市町村税の状況(単位千円・%)														
区分		徴収済額	構成比	増減率	基準税額×100/75	山振		×	区分	H18年度(千円)	H17年度(千円)			
市町村民税	個人均等割	16,237	0.6	17.6	15,159	過疎		×	歳入総額	4,438,597	4,149,273			
	所得割	351,061	35.2	9.1	344,384	半島		×	歳出総額	4,144,244	4,041,487			
	法人均等割	17,793	1.8	△0.3	18,131	首都		×	歳入歳出差引	294,353	152,786			
	法人税割	18,123	1.8	△15.5	18,132	近畿		×	翌年度繰越財源	9,552	18,845			
	固定資産税	517,424	54.9	△2.7	507,695	中部		○	実質収支	284,801	133,941			
	うち純固定資産税	516,753	51.9	△2.7	507,024	市町村圏		○	単年度収支	150,860	40,546			
軽自動車税		26,734	2.7	2.7	26,116	特定農山村		×	積立金	264	60,454			
市町村たばこ税		48,761	4.9	3.7	48,649	財政再建		×	繰上償還額	0				
鉱産税		0				指数表選定		×	積立金取崩し額					
特別土地保有税						財源超過		×	実質単年度収支	151,124	101,000			
(法定普通税計)		996,133	99.9	1.6	978,266									
法定外普通税									ラスパイレス指数	90.6	90.5			
旧法による税						一組加入状況			一般職等数	給料月額	1人当給料月額			
目的税		511	0.1	1.2		議員公務災害		×	一般職員	78	21,755.4	278.9		
	入湯税	511	0.1	1.2		非常勤公務災害		○	うち技能労務職	2	549.3	274.7		
	事業所税				0	退職手当		○	教育公務員	5	1,338.3	267.7		
	都市計画税					事務機共同		×	消防職員					
	水利地益税	0				税務事務		×	臨時職員					
		0				老人福祉		○	合計	83	23,094	278.2		
		0				伝染病		×	特別職等数	適用開始年月日	1人当平均月額			
合計		996,644	100.0	1.6	0	し尿処理		○	市区町村長	1	H19.4.1	715.0		
適用税率の状況	個人均等割(H19.4.1)	3,000円				ごみ処理		○	副市区町村長	1	H19.4.1	606.0		
	法人均等割					火葬場		○	教育長	1	H19.4.1	530.0		
	1号法人	2号法人	3号法人	4号法人	5号法人	常備消防		×						
	3,000,000円	1,750,000円	410,000円	400,000円	160,000円	小学校		×						
	法人税割	6号法人	7号法人	8号法人	9号法人	中学校		×	議会議長	1	H19.4.1	264.0		
	12.3%	150,000円	130,000円	120,000円	50,000円	その他		○	議会副議長	1	H19.4.1	193.0		
									議会議員	16	H19.4.1	172.0		
目的別歳出の状況(単位千円・%)														
区分		決算額(A)	構成比	増減率	(A)のうち普通建設	(A)の充当一財等		区分(単位千円)						
議会費		81,142	2.0	4.6		81,142		H18年度	基準財政収入額		1,024,954			
総務費		406,396	9.8	△20.9	8,936	376,774			基準財政需要額		2,563,769			
民生費		871,794	21.0	5.4	39,334	561,056			標準財政収入額等		1,312,686			
衛生費		371,123	9.0	△18.5	130,554	225,680			標準財政規模		2,851,501			
労働費		2,958	0.1	4.1		958		財政力指数(H16~18年度)		0.39				
農林水産業費		236,316	5.7	24.0	29,711	180,138		実質収支比率(%)		10.0				
商工費		45,374	1.1	△36.9	130	35,528		經常一般財源等比率(%)		102.6				
土木費		608,790	14.7	10.8	226,156	458,501		公債費比率(%)		19.1				
消防費		167,664	4.0	△5.1		162,088		実質公債費比率(%)		18.8				
教育費		489,830	11.8	18.6	84,369	322,199		起債制限比率(%)		13.2				
災害復旧費		104,668	2.5	362.7		6,155		積立金現在高	財政調整基金		550,165			
公債費		758,189	18.3	2.4	0	727,688			減債基金		261,255			
諸支出金		0	0.0		0	0		その他特定目的基金		209,459				
前年度繰上充用金		0	0.0		0	0		地方債現在高		5,638,641				
歳出合計		4,144,244	100.0	2.5	519,190	3,137,907		債務負担行為(支出予定額)	うち政府資金		3,164,431			
公営事業(出等千円)	上水道事業		1,181			63,059			物件等購入					
	下水道事業(農集排含む)		293,200			△1,533			保証・補償					
	国民健康保険事業会計		61,886			2,144			その他		215,119			
	老人保健医療事業会計		107,657			4,679		その他実質的なもの						
	介護保険事業会計		98,599			71.5		収益事業収入						
基金、その他		156				71.2		土地開発基金現在高		374,772				
合計		562,679				147.9		徴収率(%)	市町村民税		99.1			
									純固定資産税		96.8			
									町税全体		97.4			

5. 会計別決算概要

I 一般会計

1 決算規模及び収支

平成 18 年度の町財政は引き続き厳しい状況でしたが、「第四次小布施町総合計画・後期基本計画」の初年度として積極的かつ重点的な施策展開を図る一方、経費の節減合理化などをより一層徹底するなど行財政運営の全般にわたり簡素効率化に留意し、町税をはじめあらゆる歳入の確保に努めた結果、一般会計の決算額は歳入総額 44 億 2,948 万 4 千円、歳出総額 41 億 3,717 万 1 千円で、形式収支額は 2 億 9,231 万 3 千円となり、翌年度に繰り越すべき財源 955 万 2 千円を控除した実質収支額は 2 億 8,276 万 1 千円となりました。

これを前年度と比較すると、歳入においては 2 億 4,098 万 2 千円、5.8%の増、歳出においては 9,937 万 1 千円、2.5%の増、実質収支においては 1 億 5,090 万 4 千円、114.4%の増となりました。

2 収支状況

(1) 形式収支

歳入決算額と歳出決算額の差、すなわち形式収支は、2 億 9,231 万 3 千円の黒字（前年度 1 億 5,070 万 2 千円の黒字）となりました。

(2) 実質収支

形式収支から平成 19 年度への繰越事業に充当すべき財源 955 万 2 千円を差し引いた額、すなわち実質収支（剰余金）は、2 億 8,276 万 1 千円の黒字（前年度 1 億 3,185 万 7 千円の黒字）となりました。

(3) 単年度収支

実質収支には、平成 17 年度からの剰余金が含まれているので、これを差し引いた平成 18 年度だけの収支、すなわち単年度収支は 1 億 5,090 万 4 千円の黒字（前年度 4,034 万 5 千円の黒字）となりました。

(4) 実質単年度収支

一般会計の年度間調整の役割を持つ財政調整基金への積立金と地方債の繰上償還金を黒字要因とみなし、財政調整基金の取崩額を赤字要因とみなして単年度収支に加えた額、すなわち実質単年度収支は、1 億 5,116 万 8 千円の黒字（前年度 1 億 79 万 9 千円の黒字）となりました。

3 歳入

(1) 町税

町税収入は、9億9,664万4千円で、対前年度比1.6%（1,612万8千円）の増になりました。これは税制改正に伴う個人町民税、たばこ税の増等によるものです。

(2) 地方交付税

地方交付税収入は、16億3,178万1千円で対前年度比1.2%（2,027万6千円）の減になりました。これは交付税制度改革に伴う臨時財政対策債への振替による減少に加え、基準財政需要額が0.6%減、基準財政収入額が5.3パーセント増になったことによるものです。

(3) 国庫支出金

国庫支出金は3億390万6千円で、対前年度比88.3%（1億4,250万4千円）の増になりました。これは、普通建設事業費の増などによるものです。

(4) 県支出金

県支出金は1億4,097万円で、対前年度比13.7%（2,234万7千円）の減になりました。これは、地域はつらつ産業創出プロジェクト支援事業補助金の減などによるものです。

(5) 町債

町債の発行額は、3億5,420万円で対前年度比19.3%（8,470万円）の減になりました。これは、地域総合整備資金貸付事業債の減などによるものです。

(6) その他

各種基金からの繰入金は、対前年度比456%（1億6,514万6千円）増の2億136万4千円になっており、また貸付金元利収入などの諸収入は、対前年度比3.1%（441万2千円）増の1億4,577万4千円になりました。

4 歳出

(1) 目的別経費

一般会計の増減の大きいものを目的別で見ると、まず災害復旧費が8,204万7千円の増になりました。これは道路災害復旧工事などによるものです。

また、土木費は6,384万2千円の増になった一方、総務費は1億153万円の減になりました。これは積立金の減少によるものです。

(2) 性質別経費

一般会計の歳出で増減の大きいものを性質別に見ると、まず投資及び出資金・貸付金が1億5,800万円の減になりました。これは新生病院に対するふるさと融資貸付金の減によるものです。一方、人件費は4,998万6千円の減になりました。また、公債費は1,781万9千円の増になりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

一般会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
町 税	996,644	22.5%	980,516	23.4%	16,128	1.6%
個人町民税	367,298	8.3%	335,667	8.0%	31,631	9.4%
法人町民税	35,916	0.8%	39,285	0.9%	△ 3,369	△ 8.6%
固定資産税	517,424	11.7%	532,025	12.7%	△ 14,601	△ 2.7%
軽自動車税	26,734	0.6%	26,032	0.6%	702	2.7%
町たばこ税	48,761	1.1%	47,001	1.1%	1,760	3.7%
入 湯 税	511	0.0%	506	0.0%	5	1.0%
地方譲与税	156,120	2.1%	110,819	2.1%	45,301	40.9%
利子割交付金	4,465	0.1%	7,369	0.2%	△ 2,904	△ 39.4%
配当割交付金	4,163	0.1%	2,312	0.1%	1,851	80.1%
株式等譲渡所得割交付金	3,152	0.1%	3,838	0.1%	△ 686	△ 17.9%
地方消費税交付金	97,110	2.2%	97,376	2.3%	△ 266	△ 0.3%
自動車取得税交付金	29,922	0.7%	29,384	0.7%	538	1.8%
地方特例交付金	26,108	0.6%	34,854	0.8%	△ 8,746	△ 25.1%
地方交付税	1,631,781	36.8%	1,652,057	39.4%	△ 20,276	△ 1.2%
交通安全対策特別交付金	1,793	0.0%	1,704	0.0%	89	5.2%
分担金及び負担金	82,196	1.9%	92,521	2.2%	△ 10,325	△ 11.2%
使用料及び手数料	90,654	2.0%	92,076	2.2%	△ 1,422	△ 1.5%
国庫支出金	303,906	6.9%	161,402	3.9%	142,504	88.3%
県支出金	140,970	3.2%	163,317	3.9%	△ 22,347	△ 13.7%
財産収入	4,443	1.3%	19,258	1.3%	△ 14,815	△ 76.9%
寄 付 金	4,017	0.1%	3,348	0.1%	669	20.0%
繰 入 金	201,364	4.5%	36,218	0.9%	165,146	456.0%
繰 越 金	150,702	3.4%	119,871	2.9%	30,831	25.7%
諸 収 入	145,774	3.3%	141,362	3.4%	4,412	3.1%
町 債	354,200	8.0%	438,900	10.5%	△ 84,700	△ 19.3%
うち臨時財政対策債	179,600	4.1%	196,300	4.7%	△ 16,700	△ 8.5%
合 計	4,429,484	100.0%	4,188,502	100.0%	240,982	5.8%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
議 会 費	82,618	2.0%	78,783	2.0%	3,835	4.9%
総 務 費	378,778	9.2%	480,308	11.9%	△ 101,530	△ 21.1%
民 生 費	874,121	21.1%	829,665	20.5%	44,456	5.4%
衛 生 費	386,105	9.3%	470,952	11.7%	△ 84,847	△ 18.0%
農林水産業費	229,710	5.6%	195,668	4.8%	34,042	17.4%
商 工 費	48,973	1.2%	74,992	1.9%	△ 26,019	△ 34.7%
土 木 費	617,650	14.9%	553,808	13.7%	63,842	11.5%
消 防 費	174,725	4.2%	182,628	4.5%	△ 7,903	△ 4.3%
教 育 費	490,096	11.8%	413,112	10.2%	76,984	18.6%
公 債 費	749,727	18.1%	735,263	18.2%	14,464	2.0%
災害復旧費	104,668	2.5%	22,621	0.6%	82,047	362.7%
合 計	4,137,171	100.0%	4,037,800	100.0%	99,371	2.5%

歳入歳出差引額	292,313	150,702
(うち繰越明許費繰越額)	(9,552)	(18,845)

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績
1			議会費	82,618,488	
	1		議会費	82,618,488	
		1	議会費	82,618,488	

決算事項別明細書 P34～

議会の運営(議会事務局)

予算事業名：議会運営費

当初予算額 2,081,000円 最終予算額 2,081,000円 決算額 1,493,236円

定例会が年4回（6、9、12、3月）、臨時会が4月に開催されました。会期は約2週間で本会議や委員会等を開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 議員報酬 3,953万円
- ・ 議員期末手当 1,636万円
- ・ 議会会議録筆耕料 67万円
- ・ 議会共済会負担金 483万円

(2) 活動指標

・ 本 会 議

- 定例会 4回 6月定例会 会期：6月12日～22日
- 9月定例会 会期：9月11日～27日
- 12月定例会 会期：12月4日～14日
- 3月定例会 会期：3月5日～20日
- 臨時会 1回 4月臨時会 会期：4月17日

・ 委員会、その他の主な会議の実施

(単位：回)

	総務文教	社会衛生	経済建設	議会運営	決 算	予 算	議会全協	議会だより	自立推進
4月							1		2
5月	1		1				1		1
6月	1	2	1	1			2	2	1
7月							1	1	
8月									
9月	1	1	1	1	5		2	1	2
10月				3			1	4	
11月			1	2			1		1
12月	1	1	1	1			3	3	3
1月				1				4	4
2月				3			1		3
3月	1	1	1			5	2	1	
合計	5	5	6	12	5	5	15	16	17

・ 議決件数

(単位：件)

区 分	提出件数	原案可決	否 決	認 定	承 認	同 意	適 任
条 例	28	28					
予 算	19	19					
決 算	9			9			
専決処分	15				15		
意見書及び発議	2	2					
そ の 他	18	13				4	1
合 計	91	62		9	15	4	1

・ 請願、陳情等審議

- 請 願 3件 (採択2件、不採択1件)
- 陳 情 16件 (採択10件、不採択6件)

・ 一般質問 (単位：人)

	6月	9月	12月	3月	合計
質問者数	12	11	12	10	延45

・ 議会傍聴者数 (単位：人)

	4月	6月	9月	12月	3月	合計
議会傍聴者数	1	78	27	6	7	延119

(3) 成果指標

・ 議会について関心が高まり、傍聴者が多くなりました。

議会傍聴者数の推移 (単位：人)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
議会傍聴者数	50	52	70	64	119

議会だよりの発行(議会議務局)

予算事業名：議会運営費

当初予算額 756,000 円 最終予算額 756,000 円 決算額 617,400 円

「議会だより」を年4回(4月、7月、11月、1月)町内全戸に配布しました。定例会、臨時会での審議内容についてお知らせしました。

(1) 主な支出

・ 議会だより印刷 61万円

(2) 活動指標

・ 年4回発行(議会開催月の翌月) 3,550部印刷/回
 ・ 無償配布(団体) 4団体
 ・ 無償配布(個人) 31件
 (参考)平成19年1月号の町内全戸配布数 3,364件

(3) 成果指標

・ 議会での常任委員会の審議、一般質問の内容などについて広く町民の皆さんに知らせることができました。

議員視察研修の実施(議会議務局)

予算事業名：議会運営費

当初予算額 972,000 円 最終予算額 972,000 円 決算額 814,950 円

行財政の運営、教育行政、健康福祉、環境対策、地域活性化、まちづくり等をテーマに、常任委員会合同で先進地の視察を行いました。

(1) 主な支出

・ 視察の旅費 59万円
 ・ 視察バス借上料 21万円

(2) 活動指標

・ 研修期日 7月12日～14日 (2泊3日) 参加者 議員16名、事務局2名
 ・ 視察先と研修内容
 愛知県豊田市 社会福祉法人無門福祉会
 知的障害者のための入所施設「無門学園」の開設から今日までの地域との関わりや交流
 三重県伊賀市 農事組合法人モクモク手づくりファーム
 モクモク手づくりファームの農業の6次産業化の手法
 滋賀県蒲生郡 安土町役場
 小布施町と同規模の安土町の、自立のための協働の町づくりへの意識改革推進施策と議会改革の内容

(3) 成果指標

- ・それぞれの委員会で研修目的を持ち、合同で先進地を視察し、今後の小布施町のまちづくり、政策等の参考にしていきます。

議員人件費

当初予算額 60,750,000 円 最終予算額 60,750,000 円

予算事業名：議員人件費

決算額 60,746,940 円

(1) 主な支出

- ・ 議員人件費 6,074万円

職員人件費

当初予算額 16,394,000 円 最終予算額 19,226,000 円

予算事業名：一般職人件費

決算額 18,945,962 円

(1) 主な支出

- ・ 職員人件費 1,894万円

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																									
2		総務費	378,777,556																										
	1	総務管理費	295,352,771																										
		1	一般管理費			207,868,866	決算事項別明細書 P34～																						
情報公開審査会などの開催(総務グループ)				予算事業名：一般行政管理費																									
		当初予算額	46,000 円	最終予算額	46,000 円																								
				決算額	0 円																								
<p>情報の公開や個人の情報の保護について、町民の視点で審議し、町長や教育委員会に意見を述べる機関である情報公開審査会、個人情報保護審査会を、不服の申し立てなど必要に応じて開催しますが、平成18年度は開催されませんでした。</p> <p>(1) 主な支出 ・なし</p> <p>(2) 活動指標 ・審議案件 なし</p> <p>(3) 成果指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>情報公開審査会</th> <th>個人情報保護審査会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過去の開催実績</td> <td>1 回 (H14. 9. 5開催)</td> <td>2 回 (H13. 12. 25、 H15. 10. 8開催)</td> </tr> </tbody> </table>							情報公開審査会	個人情報保護審査会	過去の開催実績	1 回 (H14. 9. 5開催)	2 回 (H13. 12. 25、 H15. 10. 8開催)																		
	情報公開審査会	個人情報保護審査会																											
過去の開催実績	1 回 (H14. 9. 5開催)	2 回 (H13. 12. 25、 H15. 10. 8開催)																											
職員採用試験の実施(総務グループ)				予算事業名：一般行政管理費																									
		当初予算額	57,000 円	最終予算額	57,000 円																								
				決算額	50,400 円																								
<p>小布施町で採用する職員の試験問題作成や採点などを、長野県町村会に委託して実施しました。また、学芸員（任期付職員）の採用試験を実施しました。</p> <p>(1) 主な支出 ・採用試験委託料 5 万円</p> <p>(2) 活動指標 ・受験者数 一般事務職の募集 21人受験 保健師の募集 6人受験 学芸員（任期付）の募集 4人受験 ・合格・採用者数 一般事務職 1人採用 保健師 1人合格・辞退 学芸員（任期付職員） 1人採用</p> <p>(3) 成果指標 ・職員数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>採用</th> <th>職員数 (4月1日現在)</th> <th>退職</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成15年度</td> <td>0 人</td> <td>111 人</td> <td>11 人</td> </tr> <tr> <td>平成16年度</td> <td>1 人</td> <td>101 人</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td>2 人</td> <td>100 人</td> <td>9 人</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>4 人</td> <td>95 人</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>2 人</td> <td>92 人</td> <td>- 人</td> </tr> </tbody> </table>						年 度	採用	職員数 (4月1日現在)	退職	平成15年度	0 人	111 人	11 人	平成16年度	1 人	101 人	3 人	平成17年度	2 人	100 人	9 人	平成18年度	4 人	95 人	5 人	平成19年度	2 人	92 人	- 人
年 度	採用	職員数 (4月1日現在)	退職																										
平成15年度	0 人	111 人	11 人																										
平成16年度	1 人	101 人	3 人																										
平成17年度	2 人	100 人	9 人																										
平成18年度	4 人	95 人	5 人																										
平成19年度	2 人	92 人	- 人																										

・類似団体職員数の状況（平成18年4月1日現在）

類似団体区分（Ⅲ－0類型）

人口10,000人以上15,000人未満、産業構造Ⅱ次・Ⅲ次80%未満の団体（全国55団体）

団体名	普通会計 職員数	人口1万人 当たり職員数	*参考 住基人口 (H18.3.31)
長野県高森町	81人	61.18人	13,240人
福岡県高田町	105人	72.11人	14,562人
長野県松川町	105人	72.78人	14,427人
長野県小布施町	91人	77.49人	11,744人
⋮			
愛媛県久万高原町	303人	265.63人	11,407人

*類似団体：全国の地方公共団体を人口規模、産業構造の類似している団体ごとに分類したもの

職員の健康管理と福利厚生(総務グループ)

予算事業名：一般行政管理費

当初予算額 3,180,000円

最終予算額 3,180,000円

決算額 2,551,430円

職員の健康管理のため、健康診断や人間ドックの実施や福利厚生のため職員互助会へ助成しました。

(1) 主な支出

- ・ 職員の健康診断の委託 78万円
- ・ 職員団体生命保険料 40万円
- ・ 職員への福利厚生への交付金 25万円
- ・ 人間ドック検診の委託 72万円
- ・ 職員互助会交付金 40万円

(2) 活動指標

- ・ 受診者数
 - 健康診断 85人
 - 人間ドック 1泊：8人 日帰り：55人

(3) 成果指標

- ・ 受診者数の推移 (単位：人)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度
健康診断	106	106	85
人間ドック	1泊	10	8
	日帰り	39	39

文化の日表彰式の開催(総務グループ)

予算事業名：一般行政管理費

当初予算額 175,000円

最終予算額 175,000円

決算額 163,860円

産業の振興、消防・水防活動の発展に貢献された方を文化の日に表彰し、その功績を讃えました。

(1) 主な支出

- ・ 記念品代（銀杯2個） 6万円
- ・ 昼食代 10万円

(2) 活動指標

- ・ 期日及び会場 平成18年11月3日 公民館講堂
- ・ 平成18年度受章者
 - 市川幹夫氏（産業の発展）
 - 藤本富士雄氏（消防・水防功労）

(3) 成果指標

- ・ 表彰者の累計（昭和56年度～平成18年度）

産業の発展	31人
地方自治功勞	32人、1団体
教育振興	14人
文化の向上	6人、3団体
社会福祉増進	8人
消防・水防功勞	8人
保健衛生向上	7人
多年勤続	1人
優れた善行	23人
- ・ 感謝状の累計（昭和56年度～平成18年度） 45人、5団体

町長の交際費(総務グループ)

予算事業名：一般行政管理費

当初予算額 1,300,000 円 最終予算額 1,300,000 円 決算額 1,238,756 円

町長に対し案内のあった各種会議やイベント等の会費や祝儀などを支出しました。

(1) 主な支出

- ・ 祝儀、香典、会費 71万円
- ・ 土産（菓子・りんご等） 37万円

(2) 活動指標

- ・ 祝儀、香典、会費 193件
- ・ 土産用菓子 50個

町例規集の印刷と書籍の購入(総務グループ)

予算事業名：一般行政管理費

当初予算額 3,597,000 円 最終予算額 5,351,000 円 決算額 5,613,489 円

町例規集や現行法規の追録・差し替え、業務に必要な参考図書などを購入しました。

(1) 主な支出

- ・ 町例規集の追録・差し替え 397 万円
- ・ 新聞の購入 27 万円
- ・ 現行法規の追録・差し替え 73 万円
- ・ その他の書籍の購入 65 万円

(2) 活動指標

- ・ 例規集追録回数 1 回
- ・ 現行法規等追録回数 16 回

コピー機、郵送料など役場の共通経費(総務グループ)

予算事業名：一般行政管理費

当初予算額 19,684,000 円 最終予算額 20,600,000 円 決算額 15,623,768 円

コピー機、郵送料など、役場の共通経費です。

(1) 主な支出

- ・ コピー機の使用料 263 万円
- ・ 電話料 238 万円
- ・ 職員給与計算の委託 92 万円
- ・ マイクロバス運転業務の委託 5 万円
- ・ 郵便、宅配料金 360 万円
- ・ 総合賠償補償保険料 97 万円
- ・ 職員の出張旅費 47 万円

(2) 活動指標

参考：平成17年度

コピー枚数	白黒	716,618枚	白黒	677,691枚
	カラー	57,489枚	カラー	25,460枚

(3) 成果指標

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
コピー	白黒	196万円	271万円	132万円
	カラー	87万円	102万円	131万円
郵便	料金	529万円	447万円	456万円
	通数		57,848通	59,794通
メール便	料金	—	21万円	33万円
	通数	—	2,092通	3,654通
宅配	料金	29万円	33万円	12万円
職員配達件数		15,088件	22,150件	14,965件

※平成18年度よりコピー単価変更
 白黒：4円→1.7円/1枚
 カラー：40円→16円/1枚
 ※郵便・宅配料金は、役場全体分として算出。
 ※平成17年度からメール便を利用。

基金(貯金)利子の積立て(総務グループ)

予算事業名：一般行政管理費

当初予算額 9,000円 最終予算額 9,000円 決算額 9,000円

職員の退職特別措置と財政の健全な運営を図るため、基金に積み立てを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 職員の退職特別措置積立基金利子積立金 0.9万円

庁内LANの運用(総務グループ)

予算事業名：情報通信システム管理費

当初予算額 14,935,000円 最終予算額 15,135,000円 決算額 14,403,653円

窓口を含む全ての住民サービスを適切、安定的に実施するため、庁内LAN機器の運用に必要な管理を行いました。なお、個人情報流出防止のため、町では業務系のLANと情報系(インターネット)のLANを物理的に切り分けています。

(1) 主な支出

- ・ システム使用料 101万円
- ・ 機器保守等の委託 232万円
- ・ 機器のリース 851万円
- ・ パソコンの購入(10台) 122万円

(2) 活動指標

- ・ グループウェア機器のリース(リース期間 平成19年4月1日から9月30日まで延長)
- ・ 住民記録システム機器のリース(リース期間 平成21年3月31日まで)
- ・ 端末機器(パソコン)の購入 10台

(3) 成果指標

- ・ 機器保有状況(平成19年3月現在)

端末機(パソコン) 庁内LAN用：104台(職員1人に1台設置)
 (出先機関含) インターネットLAN用：9台
 LGWAN用：1台
 プリンタ(出先機関含) レーザープリンタ：21台
 カラーレーザープリンタ：1台
 インクジェットプリンタ：16台

LGWANの運用(総務グループ)

予算事業名：情報通信システム管理費

当初予算額 2,704,000円 最終予算額 2,704,000円 決算額 2,644,489円

LGWAN等の回線統合の目的で行う、県高速情報通信ネットワークについて、平成19年6月運用開始に向け、長野県電子自治体協議会で準備を進めました。

(1) 主な支出

- ・通信料 38万円
- ・機器保守等の委託 84万円
- ・回線使用料 28万円
- ・機器のリース 55万円
- ・セキュアデータセンター利用料 59万円

(2) 活動指標

- ・協議会総会 4/17、10/27開催（電子申請・届出システムについて協議）
- ・同幹事会 9/27開催（電子申請・届出システムについて協議）
- ・高速情報通信ネットワークのデータセンタ利用説明会への参加

(3) 成果指標

- ・平成19年5月運用開始予定の県WAN（長野県高速情報通信ネットワーク）へ通信回線を移行することで、より高速なデータ通信が可能となり、電子公文書の交換や、公的個人認証システムを活用した電子申請など活用の幅が広がっていきます。

職員の研修(総務グループ)

予算事業名：職員研修費

当初予算額 2,709,000円 最終予算額 2,709,000円 決算額 1,016,165円

幅広い知識を持ち住民の皆様から親しまれる職員を目指し、研修を積極的に実施しました。また、各種の研修会を活用し、職員の資質向上とスキルアップを図りました。

(1) 主な支出

- ・研修旅費 73万円
- ・講師への謝礼 7万円
- ・研修負担金 22万円

(2) 活動指標

● 役場内研修（町民参加研修含）

- ・新規採用職員研修 対象者4人
期日：平成18年4月26日 講師：各グループリーダー
- ・裁判員制度
期日：平成18年5月8日 講師：長野地方検察庁 検事正 太田 茂 氏
- ・ドイツ視察で考えたこと～ものづくり・まちづくり・ひとづくり～
期日：平成18年5月22日 講師：長野経済研究所 理事・調査部長 平尾 勇 氏
- ・アナウンス研修会 参加者5人
期日：平成18年5月22日、23日 講師：元SBCアナウンサー 船戸朗子 氏
- ・映画監督が語るコミュニケーション術
期日：平成18年9月28日 講師：映画監督 花堂純次 氏
- ・職員対応マナー研修 参加者各30人
期日：平成18年8月28日、31日 講師：長野経済研究所インストラクター
- ・強毒性・新型インフルエンザの脅威と対策
期日：平成19年3月7日 講師：さかまき内科クリニック 坂巻隆男 氏

● 役場外研修

① 長野県市町村職員研修センター

- ・新規採用職員研修(前・後期) 4人
- ・財務会計事務研修 2人
- ・税務職員初任者研修 1人
- ・プレゼンテーション研修 1人
- ・中堅行政職員研修 1人
- ・財務事務研修 2人

- ・プロジェクト管理研修 1人
- ・ディベート研修 2人
- ・政策法務研修 2人
- ・人事・給与管理事務研修 1人
- ・償却資産事務研修 1人
- ② 長野広域連合
 - ・宿泊型職員共同研修 1人
 - ・管理職員共同研修 4人
- ③ 全国市町村国際文化研修所
 - ・障害者自立支援法 ー新たな自立支援システムへの対応を中心にー 2人
 - ・平成19年の税源移譲と住民税 ーその背景と課題 1人
- ④ 日本経営協会
 - ・徴収職員のための対人折衝技術パワーアップ講座 1人
- ⑤ その他
 - ・人事評価システム改革シンポジウム 1人
 - ・みんなにやさしい自治体ポータル応援プロジェクト 1人
 - ・動産の差押からインターネット公売の実施まで 2人

町防犯指導委員会の運営(総務グループ)

予算事業名：防犯活動費

当初予算額 291,000円 最終予算額 291,000円 決算額 284,200円

各種イベント時のパトロールや年末年始に防犯診断などを行い、町民の防犯意識の高揚を図りました。

(1) 主な支出

- ・防犯指導員会交付金 14万円
- ・防犯指導員用帽子(70個) 14万円

(2) 活動指標

- ・ゴールデンウィーク巡回 5/3～5 指導員理事 12人
- ・登校児童の見守り(小学校) 5/30 指導員理事 4人
- ・春の町内防犯巡回 6/25 防犯指導員 70人
- ・くりんこ祭り警戒 7/29 指導員理事 9人
- ・お盆防犯巡回 8/14～16 指導員理事 4人
- ・登校生徒の見守り(中学校) 8/21 指導員理事 4人
- ・秋の町内防犯巡回 10/15 防犯指導員 70人
- ・特別警戒「おぶせ六斎市」巡回 10/28～29 指導員理事 12人
- ・登校児童の見守り(小学校) 11/10 指導員理事 4人
- ・年末防犯診断 12/24～28 28自治会実施 防犯指導員 70人
- ・安市警戒 1/14～15 指導員理事 12人

(3) 成果指標

- ・防犯指導員のパトロール、啓発活動により犯罪発生を抑止力となり、刑法犯の発生を年々減少させることができました。

【刑法犯の須高地区発生状況】 (単位：件)

年度	小布施町	須坂市	高山村	須高地区計
平成16年度	106	609	32	747
平成17年度	99	496	39	634
平成18年度	66	513	26	605

須高防犯協会の運営(総務グループ)			予算事業名：防犯活動費
当初予算額	408,000円	最終予算額	408,000円
		決算額	398,000円
須高地区の犯罪のない安全な地域づくりを目的に、須高3市町村と須坂警察署が連携を取り防犯活動を実施しました。			
(1) 主な支出			
	・ 須高防犯協会連合会分担金	40万円	
(2) 活動指標			
	・ 平成18年度定期総会開催	5/26 (須坂市古城荘)	
	・ 須高防犯チラシの隣組回覧	6回実施	
	・ 須高防犯協会表彰	表彰者 (町関係) 小布施町防犯指導員会 (防犯功労団体) 今井カツエ氏 (防犯功労者)	
犯罪発生の周知(総務グループ)			予算事業名：防犯活動費
当初予算額	0円	最終予算額	0円
		決算額	0円
町内で犯罪が発生した場合、すみやかに同報無線等を通じ町民の皆さんに周知し、注意をうながしました。			
(1) 主な支出			
	・ なし		
(2) 活動指標			
	・ 振り込め詐欺、不審者、悪質な訪問販売等に対し、随時放送を実施		
特別職人件費			予算事業名：特別職人件費
当初予算額	31,436,000円	最終予算額	31,518,000円
		決算額	31,492,947円
(1) 主な支出			
	特別職人件費	3,149万円	
職員人件費			予算事業名：一般職人件費
当初予算額	147,814,000円	最終予算額	132,683,000円
		決算額	132,378,709円
(1) 主な支出			
	職員人件費	1億3,238万円	
2	広報広聴費	18,801,205	
写真・映像のデータ化保存(企画グループ)			予算事業名：広報広聴活動費
当初予算額	77,000円	最終予算額	77,000円
		決算額	71,954円
今の小布施町を後世に伝えるため、写真やビデオなどの撮影を行い、映像の記録等の保存に努めました。また、「おぶせ六斎市」(10/28・29)などの各種記念イベントをビデオリポーターの皆さんに撮影していただきました。			
(1) 主な支出			
	・ 撮影用ビデオテープ等購入	5万円	
	・ 日本広報協会会費	2万円	
(2) 活動指標			
	【リポーターの人数】		
	・ カメラリポーター	5人	・ ビデオリポーター
			4人
	【撮影内容】		
	・ 高井鴻山生誕二百年祭(5/3)		
	・ おぶせ六斎市2006(10/28・29)		
	・ 高井鴻山記念館、千曲川ハイウェイミュージアム等の企画展の撮影 など		

(3) 成果指標

- ・ 北斎館開館三十周年と高井鴻山生誕二百年という小布施町に住む町民にとって大変意義深いこの年に、後からでも見返せる写真やビデオの撮影を行い、また皆さんに広く視聴できるように図書館にビデオを収めることができました。
- ・ 広報で撮影した写真や映像は、後世の貴重な資料として保存・活用していきます。

行政相談委員活動の支援(総務グループ)

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額 25,000 円 最終予算額 25,000 円 決算額 21,000 円

国や独立行政法人等の行政に対する苦情や相談に応じ、その問題解決を図る行政相談委員の活動に対し支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 行政相談委員活動助成金 1.5 万円
- ・ 行政相談委員研修会負担 0.6 万円

(2) 活動指標

- ・ 行政相談委員活動
相談日：毎月第3金曜日（年12回のうち4回は総合相談と共催）及び随時
相談場所：北斎ホールほか 相談件数：20件

(3) 成果指標

- ・ 行政相談受付件数

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
受付件数	20	19	14	19	20

町政に関する懇談会の開催(企画グループ)

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

町民の皆さんとの情報共有を進め、町政への参画・提案をいただき協働のまちづくりをともに進めるため、町政に関する懇談会を自治会やコミュニティ単位で開催しました。

(1) 主な支出

- ・ なし

(2) 活動指標

- 【懇談会テーマ】
- ・ 平成18年度事業の進捗状況について
 - ・ 町の財政状況について
 - ・ 図書館の建設について

開催日	自治会・コミュニティ名	会場	参加人数 (職員含む)
11月2日(木)	中央	中央公会堂	26人
11月4日(土)	第3コミュニティ(福原・横町・栗ガ丘)	第3コミュニティセンター	16人
11月7日(火)	山王島	山王島公会堂	13人
11月9日(木)	林	林公会堂	13人
11月12日(日)	大島	大島公会堂	18人
11月13日(月)	都住コミュニティ(六川・中子塚・矢島・清水)	六川公会堂	31人
11月18日(土)	東部コミュニティ(中条・松村・雁田)	東部コミュニティセンター	25人
11月19日(日)	第1コミュニティ(東町・上町)	東町公会堂	18人
11月24日(金)	上松川コミュニティ(水上・松の実・千両・松川・クリトピア)	上松川コミュニティセンター	17人

11月27日（月）	中扇	中扇公会堂	19人
11月28日（火）	伊勢町	伊勢町公会堂	15人
12月6日（水）	北部コミュニティ（北岡・押羽・羽場）	北部コミュニティセンター	20人
12月9日（土）	中町	中町公会堂	16人
合計	13会場		247人

(3) 成果指標

- 延べ250人余の方に参加いただき、平成18年度事業、財政状況、図書館の建設などについてさまざまなご意見・ご提言を頂きました。懇談会での意見をもとに今後の行財政運営を行っていくとともに、今後も町民の皆さんとの情報共有の機会として実施していきます。

私の意見箱（企画グループ）

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

町内各所（計31カ所）に「私の意見箱」を設置し、町民の皆さんから町政やまちづくりなどについて広くご意見やご提言をいただくとともに、町報等でお答えしました。また、それらのご意見を事業の見直し等に反映させました。

(1) 主な支出

なし

(2) 活動指標

- 「私の意見箱」設置箇所 町内31カ所（各公会堂、保健センター前、高井鴻山記念館）
- 投書数 46 件（うち観光客22件）
- 町報8月号、2月号、3月号に回答を掲載

(3) 成果指標

- 「私の意見箱」投書数（ただし平成14～16年度は、高井鴻山記念館内の意見は除く）

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
投書数	9	12	12	62	46

「町報おぶせ」の発行（企画グループ）

予算事業名：町報発行事業費

当初予算額 6,938,000 円 最終予算額 7,630,000 円 決算額 7,584,693 円

町民の皆さんに町政に関する話題や生活情報、行事などをお知らせするため、広報員やカメラ・ビデオリポーターの皆さんにご協力いただきながら、毎月1回町報の発行を行いました。

また、行事予定が2カ月にまたがるという不都合を解消するため、平成19年1月から町報の発行日を10日から20日に変更しました。

(1) 主な支出

- 町報の印刷 720 万円
- 広報員、カメラ・ビデオリポーター謝礼 32 万円

(2) 活動指標

- 毎月1回発行 4,000部／回
- 町内全戸配布 3,420世帯（平成19年3月号）
- 有償配布（個人・団体） 77件
- 無償配布（団体） 79団体（87部）
- 無償配布（個人・寄稿者） 15件
- 無償配布（施設・職員等） 324部

(3) 成果指標

- ・まちづくりアンケート (H17.10.1現在)

問：小布施町の町政に関する情報をどのようにして得ていますか。

① 町報おぶせ	89.6 %	④ 新聞記事や折込チラシ	29.9 %
② 広報おぶせ	57.6 %	⑤ 自治会などの会合	19.5 %
③ 回覧板	47.2 %	⑥ 新しい仲間を通じて	17.1 %

(町民が町政に関する情報を得る手段として、町報おぶせが最も身近な媒体となっている)

同報無線(防災行政無線)の運用・整備 (企画グループ)

予算事業名：同報無線事業費

当初予算額 8,203,000 円 最終予算額 8,203,000 円 決算額 7,957,558 円

町民の皆さんに町のさまざまな情報をお知らせしたり、災害時に情報を伝達する手段として、同報無線の放送を行うとともに、屋外放送施設等の保守点検や自治会単位での戸別受信機の交換を行いました。

(1) 主な支出

- ・戸別受信機の購入 704 万円
- ・保守点検の委託 40 万円

(2) 活動指標

- ・1日4回の定時放送(朝・昼・夜(2回))と2回のチャイムの実施
- ・小学校下校時の見守りの放送 平日
- ・夕焼け小焼けの音楽放送 18時：5月22日～9月26日、17時30分：9月27日～10月31日
- ・アナウンス研修会の実施 … 5月22・23日(5人参加)、9月26日(1人参加)
- ・戸別受信機の更新(上町・福原・転入者) 200台
 - ※一斉交換日 上町 … 9月21日(木)、福原 … 9月22日(金)
- ・保守点検の実施(8・2月の2回)～同報無線親局装置一式、屋外子局一式(7カ所)
 - ※子局設置箇所 … 役場屋上、羽場、都住、雁田、吉島、中松、大島の計7カ所
 - 8月点検(期間：平成18年8月22日～24日)
 - 2月点検(期間：平成19年2月26日～27日)

(3) 成果指標

- ・戸別受信機の交換率(平成18年度末) 66.1 %
- ・同報無線の戸別受信機の一斉交換がまだ済んでいない残り7自治会についても順次交換を進め、災害時など町民の皆さんへの情報伝達のための基盤整備に万全を期していきます。
 - ※交換未実施 … 東町、中町、伊勢町、中央、横町、中扇、林
 - ※平成19年度は、中町と中央の2自治会で交換を行う予定です。
- ・毎日の放送を確実に行うことができ、町の情報を町民の皆さんにお知らせできました。

ホームページの充実(総務グループ)

予算事業名：ホームページ管理費

当初予算額 1,292,000 円 最終予算額 1,292,000 円 決算額 680,400 円

より多くの人に、より多彩な情報を伝達する手段として町ホームページの充実に努めました。

(1) 主な支出

- ・Webサーバ等管理委託料 68 万円

(2) 活動指標

- ・ホームページの更新 通年/随時

(3) 成果指標

- ・ホームページ累計アクセス件数 863,000件
- ・メール配信登録者数 226人
 - 生活情報 242人
 - 観光情報 305人

「ここに使います ことしの予算！」「くらしの便利帳」の発行（企画グループ・生活環境グループ）

予算事業名：予算事業説明書作成事業費

当初予算額 2,913,000 円 最終予算額 2,913,000 円 決算額 2,485,600 円

その年の予算の使い道や事業などを、なるべく分かりやすくまとめた「ここに使います ことしの予算！」と、生活の中での手続き等をまとめたガイドブック「くらしの便利帳」を発行し、全戸にお配りしました。

(1) 主な支出

- ・ 「ここに使います ことしの予算！」の印刷製本 145 万円
- ・ 「くらしの便利帳」の印刷製本 104 万円

(2) 活動指標

- ・ 「ここに使います ことしの予算！」印刷部数 3,800 部（全戸配布）
- ・ 「くらしの便利帳」印刷部数 4,000 部（全戸配布）

(3) 成果指標

- ・ 「自分たちが納めている税金の使い方が分かるようになった」「まちづくりに興味を持つようになった」など、多くの意見をいただいています。今後も小布施のまちづくりにご理解をいただくための一つの方法として、より見やすく、分かりやすい冊子となるよう努めていきます。

3	財政管理費	4,031,014
----------	--------------	------------------

財務会計システムの運用など(企画グループ)

予算事業名：財政管理費

当初予算額 4,084,000 円 最終予算額 4,084,000 円 決算額 4,031,014 円

予算の作成、収入支出伝票の処理などを行う財務会計システムの運用を行いました。この財務会計システムは、収入や支出の情報を一元的に管理することにより各種財政資料の作成にも活用しています。

(1) 主な支出

- ・ 財務会計システムの保守委託 158 万円
- ・ 財務会計システムの使用料 184 万円
- ・ 水道事業会計繰出金 41 万円

(2) 活動指標

- ・ 財務会計システム システム名
財務会計システム
バランスシートシステム
起債システム
- ・ 財務会計システム使用端末 全端末（113台）
- ・ 機能等 予算編成、予算管理、決算統計、執行管理、決算管理、各課管理、データ活用等
- ・ 財務会計システム保守 バージョンアップ、制度改正等による機能の変更等に対応

4	会計管理費	1,530,566
----------	--------------	------------------

会計事務(税務グループ)

予算事業名：会計管理費

当初予算額 2,199,000 円 最終予算額 2,199,000 円 決算額 1,530,566 円

町に入金されたお金や物品の管理と、町からのお金の支払い手続きを行いました。また、決算書を作成しました。

(1) 主な支出

- ・ 口座振替などの手数料 83 万円
- ・ 決算書などの印刷 46 万円
- ・ 役場全体で使うコピー用紙など 21 万円
- ・ その他の経費 3 万円

(2) 活動指標

【会計事務の概要】

- ・現金、有価証券、担保物件の出納及び保管
- ・収入及び支出、証拠書類の整理及び保管
- ・給与の支払事務及び給与簿の保管
- ・物品の出納及び保管
- ・決算の調整

5 財産管理費 33,631,525

町有財産の維持管理(企画グループ)

予算事業名：町有財産管理費

当初予算額 4,549,000 円 最終予算額 4,549,000 円 決算額 3,119,751 円

来庁者の駐車スペースの確保のための役場西側駐車場等の土地の借り上げ等を行いました。

(1) 主な支出

- ・土地借上料 307 万円

(2) 活動指標

- ・役場西側駐車場の借り上げ 800 m²
- ・旧丸林倉庫の借り上げ 5,330 m²

(3) 成果指標

- ・役場前駐車場、西側駐車場とあわせ60台の駐車可能台数を確保
- ・旧丸林倉庫 役場倉庫として活用

基金(貯金)利子の積立て(企画グループ)

予算事業名：町有財産管理費

当初予算額 504,000 円 最終予算額 504,000 円 決算額 504,000 円

将来にわたり安定的な財政運営を行うため、財政調整基金、減債基金への利子の積立てを行いました。また、土地開発基金への利子繰り出しを行いました。

(1) 主な支出

- ・財政調整基金への利子積立て 26 万円
- ・減債基金への利子積立て 9 万円
- ・土地開発基金への利子の繰り出し 13 万円

役場庁舎の維持管理(総務グループ)

予算事業名：庁舎管理費

当初予算額 15,208,000 円 最終予算額 15,708,000 円 決算額 14,708,658 円

役場庁舎にかかる光熱水費や灯油代など省エネに努めながら適正な維持管理を行いました。

(1) 主な支出

- | | | | |
|----------------|--------|---------------|--------|
| ・庁舎の光熱水費 | 653 万円 | ・灯油代 | 185 万円 |
| ・庁舎の修繕料 | 174 万円 | ・清掃業務委託料 | 156 万円 |
| ・エレベーター保守管理の委託 | 67 万円 | ・消防用設備保守点検委託料 | 53 万円 |
| ・トイレ洗浄器の借り上げ | 25 万円 | ・電気保安業務委託料 | 38 万円 |
| ・PCB微量分析業務委託料 | 14 万円 | ・清掃用具の使用料 | 13 万円 |
| ・自動ドア保守管理委託料 | 19 万円 | ・庁舎用消耗品費 | 16 万円 |

(2) 活動指標

- | | | |
|-------------|----------|-----------------|
| ・PCB微量分析 | 平成18年10月 | 4検体実施 |
| ・エレベーター保守管理 | 3施設 | 毎月実施 |
| ・消防用設備保守点検 | 31施設 | 年1回実施 |
| ・自動ドア保守点検 | 8施設 | 年4回実施 (うち庁舎分支出) |

- (3) 成果指標
- ・PCB微量分析 3検体基準超過 2検体使用 1検体保管
 - ・エレベーター点検 故障箇所なし
 - ・消防用設備点検 不良・不備等箇所25カ所
 - ・自動ドア保守点検 故障箇所なし

庁用車の維持管理(総務グループ)

予算事業名：庁用車管理費

当初予算額 9,073,000円 最終予算額 9,073,000円 決算額 7,959,616円

役場の仕事等で使用する庁用車の維持管理を行いました。

- (1) 主な支出
- ・ガソリン代 189万円
 - ・自賠責、任意共済費 152万円
 - ・車検、定期点検代 226万円
 - ・庁用車のリース料 125万円
 - ・高速道路利用料金 62万円
 - ・タイヤ等消耗品費 32万円

- (2) 活動指標
- 保有台数
- ・中型車両 1台 ・普通車両 14台 ・軽車両 11台
 - ・小型ポンプ付積載車 9台

- (3) 成果指標
- ・車検 17台
 - ・12カ月点検 7台
 - ・6カ月点検 10台
 - ・3カ月点検 2台

公共施設耐震診断・耐震補強(総務グループ)

予算事業名：庁舎等整備事業費

当初予算額 4,940,000円 最終予算額 4,512,000円 決算額 3,034,500円

地震などの災害に備え、町施設の耐震診断を実施しました。

- (1) 主な支出
- ・耐震診断の委託 191万円
 - ・耐震補強工事 112万円

- (2) 活動指標
- ・耐震診断実施施設
 - ・文化体育館
 - ・須坂市消防署小布施分署

- (3) 成果指標
- ・診断結果
 - 文化体育館 耐震診断の結果、Is値0.6程度、大規模耐震補強の必要あり
 - 須坂市消防署小布施分署 耐震補強工事の実施

庁舎省エネ電力監視システムの構築(総務グループ)

予算事業名：庁舎等整備事業費

当初予算額 3,877,000円 最終予算額 4,305,000円 決算額 4,305,000円

職員の省エネに対する意識高揚を図り、電力基本料金の抑制を図るため、電力監視システムを庁舎1階事務室に設置しました。

- (1) 主な支出
- ・省エネ監視システム設置工事 431万円

(2) 活動指標

- ・目標電力量100KW/H

目標電力量を上回るときの電力の切り替え、節電による基本料金の抑制を図りました。

6	企画費	14,690,382
---	-----	------------

広域行政の推進(企画グループ)

予算事業名：広域行政推進費

当初予算額	3,643,000 円	最終予算額	3,643,000 円	決算額	3,492,941 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

近隣市町村と協力し、広域的に取り組むべき情報化・少子高齢化・環境問題・地方分権・教育などの諸施策を行うため、長野広域連合での調査研究に取り組むとともに、ふるさと市町村圏だより「AREAながの」の発行やふれあい探訪ツアーなどの事業を実施しました。

(1) 主な支出

- ・長野広域連合負担金 334 万円
- ・地域活性化センター会費 7 万円
- ・スロータウン連盟会費 5 万円

(2) 活動指標

【長野広域連合】（総務管理費に係るもの）

- ・広域的課題の調査研究（平成18年度より新たに消防専門部会と高度情報化専門部会を設置）
- ・長野地域ふるさと市町村圏だより「AREAながの」を4月と9月に発行（全戸配布）
- ・ふるさとフォトコンテストの作品募集と入賞作品の展示
入賞作品の展示 期間：平成18年7月3日～11日
場所：北斎ホールロビー
- ・ふれあい探訪事業（圏内の名所を巡り、体験や交流を行うツアーの開催 10月22日）

【地域活性化センター】

- ・地域活性化情報の提供（機関紙「地域づくり」「地域活性化情報ファイル」などの発行）
- ・地域活性化フォーラム、地域再生実践塾、地域づくりコーディネータ研修会の開催
- ・地域イベントへの助成・支援、地域イベントの表彰など

【スロータウン連盟】

- ・平成14年発足/北海道由仁町、埼玉県深谷市、栄村、小布施町など全国60市町村で構成
- ・地産地消 日本の秋大収穫祭の開催（町/緑のかけ橋まつりが参加）
- ・ふるさとパックスの提供（全国特産品のプレゼントへの協力 町/りんご酢、りんごジュース）

【北信濃スロータウン協議会】

- ・平成15年発足/中野市、山ノ内町、高山村、小布施町により構成
- ・北信濃花街道（山ノ内町～小布施町）の管理、PR

(3) 成果指標

【長野広域連合】

- ・情報システムを利用した事務の効率化や高度化、また、情報化施策全般における経費の削減に向け、高度情報化専門部会のワーキンググループにおいて、各市町村の現状やこれからの課題をまとめた「広域的な高度情報化の推進に関する報告書（素案）」をまとめました。（平成19年2月）

国際交流（企画グループ）

予算事業名：交流事業費

当初予算額	120,000 円	最終予算額	120,000 円	決算額	100,000 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

町民がさまざまな国の人との交流を通して、国際感覚を身につけることを目的に行っている「国際ボランティアキャンプ」事業を実施しました。

(1) 主な支出

- ・小布施国際交流クラブ 国際ワークボランティアキャンプ交付金 10万円

(2) 活動指標

- ・小布施国際交流クラブ（平成10年発足）が実施している海外の若者を受け入れ交流を行う「国際ボランティアワークキャンプ」の活動を支援
- ・町報6月号でホームステイ家庭の募集（3件応募）
- ・キャンプ参加者5人（日本人リーダー1人含）
（内訳・・・男性1人、女性4人／フランス2人、韓国・スペイン・日本各1人）
- ・7月23日～8月5日 小布施町内に滞在（14日間）
 - 7月23日 小布施到着
 - 7月24日 中学校訪問
 - 7月25日 小学校訪問
 - 7月26日 エンゼルランドセンター、子ども教室で交流活動
 - 7月27日 保育園訪問（つすみ）、子ども教室で交流活動
 - 7月28日 保育園訪問（わかば）、いきいきサロン（社協）の手伝い
 - 7月29日 休み（自由行動）
 - 7月30日 長野県内観光
 - 7月31日 小布施総合公園（草取り、清掃の手伝い）
 - 8月1日 町内取材・資料収集等
 - 8月2日 おぶせミュージアム訪問
 - 8月3日 デイサービスセンター訪問
 - 8月4日 ホストファミリーとの交流会
 - 8月5日 解散
- ・宿泊・・・7月23日～29日 町内6家庭でホームステイ 7月30日～8月5日 桃源荘宿泊

(3) 成果指標

- ・ホームステイ受入家庭数の推移（単位：軒）

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
受入家庭数	8	9	8	6
実受入家庭数	8	12	17	20

※実受入家庭数は平成15年度からカウント

- ・キャンプ期間中は、ホストファミリーとの交流だけでなく、小中学校や保育園、エンゼルランドセンター、いきいきサロン等を訪問し、多くの町民の皆さんと交流を図ることができました。またキャンプ参加者も町民の「もてなし」を感じることができ、良い経験になりました。

基金(貯金)利子の積立て(企画グループ)

予算事業名：交流事業費

当初予算額	6,000 円	最終予算額	6,000 円	決算額	6,000 円
-------	---------	-------	---------	-----	---------

教育、文化、産業および社会福祉制度等の国外研修を行う者に対して貸し付けを行うため、国外研修資金貸付基金へ利子繰り出しを行いました。

(1) 主な支出

- ・国外研修資金貸付基金への利子繰出金 0.6 万円

イベントガイドブックの作成(企画グループ)

予算事業名：イベント調整費

当初予算額	500,000 円	最終予算額	500,000 円	決算額	420,000 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

春と秋の行楽期のイベントや町営・民間美術館等の企画展の情報等を掲載したガイドブックを作成しました。町内の全世帯と、ホテル・旅館・駅等の観光客の出入りする施設や、報道機関等にも配りました。

(1) 主な支出

- ・イベントガイドブックの作成 42万円

(2) 活動指標

- ・ 春のイベントガイドブック 印刷部数 30,000部 (4月10日発行)
- ・ 秋のイベントガイドブック 印刷部数 30,000部 (9月10日発行)
- ・ 配布箇所/部数
町内世帯/3,353部 町営・民営施設(24カ所)/19,250部 高山温泉郷(11カ所)/1,900部
山ノ内旅館・ホテル(10カ所)/2,000部 長野市内等ホテル(10カ所)/2,000部
観光情報センター・観光協会等(6カ所)/1,200部 旅行者(14カ所)/70部
報道関係(16カ所)/80部

(3) 成果指標

- ・ 春と秋の行楽期のイベント・企画展情報を一覧でご覧いただけるため、効果的に町の魅力をPRでき、町内外の観光客のみならず、視察対応時の町PRにも使用しました。また、紙面のスペースの部分で町報等に掲載できない民間施設の取り組みも積極的に取り上げ、幅広い情報を掲載することができました。

町民会議設立検討委員会の設置(企画グループ) 予算事業名：(仮称)町民会議創設準備委員会費
当初予算額 1,298,000円 最終予算額 1,298,000円 決算額 64,674円

第四次総合計画・後期基本計画策定時に「協働のまちづくり懇話会」から、協働のまちづくりを進めるためには、町民・行政・議会の情報共有の場、議論の場、連携の場が必要であるとの提言をいただきました。8月に31人の委員からなる町民会議設立検討委員会を設置し、(仮称)町民会議のあり方について検討し、平成20年3月までに報告をします。

(1) 主な支出

- ・ 地方自治学習会講師御礼 2万円
- ・ 委員会事務用品など 4万円

(2) 活動指標

委員数 31人

	期 日	場 所	出席者数	内 容
第1回検討委員会	平成18年8月18日(金)	公民館講堂	39人	正副会長の選出、今後のスケジュールと進め方について
第2回検討委員会	平成19年1月26日(金)	公民館講堂	35人	町民会議のあり方と今後のスケジュールについて
第3回検討委員会	平成19年2月16日(金)	公民館講堂	30人	町民会議に求める役割、持たせたい機能について(3つのグループに分かれてのワークショップ)
第4回検討委員会	平成19年3月9日(金)	公民館講堂	28人	町民会議の具体的な姿について(3つのグループに分かれてのワークショップ)
地方自治学習会	平成19年3月26日(月)	六斎舎	23人	協働の力を活かすまちづくりをめざして 講師 酪農学園大学 河合博司教授 栗山町の取り組みについて 講師 北海道栗山町 地域政策係長 上島宣和氏

(3) 成果指標

毎回30人近くの出席(事務局、役場職員で組織するプロジェクトチーム員含む)を得て開催することができました。
会議では、さまざまな意見や提案を言いやすくするため、3つのグループに分かれてのワークショップを取り入れた結果、委員の皆さんの発言機会も増え、多様な意見による活発な意見交換を行うことができました。
また、協働のまちづくりの取り組みについて、先行事例も踏まえた学習会も開催し、(仮称)町民会議の設立に向けて議論の深まりを見せています。

「おぶせ六斎市2006」の開催(企画グループ)

予算事業名：おぶせ六斎市2006事業費

当初予算額 0 円 最終予算額 11,252,000 円 決算額 10,606,767 円

北斎館開館三十周年と高井鴻山生誕二百年を記念し、「おぶせ六斎市2006」を開催しました。江戸の風情と賑わいのある空間を作り、そこに集う人・物の交流を通じて更なる小布施文化の創造とふるさとに対する意識の醸成と魅力ある産業の発展を目指しました。

(1) 主な支出

- ・ 会場等設営業務委託 608 万円
- ・ 電源等設営業務委託 104 万円
- ・ 出演者（個人を含む36グループ）謝礼 133 万円
- ・ イベントチラシ作成、印刷、新聞折込委託 49 万円

(2) 活動指標

- 開催期日 平成18年10月28日（土）～29日（日）
- 開催場所 街路 町組・松村線（大日通り）
- 主催 おぶせ六斎市2006実行委員会

【江戸職人の技】

墨田区伝統工芸保存会 7ブース（手描き提灯、建築漆工、江戸木目込み人形、べっ甲工芸、鍔古代簪、足袋仕立て、作品展示）、日本刺繍 1ブース、北斎館等美術館 1ブース（総合案内）の計9ブースの出展

【骨董・蚤の市】

信州骨董蚤の市実行委員会 23ブース（安中、秩父、藤岡、熊谷、渋川、行田、前橋、大宮、板橋、寄居、立川、太田、練馬、佐久、上田）、須坂美術クラブ 12ブース（岡山、岐阜、調布、小諸、長野、須坂、小布施）の計35ブースの出展

【農作物収穫祭・物産交流市】

収穫祭 17ブース（修了生の会、中町ギヤマン祭り実行委員会、緑のかけ橋まつりおぶせ、おぶせフラワーセンター、小布施ハイウェイオアシス、NPO法人すみれ、小布施郵便局、小布施町農業委員会、小布施町商工会、栗どっこ市、小布施から味大根組合、JA須高）、交流市 10ブース（川上村、ニセコ町、大船渡市、水上町、桑名市、三瓶町、氷川町）の計27ブースの出展

【アート&クラフトフェア】

アート&クラフトフェア実行委員会の運営により、40ブース（京都、滋賀、浜松、岐阜、愛知、川崎、茨城、南相木、木曾、原、御代田、朝日、小海、飯田、岡谷、小諸、塩尻、茅野、安曇野、麻績、上田、軽井沢、坂城、木島平、飯綱、千曲、長野、飯山、中野、須坂、小布施）の出展

【ステージアトラクション】

オープニングセレモニー、幼稚園・保育園リズム体操、小学校金管バンド、中野西高吹奏楽、プリランテ プラス コンソート、新潟よさこい演舞、北斎太鼓（大人、中学生）、鬼島太鼓、野沢温泉道祖神太鼓、一弦琴、佐藤広海ライブ、三四六トークなどを実施

【屋台巡行等】

屋台巡行、展示（中町、伊勢町、福原）、門灯籠、高張提灯等設置（上町、中町、押羽、いいたん会）、宵の祭り（東町、上町、中町、林、押羽、六川、矢島、中条、松村、招福きつね踊り、豊栄舞、邦楽ぐるーぷ・いとたけ）を実施

(3) 成果指標

- ・ 当日、会場となる大日通り（500m）を交通規制し、「江戸職人の技」「骨董・蚤の市」「農作物収穫祭・物産交流市」「アート&クラフトフェア」の4つのエリアに北は北海道から南は九州まで町内外から120に及ぶ出展があり、大変な賑わいを見せた2日間となりました。また8年ぶりに中町、伊勢町、福原の祭り屋台3基の巡行や、地区外への持ち出しは初となる押羽門灯籠の建立、獅子舞をはじめとした各地区の伝統芸能など古くから残る貴重な財産が会場の雰囲気高めイベントを盛り上げました。晴天に恵まれ、2日間とも街路を覆いつくすほどの人出で賑わい、出展者・来訪者・運営スタッフの間で多くの交流が生まれました。

参加者数	
出展者	約280人
運営スタッフ	約120人
来訪者	約80,000人

7 地域づくり事業費 11,881,717

自治会運営活動の支援(企画グループ)

予算事業名：自治会活動費

当初予算額 6,425,000 円 最終予算額 6,425,000 円 決算額 6,068,754 円

自治会や自治会連合会、衛生組合の活動をサポートするとともに、町報や各種通知の配布事務に対する委託料を支払いました。

(1) 主な支出

・自治会事務委託料	375 万円
・自治会連合会、衛生組合活動連合会交付金	162 万円
・自治会活動保険掛金	60 万円

(2) 活動指標

- ・自治会長会議の開催（4月5日、6月15日）
- ・研修視察の実施（自治会連合会事業）平成18年5月26日～27日/22人参加
福井県小浜市：食のまちづくりについて
- ・議会傍聴（6月15日）
- ・自治会消防施設点検

(3) 成果指標

- ・自治の最小単位である自治会を単位にした活動は幅広く、「顔が見える地域運営」として、協働のまちづくりに向けて重要な役割を担っています。

コミュニティ地区活動の活性化(企画グループ)

予算事業名：コミュニティ推進事業費

当初予算額 5,214,000 円 最終予算額 5,610,000 円 決算額 5,512,963 円

行政の効率的な運営と自治会事務などの合理化を図りながら、自治会の枠を超えた地域の支えあいの場となるよう、各コミュニティ地区が行うさまざまな活動を支援しました。

(1) 主な支出

・地域づくり活動事業補助金（7事業/地区）	18 万円
・コミュニティ地区職員設置交付金（7地区）	420 万円
・コミュニティ施設整備事業補助金	60 万円
・上松川コミュニティ公園用地借地料	37 万円

(2) 活動指標

【地域づくり活動事業】

- ・納涼盆踊り大会ほか（北部コミュニティ地区）
- ・マレットゴルフ大会ほか（東部コミュニティ地区）
- ・マレットゴルフ大会（西部コミュニティ地区）
- ・千曲川ふれあい公園花祭りほか（第5コミュニティ地区）

【コミュニティ地区職員】

- ・町報などの配達、推進協議会の事務、地区内団体経費等の徴収、通知等の作成・印刷など

(3) 成果指標

- ・後期基本計画策定「協働のまちづくり懇話会」から、「コミュニティの機能的な活用」の提言

- ・まちづくりアンケート（平成17年10月実施）
自治会とコミュニティ地区の関係について
 - 自治会活動を活発にしていくべきだ 14.4%
 - 自治会で共通している事務は共同化を進めるべきだ 23.8%
 - 自治会活動は徐々にコミュニティ地区での活動に移行していくべきだ 13.1%
 - もっとさまざまなコミュニティでの活動を考えるべきだ 18.8%
 - わからない 22.8%
 - その他・無回答 7.3%
- ・自治会で共通している事務の共同化など、コミュニティの役割について町民の皆さんと相談しながらそれぞれの地区の実情に合った運営を行っていきます。

まちづくり活動の補助(企画グループ) 予算事業名：まちづくり活動推進事業費

当初予算額 1,000,000 円 最終予算額 604,000 円 決算額 300,000 円

「自分のまちは自らの手でつくる」という意欲をもったグループの皆さんが、独自のテーマで取り組むまちづくり活動の支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・まちづくり活動補助金 30 万円

(2) 活動指標

- ・第2回北信濃小布施演劇フェスティバルへの補助
(平成19年3月24日/北斎ホール/主催：北信濃小布施演劇フェスティバル実行委員会)

(3) 成果指標

まちづくり活動事業補助金の推移

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
事業数	7件	4件	2件	2件	1件
補助金額	792万円	366万円	160万円	65万円	30万円

- ・過去に支援を行ってきた小布施国際音楽祭や東町きつね祭り、中町ギヤマン祭りなどは地域に根ざしたイベントとして今も継続して行われています。それらのイベントには多くの人が集い、さまざまな交流をもたらした町の活性化の一翼を担っており、意欲ある人たちが行うまちづくり活動への補助は町の活性化に大きな効果を持つものと思われまます。

8 消費生活対策費 95,677

消費者の会の活動支援(生活環境グループ) 予算事業名：消費生活対策費

当初予算額 68,000 円 最終予算額 68,000 円 決算額 68,000 円

消費生活意識を高め、悪徳商法の被害に遭わないための情報提供や相談活動を実施しました。

(1) 主な支出

- ・消費者の会活動交付金 7 万円

(2) 活動指標

- ・消費者の会総会 平成18年5月9日 公民館
- ・視察研修 平成18年11月9日 松川村 G-フレンドリー(ごみの中間処理施設)
- ・消費生活展の開催 10 月
- ・消費生活教室参加 8 回

(3) 成果指標

- ・消費生活相談件数の推移 (単位：件)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
相談件数	19	11	60	81	34

消費生活展の開催など(生活環境グループ)				予算事業名：消費生活対策費	
当初予算額	72,000 円	最終予算額	72,000 円	決算額	27,677 円
消費者が自らの判断により安全な消費生活を営むため、消費生活展の開催による情報の提供に努めるとともに、生ごみの資源化利用に向けた「消費者の会」の活動紹介を通し、消費者情報の地域への提供に努めました。					
(1) 主な支出					
・消費生活展事務用品 2 万円					
(2) 活動指標					
・消費生活展の開催 平成18年10月15日 健康福祉センター ほか、消費者の会の活動と同じ					
9	防災対策費	2,546,433			
県消防防災航空隊負担金(総務グループ)				予算事業名：防災対策費	
当初予算額	250,000 円	最終予算額	250,000 円	決算額	246,300 円
県消防防災ヘリコプター（アルプス）の運営にかかる経費の一部を負担しました。					
(1) 主な支出					
・県消防防災航空隊負担金 25 万円					
(2) 活動指標					
・消防体制の強化・航空機による広域応援体制整備を目的に平成9年に運行開始					
・防災ヘリコプター運航協議会会則に定められた運営委員会（会長＝協議会長で県危機管理局長、委員＝市町村の消防防災担当課長等）が事業計画・予算などを定める					
・活動内容（平成18年）					
救急活動（負傷者等の搬送） 83件 救助活動 57件 火災防ぎょ活動 8件					
災害応急活動 19件 広域航空消防防災応援活動（応援協定による） 3件					
災害予防活動（訓練参加等）19件 自隊訓練 85件					
防災無線などの維持管理(総務グループ)				予算事業名：防災対策費	
当初予算額	178,000 円	最終予算額	178,000 円	決算額	170,150 円
災害発生時に備え、防災行政無線設備の保守点検を行いました。					
(1) 主な支出					
・防災行政無線設備保守の委託 16 万円					
(2) 活動指標					
・災害時における情報連絡体制の確保のための機材の保守					
(3) 成果指標					
・町総合防災訓練の避難伝達訓練、火災や水防時の災害出動時に無線機を利用して適切な情報伝達ことができました。					
防災用通信機器の使用(総務グループ)				予算事業名：防災対策費	
当初予算額	69,000 円	最終予算額	69,000 円	決算額	67,774 円
自然災害等に備え、千曲川水位の観測データや衛星情報網による県防災無線を活用しました。					
(1) 主な支出					
・県防災無線負担金 7 万円					

(2) 成果指標

- ・集中豪雨や台風などによる千曲川の増水状況の把握、水防活動の情報の早期取得が図れました。

第28回総合防災訓練の実施(総務グループ)

予算事業名：防災対策費

当初予算額 413,000 円 最終予算額 413,000 円 決算額 305,961 円

日頃からの町民の防災意識を高めるとともに、非常時の連携をより円滑にするため防災訓練を実施しました。

(1) 主な支出

- ・初期消火訓練用消火器の詰替え 23 万円
- ・消耗品費 6 万円

(2) 活動指標

- ・開催月日 平成18年6月4日
- ・会場 小布施南公園駐車場、皇大神社境内、福原公園、玄照寺、河東王島神社、郷原神社、町営グラウンド、つすみ保育園庭、上松川コミュニティセンター庭の9カ所に現地災害本部を設置・開催
- ・参加者等 町民、消防団員、女性防災クラブ員、自治会自主防災会、消防署小布施分署ほか
- ・訓練内容 初期消火訓練、心肺蘇生訓練、消火栓取扱訓練、炊出し訓練等
携帯電話の普及により、職員の招集訓練、消防団の出動訓練、また、自治会の被害状況報告を携帯電話のメール配信により実施する。

(3) 成果指標

- ・参加者の防災意識の高揚と、防災に関する知識の習得が図れました。

年度	参加者数	訓練内容等
平成16年度	940人	訓練会場を3カ所とし、水防工法訓練、煙体験等
平成17年度	955人	より多くの町民が参加できるよう会場を9カ所に設営
平成18年度	950人	地域住民の連携した訓練実施のため会場を9カ所に設営

災害時食糧などの購入(総務グループ)

予算事業名：防災対策費

当初予算額 317,000 円 最終予算額 317,000 円 決算額 293,895 円

大規模地震の発生など緊急時において被災者の生活を確保するため、食料品及び避難所で使用する寝具の備蓄を進めました。

(1) 主な支出

- ・災害時食糧（乾パン1000食分） 14万円
- ・毛布（30枚） 14万円

(2) 活動指標

- ・購入した乾パン1000食分・毛布30枚を中学校に保管
- ・期限切れとなる乾パンについてはPRを兼ね試食用に総合防災訓練参加者に提供

(3) 成果指標

- ・小学校・中学校・健康福祉センターでの乾パン備蓄数（平成18年度末現在） 3,000食
- ・小学校・中学校・消防本部詰所・健康福祉センター、毛布備蓄数（平成18年度末） 100枚

自主防災組織運営への支援(総務グループ)

予算事業名：防災対策費

当初予算額 178,000 円 最終予算額 178,000 円 決算額 174,953 円

地域の防災力を高め、災害時の被害を最小限に抑えるため、自主防災組織の運営に対し支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・自主防災組織交付金 17 万円

(2) 活動指標

- ・ 災害時の資材備蓄のため各自治会に交付金を支出
(均等割 1自治会1,500円 世帯割 1世帯40円)
- ・ 町総合防災訓練に参加し、公会堂、訓練会場への避難誘導訓練、対策本部との災害情報伝達訓練などを実施

(3) 成果指標

- ・ 自主防災会ヘルメット、腕章等備品を整備しました。

小布施町国民保護計画の策定(総務グループ)

予算事業名：防災対策費

当初予算額 184,000 円 最終予算額 184,000 円 決算額 87,400 円

国民保護法に基づく、小布施町国民保護計画を作成するため協議会を設置・協議いただき、答申を受けました。

(1) 主な支出

- ・ 委員報酬 9 万円

(2) 活動指標

- ・ 小布施町国民保護協議会の開催等 12月12日、諮問、素案説明
12月～3月、県協議
3月30日、答申

(3) 成果指標

- ・ 武力攻撃等の事態が迫った場合、住民の避難や救護に関すること、平素備えておくべき物資および訓練などについて定めました。

町防災会議の開催(総務グループ)

予算事業名：防災対策費

当初予算額 184,000 円 最終予算額 184,000 円 決算額 0 円

小布施町地域防災計画の見直しを行うため、小布施町国民保護協議会と同時開催しました。

(1) 主な支出

- ・ なし(国民保護協議会委員報酬として支出)

(2) 活動指標

- ・ 協議会の開催 12月12日、見直し案の格子を説明

一般住宅の「簡易耐震診断」の実施(総務グループ)

予算事業名：すまいの安全「とうかい」防止対策事業

当初予算額 1,590,000 円 最終予算額 1,200,000 円 決算額 1,200,000 円

大地震により倒壊の恐れのある、建築基準法改正前に着工された一般木造住宅200戸の簡易診断を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 簡易診断委託料 120 万円

(2) 活動指標

- ・ 平成17年度より町報等で周知を行い、240戸の申し込み
- ・ 調査対象となる昭和55年前建築の一般住宅で木造在来工法の200戸の簡易診断を実施
- ・ 200戸の簡易診断の結果、総合評点1.0未満が109戸、うち、29戸が精密診断を申請

10	男女共同参画社会づくり費	275,386		
男女共同参画社会づくり(企画グループ)			予算事業名：男女共同参画社会づくり費	
	当初予算額	363,000 円	最終予算額	363,000 円
			決算額	275,386 円

小布施町男女共同参画基本計画に沿って、男女が性別にとらわれることなく、互いに人権を尊重し、一人ひとりが自分らしく生きることができる社会の実現を目指し、意識の啓発を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 男女共同参画社会推進委員の報酬 (7人) 10万円
- ・ フォーラムの開催 18万円

(2) 活動指標

- ・ 男女共同参画社会推進委員会の開催 9回 (5、8、9、10(2回)、11、12、1、3月)
- ・ あいとびあ研修会参加 (5月18日/参加者4人)
- ・ 男女共同参画サミット参加 (10月23日/参加者3人)
- ・ 男女共同参画社会推進会議開催 1回 (11月10日/参加者19人)
(構成員：各種団体、委員会、企業の長計32人と推進委員7人の合計38名※兼務1人)
- ・ 男女共同参画フォーラムinさかき参加 (11月26日/参加者3人)
- ・ フォーラム打ち合わせ・リハーサル 2回 (12月)
- ・ 町男女共同参画フォーラム開催
(主催：町推進委員会/開催日：12月10日/参加者：町民ほか約150人)
- ・ 高山村いきいきフォーラム2007参加 (1月20日/参加者3人)
- ・ 記録映画「丸岡秀子・ひとすじの道」映画会共催、参加
(平成19年3月3日/参加者：一般町民希望者約20人)

(3) 成果指標

- ・ 町男女共同参画フォーラム アンケート (回収50通)

性別 (不明あり)

男性	42%	女性	54%
----	-----	----	-----

年齢 (不明あり)

～20代	6%	30代	6%	40代	18%	50代	20%	60代	26%	70代	16%	80代～	2%
------	----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	----

参加した動機

男女共同参画社会に興味があったから	23人
知人に誘われた	10人
映画に興味があった	17人
その他	6人

※複数回答可

- ・ フォーラム参加者へのアンケートから推察すると、50代から70代の女性の方が男女共同参画社会に高い関心を示しています。今後も若い年代や男性も参加しやすい取り組みに一層努めていきます。

2	徴税费	53,138,656		
1	税務総務費	34,207,822		決算事項別明細書 P38～

町税の課税と納税(税務グループ)			予算事業名：税務総務費	
	当初予算額	407,000 円	最終予算額	407,000 円
			決算額	230,490 円

住民税や固定資産税等の課税を行うため、固定資産の評価情報等を収集したり、評価審査委員会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 固定資産評価審査委員報酬 1万円
- ・ 図書購入費 6万円
- ・ 資産評価システム研究センター等負担金 7万円

(2) 活動指標

- ・固定資産評価審査委員会
委員数：3名
委員会の開催状況：平成18年8月9日開催（審査申出件数：0件）
- ・図書購入費（実務提要、税情報誌等）
- ・資産評価システム研究センター（固定資産評価に関する情報提供）

(3) 成果指標

- ・固定資産評価審査委員会の審議案件：過去に審査申出なし

職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 32,079,000 円 最終予算額 34,153,000 円 決算額 33,977,332 円

(1) 主な支出

職員人件費 3,398 万円

2 賦課徴収費 18,930,834

町税の課税と納税（税務グループ）

予算事業名：賦課徴収費

当初予算額 20,454,000 円 最終予算額 21,084,000 円 決算額 18,930,834 円

町民税や固定資産税など町税の課税と徴収を行い、自主財源の確保を図りました。

(1) 主な支出

- ・町税の電算処理や土地の鑑定評価業務などの委託料 1,046 万円
- ・電算システムや地理情報システムなどの使用料 605 万円
- ・申告書などの印刷 25 万円
- ・前年度以前に納付した町税の還付金 130 万円
- ・弁護士報酬 21 万円

(2) 活動指標及び(3)成果指標

1) 町税決算額の推移

(単位：万円)

税目	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
町個 民 税人	均等割	836	820	1,224	1,382	1,624
	所得割	38,077	34,347	31,695	32,185	35,106
	計	38,913	35,167	32,919	33,567	36,730
町法 民 税人	均等割	1,886	1,706	1,749	1,785	1,813
	法人税割	2,517	2,488	1,833	2,144	1,779
	計	4,403	4,194	3,582	3,929	3,592
固定資産税	53,395	50,893	51,904	53,202	51,742	
軽自動車税	2,353	2,418	2,518	2,603	2,673	
町たばこ税	4,680	4,840	4,943	4,700	4,876	
特別土地保有税	15	—	—	—	—	
入湯税	61	112	71	51	51	
合計	103,820	97,624	95,937	98,052	99,664	

2) 個人町民税課税状況（現年課税分）

(単位：万円)

区 分	普通徴収		特別徴収		計		構成比 (%)
	納税義務者数(人)	税 額	納税義務者数(人)	税 額	納税義務者数(人)	税 額	
所得割	2,598	13,761	2,449	21,415	5,047	35,176	95.6
均等割	3,325	887	2,500	741	5,825	1,628	4.4
計(実人数)	3,325	14,648	2,500	22,156	5,825	36,804	100.0

※ 特別徴収義務者数 860事業所

所得状況（平成18年度所得種類別統計より）

（単位：万円）

所得区分	所得額	人数（人）	1人当り所得額
給与	1,179,598	6,465	182
営業	79,402	460	173
農業	19,250	945	20
その他所得	147,090	3,598	41
譲渡等	17,544	92	191
計（実人数）	1,442,884	6,791	212

- ※ 1. 所得額は、納税義務の有無に関わらず、課税台帳に登録されたすべての者の所得額である。
 2. 人員は、複数の所得がある場合は、それぞれの所得区分にカウントされている。

3) 法人町民税課税状況（現年課税分）

（単位：万円）

区分	法人数（社）	税額	構成比（%）
法人税割	70	1,812	50.4
均等割	245	1,783	49.6
計（実法人数）	246	3,595	100.0

法人数の内訳

1号法人	2号法人	3号法人	4号法人	5号法人	6号法人	7号法人	8号法人	9号法人	計
—	—	5	1	7	2	35	2	194	246

4) 固定資産税の課税状況等（現年課税分）

① 土地、家屋別課税の内容

・土地（非課税除く）

（単位：万円）

地目	総評価地積（㎡）	筆数（筆）	総評価額	課税標準額
田	2,016,819	1,460	24,341	24,341
畑	6,274,291	11,146	800,915	128,502
宅地	1,975,829	12,175	4,061,891	1,184,131
鉱泉地	3	1	155	155
山林	1,008,522	454	2,011	2,011
原野	293,035	159	222	222
雑種地	228,315	521	231,836	146,918
計	11,796,814	25,916	5,121,371	1,486,280

・家屋（非課税除く）

（単位：㎡）

区分	在来分		新增築分		計	
	棟数	床面積	棟数	床面積	棟数	床面積
木造	6,947	636,196	57	6,351	7,004	642,547
非木造	1,854	244,322	8	2,314	1,862	246,636
計	8,801	880,518	65	8,665	8,866	889,183

② 課税状況

(単位：万円)

区 分	納税義務者数 (人)	固定資産税額 (賦課決定)
土 地	3,361	20,717
家 屋	3,603	24,889
償 却 資 産	135	5,999
計 (実人数)	4,531	51,605

③ 新增築分家屋評価状況

(単位：万円)

区 分	棟 数	床 面 積 (㎡)	総評価額	㎡当り単価
木 造	57	6,351	34,105	5.4
非木造	8	2,314	13,405	5.8
計	65	8,665	47,510	5.5

5) 国有資産等所在市町村交付金及び納付金3件 67 万円

6) 軽自動車税の課税状況 (現年課税分)

(単位：万円)

車 種		台 数 (台)	税 額	
原動機付自転車	50cc以下	797	80	
	90cc以下	78	9	
	125cc以下	25	4	
	ミニカー	12	3	
軽自動車	二輪小型 (125cc超250cc以下)	136	33	
	四輪貨物	営業用	11	3
		自家用	2,012	805
四輪乗用	自家用	2,098	1,511	
小型特殊自動車	農 耕 用	1,008	161	
	そ の 他	33	15	
二輪小型 (250cc超)		133	53	
計		6,343	2,677	

7) たばこ税の課税状況

(単位：万円)

特別徴収義務者数	税 額	消 費 本 数 (千本)		
		旧3級品以外	旧3級品	計
3	4,876	15,517	609	16,126

8) 入湯税の課税状況

(単位：万円)

特別徴収義務者数	税 率	入湯客数 (人)	税 額
2	日帰り 50円、宿泊 100円	8,384	51

9) 収入未済額の推移

(単位：万円)

税 目		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
町 民 税 人	現年課税額	180	130	102	122	142
	滞納繰越額	71	109	96	148	195
	計	251	239	198	270	337

町法 民 税人	現年課税額	1	4	0	13	17
	滞納繰越額	0	0	0	0	0
	計	1	4	0	13	17
資 固 産 税 定	現年課税額	478	858	698	798	793
	滞納繰越額	118	258	679	960	895
	交付金等	0	0	0	0	0
	計	596	1,116	1,377	1,758	1,688
軽 自 動 車 税	現年課税額	6	7	13	11	11
	滞納繰越額	5	6	8	15	18
	計	11	13	21	26	29
町たばこ税		0	0	0	0	0
特別土地保有税		0	—	—	—	—
入 湯 税	現年課税額	0	623	0	0	0
	滞納繰越額	0	0	623	623	623
	計	0	623	623	623	623
合 計		859	1,995	2,219	2,690	2,694
徴収率		98.9%	98.0%	97.7%	97.3%	97.4%

3	戸籍住民基本台帳費	22,925,030
1	戸籍住民基本台帳費	22,925,030

決算事項別明細書 P38～

戸籍に関する事務(生活環境グループ)

予算事業名：戸籍住民基本台帳費

当初予算額 8,035,000 円 最終予算額 7,968,000 円 決算額 7,260,000 円

戸籍関係の証明書の発行や届出の受付を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 戸籍システム保守委託料 156 万円
- ・ 戸籍システム使用料 176 万円
- ・ 戸籍ハードウェア等リース料 275 万円
- ・ 戸籍複写機賃借料 19 万円

(2) 活動指標及び成果指標

① 本籍数と本籍人口（平成19年3月31日現在）

- ・ 本 籍 数 5,343 戸籍（前年比 1 戸籍増）
- ・ 本籍人口 14,368 人（前年比 49 人減）

② 戸籍事務の処理件数

種 別	本 籍 人 届 出 数	非本籍人 届 出 数	他市町村 から送付	計	種 別	件 数
出 生	62	31	65	158	新戸籍編成	79
死 亡	89	15	19	123	戸籍全部消除	78
婚 姻	30	6	125	161		
離 婚	17	0	6	23		
転 籍	20	0	25	45		
そ の 他	38	0	25	63		
計	256	52	265	573		

③ 戸籍謄抄本及び証明書の交付状況

- ・ 有 料 4,066 件 216 万円
 - ・ 無 料 372 件
- 戸籍全部事項証明書 1,598 件 × 450 円
 戸籍個人事項証明書 684 件 × 450 円
 除籍謄本 1,321 件 × 750 円
 その他証明書 83 件 × 350 円
 380 件 × 300 円

④ 犯罪人名簿処理件数 13 件

⑤ 人口動態調査

種 別	出 生	死 亡	婚 姻	離 婚	死 産	計
件 数	93	104	36	17	1	251

⑥ 相続税法第58条報告件数 104 件

⑦ 埋火葬許可件数

種 別	死体埋葬	死体火葬	死胎埋葬	死胎火葬	胞衣焼却	計
件 数		104		1		105

住民票・外国人登録に関する事務(生活環境グループ)

予算事業名：戸籍住民基本台帳費

当初予算額 2,726,000 円 最終予算額 2,726,000 円 決算額 1,818,849 円

住民票の発行や転入・転出の届出、外国人登録などを円滑に行い、住民サービスの向上に努めました。

(1) 主な支出

- ・住民基本台帳システム委託料 23 万円
- ・住民情報記録ソフトウェア使用料 173 万円

(2) 活動指標及び(3)成果指標

① 住民基本台帳世帯数及び人口（平成19年3月31日現在）

- ・世帯数 3,532 世帯（前年比 33 世帯増）
- ・人口 11,704 人（前年比 25 人減） 男 5,647 人、女 6,057 人

② 住民基本台帳関係届出処理件数

種 別	出生	死亡	転入	転出	転居	世帯主 変 更	職権 修 正	職権 消 除	附票 記 載	附票 消 除	計
件 数	92	100	333	351	98	139	18	3	392	438	1,964

③ 住民票（広域交付住民票含む）の写し及び証明書の交付状況等

- ・交付件数 有 料 166 万円 4,537 件 (@300円)
- 無 料 109 件
- ・住民基本台帳閲覧 996 件 (@300円)
- ・住基カード発行手数料 20 件 (@500円)

④ 印鑑登録証明書交付状況

- ・交付件数 有 料 123 万円 4,095 件 (@300円)
- 無 料 21 件
- ・登録件数 有 料 12 万円 392 件 (@300円)

⑤ 外国人登録状況（平成19年3月31日現在）

（単位：人）

国 別	カナダ	ネパール	インド ネシア	中国	米 国	タ イ	ブラジル	パキスタン	朝 鮮	フィリピン	韓国	計
男	1		6	1	4	9	4	1		2		28
女		1		6	2	9	2		1	2	2	25
計	1	1	6	7	6	18	6	1	1	4	2	53

⑥ 外国人登録事務取扱件数

（単位：人）

種 別	新規登録	再 交 付	確認(切 替交付)	居 住 地 変 更 登 録	原 票 送 付 請 求	在 留 期 間	在 留 資 格	勤 務 先 変 更	計
件 数	16	0	9	5	5	31	7	3	76

⑦ 印鑑登録状況

- ・平成18年度中新規登録者（再登録含む） 392 人
- ・印鑑登録者総数（平成19年3月31日現在） 7,532 人

住基ネットに関する事務(生活環境グループ)

予算事業名：戸籍住民基本台帳費

当初予算額 3,200,000 円 最終予算額 3,200,000 円 決算額 2,774,309 円

住民基本台帳カード（住基カード）の発行と住基ネットシステムの保守管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・住基ネットシステム保守委託料 118 万円
- ・住基ネットシステムハード使用料 83 万円
- ・住民記録県報告委託料 25 万円
- ・字ファイル更新委託料 25 万円
- ・公的個人認証サービス委託料 18 万円

(2) 活動指標

- ・住基カード発行件数 16 件 (@500円)
- ・広域交付住民票発行件数 1 件 (@300円)
- ・電子証明書発行件数 13 件 (@500円)

(3) 成果指標

- ・住基台帳等発行数の推移 (単位：件)

種別	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	計
住基カード	5	7	8	16	36
広域交付住民票	—	5	2	1	8
電子証明書	—	1	1	13	15

職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 13,808,000 円 最終予算額 11,098,000 円 決算額 11,071,872 円

(1) 主な支出

- 職員人件費 1,107万円

4	選挙費	6,168,069
1	選挙管理委員会費	773,630
2	選挙啓発費	0

決算事項別明細書 P39～

選挙管理委員会の運営と啓発活動(総務グループ)

予算事業名：選挙管理委員会運営費

当初予算額 1,045,000 円 最終予算額 1,045,000 円 決算額 773,630 円

選挙管理委員会を開催し4回の定時登録を行いました。また、選挙に対する啓発を行いました。

(1) 主な支出

- ・選挙管理委員報酬 49万円
- ・研修会参加旅費 0.5万円

(2) 活動指標

- ・長野県選管連合会総会及び明るい選挙推進県大会（長野市） H18.12.22 5人参加
- ・長野地区町村選挙管理委員会連合会総会（長野市） H18.5.31 4人参加

- ・選挙人名簿登録者数 年4回（定時登録） (単位：人)

	男	女	計
平成18年6月2日 現在	4,557	4,997	9,554
平成18年9月2日 現在	4,551	4,994	9,545
平成18年12月2日 現在	4,553	5,000	9,553
平成19年3月2日 現在	4,547	4,993	9,540

3	農業委員会委員選挙費	109,055			
農業委員会委員選挙(総務グループ)			予算事業名：農業委員会委員選挙費		
当初予算額	3,393,000円	最終予算額	3,393,000円	決算額	109,055円

農業委員会委員選挙が執行されました。

(1) 主な支出

・事務従事者手当	1万円
・立会人報酬	3万円
・当選証書等の物品	4万円
・投票用紙等の印刷	2万円

(2) 活動指標

- ・選挙期日：平成18年5月2日
- ・投票状況 (単位：人)

	当日の有権者数
男	1,106
女	973
計	2,079

(3) 成果指標

- ・当選人

関 勇一朗 荒井 昇 池田 隆 久保田 譲 清水 康雄 黒田 篤
米沢 静雄 田中 三男 島田 昭一 久保田 明雄 高野 利一 大沢 巖

4	長野県知事選挙費	4,137,810			
長野県知事選挙(総務グループ)			予算事業名：長野県知事選挙費		
当初予算額	4,107,000円	最終予算額	4,150,000円	決算額	4,137,810円

長野県知事選挙が執行されました。

(1) 主な支出

・事務従事者手当	189万円
・立会人報酬	52万円
・電算委託料	26万円
・選挙ポスター掲示板等の物品	109万円

(2) 活動指標

- ・選挙期日：平成18年8月6日
- ・投票状況

	当日の有権者数(人)	投票者数(人)	棄権者数(人)	投票率	前回投票率
男	4,512	3,226	1,286	71.50%	76.98%
女	4,960	3,471	1,459	69.98%	76.43%
計	9,472	6,697	2,745	70.70%	76.69%

(3) 成果指標

- ・候補者別得票数(届出順：選挙区)

候補者氏名	党派	得票数
村井 仁	無所属	3,774
田中 康夫	無所属	2,844

5	長野県議会議員一般選挙費	1,147,574		
長野県議会議員一般選挙(総務グループ)			予算事業名：長野県議会議員一般選挙費	
当初予算額		0円	最終予算額	1,150,000円
			決算額	1,147,574円
長野県議会議員一般選挙が執行されました。				
(1) 主な支出				
	・選挙事務物品、図書等		78万円	
	・投票用紙交付機・計数機点検		10万円	
	・電算委託料		26万円	
	・選挙ポスター掲示板等の物品		109万円	
(2) 活動指標				
	・平成19年4月8日 執行予定			

5	統計調査費	564,960		
1	統計調査費	564,960		決算事項別明細書 P40～
統計調査の実施(企画グループ)			予算事業名：統計調査費	
当初予算額		546,000円	最終予算額	566,000円
			決算額	564,960円
統計法に基づき、平成18年度は「事業所・企業統計調査」、「輸出生産実態調査」、「工業統計調査」、「学校基本調査」を実施しました。				
(1) 主な支出				
	・調査員報酬		44万円	
	・統計調査消耗品		10万円	
	・通信運搬費		1万円	
	・県農林統計協会会費		2万円	
(2) 活動指標				
	・学校基本調査			
	調査期日	平成18年5月1日		
	調査対象	小中学校及び幼稚園		
	調査員数	なし(各施設で調査)		
	・事業所・企業統計調査(輸出生産実態調査も同時に実施)			
	調査期日	平成18年10月1日		
	調査対象	489事業所		
	調査員数	8人		
	・工業統計調査			
	調査期日	平成18年12月31日		
	調査対象	64事業所		
	調査員数	4人		
(3) 成果指標				
	・事業所数と従業員数の推移(事業所・企業統計調査より)			
	区分	平成13年度	平成16年度	平成18年度
	事業所数(カ所)	453	447	489
	従業員数(人)	2,980	2,870	3,042
	※平成18年は速報値			

・ 児童・生徒数と教職員数（学校基本調査より）（単位：人）

区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
小学校児童数	675	673	663	681	712
小学校教職員数	32	34	37	37	41
中学校生徒数	395	373	367	332	313
中学校教職員数	34	29	29	29	30

※ 工業統計調査結果（H18）は未公表

6 監査委員費 628,070

1 監査委員費 628,070

決算事項別明細書 P40～

監査委員報酬など(監査委員事務局)

予算事業名：監査委員費

当初予算額 741,000 円 最終予算額 741,000 円 決算額 628,070 円

「毎月の歳入、歳出事務が正確に行われているか」、「予算の使い方や事業の進め方が、法律に従って正しくかつ効率的に使われているか」などチェックしました。

(1) 主な支出

- ・ 監査委員報酬（2人） 55万円

(2) 活動指標

- ・ 例月出納検査 12日（毎月原則 27日）
- ・ 随時監査 1日
- ・ 定期監査 11日（5月18日、7月19日、7月20日、8月2日、8月3日、8月4日、8月7日、8月8日、8月9日、8月11日、8月17日）
- ・ 決算審査 11日（5月18日、7月19日、7月20日、8月2日、8月3日、8月4日、8月7日、8月8日、8月9日、8月11日、8月17日）

(3) 成果指標

- ・ 決算審査講評

財政の厳しい折ではありましたが、事務は行政の効率化と健全性を念頭に置き執行され、処理も法令・規則により正確に実施されている。また、現物も帳簿と完全突合され、事務の管理・事業の執行は総じて良好である。

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
3		民生費	874,120,597		
	1	社会福祉費	641,801,315		
	1	社会福祉総務費	213,349,063		
			決算事項別明細書 P41～		
社会福祉協議会の運営補助など(福祉グループ)			予算事業名：社会福祉総務費		
当初予算額 17,848,000 円			最終予算額 17,848,000 円	決算額 15,535,085 円	
地域の福祉活動を担う社会福祉協議会の運営(介護保険事業に関わるものを除く人件費)に対する補助を行いました。					
(1) 主な支出					
<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会の運営補助 1,553 万円 福祉診断書料給付金 1 万円 					
(2) 活動指標					
地域の福祉活動を担う社会福祉協議会の運営(介護保険事業に関わるものを除く)に対して補助を行いました。主な活動内容は、3.1.3「その他の社会福祉協議会委託事業」及び3.1.7「介護予防・地域支え合い事業」などを参照					
また、福祉診断書料給付金として、身体障害者手帳の交付等の申請に必要な診断書の作成費用に補助を行いました。					
<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会運営補助金の推移 (単位：万円) 					
	年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	補助金額	553	1,500	1,296	1,553
民生児童委員活動と生活保護(福祉グループ)			予算事業名：社会福祉総務費		
当初予算額 967,000 円			最終予算額 967,000 円	決算額 936,447 円	
民生児童委員活動を積極的に展開し、要保護者のケース検討、障害者、老人、母子等の福祉をはじめ住民福祉の向上に努めました。					
(1) 主な支出					
<ul style="list-style-type: none"> 活動のための交付金・負担金 85 万円 					
(2) 活動指標					
<ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員数： 13 人(委員12人、主任児童委員1人) 定例会の実施 月1回 独居老人等要援護世帯への支援、相談 心配ごと相談の実施 月2回、(第1・第3火曜日) 年間相談件数6件 生活保護平成18年度新規認定者 3世帯4人(年度末総数 11世帯15人) 					
(3) 成果指標					
<ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員への相談、支援件数 					
	年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	件数	324	259	140	132
<ul style="list-style-type: none"> 心配ごと相談件数 					
	年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	件数	6	9	5	6
<ul style="list-style-type: none"> 生活保護の認定者数の推移 					
	年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	認定者数	1	3	2	4
	年度末総数	6世帯8人	7世帯11人	9世帯13人	11世帯15人
民生児童委員の定数が平成16年に21人から13人に減少しました。要援護世帯数は微増傾向にありますが、相談件数は減少しています。					

総合相談所の開設(福祉グループ)

予算事業名：社会福祉総務費

当初予算額 198,000 円 最終予算額 198,000 円 決算額 135,346 円

町民の皆さんから寄せられる専門的な相談に応じるため、総合相談所を開設しました。

(1) 主な支出

- ・相談員謝礼 13 万円

(2) 活動指標

- ・弁護士、司法書士、人権擁護委員、行政相談委員、民生児童委員による総合相談所の開設年4回

開設日	平成18年5月20日	平成18年8月25日	平成18年10月21日	平成19年2月23日
受付件数	5	10	11	10

(3) 成果指標

- ・相談件数の推移

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	15	24	27	36

相続、離婚、土地問題、多重債務に関する相談が多く、専門的になってきています。

基金(貯金)利子の積立て(福祉グループ)

予算事業名：社会福祉総務費

当初予算額 66,000 円 最終予算額 66,000 円 決算額 66,000 円

社会福祉事業に充てるため、またボランティア事業に充てるための財政の健全な運営を図るため、基金利子の積立てを行いました。

(1) 主な支出

- ・社会福祉積立基金利子積立金 6万円
- ・ボランティア事業積立基金利子積立金 1万円

国民健康保険特別会計への繰出金(健康グループ)

予算事業名：社会福祉総務費

当初予算額 58,018,000 円 最終予算額 53,427,000 円 決算額 52,264,142 円

国民健康保険特別会計へ繰り出しました。

(1) 主な支出

- ・基盤安定繰出金 3,792万円
- ・出産育児一時金等繰出金 257万円
- ・財政安定化支援事業繰出金 511万円
- ・事務費等繰出金 666万円

(2) 活動指標

- ・年度別推移 (単位：万円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
基盤安定	3,488	3,989	3,792
出産育児一時金等	360	200	257
財政安定化支援事業	583	450	511
事務費等	598	552	666
計	5,029	5,191	5,226

福祉医療費(福祉グループ)

予算事業名：福祉医療費給付事業費

当初予算額 49,619,000円 最終予算額 52,299,000円 決算額 48,457,170円

一定の条件に当てはまる乳幼児や障害者、高齢者、母子・父子家庭にかかる医療費の負担を軽くするため、福祉医療費の給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・福祉医療費給付金 4,439 万円
- ・システム保守・使用料 53 万円

(2) 活動指標

平成19年3月31日現在の資格別受給者数

(単位：人)

資格名称	受給者数
乳幼児福祉医療費	658
重度心身障害者福祉医療費給付金	276
身障手帳1級	29
身障手帳2級	14
身障手帳3級	13
療育手帳A1	13
療育手帳A2	0
療育手帳B1	17
65歳以上国民年金施行令別表該当	190
精神保健福祉手帳1級（通院のみ）	0
父子福祉医療費給付金	8
父子の父	3
父子の子	5
母子福祉医療費給付金	162
母子の母	61
母子の子	96
父母のいない児童	5
65歳以上独り暮らし老人福祉医療費給付金	4
68歳以上低所得老人福祉医療費給付金	17
計	1,125

(3) 成果指標

- ・支給件数の推移

(単位：万円)

	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
乳幼児	4,130	1,461	8,280	1,603	7,767	1,469
うち町単独分						
4歳以上外来	1,620	524	3,377	584	791	162
入院時食費	100	30	135	39	110	23
重度心身障害者	2,135	2,017	4,682	2,384	4,399	2,505
うち町単独分						
入院時食費	259	384	326	471	334	489
父子家庭	11	1	10	12	9	6
うち町単独分						
入院時食費	11	1	1	1	0	0
母子家庭	639	212	1,312	228	1,252	292
うち町単独分						
入院時食費	5	2	6	2	13	7
65歳以上独り暮らし老人	111	198	145	42	97	28
68歳以上低所得老人	415	50	973	218	572	139
計	7,441	3,938	15,402	4,487	14,096	4,439

※平成18年度から乳幼児の4歳以上外来が県の補助対象となったため、町単独分が減少しています。

ひとり親家庭等児童福祉手当など(福祉グループ) 予算事業名：ひとり親家庭福祉事業費
 当初予算額 1,335,000円 最終予算額 1,335,000円 決算額 1,074,000円

ひとり親家庭等の経済負担を軽くするため、手当や年金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・母子・父子家庭児童福祉年金 58万円
- ・交通、災害遺児等年金 0.5万円
- ・母子・父子家庭児童福祉手当 49万円

(2) 活動指標 (単位：万円)

項目	支給件数(件)	支給金額
母子・父子家庭児童福祉年金	72	58
母子・父子家庭児童福祉手当	34	49
計	106	107

(3) 成果指標 (単位：万円)

項目 年度	母子・父子家庭児童福祉年金		母子・父子家庭児童福祉手当	
	件数	金額	件数	金額
平成15年度	80	63	58	69
平成16年度	74	56	56	65
平成17年度	75	59	56	69
平成18年度	72	58	34	49

地域福祉計画の策定(福祉グループ) 予算事業名：地域福祉計画策定事業費
 当初予算額 938,000円 最終予算額 938,000円 決算額 0円

同じ地域に住む人が、思いやりを持って互いに助け合う「地域の福祉」を進めるため、モデル地区を決め、その地域の課題や心配事などに対して共通の認識を持ち、行動するための計画「地域福祉計画」の策定に取り組みました。

(1) 主な支出

- ・なし

(2) 活動指標

- ・中央自治会にモデル地区を定め、地区懇談会で、高齢者世帯の除雪、ごみ出し等の支援、健康づくり、災害時の要支援者の救護、防犯対策等の地域課題について話し合いを深めました。今後、これらの福祉的課題を整理し、一人ひとりが安心して心豊かに暮らせるよう、地域福祉活動計画の策定を支援していきます。

職員人件費 予算事業名：一般職人件費
 当初予算額 81,923,000円 最終予算額 95,115,000円 決算額 94,880,873円

(1) 主な支出

- ・職員人件費 9,488万円

2	国民年金事務費	843,176
---	---------	---------

国民年金の加入等の手続き(生活環境グループ) 予算事業名：国民年金事務費
 当初予算額 747,000円 最終予算額 852,000円 決算額 843,176円

国民年金は、すべての国民が加入する制度で、年金制度の中でも基本となるものです。国民年金の財源は、国民の皆さんが納めた年金の保険料と国に納められた税金で賄われています。町では、自営業や農業などの1号被保険者の皆さんの加入の届出・保険料免除申請とサラリーマンに扶養されている配偶者である3号被保険者の住所や氏名の変更の窓口となっています。

- (1) 主な支出
 ・社会保険事務所との連絡にかかる経費 84 万円

- (2) 活動指標
 ・国民年金加入者被保険者数（年度末） 1,990人

- ① 国民年金加入状況
- ・強制加入被保険者 1,868 人
 - ・任意加入被保険者 10 人
 - ・第3号被保険者 807 人
 - 計 2,685 人

- ② 保険料免除者数
- ・法定免除 63 人
 - ・申請免除（全額） 143 人
 - ・申請免除（3/4） 17 人
 - ・申請免除（半額） 17 人
 - ・申請免除（1/4） 7 人
 - ・学生納付特例 134 人
 - ・若年者猶予 36 人
 - 計 417 人

3	高齢者福祉費	280,335,382	高年齢者の生活支援(福祉グループ) 予算事業名：高齢者福祉事業費		
当初予算額		5,810,000 円	最終予算額	5,810,000 円	決算額 5,223,400 円

介護を必要とする高齢者の皆さんが、安心して自分の家で生活できるよう支援を行いました。

- (1) 主な支出
- ・福祉バス運行サービス 376 万円
 - ・軽度生活支援サービス 133 万円
 - ・寝具類洗濯乾燥消毒サービス 0.2 万円
 - ・訪問・通所理美容サービス 4 万円
 - ・福祉用具貸与サービス 7 万円

- (2) 活動指標
 ・高齢者等介護予防・生活支援事業の申請受付と状況

項目	利用実人員 延利用回数	対象者・利用状況等
1 生きがい福祉バス運行サービス事業	68人 469回	入浴サービス、通院、入退院等の送迎(社会福祉協議会へ委託)
2 軽度生活支援サービス事業	2人 64回	自立の判定、独居、身障等の理由で日常生活上支援が必要な者へのヘルパー派遣(社会福祉協議会へ委託)
3 寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業	1人 2回	独居、高齢者世帯等で常時在宅で臥床している者で、寝具の衛生管理が困難な者(社会福祉協議会へ委託)
4 訪問・通所理美容サービス事業	30人 57回	常時臥床している者等で、訪問による理美容でなければ散髪ができない者(社会福祉協議会へ委託)
5 福祉用具貸与サービス事業	34人 40品目	入院中の外泊、自立の判定、認定の対象外等で日常生活に福祉用具が必要な者(社会福祉協議会へ委託)

- (3) 成果指標
 在宅での介護を補完する意味での重要な生活支援サービスで特に福祉バスの利用者数、福祉用具貸与者数は増加しており、在宅での介護に大きな役割を果たしています。

項 目		平成16年度	平成17年度	平成18年度
1	生きがい福祉バス運行サービス事業	利用実人員 75人	58人	68人
		延利用回数 690回	618回	469回
2	軽度生活支援サービス事業	利用実人員 6人	3人	2人
		延利用回数 155回	159回	64回
3	寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業	利用実人員 1人	1人	1人
		延利用回数 1回	5回	2回
4	訪問・通所理美容サービス事業	利用実人員 20人	20人	30人
		延利用回数 56回	58回	57回
5	福祉用具貸与サービス事業	利用実人員 22人	27人	34人
		延利用回数 31品目	30品目	40品目

老人ホームへの入所措置(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 15,495,000 円

最終予算額 15,495,000 円

決算額 14,453,453 円

家庭内や経済的な事情により養護老人ホームに入所している人の入所費用を補助しました。

(1) 主な支出

施設入所措置費 1,445万円

(2) 活動指標

・養護老人ホーム措置費

施設名	入所者数(人) (平成19年3月31日現在)	措置費(万円)
長野広域連合 はにしな寮	4	839
長野広域連合 松 寿 荘	2	356
社会福祉法人陸会 寿楽園	1	250
計	7	1,445

(3) 成果指標

・入所者と措置費の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
入所者数(人)	7	7	7	7
措置費(万円)	1,401	1,762	1,583	1,445

介護保険利用者の負担軽減(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 150,000 円

最終予算額 150,000 円

決算額 9,754 円

介護保険を利用している低所得者の方の負担を軽減するため、介護保険サービスの利用料の助成を行いました。

(1) 主な支出

・利用者負担軽減制度事業補助金 1万円

(2) 活動指標

・介護サービス等で社会福祉法人を利用している生活困窮者の利用者負担に対し補助を行いました。(社会福祉法人等減免補助金は、介護保険料徴収に係る第二段階までの所得区分に属している方で所得や資産の状況等により、特に生計が困難である方に対し利用料の1/4を減免します。)

(3) 成果指標

・件数、金額の推移

(単位：万円)

	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
社会福祉法人等減免補助金	0	0	0	0	1	5	1	1
社会福祉法人等軽減特例措置補助金	—	—	—	—	16	209	—	—

※ 社会福祉法人等軽減特例措置補助金は、平成17年度のみ措置

その他の高齢者福祉サービス(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 6,722,000 円

最終予算額 8,122,000 円

決算額 6,881,143 円

家に閉じこもりがちな独り暮らし等の高齢者が、寝たきりや認知症にならないよう、趣味の活動や仲間づくりの場を提供する「いきいきサロン」や、介護が必要な高齢者の住宅改修に対する補助、また、独り暮らしや二人暮らし高齢者等へ、牛乳やヨーグルトをお届けする栄養補給サービスを実施しました。

(1) 主な支出

- ・生きがい活動支援通所事業(いきいきサロン) 373 万円
(社会福祉協議会・NPO法人しなのぐらしに委託)
- ・高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金 275 万円
- ・要援護高齢者等栄養補給サービス事業 17 万円
- ・緊急通報体制等整備事業(自動消火器の購入) 12 万円
- ・その他の費用 9 万円

(2) 活動指標

- ・生きがい活動支援通所事業 57 人
- ・高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金 5 件
- ・要援護高齢者等栄養補給サービス事業
独り暮らし老人、二人暮らし老人、寝たきり老人等 19 人
- ・緊急通報体制等整備事業 自動消火器(新規) 1 件

(3) 成果指標

項目		平成16年度	平成17年度	平成18年度
生きがい活動支援通所事業(いきいきサロン)	人数	46人	50人	57人
	利用延回数	3,288回	3,781回	4,322回
高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金	件数	1件	1件	5件
	金額	70万円	70万円	275万円
要援護高齢者等栄養補給サービス事業	人数	18人	19人	19人
	金額	23万円	17万円	17万円
緊急通報体制等整備事業新規設置数	件数	3件	1件	1件
	金額	16万円	5万円	12万円

※65歳以上独り暮らし高齢者は159人、在宅での高齢者の生活支援に大きな役割を果たしています。

その他の社会福祉協議会委託事業(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 2,657,000 円

最終予算額 2,657,000 円

決算額 2,043,850 円

障害者希望の旅、母と子の集いや行政浮浪人援護などの福祉事業を実施しました。

(1) 主な支出

- ・心配ごと相談事業 7 万円
- ・ホームヘルパー養成研修 63 万円

- ・障害者希望の旅 73万円
 - ・結婚相談 51万円
 - ・母子福祉事業 5万円
 - ・援護事業 4万円
- (社会福祉協議会へ委託)

(2) 活動指標

- ・心配ごと相談事業 毎月第1・第3水曜日に開設 場所/北斎ホール 相談員/民生委員
- ・ホームヘルパー養成研修 6/1~8/30(21日間)
- ・障害者希望の旅 (飛騨の里、高山祭りミュージアムほか) 1泊2日
- ・母子福祉 母と子の集い
- ・援護事業 行政浮浪人援護 4人
- ・くらしの資金貸付等 2件
- ・結婚相談 毎週 火・水・木曜日 場所/結婚改善委員会事務室

(3) 成果指標

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
心配ごと相談 相談件数	5件	8件	6件	6件
ホームヘルパー養成研修 受講数	22人	21人	12人	19人
障害者希望の旅 参加者数	23人	21人	19人	14人
援護事業				
浮浪人 援護数	30人	26人	13人	4人
くらしの資金 貸付数	5件	6件	4件	2件
結婚相談 相談件数	21件	12件	9件	64件

高齢者福祉施設の管理(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 654,000円 最終予算額 954,000円 決算額 946,703円

長野広域連合が管理運営する養護老人ホームに関する施設の管理運営等負担金を支払いました。

(1) 主な支出

- ・はにしな寮運営費負担金 12万円
- ・施設管理費負担金 53万円
- ・入所判定委員会負担金 0.3万円
- ・後期高齢者医療負担金 29万円

(2) 活動指標

- ・長野広域連合養護老人ホームに係る負担金

(3) 成果指標

- ・長野広域連合施設に係る入所者 はにしな寮4人、松寿荘2人措置

シルバー人材センターの運営(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 3,084,000円 最終予算額 3,084,000円 決算額 3,013,000円

知識や技術を生かし、地域社会に貢献したい働く意欲のある高齢者に就業の機会を提供しているシルバー人材センターへ負担金を支出しました。

(1) 主な支出

- ・須高広域シルバー人材センター負担金 300万円
- ・長野県シルバー人材センター会費 0.5万円

(2) 活動指標

高齢者の皆さんに社会貢献の場と就業の機会を提供しているシルバー人材センターの主な活動は次のとおりです。

- ・ 植木剪定、大工修繕、塗装、障子襖貼りなど
- ・ 賞状、宛名筆耕、毛筆書、看板書など
- ・ 施設管理、駐車場管理など
- ・ 外交、文書配達、集金など
- ・ 草取り、草刈り、清掃、調理、農作業など
- ・ 食事介護、家事など

(3) 成果指標

・ 須高シルバー人材センターの会員の推移 (単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
会員数	639	680	678	668
うち小布施町の会員	85	91	102	88

老人保健特別会計への繰出金(健康グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 83,040,000 円 最終予算額 108,302,000 円 決算額 107,657,000 円

老人保健特別会計へ繰り出しました。

(1) 主な支出

- ・ 繰出金 1億766万円

(2) 活動指標

- ・ 繰出金の内容
医療給付費
雑費

(3) 成果指標

(単位：万円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
繰出金	5,960	9,308	10,766

介護保険特別会計への繰出金(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 103,779,000 円 最終予算額 103,633,000 円 決算額 89,106,000 円

介護保険特別会計へ繰り出しました。

(1) 主な支出

- ・ 繰出金 8,911万円

(2) 活動指標

- ・ 繰出金の内容
介護給付費 7,219万円
地域支援事業 242万円
その他 1,449万円

(3) 成果指標

(単位：万円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
繰出金	8,287	8,556	8,911

老人クラブの支援(福祉グループ)

予算事業名：高齢者生きがい対策事業費

当初予算額 1,499,000 円 最終予算額 1,499,000 円 決算額 1,392,400 円

高齢者が豊かで元気に暮らすための活動を行っている老人クラブ連合会や各支部のクラブ活動を支援するため、補助金を交付しました。

(1) 主な支出

- ・老人クラブ連合会補助金 71 万円
- ・各支部老人クラブ補助金 67 万円

(2) 活動指標

- ・老人クラブ連合会員 814人
 - 小布施荘への慰問
 - 独り暮らし、2人暮らし高齢者の訪問や生活支援活動
 - 花いっぱい運動
 - 神社境内の清掃などの奉仕活動
 - 老人スポーツ大会（囲碁ボール、マレットゴルフ）への参加
 - ゲートボール大会の開催
 - 健康づくり事業
 - 学習活動の実施

(3) 成果指標

- ・会員数と補助金の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
会員数（人）	1,009	970	911	814
補助金（万円）	159	155	149	139

しめ縄づくり教室の開催(福祉グループ)

予算事業名：高齢者生きがい対策事業費

当初予算額 33,000 円 最終予算額 42,000 円 決算額 41,145 円

高齢者の豊かな経験と知識・技能を活かしていただくとともに、昔ながらの伝統を後世へ継承するため、しめ縄づくり教室を開催しました。

(1) 主な支出

- ・材料費（松、わら代）等 3 万円
- ・講師の昼食代 0.5 万円

(2) 活動指標

- ・12月23日（土）健康福祉センターで実施
- ・参加者54人

(3) 成果指標

- ・高齢者の豊かな経験と知識・技能を活かし、生きがいつくりを進めるとともに交流の場を広げました。自身で作ったしめ縄は持ち帰り、玄関や神棚に飾るなどしました。

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
参加者数（人）	33	33	31	54

長寿祝品の贈呈(福祉グループ)

予算事業名：高齢者生きがい対策事業費

当初予算額 342,000 円 最終予算額 330,000 円 決算額 273,855 円

長寿の節目を迎えた皆さんを祝福し、祝い品をお贈りしました。

(1) 主な支出

- ・記念品（湯飲み茶碗） 24 万円
- ・色紙・たとう紙等 3 万円

(2) 活動指標

- ・対象者 米寿 40人、白寿3人、百賀以上 4人
- ・町長が訪問して記念品を贈呈

(3) 成果指標

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
対象者数	50人	53人	62人	47人

※ 平成18年度は米寿を迎えられた方が少なかったため前年度より少なくなっています。

生活支援ハウスの管理運営(福祉グループ)

予算事業名: 高齢者福祉施設管理費

当初予算額 8,060,000 円 最終予算額 8,060,000 円 決算額 7,647,923 円

生活支援ハウス利用者に対する各種相談や助言、緊急の対応他、利用者の虚弱化に伴う通所、訪問介護サービス、保健福祉サービスを必要とする場合は、必要に応じて利用手続きの援助を実施した。

(1) 主な支出

- ・生活支援ハウス居住部門の管理運営委託料 453 万円
 - 〔 内訳 人件費(生活援助員、宿直手当) 412 万円
 - 光熱水費、電話料、消耗品 25 万円
 - その他の経費 16 万円
- ・土地借上料 308 万円
- ・火災保険料 3 万円

(2) 活動指標

- ・指定管理者: J A 須高
 - ・入居者に対する各種相談や助言
 - ・緊急時の対応
 - ・デイサービスセンターへの通所や訪問介護サービス、その他の保健福祉サービスを必要とする場合の利用手続きの援助

(単位: 人)

生活支援ハウス	平成16年度	平成17年度	平成18年度
デイサービスセンター 利用者数	4,525	7,738	8,414
居住部門 入居者数	5	5	5
参考 65歳以上の独り暮らし数	145	146	159

(3) 成果指標

- ・60歳以上の独り暮らしで、独立して生活することに不安のある方に住居を提供することで、安心して生活を送っていただいています。

高齢者福祉施設の管理(福祉グループ)

予算事業名: 高齢者福祉施設管理費

当初予算額 5,208,000 円 最終予算額 5,767,000 円 決算額 5,765,756 円

デイサービスセンターや長野広域連合が管理運営する特別養護老人ホーム小布施荘の土地の借上料などを支払いました。

(1) 主な支出

- ・福祉施設用地借上料 571 万円
- ・火災保険料 5 万円

(2) 活動指標

- ・ デイサービス（通所介護）

介護している家族の身体的、精神的な負担の軽減と、利用者の心身機能の維持回復や、趣味生きがいがづくりとして、日帰りでご利用いただく施設で、送迎、入浴、昼食等のサービスが受けられます。

(3) 成果指導

- ・ 利用者数の推移

(単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
デイサービスセンター 延利用者数	8,370	8,938	8,213	8,225
小布施荘 利用者数（入所者）	12	13	16	13
ショート 利用者数（延利用者）	555	322	2,698	2,881

※ 小布施荘の改築工事を平成16年度まで実施していたため、利用者の受け入れが制限されていましたが、平成17年度当初に完成し通常の受け入れとなりました。

高齢者福祉施設整備事業に対する補助(福祉グループ) 予算事業名：高齢者福祉施設整備事業費
 当初予算額 0 円 最終予算額 35,880,000 円 決算額 35,880,000 円

高齢者にとって住み慣れた家と家族は生きる支えとなります。今後ますます認知症高齢者や介護状態に陥りやすい後期高齢者が増える中で、大規模な施設よりも小規模でも心の通い合う温かみのある施設が必要であることから、認知症高齢者グループホームと小規模多機能型居宅介護施設の整備を行う特定非営利活動法人ゾイロスファミリーに補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 地域介護・福祉空間整備事業等交付金 3,588万円

(2) 活動指標

- ・ 特定非営利活動法人ゾイロスファミリーは、介護保険施設である認知症高齢者グループホームと小規模多機能型居宅介護施設を平成19年4月から運営しています。

(3) 成果指標

- ・ 認知症高齢者グループホーム

介護が必要な認知症高齢者に、小規模で家庭的な環境の基で、入浴・排泄・食事等の日常生活の介助や、機能訓練等のサービスを提供する施設。定員9人

- ・ 小規模多機能型居宅介護

「通い」を中心として、居宅要介護者の心身の状況や環境、希望に応じて、随時「訪問」や「泊り」を組み合わせるサービスを提供する。登録25人、一日当たりの「通い」の利用者は15人程度

[参考] 過去の社会福祉法人等が運営する高齢者福祉施設への建設補助の状況

(単位：万円)

年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
施設数	2	2	—	1	1	1
補助金	2,500	600	—	2,500	591	3,588

4 人権・同和政策費 7,185,264

人権擁護委員の活動支援(教育文化グループ) 予算事業名：人権・同和政策費
 当初予算額 49,000 円 最終予算額 49,000 円 決算額 30,000 円

人権擁護委員の活動を支援するため、助成金を交付しました。

(1) 主な支出

- ・ 人権擁護委員活動助成金 3 万円

(2) 活動指標

- ・ 人権相談（人権擁護委員人名） 毎月1回第1水曜日実施
- ・ 場所 北斎ホール相談室
- ・ 相談件数 0件

(3) 成果指標

- ・ 相談件数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
相談件数	0件	0件	0件

※人権に関する相談はありませんでした。

人権同和生活相談(教育文化グループ)

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 50,000 円 最終予算額 50,000 円 決算額 0 円

対象となる地域の人たちの、生活上の不安や悩みなどの相談事業を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ なし

(2) 活動指標

- ・ 同和地区の人たちの生活相談を随時受付・地区を巡回指導
- ・ 相談件数 0件

差別のない明るい社会の推進(教育文化グループ)

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 60,000 円 最終予算額 60,000 円 決算額 46,403 円

差別のない明るい社会の実現に向けて活動している協議会へ負担金を支出しました。

(1) 主な支出

- ・ 県人権擁護委員協議会負担金 4 万円

(2) 活動指標

- ・ 県人権擁護委員協議会の活動内容
人権擁護委員研修、人権啓発講演会の開催、街頭人権啓発、特設人権相談、機関紙（ヒューマン）発行

(3) 成果指標

- ・ 研修会や講演会の開催、機関紙（ヒューマン）の発行などの活動により、人権に関する意識を高めています。

部落解放関係団体の支援(教育文化グループ)

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 5,993,000 円 最終予算額 5,993,000 円 決算額 5,991,800 円

差別のない明るい社会の実現のため地域で活動している部落解放関係団体に補助金を交付しました。

(1) 主な支出

- ・ 部落解放同盟 小布施町協議会 522 万円
- ・ 部落解放同盟 須高地区協議会 76 万円

(2) 活動指標

部落解放同盟 小布施町協議会	人権救済法制定運動・狭山事件再審闘争・人権のまちづくり・部落差別実態把握・雇用対策・部落解放運動・後継者育成
部落解放同盟 須高地区協議会	

(3) 成果指標

- ・ここ数年、町内での差別事象等の発生の報告はありません。

差別撤廃・人権擁護審議委員会(教育文化グループ) 予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 150,000 円 最終予算額 211,000 円 決算額 210,646 円

小布施町におけるあらゆる差別撤廃・人権擁護に関する条例に基づき、差別撤廃・人権擁護審議委員会を委嘱し、町長の諮問に対し調査しました。また、研修会も開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 委員への報酬 15 万円

(2) 活動指標

- ・ 同和問題早期解決に向けた具体策について (諮問)平成18年8月9日
- ・ 同和問題早期解決に向けた具体策について (答申)平成19年2月14日
- ・ 研修会 1 回実施 平成19年1月16日

(3) 成果指標

- ・ 学校・企業・地域における教育活動の一層の推進
- ・ 補助金のあり方についての見直し (事業費補助に移行)

集会所・作業所・厚生住宅の維持管理(教育文化グループ) 予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 434,000 円 最終予算額 373,000 円 決算額 354,415 円

同和对策集会所・作業所の屋根の修繕等を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 施設修繕費 12 万円

(2) 活動指標

- ・ 中央同和对策集会所屋根修繕
- ・ 雁中集会所カーテン取替え
- ・ 集会所では周辺住民による人権問題講座等を開催し、作業所については、主に農機具等の保管に使われています。

住宅新築資金等貸付事業特別会計への繰出金(教育文化グループ) 予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 2,374,000 円 最終予算額 1,912,000 円 決算額 552,000 円

住宅新築資金等貸付事業特別会計への繰出金を支出しました。

(1) 主な支出

- ・ 繰出金 55 万円

5 障害者福祉費 119,152,335

自立支援法による障害福祉サービスの給付(福祉グループ) 予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 53,603,000 円 最終予算額 55,636,000 円 決算額 55,635,902 円

平成18年4月、10月と2段階で障害者自立支援法がスタートしました。大きく分けて4月から居宅生活の支援、10月から施設利用への支援が障害福祉サービスの新しい仕組みに変わりました。

(1) 主な支出（負担割合 国1/2、県1/4、町1/4）

- ・ 障害者自立支援給付費（ホームヘルプなどの介護給付費4月～2月） 2,361 万円
- ・ 障害者自立支援給付費（支援費 旧法施設支援費10月～2月） 2,926 万円
- ・ 障害者自立支援給付費（就労移行支援などの訓練等給付費10月～2月） 277 万円

(2) 活動指標

- ・ 事業別の給付費の状況

事業種別		事業名	利用者数 (人)	給付費 (万円)	
介護給付費	4月～ 2月	介護給付費等	居宅介護等	10	1,396
			短期入所	5	131
			グループホーム、ケアホーム	4	368
			障害者デイサービス	6	193
			生活介護	2	107
			施設入所支援	1	8
			療養介護	1	121
		療養介護医療費	療養介護医療費	1	35
支援費	10月～ 2月	介護給付費等 (旧法施設支援)	旧身体障害者施設支援	7	855
			旧知的障害者施設支援	24	2,071
訓練等給付	10月～ 2月	訓練等給付費	自立訓練	2	31
			就労移行支援	3	169
			就労継続支援A	2	12
			就労継続支援B	3	66
計			71	5,564	

支援費制度による障害者支援(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 50,180,000 円

最終予算額 50,180,000 円

決算額 46,139,269 円

障害者の自立と社会参加を支援するため、平成15年度から実施された制度です。平成18年10月から支援費制度の施設体系は旧法施設支援として自立支援法に組み込まれました。

(1) 主な支出（負担割合 国1/2、県1/4、町1/4）

- ・ 施設利用への支援 4,405 万円
- ・ 居宅生活への支援 209 万円

(2) 活動指標

- ・ 施設利用への支援（平成18年3月～9月利用）

施設種別		入所者 (人)	通所者 (人)	支援費 (万円)
身体 障害者	療護施設	4		949
	更生施設	3	1	139
	授産施設	3	3	498
知的 障害者	更生施設	10	1	1,703
	授産施設	2	11	1,109
	その他（医療費）	10件		7
計		22	16	4,405

※ 4月～10月支払実績額

- ・ 居宅生活への支援（平成18年3月利用）

事業内容	利用者数 (人)	支援費（万円）
居宅介護等	8	122
短期入所	2	11
デイサービス	6	46
グループホーム	4	30
計	20	209

※ 4月支払実績額

※ デイサービスは基準該当を含む

(3) 成果指標

- ・ 支援費、自立支援給付費の給付状況（単位：万円）

支援費		平成15年度		平成16年度		平成17年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
施設	入所	22	8,087	25	8,195	22	7,969
	通所	7		10		12	
居宅生活支援		14	362	24	645	32	1,224

平成18年度						
支援費		件数	金額	自立支援給付費	件数	金額
施設 3月～9月	入所	22	4,405	訓練等給付費10月～2月	10	277
	通所	16		旧法施設支援10月～2月	31	2,926
居宅生活支援 3月		20	209	介護給付費4月～2月	29	2,361

- ・ 総事業費対前年比

年度	事業費	前年比
15	8,449	
16	8,840	104.6%
17	9,193	104.0%
18	10,178	110.7%

- ・ 総事業費で比較すると障害福祉サービス費は毎年伸びています。3障害が対象となり、利用希望者が増えたこと、提供事業者が増えてきたことが理由として考えられます。今後は、自立支援法の福祉サービス以外のインフォーマル・地域サービスの提供を充実させたり、一般就労などを旨とする事業の強化を進めていく必要があると考えます。

地域生活支援事業による障害福祉サービスの給付(福祉グループ) 予算事業名：障害者福祉事業費
 当初予算額 0円 最終予算額 1,080,000円 決算額 866,243円

平成18年10月から、地域生活支援事業の中の外出のための支援を行う「移動支援事業」、日中一時的に介護する人がいないなどの理由で見守りが必要な障害のある人を支援する「日中一時支援サービス事業」を実施しました。この事業は、障害のある方のニーズや施設、支援機関などの社会資源など地域の実情に合った、必要と考えられる事業を町が実施します。平成18年度は2つの事業を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 移動支援事業 48万円
- ・ 日中一時支援サービス事業 38万円

(2) 活動指標

- ・ 実施状況
移動支援事業利用者数 2人

日中一時支援サービス事業利用者数 2人

(3) 成果指標

- ・ 今後は利用者、関係機関との連携や自立支援協議会を通じ、ニーズに合った事業へと充実させていくことに努めます。

障害福祉サービスの認定(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,225,000 円 最終予算額 1,249,000 円 決算額 1,248,720 円

自立支援法の障害福祉サービスの利用希望者に対し、認定調査を行いました。また介護給付サービスは長野広域連合に設置した審査会の二次判定結果を基に、障害程度区分の認定を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 審査会の運営のための負担金 69 万円
- ・ 受給者証作成システムの使用料 24 万円
- ・ 認定調査用パソコン備品購入 15 万円
- ・ 主治医意見書やサービス利用計画の作成 13 万円
- ・ 調査員の賃金 5 万円

(2) 活動指標

- ・ 認定調査件数 35 件
- ・ 医師意見書作成依頼件数 24 件
- ・ 長野広域連合審査判定依頼件数 24 件

- ・ 自立支援法の10月からの施行に向け、ホームヘルプなどの介護給付を利用している利用者及び新体系のサービスに移行した施設を、利用者を対象に認定調査を実施しました。

身体障害者への補装具の給付(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 3,616,000 円 最終予算額 3,785,000 円 決算額 3,784,852 円

身体障害者の身体部分の機能を補う用具の購入・修理に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 補装具の購入・修理費 348 万円
- ・ 自己負担金への援助 29 万円

(2) 活動指標

- ・ 補装具の購入・修理費内訳

障害者	交付	64 件	258 万円	修理	14 件	28 万円
障害児	交付	3 件	46 万円	修理	3 件	15 万円
- ・ 自己負担金への援助

交付	20 件	29 万円
----	------	-------

(3) 成果指標

- ・ 補装具の給付状況 (単位：万円)

		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
補装具の購入・修理	交付	76	260	81	394	81	332	67	304
	修理	10	18	10	24	9	24	17	43
自己負担金への援助		39	60	15	20	17	39	20	29

日常生活用具の給付(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 606,000 円 最終予算額 1,220,000 円 決算額 1,219,912 円

在宅で過ごす障害者の生活を支援するため、視覚障害者用ポータブルレコーダー、たん吸引器など日常生活用具の購入に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 日常生活用具の購入 121 万円
4月～9月 60 万円 10月～3月 61 万円

(2) 活動指標

- ・ 日常生活用具の購入 44 件
 - 内訳 ・ 視覚障害者用ポータブルレコーダー 1 件
 - ・ 入浴補助用具 1 件
 - ・ 特殊寝台 1 件
 - ・ 電気式たん吸引器 1 件
 - ・ ネブライザー 1 件
 - ・ 住宅改修 2 件
 - ・ 特殊マット 1 件
 - ・ 排せつ管理支援用具 35 件
 - ・ 座位保持用いす 1 件

(3) 成果指標

- ・ 日常生活用具の給付状況

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	5件	4件	5件	44件
給付金額	28万円	37万円	50万円	121万円

※ 平成18年10月から排せつ管理支援用具が補装具から日常生活用具の対象品目へと移行したため給付金額が伸びています。

自立支援医療費への補助(旧更生医療)(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,038,000 円 最終予算額 1,758,000 円 決算額 1,757,532 円

障害の程度を軽くするために行う手術に対し補助を行いました。これまでの障害に係る公費負担医療であった更生医療が平成18年4月より自立支援医療と変わりました。

(1) 主な支出

- ・ 旧更生医療への助成 175 万円
- ・ 審査支払の手数料 0.5 万円

(2) 活動指標

- ・ 自立支援医療給付(旧更生医療) 8 人
(腎臓機能障害 - 人工透析、肢体不自由 - 人工関節置換術 等)

(3) 成果指標

- ・ 更生医療給付の状況

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
レセプト枚数	24枚	25枚	27枚	37枚
金額	63万円	91万円	108万円	175万円

身体障害者施設への入所支援(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 8,489,000 円 最終予算額 4,876,000 円 決算額 2,979,184 円

医療と常時介護を必要とする特定の難病の方に対し、その難病に対応した施設への入所を支援しました。10月から障害者自立支援法の障害福祉サービスである療養介護事業へと移りました。

(1) 主な支出

- ・ 施設入所への支援 297 万円

(2) 活動指標

- ・ 入所先施設 新潟病院 2 人

(3) 成果指標

- ・ 入所支援状況

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
人数	1人	1人	2人	2人
金額	438万円	435万円	725万円	297万円

通所・通園等の援助(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 193,000 円 最終予算額 193,000 円 決算額 80,780 円

心身障害児を持つ家庭への経済的支援のため、通所・通園にかかる交通費を援助しました。

(1) 主な支出

- ・ 通所・通園等にかかる交通費の援助 8 万円

(2) 活動指標

- ・ 援助件数 4 件

(3) 成果指標

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	11件	6件	4件	4件
金額	18万円	14万円	8万円	8万円

重度心身障害児福祉年金の給付(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 280,000 円 最終予算額 280,000 円 決算額 224,998 円

重度の心身障害児に対して、障害の程度に応じて福祉年金を支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 重度心身障害児への福祉年金 22 万円

(2) 活動指標

- ・ 給付人数 18 人

(3) 成果指標

- ・ 給付件数の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
人数	18人	22人	19人	18人
金額	23万円	25万円	24万円	22万円

社会福祉法人の軽減に対する補助(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 738,000 円 最終予算額 738,000 円 決算額 530,297 円

障害者が自立支援法に基づくサービスの内、社会福祉法人が提供するサービスを利用した場合、法人が低所得の方の利用料負担を軽減します。その軽減した利用料に、町が補助を行いました。この制度は平成18年度1年間で終了し、平成19年4月以降は法に基づいた利用者負担の軽減措置に変更されました。

(1) 主な支出

- ・ 社会福祉法人に対する補助 53 万円
(負担割合 県3/4、町1/4)

(2) 活動指標

- ・ 補助実績 5 法人

その他の給付など(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 259,000 円 最終予算額 2,416,000 円 決算額 2,415,591 円

平成17年度の実績額が確定したことにより、身体障害者保護費等国庫負担金返還金などを支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 児童福祉施設入所の援護 13 万円
- ・ 身体障害者保護費等国庫負担金返還金 172 万円
- ・ 臨時職員賃金 39 万円
- ・ 障害者スポーツ大会参加負担金 3 万円
- ・ その他の経費 15 万円

(2) 活動指標

※第15回長野地区障害者スポーツ大会

- ・ 平成18年5月20日 長野市営長野運動公園
- ・ 小布施町参加者数 30人
(参加者数内訳 みすみ草 6人 くりのみ園 5人 身障協 19人)

(3) 成果指標

- ・ 児童福祉施設への援護件数の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	6件	2件	4件	4件
金額	12万円	6万円	12万円	13万円

障害福祉計画の作成(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 195,000 円 最終予算額 195,000 円 決算額 94,250 円

障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス等の確保のため、小布施町障害福祉計画（平成18～20年度）を策定しました。

(1) 主な支出

- ・ 障害福祉計画策定委員（15人）の報酬 9 万円

(2) 活動指標

平成18年7月27日	障害者生活支援アンケート実施（8月18日まで）		
平成18年9月28日	第1回小布施町障害福祉計画策定懇話会	出席者数	15人
平成19年2月1日	第2回小布施町障害福祉計画策定懇話会	出席者数	12人
平成19年3月29日	第3回小布施町障害福祉計画策定懇話会	出席者数	10人
平成19年3月31日	小布施町障害福祉計画第1期策定		

(3) 成果指標

- ・ 障害者生活支援アンケート

調査対象者	小布施町在住の障害者で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者及び精神通院公費利用者のうち100人を抽出（64歳以下）
アンケート期間	平成18年7月27日～平成18年8月28日
回収率	44%

タイムケア事業(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 868,000 円 最終予算額 1,221,000 円 決算額 1,220,505 円

障害者とその家族の支援のため、社会福祉法人などへ介護を依頼するためにかかる費用を時間単位で負担しました。

(1) 主な支出

- ・ 社会福祉法人等の介護費用への支出 122 万円

(2) 活動指標

- ・ 利用登録者数 29 人

(決められた時間内(300時間)の中で、家族などが一時的に家庭において介護できないとき、施設や近隣等で介護を受けます。)

(3) 成果指標

- ・ タイムケアの利用状況

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
人数	10人	12人	21人	29人
金額	37万円	78万円	49万円	122万円

身体障害者への住宅整備への給付(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 900,000 円 最終予算額 900,000 円 決算額 700,000 円

身体障害者の方の住宅改修に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 住宅改修への補助 70 万円

(2) 活動指標

- ・ 身体障害者住宅整備事業給付金 1 件
(トイレ手摺取付、入口引き戸工事、段差解消機取付工事)

(3) 成果指標

- ・ 過去の給付実績

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	1件	0件	1件	1件
金額	90万円	0万円	70万円	70万円

身体障害者の自動車改造への助成(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 100,000 円 最終予算額 200,000 円 決算額 200,000 円

身体障害者の方の社会生活への参加を支援するため、自動車改造に対する補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 身体障害者用自動車改造への補助 20 万円

(2) 活動指標

- ・補助件数 2件
(自動車の改造に要する費用の一部(10万円まで)を補助)

(3) 成果指標

- ・過去の助成実績

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	0件	0件	0件	2件
金額	0万円	0万円	0万円	20万円

手話通訳者などの派遣(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 139,000円 最終予算額 139,000円 決算額 54,300円

聴覚障害者のコミュニケーションを円滑にするため、手話通訳者、要約筆記奉仕員を派遣しました。

(1) 主な支出

- ・手話通訳者の派遣 5万円
- ・要約筆記奉仕員の派遣 0.8万円

(2) 活動指標

- ・手話通訳派遣事業 6件
- ・要約筆記奉仕員派遣事業 1件
- ・10月22日に 小布施町北斎ホールで開催されたボランティア市民活動交流会に於いて要約筆記実施(2人派遣)

(申請理由)

病院の診察、授業参観等

(3) 成果指標

- ・手話通訳派遣事業

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	17件	6件	7件	7件
金額	5万円	2万円	3万円	5万円

- ・要約筆記奉仕員派遣事業

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	1件	1件	1件
金額	3万円	2万円	0.8万円

- ・利用する方の立場にたったコミュニケーションの方法として講演会や会議等で手話通訳や要約筆記奉仕員などを派遣する機会を増やしていく必要があると考えます。

6	健康福祉センター費	13,046,328
---	-----------	------------

健康福祉センターの維持管理(福祉グループ)

予算事業名：健康福祉センター管理費・健康福祉センター整備事業費

当初予算額 15,021,000円 最終予算額 14,462,000円 決算額 12,670,182円

ますます需要が高まる介護保険や介護予防を推進し、保健・福祉・医療のネットワークづくりの拠点としての役割に加え、ボランティアセンターとしての機能の充実を図りました。

(1) 主な支出

- | | | | |
|--------------|------|---------------|-------|
| ・燃料費 | 85万円 | ・光熱水費 | 388万円 |
| ・修繕料 | 8万円 | ・電話等通信運搬費 | 66万円 |
| ・清掃委託料 | 11万円 | ・エレベータ保守管理委託料 | 74万円 |
| ・自動ドア保守点検委託料 | 8万円 | ・施設安全管理業務委託料 | 40万円 |

- ・電気保安業務委託料 17万円
- ・冷暖房空調機器保守点検委託料 14万円
- ・清掃用具借上料 21万円
- ・施設用地借上料 320万円
- ・機器借上料 19万円
- ・ボランティア活動育成事業委託料 87万円
- ・調理実習室冷暖房設備入替工事 97万円

(2) 活動指標

- ・健康福祉センター利用の状況
 - 町、社協事業による利用・・・532回 延約6,700人
 - ボランティア団体の自主活動による利用・・・527回 延約10,200人
- ・ボランティア活動育成事業(社協委託)
 - ボランティア保険の助成 7団体 288人分
 - おとうさんの子育て塾 全3回 参加者120人
 - みなさんよっといで!!サロン [おもちゃ図書館 参加者延1,098人]
 - [発達教室 参加親子延139組]
 - 連絡会議の開催 15団体、22人参加

(3) 成果指標

- ・健康福祉センター利用者数の推移 (単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
利用人数	11,641	14,675	16,498	17,992

- ・ボランティア登録団体数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
登録団体数	15団体	18団体	20団体

- ・在宅介護支援センターが実施する事業とともに、転倒予防教室やダンスで脳元気教室のOB会として、自ら介護予防に取り組もうと自主的に活動する団体もできました。また、新たにボランティア登録された団体による定期的な利用も増え、センターが徐々に地域住民の皆さんに有効に利用されています。

千年樹の里まつりの開催(福祉グループ)

予算事業名：千年樹の里まつり事業費

当初予算額 523,000円 最終予算額 523,000円 決算額 376,146円

町民の健康の増進や、地域住民と保健・福祉・医療のネットワークの構築を図り、「元気な人づくり」を進めるため、第6回千年樹の里まつりを開催しました。

(1) 主な支出

- ・出演者等謝礼 7万円
- ・イベントチラシ、ポスター等 11万円
- ・会場設営委託料 13万円
- ・スタッフ等昼食及び反省会 3万円

(2) 活動指標

- ・千年樹の里まつり
 - 開催月日：平成18年10月14～15日
 - 会場：千年樹の里周辺
 - 参加ボランティア 37団体、約250人
 - 頭と体の健康づくり体験コーナー 延約230人
 - スタンプラリー 105人参加
 - フリーマーケット 小中学生 14組38人 一般2組2人が出店
 - アトラクション(和太鼓演奏・フラメンコ・マジック等) 観客延約700人
 - 社協ふれあい広場(模擬店等) 出店数12店
 - その他消防ふれあい広場、人力車周遊等

(3) 成果指標

- 第6回を迎え、町民の認知度も増えています。おもちゃ図書館、エコ広場等新たなボランティア団体らの新企画のコーナーもあり、小さな子どもやその親の参加が増え、いっそう賑やかなまつりとなっています。37ものボランティア団体（約250人）の参加を得て、ボランティア活動に対する取り組みも活発になってきています。

7	老人福祉センター費	6,459,977
---	-----------	-----------

老人福祉センター(桃源荘)の管理運営(福祉グループ)

予算事業名：老人福祉センター管理費・老人福祉センター整備事業費

当初予算額	4,734,000 円	最終予算額	7,145,000 円	決算額	6,459,977 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

高齢者の生きがいと健康づくりを推進する施設として、また、高齢者のさまざまな活動の場として管理運営をしました。経年による屋根瓦の損傷の補修と、建物内部の倉庫を女性用トイレに改修、男性用トイレの小便器の改修、多目的便所の温水洗浄便座への改修工事を実施しました。

(1) 主な支出

・ 光熱水費	87 万円	・ 洗面器等入替修繕工事	30 万円
・ 駐車場土地借上料 (385.43㎡)	17 万円	・ 火災保険料	11 万円
・ 複写機使用料	10 万円	・ 設備の保守点検の委託	15 万円
・ その他の経費	13 万円	・ 臨時職員賃金	125 万円
・ 屋根瓦補修工事	86 万円		
・ 老人福祉センター改修工事	241 万円		
・ 老人福祉センター改修工事 設計監理業務委託料	10 万円		

(2) 活動指標

- 桃源荘利用状況
老人クラブ支部長会、各種クラブ活動 延利用者数 2,563人
いきいきサロン（日常動作訓練から趣味の活動）毎週 月・水・金
延利用者数 3,552人（登録者 46人）
- 屋根瓦補修工事
棟取直し工事 63 間
平瓦補修等 10 ㎡
- 改修工事
倉庫の便所への改修 2 器
男性用小便器の自動洗浄器取付改修 4 器
多目的便器の温水洗浄暖房便座に取替 1 器

(3) 成果指標

- 桃源荘利用者数の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
利用者延人数	4,158人	4,083人	5,617人	6,115人

※各年度とも、いきいきサロンを含む

- 倉庫の女性用トイレへの改修と多目的便所の設置は、いきいきサロンなどの桃源利用者からの多くの要望があり改修を行い、快適に利用できるように改善しました。

8	介護予防支援事業費	1,429,790
---	-----------	-----------

介護予防プラン作成の委託(福祉グループ)

予算事業名：介護予防支援事業費

当初予算額	4,842,000 円	最終予算額	4,842,000 円	決算額	1,429,790 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

平成18年度から介護保険制度が改正され、在宅介護支援センターが地域包括支援センターとして、要支援1又は2と認定された方の介護予防のケアプラン作成（新予防給付のマネジメント）を行うことになり、その一部を居宅介護支援事業所に委託して実施しました。

- (1) 主な支出
- ・ 居宅介護支援事業所への委託料 138 万円
 - ・ パソコン伝送用ソフト 4 万円
- (2) 活動指標
- ・ 介護予防支援事業 委託箇所数 3箇所
社会福祉協議会、新生病院、J A須高
 - ・ 要支援(1または2) 認定者数(H19. 3. 31現在) 79人
うち介護予防マネジメント数 64人
うち介護予防プラン作成委託件数 38人 (件)
社会福祉協議会 (19件)、新生病院 (11件)、J A須高 (8件)

2 児童福祉費 232,318,282

1 児童福祉総務費 6,059,554

決算事項別明細書 P44～

子育てゆめまち祝金(福祉グループ)

予算事業名：児童福祉総務費

当初予算額 3,000,000円 最終予算額 6,000,000円 決算額 5,400,000円

出産育児に伴う経済負担を軽くし、安心して子育てが行えるよう、第3子以上を出産・養育する保護者に祝金を贈りました。

- (1) 主な支出
- ・ 子育てゆめまち祝金 540 万円
- (2) 活動指標
- ・ 祝金支給対象者 18 人 (@30万円)

(3) 成果指標

- ・ 祝金実績

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
支給件数(件)(A)	23	24	19	18
出生数(人)(B)	100	102	77	75
(A)／(B)(%)	23.00	23.53	24.68	24.00
支給額(万円)	690	720	570	540

※平成18年度で事業終了

保育園の入園手続きなど(福祉グループ)

予算事業名：児童福祉総務費

当初予算額 773,000円 最終予算額 773,000円 決算額 659,554円

保育を必要とする保護者の希望に応じた保育園への受け入れを進めるため、必要な保育園の情報提供を行い、保育を実施しました。

- (1) 主な支出
- ・ 保育料システムの委託料・使用料 63 万円
- (2) 活動指標
- ・ 入園児童数 241人

{	0歳児	6人	1・2歳児	55人
}	3歳児	47人	4歳児以上	133人
- ※年度末。町外保育園への委託児童含む。町立保育園への町外からの受託児童は含まない。

- ・ 階層別入園状況

階層	定義	児童数
1	生活保護法による被保護世帯	0人
2-1	町民税非課税世帯の内母子家庭	8人

2-2	町民税非課税世帯	14人
3	町民税課税世帯	30人
4-1	所得税17,000円未満	13人
4-2	所得税64,000円未満	38人
5	所得税160,000円未満	59人
6	所得税408,000円未満	63人
7	所得税408,000円以上	16人

※第4-2～第6階層（所得税17,000円以上～408,000円未満）世帯が全体の7割弱を占めています。

(3) 成果指標

・平成18年度入園状況実績 (単位：人)

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
わかば	H18/4	0	10	16	28	24	43	121
	H19/3	0	11	14	30	25	43	123
つすみ	H18/4	0	10	12	14	37	21	94
	H19/3	3	12	12	14	37	23	101
2園計	H18/4	0	20	28	42	61	64	215
	H19/3	3	23	26	44	62	66	224
委託	H18/4	1	4	2	0	5	1	13
	H19/3	3	4	2	3	5	0	17

2 児童措置費 69,714,405

児童手当(福祉グループ)

予算事業名：児童手当給付事業費

当初予算額 74,471,000円 最終予算額 76,571,000円 決算額 69,714,405円

小学校修了前までのお子さんを養育する人に児童手当を支給しました。

(1) 主な支出

- ・児童手当の支払い 6,912 万円
- ・電算システム委託料 42 万円

(2) 活動指標

区分	手当月額	延児童数	支出額	備考	
児童手当	被用者※2	5,000円	1,616人	808万円	3歳未満の児童を養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者
		10,000円	338人	338万円	
	計		1,954人	1,146万円	
児童手当	非被用者※3	5,000円	606人	303万円	3歳未満の児童を養育している自営業者などの国民年金加入者
		10,000円	197人	197万円	
	計		803人	500万円	
特例給付	※1	5,000円	82人	41万円	3歳未満の児童を養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者で、一定額以上の所得がある者
		10,000円	15人	15万円	
	計		97人	56万円	
小学校修了前特例給付	被用者※4	5,000円	5,921人	2,961万円	3歳から小6修了前の児童を養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者
		10,000円	897人	897万円	
	計		6,818人	3,858万円	
小学校修了前特例給付	非被用者※5	5,000円	2,019人	1,010万円	3歳から小6修了前の児童を養育している自営業者などの国民年金加入者
		10,000円	343人	343万円	
	計		2,362人	1,353万円	

※ 第1子・第2子 5,000円、第3子 10,000円

・上記区分の負担割合

特例給付 ※1	事業主 10/10									
被用者 ※2	事業主 7/10	国 1/10	県 1/10	町 1/10	国 1/3	県 1/3	町 1/3	非被用者 ※3	被用者 ※4	非被用者 ※5

(3) 成果指標

・支給額・支給件数の推移

(単位：万円)

	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	延児童数	金額	延児童数	金額	延児童数	金額
3歳未満						
被用者	1,613	932	1,621	953	1,954	1,146
非被用者	818	496	803	497	803	500
特例給付	203	105	289	158	97	56
※3歳以上						
被用者	4,395	2,539	4,828	2,750	6,818	3,858
非被用者	1,555	896	1,828	1,045	2,362	1,353

※平成16年4月から、制度改正により対象範囲が小学校就学前から3年生まで拡大しています。

※平成18年4月から、制度改正により対象範囲が小学校3年生から6年生まで拡大しています。

3 青少年対策費 637,254

青少年問題協議会委員の活動(教育文化グループ)

予算事業名：青少年対策費

当初予算額 99,000 円 最終予算額 99,000 円 決算額 0 円

青少年の問題等が発生した場合に調査・審議を行います。

(1) 主な支出

・なし

(2) 活動指標

・平成18年度は審議案件がなく開催しませんでした。

(3) 成果指標

・平成16～18年度 開催なし

小山田杯少年少女球技大会の開催(教育文化グループ)

予算事業名：青少年対策費

当初予算額 458,000 円 最終予算額 458,000 円 決算額 212,994 円

青少年の心身の健全な育成を図り、地域でのふれあい交流と連帯意識を育成するため、球技大会(種目・キンボール)を開催しました。

(1) 主な支出

・入賞メダル等 4万円 ・参加賞(3色シャーペン) 10万円

(2) 活動指標

平成18年7月30日開催 会場：総合体育館、鳳凰アリーナ

・小学生の部 25育成会 44チーム参加
小学生の部 優勝 福原育成会 準優勝 栗ガ丘育成会 3位 北岡育成会
・中学生の部 23育成会 25チーム参加
中学生の部 優勝 雁田育成会 準優勝 上町育成会 3位 押羽育成会

(3) 成果指標

・参加チーム数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
参加チーム数	55チーム	61チーム	69チーム
(内訳) 小学校	24育成会 (30チーム)	25育成会 (40チーム)	25育成会 (44チーム)
(内訳) 中学校	24育成会 (25チーム)	20育成会 (21チーム)	23育成会 (25チーム)

子どもみこし大会の開催(教育文化グループ)

予算事業名：青少年対策費

当初予算額 46,000 円 最終予算額 46,000 円 決算額 20,620 円

夏のイベント「くりんこ祭り」に合わせて、子どもみこし大会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・消耗品など 2万円

(2) 活動指標

- ・平成18年7月29日開催

(3) 成果指標

・参加チーム数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
参加チーム数	28育成会	雨天中止	27育成会

青少年育成自主活動事業への補助(教育文化グループ)

予算事業名：青少年対策費

当初予算額 300,000 円 最終予算額 300,000 円 決算額 261,000 円

各育成会を支援するため、その活動に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・育成会活動交付金の交付 28育成会 26万円

(2) 活動指標

- ・予算の範囲内で、育成会の自主的活動に対し交付 1事業 1,500円

(3) 成果指標

・補助額等の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
育成会数	28育成会	28育成会	28育成会
補助金額	20万円	26万円	26万円

子ども会安全会費の助成(教育文化グループ)

予算事業名：青少年対策費

当初予算額 155,000 円 最終予算額 155,000 円 決算額 142,640 円

育成会事業に参加する子ども会の安全会費（保険掛金）と長野地方子ども会育成連絡協議会の会費を補助しました。

(1) 主な支出

- ・子ども会安全会費の補助 10万円

(2) 活動指標

- ・保険内容 育成会活動の安全思想の普及に努め、活動中に生じた傷害、疾病、後遺障害または死亡に対して見舞金を支給

(3) 成果指標

- ・近年、給付対象の傷害等はなし

4	保育園費	143,817,309
保育園の管理運営と食育の推進(福祉グループ)		
当初予算額 148,688,000 円		最終予算額 142,041,000 円
		決算額 138,140,529 円

予算事業名：保育園管理費

仕事などにより昼間家庭で保育できない保護者に代わり、0歳（生後8カ月）から5歳までの乳幼児を預かり保育しました。

(1) 主な支出

・保育にかかる各種材料費	114万円
・光熱水費	373万円
・幼稚園や小学校との交流教育	20万円
・臨時保育士等の賃金	2,047万円
・園児の給食材料費	1,471万円
・保育環境の整備	17万円
・町外への保育の委託（18人）	1,357万円
・保育士人件費	7,875万円
・食育	3万円

(2) 活動指標

- ・主な行事（園児）

入・卒園式 春・秋の遠足 端午の節句 カレーパーティー(つすみ) プール活動 七夕まつり 運動会 ひんのべ汁大会 演劇教室 やきいも大会 ゆうぎ会 もちつき大会 クリスマス会 おみせやさんごっこ まめまき ひなまつり会 やしょうまひき

- ・その他

保育参観・懇談会（年2回） 健康診断 歯科保健講話 土曜参観 保健師園訪問 栄養士園訪問 特老慰問 エンゼル交流 なかよしクラブ 幼・保・小連携交流教育 プール参観 交通安全教室（年2回） 祖父母参観 避難訓練（年12回） 英語講師との交流

- ・保育園、幼稚園での食育の推進

回	内容	栗が丘幼稚園	わかば保育園	つすみ保育園
1	紙芝居 「うんちの話」	7月19日（水） 対象園児37人	6月7日（水） 対象園児44人	6月29日（木） 対象園児22人
2	ペープサート 「何を食べたら元気になれる!？」	9月21日（木） 対象園児24人	8月22日（火） 対象園児23人	8月30日（水） 対象園児40人
3	エプロンシアター 「元気なまあちゃん」	11月17日（金） 対象園児24人	10月18日（水） 対象園児31人	11月9日（木） 対象園児14人
4	紙芝居 「やさいのおしゃべり」	/	12月5日（火） 対象園児17人	12月19日（月） 対象園児12人

栄養士・保育士が紙芝居などにより、元気な身体づくりに向けた園児教育を実施しました。

- ・保育園の入所児童数

（単位：人）

月	わかば保育園 定員 120人			つすみ保育園 定員120人			町外保育園			合計		
	3歳未満	3歳以上	計	3歳未満	3歳以上	計	3歳未満	3歳以上	計	3歳未満	3歳以上	計
4月	27	98	125	23	76	99	7	6	13	57	180	237
5月	27	98	125	23	76	99	7	6	13	57	180	237
6月	27	98	125	24	76	100	7	6	13	58	180	238
7月	27	98	125	24	76	100	6	6	12	57	180	237

8月	28	98	126	27	77	104	6	6	12	61	181	242
9月	26	99	125	27	78	105	6	6	12	59	183	242
10月	25	99	124	27	78	105	7	6	13	59	183	242
11月	25	99	124	27	77	104	7	6	13	59	182	241
12月	25	99	124	27	76	103	8	7	15	60	182	242
1月	25	99	124	29	76	105	7	7	14	61	182	243
2月	25	99	124	29	76	105	10	8	18	64	183	247
3月	27	99	126	29	77	106	9	8	17	65	184	249
平均	26.2	98.6	124.8	26.3	76.6	102.9	7.3	6.5	13.8	59.8	181.7	241.4

・クラス数及び保育士数

① わかば保育園

	クラス数	保育士数	(園児数： 保育士数)
5歳	2	正・嘱 2	30:1
4歳	1	嘱 1	30:1
3歳	2	正・嘱 2	20:1
2歳	1	正・臨・臨 3	6:1
1歳	1	臨・臨・臨 3	4:1
0歳	0		3:1
計	7	11	
給食員 正・臨 3人、事務員 臨 1人			

② つすみ保育園

	クラス数	保育士数	(園児数： 保育士数)
5歳	1	正 1	30:1
4歳	2	正・嘱 2	30:1
3歳	1	嘱 1	20:1
2歳	1	正・嘱 2	6:1
1歳	1	正・臨・臨 3	4:1
0歳	1	臨・臨 2	3:1
計	7	11	
給食員 正・臨 3人			

(3) 成果指標

子どもたちが家庭で経験することが少なくなった伝統的な行事を取り入れたり、家庭や地域の皆さんとの連携を大切にされた運営を行いました。また重点目標として「自然に親しみ豊かな情操を養う」ことを掲げ、園外保育を積極的に行いました。「食育」では、その日の給食に使う食材を展示し、興味・関心を持たせたり、一品お手伝い（枝豆をもぐ・もろこしの皮をむく）や、きゅうり・なす・ピーマンなど野菜づくりの体験などを通して食物に関心を持つ子どもたちに成長しました。

入園の申し込みは随時受け付けし、年間17人の途中入園がありました。現在保育待機児童はいません。

特別保育事業(長時間保育・障害児保育・一時的保育)(福祉グループ) 予算事業名：特別保育事業費

当初予算額 7,522,000 円 最終予算額 6,802,000 円 決算額 5,418,060 円

働く保護者の子育てを支援するため、早朝・夕刻の長時間保育を行いました。また、保育園に入園していない乳幼児（生後8カ月以上）で、一時的・断続的に家庭で育児が困難となった場合、お預かりして保育を行いました。土曜日の延長保育を、試行的に「午後3時まで」を「午後6時30分まで」行いました。

(1) 主な支出

- ・園児の給食材料費 64万円
- ・一時的保育にかかる保険料 5万円
- ・臨時保育士賃金 473万円

(2) 活動指標

- ・長時間保育

<延長保育時間 午前7時30分～午後6時30分>
(通常保育は、午前8時30分～午後4時30分)

① わかば保育園 (年間平均値) (単位:人)

利用者数	3歳未満	3歳以上	計
月契約	15	29	44
日利用	2	10	12

② つすみ保育園 (年間平均値) (単位:人)

利用者数	3歳未満	3歳以上	計
月契約	13	26	39
日利用	4	11	15

- ・障害児保育
加配保育士の配置 18年度はなし

- ・一時的保育
利用者数 (わかば保育園・つすみ保育園) (単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3歳未満	3	5	7	8	8	6	7	6	7	6	7	7	77
3歳以上	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
延日数	9.5	25.5	35.0	29.5	20.5	42.5	47.5	29.0	42.0	51.0	48.0	52.0	432.0

(3) 成果指標

- ・長時間保育・一時的保育利用者数の推移 (単位:人)

		平成16年度	平成17年度	平成18年度
長時間保育 (年間平均値)	月契約	70	84	83
	日利用	54	30	27
一時保育 (年間利用者数)		67	75	78

保育園の環境整備(福祉グループ)

予算事業名: 保育園環境整備事業費

当初予算額 2,891,000円 最終予算額 2,891,000円 決算額 258,720円

わかば保育園園舎床下に白アリが発生したため、業者に委託し駆除しました。

(1) 主な支出

- ・わかば保育園白アリ駆除 26万円

5 エンゼルランドセンター事業費 11,911,920

エンゼルランドセンターの管理運営(福祉グループ)

予算事業名: エンゼルランドセンター管理費

当初予算額 13,399,000円 最終予算額 12,223,000円 決算額 11,911,920円

就学前の親子がふれあい、交流を行う場として、さまざまな遊びや催しの企画を行いました。また保育園・幼稚園児との交流や、子育て相談(ほのぼのカンファレンス)などを行い、子育てを支援しました。

(1) 主な支出

- ・光熱水費・燃料費 62万円
- ・各種講座の講師への謝礼 19万円
- ・臨時保育士などの賃金 163万円
- ・施設の修繕整備 108万円
- ・保育士人件費 753万円

(2) 活動指標

- ・事業の内容

ふれあいひろば(月~金AM9:30~PM4:30 土はPM3:00まで。プール開放7月~9月上旬)

あそびのひろば0~2歳児年齢別の企画あそび(各年層月2回) 手作りおもちゃの日(毎月1回)

おはなしの日(毎月1回) 在園児との交流(年間10回) 自然の中で遊ぼう(年2回)

つどい事業 講演会(2) 講習会・演劇教室(1) 子育てセミナー(6) 子育てなんでも教室(2) ママレッジ(6)

ミニコンサート(2) お父さんと一緒(4) やきいも大会・やしょうま作り(1) 全26回

相談事業 ほのぼのカンファレンス(隔月開催年間6回)

情報提供事業 センターだより(毎月1回発行) ワンポイントアドバイス(年間21回)

- ・エンゼルランドセンター事業における食育

① エンゼルあそびのひろば

- ・0歳児から2歳児まで、各年齢に合わせた食事のワンポイントアドバイス
- ・各年齢に応じた手作りおやつ提供（調理は食生活改善推進協議会に依頼）

② 子育てセミナー

- ・親子でおやつづくり

③ やししょうま講習会

2月27日開催 参加者数26組

- ・エンゼルランドセンター利用者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	768	797	979	1,009	1,065	1,132	1,021	997	779	941	877	1,066	11,431
開設日	24	24	26	25	27	24	25	24	24	23	23	26	295

※ 登録乳幼児数 2歳児55人、1歳児39人、0歳児61人、合計155人

(3) 成果指標

- ・エンゼルランドセンターの利用状況の推移 (単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
利用者数	8,016	7,764	10,645	11,431
開設延日数	298	294	295	295

- ・さまざまな企画を行う中でお母さん同士、子ども同士の関わりが深まり、お互いに楽しみにし、誘い合ってセンターに集まるようになり、利用者が増えています。
- ・プールあそびは好評で、利用者が多くなっています。(期間中延べ人数1,232人・一日平均27.4人)
- ・父親も参加できるように土・日に行う企画を増やしています。(お父さんと一緒・コンサート・演劇鑑賞など)参加者は年々増加傾向にありますが、更に多くの父親が企画に参加し易くするための工夫が、今後の課題となっています。

6	ファミリー・サポート・センター事業費	177,840	
ファミリーサポートセンターの運営(福祉グループ)		予算事業名：ファミリーサポートセンター事業費	
当初予算額	243,000円	最終予算額	243,000円
		決算額	177,840円

育児と仕事・社会活動等を両立して、子育てがしやすい環境をつくるために、「子育ての手助けをしてほしい人」と「子育ての手助けをしたい人」が会員として登録し、有償で相互に助けあうファミリーサポートセンター(子育ての相互援助活動)を開設しました。

(1) 主な支出

- ・事業委託料 10万円
- ・ファミリーサポートセンター補償保険 4万円
- ・備品購入費 3万円

(2) 活動指標

- ・18年6月事業開始(小布施町社会福祉協議会委託)
- ・サービス内容 子どもの預かり、送迎等
- ・対象者 0～概ね12歳までの児童
- ・報酬 500円～700円/h(子どもの年齢、援助実施日時により単価に差あり)
- ・会員数
 - 1) 依頼会員(援助依頼者であって0歳から概ね12歳までの児童を現に養育している者)・・・9人
 - 2) 援助会員(援助提供者であって原則として自宅において援助を提供できる者)・・・5人

		3) 両方会員（依頼会員、援助会員ともに該当する人）・・・ 3人	
		・ 利用件数	17件
(3) 成果指標		平成18年6月に事業を開始しました。町民への事業の一層の周知と会員の募集を継続して行っていきます。育児と職業生活その他の社会的活動を両立できる環境づくりを推進するとともに、相互援助活動を通して育児不安の解消を図るなど、地域全体での育児支援の推進していきます。	
3	災害救助費	1,000	
1	災害救助費	1,000	決算事項別明細書 P46～
基金(貯金)利子の積立て(生活環境グループ)		予算事業名：災害援助費	
	当初予算額	1,000 円	最終予算額 1,000 円 決算額 1,000 円
非常災害にそなえ、財政の健全な運営を図るため、基金に積み立てを行いました。			
(1) 主な支出			
・ 非常災害積立基金利子積立金		0.1万円	

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績													
4		衛生費	386,104,565														
	1	保健衛生費	250,260,518														
		1 保健衛生総務費	187,709,058	決算事項別明細書	P46～												
健康づくり推進協議会の開催(健康グループ)				予算事業名：保健衛生総務費													
当初予算額		157,000 円	最終予算額	157,000 円	決算額 0 円												
<p>平成17年度に策定した「はつらつおぶせ健康21」を推進し、あらゆる角度から町民の皆さんの健康づくりを進めることを目的に、町内医療・福祉機関等関係者による推進協議会を開催する予定していましたが、平成18年度は、町内医師、歯科医師による保健予防事業打ち合わせを行い、推進協議会は開催しませんでした。</p> <p>(1) 主な支出 なし</p>																	
保健福祉委員会の活動支援(健康グループ)				予算事業名：保健衛生総務費													
当初予算額		880,000 円	最終予算額	880,000 円	決算額 880,000 円												
<p>「自分の健康は自分でつくり守る」ために、ウォーキング教室やストレッチ教室など健康づくり講習会などを通じて家庭や地域の健康づくりを推進している保健福祉委員会の活動を支援しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健福祉委員会への活動補助金 88 万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健福祉委員会の活動内容 <p>成人保健関係各種検診希望の取りまとめ、受診票の配布、はつらつ結核検診の受付業務総会、役員会、理事連絡員会等開催 6回 須高分会、長野支部総会等への出席 4回 ウォーキング、健康講座、健康づくり講演会の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウォーキング基礎研修 (2回)</td> <td>須坂市・高山村</td> <td>延69人</td> </tr> <tr> <td>健康講座 (3回) 「バランストレーニング」</td> <td>保健センター</td> <td>延89人</td> </tr> <tr> <td>研修会 (1回)</td> <td>松本市</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	実施場所	参加者数	ウォーキング基礎研修 (2回)	須坂市・高山村	延69人	健康講座 (3回) 「バランストレーニング」	保健センター	延89人	研修会 (1回)	松本市	27人
事業名	実施場所	参加者数															
ウォーキング基礎研修 (2回)	須坂市・高山村	延69人															
健康講座 (3回) 「バランストレーニング」	保健センター	延89人															
研修会 (1回)	松本市	27人															
各種団体への負担金など(健康グループ)				予算事業名：保健衛生総務費													
当初予算額		3,094,000 円	最終予算額	4,534,000 円	決算額 3,999,586 円												
<p>地域住民が安心して日常生活を送れるよう、休日・夜間等緊急時医療体制の整備や精神保健福祉の向上及び保健衛生の相対的な向上を推進するため、各関係機関が行なう事業に参加しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> 須高行政事務組合負担金 119 万円 長野広域連合負担金 9 万円 須高包括医療推進協議会負担金 12 万円 須高精神保健福祉連絡協議会負担金 4 万円 須高食品衛生協会交付金 1 万円 長野精神保健福祉協議会負担金 3 万円 病院群輪番制病院運営事業負担金 13 万円 保健師職能研修会負担金 0.2 万円 国保運営協議会委員報酬 18 万円 臨時職員・看護師賃金 216 万円 																	

(2) 活動指標

- ・夜間・休日等におけるの緊急医療体制の確保
須高休日緊急診療所事業・・・第1次緊急医療（軽症患者の初期診療）体制を整備
病院群輪番制病院運営事業・・・第2次緊急医療（手術・入院治療を必要）体制を整備
- ・地域医療の向上
包括医療協議会・・・医師、歯科医師、薬剤師による健康管理体制を整備
学校保健事業、健康教育等の充実
- ・心の健康の推進

(3) 成果指標

- ・須高休日緊急診療所

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
開所日数	74日	74日	73日	73日	71日
受診者数	1,182人	1,066人	1,016人	1,021人	4,090人
内小布施分	68人	88人	88人	90人	237人

※ 休日の診療機関として運営を行っています。平成18年度からは県立須坂病院にも参加をいただき、2次救急及び外科救急への体制も整えています。

- ・病院群輪番制病院運営事業

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
長野赤十字病院	18人 259日	34人 260日	17人 259日	30人 259日	21人 259日
篠ノ井総合病院	2人 87日	6人 87日	3人 87日	1人 87日	6人 87日
松代病院	0人 45日	0人 45日	0人 45日	1人 45日	0人 45日
総受診者数	10,932人	11,027人	11,345人	10,659人	11,110人

保健センターの維持管理(健康グループ)

予算事業名：保健衛生施設管理費

当初予算額	245,000 円	最終予算額	245,000 円	決算額	157,001 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

乳幼児健診をはじめ、各種ガン検診、健康相談事業など、町民の健康管理の拠点として保健センターを運営しました。

(1) 主な支出

- ・火災保険料 2 万円
- ・自動ドア保守点検 6 万円
- ・カーテンクリーニング 5 万円
- ・乳幼児身長体重計購入 2 万円

(2) 活動指標（保健センター利用事業）

- ・母子保健事業
両親学級 3～4カ月児健診 10～11カ月児健診 1歳6カ月児健診
すくすく教室 3歳児健康診査 子育て教室（6・7カ月児） 子育て教室（2歳児）
すこやか相談 乳幼児相談
- ・成人保健事業
胸部レントゲン（結核予防） 骨健診（骨粗鬆症予防） 胃検診 大腸がん検診
乳房検診（視触診・マンモグラフィ） 子宮がん検診 肺がん検診

(3) 成果指標

※ 成果については「お母さんと子どもの健康診査」「お母さんと子どもの子育て教室・相談事業」「成人の各種健康診査」（4.1.2）に記載。

共同作業所みすみ草の管理運営と改修(健康グループ)

予算事業名：保健衛生施設管理費・保健衛生施設整備事業費

当初予算額 8,075,000 円 最終予算額 9,251,000 円 決算額 8,750,593 円

身体・知的・精神に障害のある方の共同作業所「みすみ草」について、社会福祉法人夢工房福祉会に指定管理を行わせ、指定管理者が持つ豊かな福祉ノウハウを取り入れた運営を通じ、社会生活への適応性を高めるための作業訓練や生活指導を行いました。

(1) 主な支出

- ・共同作業所指定管理委託料 850 万円
- ・火災保険料 10 万円
- ・施設修繕費 15 万円

(2) 活動指標

- ・通所者数 19人（平成19年3月末現在）
- ・所長 1人、補助職員 2人
- ・事業内容
- ・利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう創作的活動、生産活動の機会提供及び社会との交流の促進を図るため機能訓練や社会適応訓練を行っています。

(3) 成果指標

- ・通所されている方それぞれの特性に合わせた作業訓練や生活指導を行った結果、社会生活への適応能力などの向上が図られました。

新生病院の改築に対する助成(健康グループ)

予算事業名：中核的医療施設整備事業費

当初予算額 160,000,000 円 最終予算額 160,000,000 円 決算額 160,000,000 円

新生病院が行う総合リハビリテーション・ホスピス病棟などの増改築に対し、地域総合整備資金（ふるさと融資）の貸付け（3年目）を行うとともに、社会福祉基金を活用し建設に対する補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・地域総合整備資金の貸付け 3,000 万円
- ・中核的医療施設整備事業補助金 1億3,000 万円

(2) 活動指標

- ・新本館棟建設（増築面積：6,129.88㎡）
- ・既存棟改修（改修面積：3,577.94㎡）
- ・回復期リハビリテーション病床 40床増床
- ・緩和ケア病棟10床増床等

(3) 成果指標

- ・激変する医療制度或いは超高齢化社会や地域における医療ニーズに対応するため、中期計画に基づき従来の医療・介護サービスに加え、総合リハビリテーションや回復期リハビリ病棟の建設、緩和ケア病床の増床を平成16年度より実施しました。
（既貸付額 平成16年度 8,200万円、平成17年度 18,800万円）

職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 15,958,000 円 最終予算額 14,199,000 円 決算額 13,921,878 円

(1) 主な支出

- ・職員人件費 13,922 万円

2	予防費	42,057,707
---	-----	------------

お母さんと子どもの健康診査(健康グループ) 予算事業名：母子保健事業費

当初予算額 3,155,000 円 最終予算額 3,155,000 円 決算額 2,692,644 円

妊娠中の母子から就学期前の幼児を対象に、疾病・障害等の早期発見、早期対応を図り健全育成を支援するため各種健康診査を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 医師、歯科医師、看護師等賃金 105 万円
- ・ 妊婦、乳児健康診査委託料 155 万円
- ・ 母子健康手帳の購入 2 万円

(2) 活動指標

事業名	検診等名	実施回数	場所
健康診査	3・4カ月児健康診査	6	保健センター
	10・11カ月児健康診査	6	保健センター
	1歳6カ月児健康診査	5	保健センター
	3歳児健康診査	4	保健センター
	妊婦一般健康診査	随時	病医院
	乳児一般健康診査	随時	病医院

(3) 成果指標

- ・ 健康診査の指導内容

生活リズム、ムラ食い、口腔衛生、おやつ指導、スキンケア、内科医療についての経過観察や要精検等に関すること。

検診等名	平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)
3・4カ月児健康診査	68	97.1	86	97.7	102	94.4	80	98.7	83	95.4
10・11カ月児健康診査	82	89.1	55	94.8	111	85.6	82	88.0	79	91.9
1歳6カ月児健康診査	88	90.7	68	87.2	84	96.6	101	88.5	76	90.5
3歳児健康診査	109	92.4	95	94.1	89	88.1	63	92.6	83	82.2
妊婦一般健康診査	155	-	155	-	155	-	173	-	162	-
乳児一般健康診査	49	-	40	-	51	-	61	-	52	-

お母さんと子どもの子育て教室・相談事業(健康グループ) 予算事業名：母子保健事業費

当初予算額 647,000 円 最終予算額 647,000 円 決算額 252,506 円

出産や子育てを支援する各種教室や相談を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 両親学級講師謝礼 1 万円
- ・ 子育てガイド等 21 万円
- ・ 離乳食材料等 3 万円

(2) 活動指標

事業名	検診等名	実施回数	場所
健康教育	こっこ塾(6・7カ月児)	6	保健センター
	げんきっこ塾(2歳児)	4	保健センター
	たんぼぼくらぶ(両親学級)	9	保健センター

	すくすく（虫歯予防）教室	5	保健センター
	母子健康手帳交付	随時	役場窓口
	父親向け資料等配付	随時	役場窓口
	小児生活習慣病予防教室	2	小中学校
健康相談	すこやか（心理）相談	7	保健センター
	乳幼児健康相談	12	保健センター
	赤ちゃん訪問	随時	各家庭

(3) 成果指標

- ・ほとんどの教室・相談事業において受診率が高く、子どもの健康管理や父親の子育ての参加について意識の向上を図ることができました。

教室等名	平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	延参加者数(人)	参加率(%)	延参加者数(人)	参加率(%)	延参加者数(人)	参加率(%)	延参加者数(人)	参加率(%)	延参加者数(人)	参加率(%)
こっこ塾	69	89.6	67	87.0	67	87.0	74	81.5	88	90.7
げんきっこ塾	87	87.9	80	83.3	80	83.3	72	79.5	82	76.6
たんぼぼくらぶ	45	-	46	-	53	-	35	-	53	-
すくすく教室	84	86.6	60	76.0	70	80.5	101	76.0	76	90.5
母子健康手帳交付	95	-	105	-	79	-	91	-	85	-
父親向け資料等配付	95	-	105	-	79	-	91	-	85	-
すこやか 相談	20	-	29	-	11	-	13	-	6	-
乳幼児健康相談	140	-	129	-	161	-	143	-	151	-
赤ちゃん訪問	54	-	79	-	69	-	52	-	42	-
小児生活習慣病予防	293	-	280	-	340	-	316	-	323	-

不妊治療費に対する補助(健康グループ)

予算事業名：母子保健事業費

当初予算額 300,000 円 最終予算額 300,000 円 決算額 277,095 円

不妊治療を受けている夫婦の治療費の一部を助成しました。

(1) 主な支出

- ・不妊治療費補助金 27 万円

(2) 活動指標

- ・不妊治療を行っている夫婦に対する助成 4 件

(3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
補助件数	3件	4件	7件	3件	4件
補助額	19万円	34万円	53万円	16万円	27万円
出産確認	1件	0件	4件	1件	1件

健康づくりの啓発・訪問相談事業、リレー講座の開講(健康グループ)

予算事業名：成人保健事業費

当初予算額 323,000 円 最終予算額 323,000 円 決算額 167,351 円

町民の皆さんの健康増進のため、各分野の専門家を招き健康教室リレー講座を開催しました。また、健康診査の結果に基づき家庭訪問などによる個別相談などきめ細かな支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・健康教室保健師等賃金 9 万円
- ・健康教室講師謝金 3 万円

(2) 活動指標

・健康教室の実施

	教室等名	実施回数	場 所	参加者数	内容など
健康教室	パワーウォーキング講習会	1回	総合体育館	60人	パワーウォーキングについての講演・実技
	MAm a カレッジ	6回	エンゼルランドセンター	94人	健康診査、リラクゼーションと運動、調理実習等
	血液サラサラ教室卒業生のつどい	12回	保健センター他	50人	ウォーキング、ダンベル体操、ストレッチ、水中運動、調理実習等
	ヘルシー教室OB会	11回	保健センター他	46人	
	地域学習会	各1回	各公会堂他	193人	上町婦人会、山王島婦人会、山王島ひまわりグループ、東町婦人会、高齢者学級ほか
	健康リレー講座	4回	公民館他	延61名	メタボリックシンドロームについての講演、運動実技ほか

・健康相談、家庭訪問の実施

健康相談	定期健康相談	12回	保健センター	10人	血圧測定、体脂肪測定、療養生活相談、健康づくり相談
	乳幼児健康相談			206人	育児相談等
	随時健康相談	随時	庁舎他	1,764人	電話相談、その他
家庭訪問	随時	各家庭	210人	療養指導等	

※平成18年度から定期健康相談と乳幼児健康相談を分離

(3) 成果指標

・定期健康相談者、乳幼児健康相談数の推移

(単位：人)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
定期健康相談	121	153	144	184	142	10
乳幼児健康相談	-	-	-	-	-	206

成人の各種健康診査（健康グループ）

予算事業名：成人保健事業費

当初予算額 27,441,000 円

最終予算額 27,441,000 円

決算額 21,279,764 円

町民の皆さんの健康の維持、病気の早期発見・治療のため各種健康診査を実施しました。

(1) 主な支出

・看護師、保健師賃金	10万円	・各種検診委託料	1,849万円
・データ管理用ファイル他	26万円	・人間ドック補助金（43人）	79万円
・検診、問診表等印刷代	28万円	・総合健康診査補助金（28人）	45万円
・電算委託料	91万円		

(2) 活動指標

・結核予防

	種別	実施日数	説明
胸部レントゲン	間接撮影	15日間	はつらつ健診と同時実施（15会場）
	直接撮影	1日間	保健センター

・基本健康診査

種 類	実施期間	委託先
町民健診	平成18年6月1日～10月31日	須高医師会（29医療機関）
J Aヘルス	平成18年11月25日、26日	北信総合病院
総合健診	平成18年6月1日～10月31日	長野県総合健康センター

・人間ドック

種 類	対 象	補助金単価 (万円)
半日・1日ドック	一 般	1.5
	節目（一般）	3.0
1泊2日ドック	一 般	2.5
	節目（一般）	4.0

・骨健診

委託先／長野県健康づくり事業団 実施日数／2日間（6月実施）

・がん検診

（単位：人）

種 類	項 目	平成18年度	実施日数	委託先等
胃 検 診	受診者数	586	10日間	委託先 長野県健康 づくり事業団 会 場 保健センター
	がん発見数	1		
大腸がん検診	受診者数	780	10日間	
	がん発見数	1		
乳房検診	受診者数	339	4日間	
	がん発見数	0		
子宮がん検診 （集 団）	受診者数	183	4日間	
	がん発見数	0		
肺がん検診	受診者数	530	8日間	新生病院
	がん発見数	0		
乳房検診 （マンモグラ フィ）	受診者数	163	7日間	
	がん発見数	0		
子宮がん検診 （施 設）	受診者数	124	2カ月間	須高医師会
	がん発見数	0		
J Aがん セット検診	胃	86	2日間	北信総合病院
	大 腸	107		
	肺	91		
	乳 房	29		
	子 宮	124		

・前立線がん

町民健診、J Aヘルス、はつらつ健診にて実施

・肝炎検査

町民健診、J Aヘルス、はつらつ健診で過去に調べたことのない人で希望者に対し実施

(3) 成果指標

【各検診等受診推移】

・結核予防 (単位：人)

種別	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
間接撮影	3,024	2,945	3,070	1,261	1,105
直接撮影	243	303	355	198	184

・基本健診 (単位：人)

項 目		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
町 民 健 診	希望者数	2,512	2,468	2,428	2,541	1,518
	受診者数	1,466	1,449	1,713	1,757	690
	受診率 (%)	58.3	58.7	70.6	69.1	45.5
	異常あり	1,139	1,188	1,395	1,408	135
J A ハ ル ス	希望者数	187	228	244	273	142
	受診者数	145	175	159	185	120
	受診率 (%)	77.5	76.8	65.2	67.8	84.5
	異常あり	129	156	142	117	71
総 合 健 診	希望者数	97	104	90	72	53
	受診者数	41	44	52	42	28
	受診率 (%)	42.3	42.3	57.8	58.3	52.8
	異常あり	38	43	52	41	-

※ 異常あり者の数は延人数

・人間ドック (単位：人)

種類	対 象	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
平 ・ 1 日	一 般	22	26	31	33	30
	節 目 (一般)	3	1	3	5	2
1 泊 2 日	一 般	12	16	10	10	11
	節 目 (一般)	0	0	0	0	0

・骨検診 (単位：人)

種別	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
受診者数	190	228	220	231	203
要フォロー	34	62	58	53	45

・ガン検診 (単位：人)

種類	項 目	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
胃	受診者数	899	913	887	622	586	
	がん発見数	1	0	0	0	1	
大腸	受診者数	993	1,021	1,011	771	780	
	がん発見数	3	1	1	1	1	
肺	受診者数	588	586	564	436	530	
	がん発見数	3	1	0	0	0	
乳 房	視 触	受診者数	595	612	477	302	339
		がん発見数	0	0	1	1	0
	マ ン モ	受診者数	-	43	157	168	163
		がん発見数	-	0	0	1	0

子宮(集団)	集団	受診者数	414	408	388	210	183
		がん発見数	1	0	0	0	0
施設		受診者数	148	192	223	138	124
		がん発見数	1	0	1	1	0
セットJ Aがん 検診		胃	87	108	98	100	86
		大腸	86	104	103	111	107
		肺	85	87	84	95	91
		乳房	39	40	35	44	29
		子宮	41	47	37	42	124

・前立線がん (単位：人)

種別	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
受診者数	—	—	—	260	268

・肝炎検査 (単位：人)

種別	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
受診者数	49	66	46	91	66

はつらつ健康診査(健康グループ)

予算事業名：成人保健事業費

当初予算額 10,505,000 円 最終予算額 10,505,000 円 決算額 9,566,130 円

老人保健法に基づき実施していた基本検診のうち、65歳以上の人には介護予防事業へつなげるための生活機能チェック項目が追加されたため、受診者の利用の便を考慮して、地域の公会堂やコミュニティセンターを会場にはつらつ健診を実施しました。

(1) 主な支出

・健診委託料 957 万円

(2) 活動指標

(単位：人)

期日	会場	人数	期日	会場	人数	期日	会場	人数
9月21日	松村公会堂	58	10月6日	福原コミュニティ	106	10月23日	六川公会堂	70
9月22日	東町公会堂	69	10月10日	大島公会堂	78	10月24日	矢島公会堂	78
9月28日	上町公会堂	82	10月11日	山王島公会堂	81	10月25日	東部コミュニティ	89
9月29日	伊勢町公会堂	88	10月13日	林公会堂	71	10月26日	上松川コミュニティ	74
10月5日	北部コミュニティ	75	10月19・20日	押羽公会堂	108	合計	14会場	1,127

(3) 成果指標

・生活機能評価による特定高齢者の把握者数 43人

※特定高齢者：介護保健による転倒予防教室、訪問指導等の対象者

子どもと高齢者の予防接種(健康グループ)

予算事業名：予防接種事業費

当初予算額 9,829,000 円 最終予算額 9,829,000 円 決算額 7,296,725 円

子どもや高齢者の疾病や感染症予防のため、予防接種を行いました。

(1) 主な支出

・医師、看護師賃金 45 万円
 ・ワクチン代 16 万円
 ・説明書等印刷代他 3 万円
 ・予防接種業務委託料 662 万円

(2) 活動指標

種 別	接種の種類	回 数	会 場
ポリオ	集 団	4	保健センター
三種混合	個 別	通年	医療機関委託
二種混合	集 団	2	小 学 校
麻しん風しん混合(乳幼児)	個 別	-	医療機関委託
日本脳炎(幼児)	個 別	-	医療機関委託
日本脳炎(小学生)	集 団	2	小 学 校
B C G接種	集 団	6	保健センター
インフルエンザ	個 別	-	医療機関委託

(3) 成果指標

(単位：人)

種 別		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
ポリオ		181	157	196	191	172
三混		295	358	334	373	373
二混		118	116	100	98	123
麻しん		105	116	111	111	164 (混合)
風しん		99	65	90	165	
日本 脳炎	幼児	226	304	308	43	—
	小学生	95	92	125	中止	中止
	中学生	140	119	130	113	廃止
B C G接種 (乳児)		236 (小・中含)	79	147	82	84
インフル エンザ	60～ 64歳	—	1	0	2	2
	65歳 以上	—	1,157	1,329	1,464	1,493

チャレンジ・クッキング(健康グループ)

予算事業名：食育推進事業費

当初予算額 462,000 円 最終予算額 462,000 円 決算額 461,047 円

調理体験や味覚体験を通じて、子どもたちの食に関する感受性(五味・五感)を育むとともに、体と食を結びつけて考えることで、健康な身体づくりのための食の必要性を学ぶ場としてチャレンジ・クッキングを開催しました。

(1) 主な支出

・栄養士賃金	8 万円	・子ども用調理器具	14 万円
・調理用食材	7 万円	・調理用オーブン	17 万円

(2) 活動指標

・実施状況

回	開催日	テーマ	学習内容・実施献立	参加者数
1	7月8日(土) 9:30~13:30	卵	学習:卵の学習 献立:親子丼、マヨネーズ、マッシュポテト	親6人:子ども8人 (1)
2	9月9日(土) 9:30~13:30	肉	学習:鶏肉、豚肉の学習 献立:ポークカレー、ゆで鶏サラダ	親7人:子ども8人 (1)
3	11月18日(土) 9:30~13:30	魚	学習:魚の学習 献立:さんまのかば焼き、つみれ汁、ほうれん草のなめたけ和え	親6人:子ども9人 (2)
4	1月13日(土) 9:30~13:30	豆	学習:豆の学習 献立:がんもどき、小松菜のピーナッツ和え、黒豆ごはん	親7人:子ども11人 (4)
5	3月10日(土) 9:30~13:30	牛乳	学習:牛乳の学習 献立:クリームシチュー、カッテージチーズ、バター	親9人:子ども12人 (3)

※参加者数の()は、子どものうち幼児の再掲

食生活改善推進協議会の活動支援(健康グループ)

予算事業名:食育推進事業費

当初予算額 95,000円 最終予算額 95,000円 決算額 64,445円

食による健康づくりを目指し、調理実習や講習会など学習活動を行い、自らの食生活の見直しを行うとともに、学習の成果を地域に広めるための活動を行っている食生活改善推進協議会に対し支援を行いました。

(1) 主な支出

・推進協議会活動補助金 2万円 ・調理実習材料費 4万円

(2) 活動指標

・講習会

とき	ところ	内容	参加者
7月14日	保健センター	学習会「塩と体の関係」・実習	14人
9月7日	保健センター	実習	10人
11月7日	保健センター	学習会「漬物の実態分析」・実習	13人
12月6日	保健センター	学習会「プラスチック製容器包装の分別について」・実習	12人
1月19日	保健センター	学習会「お茶うけの実態」・実習	15人
2月13日	保健センター	実習「やしょうまづくり」	11人
3月27日	保健センター	実習「旬の味覚」	16人

・子どもクッキング協力

とき	ところ	内容	参加者
8月1日	北斎ホール	丸なすのおやきづくり	小学生26人
3月7日	保健センター	やしょうまづくり	小学生37人

・視察研修

食育視察研修(三重県「もくもくファーム」) 8人参加
東山クリーンセンター 金属処理場研修 8人参加

食育推進計画の策定(企画グループ)

予算事業名:食育推進事業費

当初予算額 0円 最終予算額 0円 決算額 0円

食の重要性を再認識し、町民の皆さんが食を通じて生涯にわたり健全な心身を培い、豊かな人間性を育み、そして食を大切にすまちづくりを進めるため、県内市町村で一番早く「小布施町食育推進計画」を策定しました。

(1) 主な支出

- ・なし

(2) 活動指標

- ・役場 食育推進プロジェクトチーム員7人による調査、研究、実践 16回

- ・小布施町食育推進計画の策定 平成19年3月

計画期間：平成18年度～22年度

基本的施策

■ 人／生涯食育

- (1) 就学前児童～中学生まで一貫した体系の中での食育

① 幼稚園・保育園児童に対する食育

② 小学校児童に対する食育

③ 中学校生徒に対する食育

- (2) 乳幼児の保護者に対する食育

(3) 妊産婦に対する食育

(4) 青壮年に対する食育

(5) 高齢者に対する食育

(6) 特色ある食文化の継承

■ 環境／知識活用

- (7) 安全な農産物の提供

(8) 食を大切にす産業の育成・ブランド化

(9) 選択を可能にする食の情報提供

(10) ごみの発生抑制・資源の有効活用

(11) 食育に関する積極的な情報提供と連携・交流の促進

- ・ホームページでの公表 平成19年4月

(3) 成果指標

- ・豊かな自然によって育まれる命の素晴らしさ、大切さを学び、心を育む「食育」は、人づくり、そして私たちのまちづくりに欠くことのできないものです。平成19年度は計画に基づき体系的かつ積極的に「食育」を推進しています。

- ・平成19年度食育事業／食育フォーラム、チャレンジ・クッキング、サンサン三食運動、児童・生徒による農作業体験 他多数

3	保健師設置費	20,493,753
---	--------	------------

職員人件費		予算事業名：一般職人件費	
当初予算額	25,951,000 円	最終予算額	20,977,000 円
		決算額	20,493,753 円

(1) 主な支出

- ・職員人件費 2,049万円

2	環境保全費	135,844,047
---	-------	-------------

1	環境保全総務費	5,929,106	決算事項別明細書 P47～
---	---------	-----------	---------------

犬猫の管理(生活環境グループ)		予算事業名：環境保全総務費	
当初予算額	322,000 円	最終予算額	322,000 円
		決算額	320,417 円

狂犬病を予防し、犬の飼育マナーの啓発に努め、公衆衛生の向上を図りました。

(1) 主な支出

- ・狂犬病予防注射・原簿管理業務委託料等 12万円

- ・犬、猫繁殖制限手術補助金 7万円

避妊 犬 0頭、猫 12匹、計 12頭

去勢 犬 0 頭、猫 5 匹、計 5 頭

(2) 活動指標

- ・集合注射、登録 3回実施 (4月13日、5月13日、6月25日)
- ・注射頭数 (集合実施) 654 頭

(3) 成果指標

- ・犬・猫の繁殖制限手術実施頭数の推移 (単位：頭)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
30	24	16	30	17

公衆トイレの管理 (生活環境グループ)

予算事業名：環境保全総務費

当初予算額 1,094,000 円 最終予算額 1,094,000 円 決算額 962,765 円

駅を利用する町民の皆さんや、町を訪れた人が気持ちよく使用できるよう、トイレの清掃・管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・公衆トイレ (駅前、皇大神社) 清掃委託料 53 万円
- ・公衆トイレ光熱水費、修繕費等 43 万円

(2) 活動指標

- ・駅前公衆トイレの清掃 毎日 (勤務時間1時間)
- ・皇大神社公衆トイレの清掃 週2回 (勤務時間1時間)

(3) 成果指標

- ・多くの方が利用されるトイレを、常に清潔な状態で利用していただくことができました。

生活灯の設置 (生活環境グループ)

予算事業名：環境保全総務費

当初予算額 400,000 円 最終予算額 554,000 円 決算額 553,420 円

住環境の向上を図るため、自治会等からの要望により通学路、生活道路を優先に生活灯の設置・修繕を行いました。

(1) 主な支出

- ・生活灯新設、修繕工事 55 万円

(2) 活動指標

- ・新設7基、灯具替9基、修繕2基、移転新設2基合計 20基

(3) 成果指標

- ・新設、修繕工事総数の推移 (単位：基)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
60	30	22	23	20

衛生組合連合会活動 (生活環境グループ)

予算事業名：環境美化推進事業費

当初予算額 926,000 円 最終予算額 886,000 円 決算額 784,439 円

地域での衛生活動の推進リーダーとして、指導助言にあたっていただきました。

(1) 主な支出

- ・衛生組合活動交付金 36 万円
 - 内 訳 均等割 (@2,000円×28自治会) 6 万円
 - 戸数割 (@90円×3,386世帯) 30 万円

・ごみ袋の購入、アメシロ防除経費など 6万円

(2) 活動指標

- ・衛生組合長会 3回開催 (2月6日、4月18日、12月3日)
- ・環境美化運動の日 (5月28日 参加者数2,460人、10月22日 参加者数2,403人)
5月28日 空缶1,600個、ビン137本、埋立4,185kg、可燃ごみ1,245kg
10月22日 空缶1,500個、ビン114本、埋立2,880kg、可燃ごみ1,615kg
- ・マイバック運動の推進
- ・分別の徹底に関する指導、視察研修会等の実施

(3) 成果指標

・環境美化運動の日 ごみ等の回収状況の推移

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
空き缶 (個)	8,240	7,333	4,475	2,818	3,850	3,100
ビン (本)	278	491	615	247	118	251
埋め立て (kg)	2,740	980	2,540	1,740	7,620	7,065
可燃ごみ (kg)	950	1,970	1,450	1,755	2,135	2,860
参加者数 (人)	887	2,155	1,919	3,753	4,537	4,863

- ・平成14年度から、年2回 (春・秋) の環境美化運動を実施
- ・平成16年度から新たに「よろずぶしんの日」として実施
(庭や畑から道路に張り出した植木の枝切り、側溝、カーブミラーの掃除等の合わせて実施)

不法投棄の防止(生活環境グループ)

予算事業名：環境美化推進事業費

当初予算額 624,000円 最終予算額 629,000円 決算額 535,065円

不法投棄防止指導員が区域内を定期的にパトロールし、不法投棄の早期発見に努めるとともに、それらの未然防止のため、町報・同報無線によりマナーの向上を呼びかけました。

(1) 主な支出

- ・不法投棄防止指導員報酬 42万円
- ・不法投棄廃棄物処理委託料 8万円
- ・家電4品目処理手数料 3万円

(2) 活動指標

- ・粗大ごみの回収 2回実施 (5月22日～28日、11月13日～19日)
- ・有害ごみの回収 2回実施 (5月14日、11月12日 役場駐車場)
- ・毎月第4日曜日に地区内巡回パトロール 12回実施
- ・不法投棄物の回収 不法投棄防止指導員の協力により随時

(3) 成果指標

・不法投棄の発見・通報件数 (単位：件)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
274	200	195	152	97

火葬場の管理運営(須高行政事務組合)(生活環境グループ)

予算事業名：火葬場管理費

当初予算額 3,324,000円 最終予算額 2,773,000円 決算額 2,773,000円

火葬場「松川苑」の管理運営を、小布施町・須坂市・高山村で構成する須高行政事務組合で行いました。

(1) 主な支出

- ・須高行政事務組合負担金 (運営負担金) 277万円

- (2) 活動指標
- ・施設名 須高行政事務組合「松川苑」(平成18年3月改築工事完了)
 - ・火葬数 小布施町分 106 体(うち管轄外3体)

(3) 成果指標

- ・火葬数の推移 (単位: 体)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
122	107	103	125	106

2	公害対策費	67,045
---	-------	--------

公害対策・河川の水質検査(生活環境グループ)

予算事業名: 公害対策費

当初予算額	131,000 円	最終予算額	131,000 円	決算額	67,045 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	----------

豊かな自然を守り、公害のない町を目指して、公害の発生源となる施設や設備に対する指導・啓発を強化し、未然防止に努めました。

(1) 主な支出

- ・河川水質検査 6 万円
- ・公害関係法令加徐 1 万円

(2) 活動指標

- ・河川水質検査口 町内水路10カ所、年2回検査(9月、12月)実施
- ・公害等苦情処理

原因者が判明している場合は、直接改善指導、催告を実施し、原因者が特定できない場合は発生源等を現場確認し、状況について町報、同報無線や地区の衛生組合を通じ隣組回覧などで町民の皆さんへの周知を図るとともに、モラルに対する意識啓発に努めました。

主な内訳: 大気汚染(野焼き)5件、生活環境(漏油、害虫、消毒噴霧等)8件、飼犬のフン害・放し飼い5件、悪臭3件、騒音3件

・河川の水質検査の結果

測定地点	採取年月日	PH	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100m l)	全りん (mg/L)
県営住宅前	9月5日	3.9	2.6	2.0	790	0.014
	12月5日	4.0	1.0	2.0	46	0.007
砂川 (矢島)	9月5日	4.0	2.8	2.0	13,000	0.037
	12月5日	4.0	0.7	4.0	1,300	0.003
深沢川 (押羽)	9月5日	4.0	4.0	2.0	3,300	0.045
	12月5日	4.0	1.6	3.0	700	0.006
山王島	9月5日	4.1	2.8	5.0	7,900	0.066
	12月5日	4.0	6.9	4.0	240	0.009
大島 公会堂	9月5日	4.0	3.8	2.0		
	12月5日	4.0	0.6	3.0		
大元神 社	9月5日	3.9	1.8	9.0		
	12月5日	4.0	15.0	8.0		
わかば 保育園	9月5日	3.9	1.4	3.0		
	12月5日	4.0	6.0	4.0		
都住駅 西	9月5日	4.0	2.5	3.0		
	12月5日	4.1	0.9	4.0		
栗林前	9月5日	4.0	1.9	4.0		
	12月5日	4.0	1.3	3.0		
雁田 公会堂	9月5日	4.1	1.0	1.0		
	12月5日	4.4	1.5	13.0		
上記10カ所の平均値		4.0	3.0	4.1	3,410	0.023

(3) 成果指標

検査した10カ所の平均値は、下水道などの普及から10年前よりBOD、SS値とも改善しています。

調査項目	環境基準に定める標準値	平成8年検査時の10カ所の平均値	平成18年検査時の10カ所の平均値
p h 値	6.5～8.5	4.1	4.0
B O D	1mg/ℓ～10mg/ℓ	10.1	3.0
S S	25mg/ℓ～100mg/ℓ	16.8	4.1

p h 値：水素イオン濃度値。酸性 < ph値7.0 < アルカリ性 となります。

B O D：生物化学的酸素要求量。河川などの有機物による汚濁の程度を表します。

S S：浮遊物質量。粒径2mm以下の水に溶けない懸濁性の物質の量を表します。

3 清掃費 129,847,896

ごみ減量化の推進（生活環境グループ）

予算事業名：ごみ減量化推進事業費

当初予算額 2,080,000 円 最終予算額 2,080,000 円 決算額 1,601,558 円

ごみ減量化推進事業実施計画により、地域説明会を通じて具体的なごみの減量化（古紙類の分別、生ごみの水切り等）とリサイクルに対する意識啓発に努めました。

(1) 主な支出

- ・ごみ減量化推進事業補助金等 31 万円
- ・白色トレイ収集運搬委託料 13 万円
- ・白色トレイ回収車借上料 5 万円
- ・古紙類収集運搬委託料 2 万円（古紙類売却代金52万円）
- ・剪定枝処理専用車借上料 19 万円
- ・分別チラシ、品目別分別冊子等 85 万円

(2) 活動指標

- ・電動生ごみ処理機設置補助金 9 台 17 万円
- ・生ごみ水切り容器設置補助金 106 台 11 万円
- ・資源回収補助金（中学校） 1 件 3 万円
- ・ごみ減量化説明会の開催 総参加人員 1,001人 25団体（自治会、コミュニティ等25カ所）
平成18年6月から10月まで公会堂等でサンプルを示し説明会実施
- ・白色トレイの回収 12回実施（毎月第3金曜日 各自治会指定場所で集合回収）
- ・古紙類の回収 14回実施（上記のほか、有害の回収とあわせ2回、日曜日に実施）
- ・剪定枝の回収 4回実施（6月10～16日、7月22～28日、9月2～8日、10月21～27日
町営グラウンド北側駐車場他）

(3) 成果指標

- ・ごみ減量化推進事業実施計画（アクションG30）の実行
可燃ごみ排出量：2,340t 10.6%削減（平成16年度対平成18年度比）
資源物 収集量：703t 24.1%増（平成16年度対平成18年度比）

ごみの収集（生活環境グループ）

予算事業名：ごみ処理経費

当初予算額 9,620,000 円 最終予算額 9,620,000 円 決算額 9,236,338 円

廃棄物処理計画に基づき快適な生活環境を守るため、ごみの収集を行います。収集は、分別区分に従い、可燃ごみ・埋立ごみとかん金属・びん・ペットボトル・白色発泡トレイ・古紙類などの別に収集しました。

(1) 主な支出

- ・ごみの収集委託 918 万円
委託先 可燃・埋立、かん金属：環境クリエイション
- ・ごみ収集カレンダー 4 万円

(2) 活動指標

- ・可燃ごみ 毎週火・金曜日（東地区）、水・土曜日（西地区）
- ・埋立ごみ 毎週月曜日（東西両地区）
- ・かん金属 隔週木曜日（東西地区を1週おきに収集）

(3) 成果指標

- ・ごみ収集量の年度別推移 (単位：t)

項目	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
可燃	2,238	2,339	2,660	2,551	2,678	2,616	2,528	2,340
埋立	77	74	56	55	53	51	56	53
資源物	381	434	504	478	584	566	572	703

ごみ処理(北信保健衛生施設組合)(生活環境グループ)

予算事業名：ごみ処理経費

当初予算額 94,461,000 円 最終予算額 92,721,000 円 決算額 92,719,000 円

ごみ処理(可燃、埋立、資源物(缶・金属、PET、ガラスビン、白色トレイ)の一部)は、小布施町・中野市・山ノ内町・飯綱町・長野市豊野町で構成する北信保健衛生施設組合(東山クリーンセンター、不燃物処理センター)で行いました。

(1) 主な支出

- ・北信保健衛生施設組合負担金 9,272 万円

(2) 活動指標

北信保健衛生施設組合

焼却処理稼働日数 339 日
 圧縮・破砕処理稼働日数 238 日

(3) 成果指標

(ごみの収集の欄を参照)

し尿処理(須高行政事務組合)(生活環境グループ)

予算事業名：し尿処理経費

当初予算額 26,752,000 円 最終予算額 26,291,000 円 決算額 26,291,000 円

し尿処理は、小布施町・須崎市・高山村で構成する須高行政事務組合(須高衛生センター)で行いました。

(1) 主な支出

- ・須高行政事務組合負担金(し尿処理費負担金) 2,394 万円
- ・須高行政事務組合負担金(議会総務費負担金) 235 万円

(2) 活動指標

須高行政事務組合須高衛生センター(小布施町処理分)

稼働日数 365 日 し尿収集量 971 k1
 焼却処理日数 100 日 浄化槽汚泥収集量 126 k1 総収集量 1,097 k1

(3) 成果指標

- ・し尿処理量の推移 (単位：k1)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
1,821	1,594	1,352	1,097	971

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																																																																																								
5			農林水産業費	229,709,947																																																																																									
	1		農業費	223,953,512																																																																																									
		1	農業委員会費	13,154,137				決算事項別明細書	P48～																																																																																				
農業委員会の運営(産業振興グループ)					予算事業名：農業委員会運営費																																																																																								
当初予算額 4,510,000円 最終予算額 4,510,000円					決算額 4,404,240円																																																																																								
<p>農地の適正利用や転用許可の審議等の農地法に基づく活動、農地の遊休荒廃化の防止や作物の適地適作の推進など、農業振興の推進及び町農業施策のあるべき方向について研究を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業委員報酬 385万円 ・須高地区農業委員会協議会負担金 11万円 ・臨時職員賃金 41万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業委員 15人（公選12人、選任3人） 任期：平成15年5月13日～平成18年5月12日 平成18年5月13日～平成21年5月12日 ・定例総会の開催（毎月1回） ・遊休荒廃農地対策 <ul style="list-style-type: none"> 町内一斉調査の実施 10月 確認面積 約14.8ha 遊休荒廃農地に係る農家意向調査（平成19年2月） ・委員研修事業 <ul style="list-style-type: none"> 須高地区農業委員会協議会研修会「野生動物被害の対策について」 平成19年2月26日 研修会開催（参加者15人） ・農地法等所管事務件数 																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">案件名</th> <th rowspan="2">件数</th> <th colspan="3">面積（㎡）</th> </tr> <tr> <th>田</th> <th>畑</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地法第3条第1項（所有権移転）</td> <td>16</td> <td>13,305</td> <td>19,873</td> <td>33,178</td> </tr> <tr> <td>（賃借権設定）</td> <td>5</td> <td>1,169</td> <td>5,340</td> <td>6,509</td> </tr> <tr> <td>（使用貸借権設定）</td> <td>3</td> <td></td> <td>9,806</td> <td>9,806</td> </tr> <tr> <td>農地法第4条第1項</td> <td>4</td> <td></td> <td>1,204</td> <td>1,204</td> </tr> <tr> <td>農地法第5条第1項（所有権移転）</td> <td>8</td> <td></td> <td>5,527</td> <td>5,527</td> </tr> <tr> <td>（賃借権設定）</td> <td>1</td> <td></td> <td>1,323</td> <td>1,323</td> </tr> <tr> <td>（使用貸借権設定）</td> <td>3</td> <td></td> <td>1,047</td> <td>1,047</td> </tr> <tr> <td>農地法第20条第6項（合意解約）</td> <td>2</td> <td>2,083</td> <td>3,230</td> <td>5,313</td> </tr> <tr> <td>農地法第4条第1項第5号</td> <td>1</td> <td></td> <td>74</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>農地法第5条第1項第3号</td> <td>9</td> <td></td> <td>3,239</td> <td>3,239</td> </tr> </tbody> </table> <p>（参考：振興地域整備促進事業）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>許可年月日</th> <th>農振農用地編入</th> <th>農振農用地除外</th> <th>用途区分の変更</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成18年4月20日</td> <td></td> <td></td> <td>1件 199㎡</td> </tr> <tr> <td>平成18年6月8日</td> <td></td> <td>2件 2,752㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成18年8月15日</td> <td></td> <td>1件 450㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成18年10月12日</td> <td></td> <td></td> <td>1件 198㎡</td> </tr> <tr> <td>平成18年10月31日</td> <td></td> <td></td> <td>2件 140㎡</td> </tr> <tr> <td>平成18年12月13日</td> <td></td> <td>1件 466㎡</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								案件名	件数	面積（㎡）			田	畑	計	農地法第3条第1項（所有権移転）	16	13,305	19,873	33,178	（賃借権設定）	5	1,169	5,340	6,509	（使用貸借権設定）	3		9,806	9,806	農地法第4条第1項	4		1,204	1,204	農地法第5条第1項（所有権移転）	8		5,527	5,527	（賃借権設定）	1		1,323	1,323	（使用貸借権設定）	3		1,047	1,047	農地法第20条第6項（合意解約）	2	2,083	3,230	5,313	農地法第4条第1項第5号	1		74	74	農地法第5条第1項第3号	9		3,239	3,239	許可年月日	農振農用地編入	農振農用地除外	用途区分の変更	平成18年4月20日			1件 199㎡	平成18年6月8日		2件 2,752㎡		平成18年8月15日		1件 450㎡		平成18年10月12日			1件 198㎡	平成18年10月31日			2件 140㎡	平成18年12月13日		1件 466㎡	
案件名	件数	面積（㎡）																																																																																											
		田	畑	計																																																																																									
農地法第3条第1項（所有権移転）	16	13,305	19,873	33,178																																																																																									
（賃借権設定）	5	1,169	5,340	6,509																																																																																									
（使用貸借権設定）	3		9,806	9,806																																																																																									
農地法第4条第1項	4		1,204	1,204																																																																																									
農地法第5条第1項（所有権移転）	8		5,527	5,527																																																																																									
（賃借権設定）	1		1,323	1,323																																																																																									
（使用貸借権設定）	3		1,047	1,047																																																																																									
農地法第20条第6項（合意解約）	2	2,083	3,230	5,313																																																																																									
農地法第4条第1項第5号	1		74	74																																																																																									
農地法第5条第1項第3号	9		3,239	3,239																																																																																									
許可年月日	農振農用地編入	農振農用地除外	用途区分の変更																																																																																										
平成18年4月20日			1件 199㎡																																																																																										
平成18年6月8日		2件 2,752㎡																																																																																											
平成18年8月15日		1件 450㎡																																																																																											
平成18年10月12日			1件 198㎡																																																																																										
平成18年10月31日			2件 140㎡																																																																																										
平成18年12月13日		1件 466㎡																																																																																											

農地調整事務処理事業

- ・農用地利用集積計画（利用権設定） 17件 32,763 m²
- ・農地保有合理化事業 4件 8,205 m²
- ・各種証明書の発行 49件

(3) 成果指標

- ・農地法等所管事務

案件名	面積(m ²)				
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
農地法第3条第1項 (所有権移転)	14,343	20,726	21,986	14,782	33,178
(賃借権設定)	14,313	17,341	4,150	37,569	6,509
(使用貸借権設定)	69,102	35,939	38,490	1,388	9,806
農地法第4条第1項	838	531	570		1,204
農地法第5条第1項 (所有権移転)	7,300	753	2,314	5,601	5,527
(賃借権設定)	898	974	641	2,963	1,323
(使用貸借権設定)	253	1,370	1,408		1,047
農地法第20条第6項 (合意解約)	39,514	14,939	27,824	30,245	5,313
農地法第4条第1項第5号	4,274	2,452	908	352	74
農地法第5条第1項第3号	9,441	4,523	5,917	4,114	3,239

農地情報の一元管理(産業振興グループ)

予算事業名：農業委員会費

当初予算額 326,000円 最終予算額 326,000円 決算額 157,500円

農業経営の基盤となる農地の利活用について、営農意向データと地図情報を重ねて農地情報の一元化を図りました。

(1) 主な支出

- ・農用地GISシステム保守料 16万円

(2) 活動指標

- ・農地情報、地図情報の管理
農用地GISシステムにより、農地や農家の経営状況などを把握することができ、農地の流動化につなげています。
また、農地法許可書の発行や耕作証明などの窓口業務に活用しています。

職員人件費

予算事業名：一般職員人件費

当初予算額 7,127,000円 最終予算額 8,746,000円 決算額 8,592,397円

(1) 主な支出

- 職員人件費 859万円

2 農業総務費 32,058,842

農地情報の一元管理(産業振興グループ)

予算事業名：農業総務費

当初予算額 367,000円 最終予算額 367,000円 決算額 346,992円

遊休農地を家庭菜園として貸し出しを行いました。

(1) 主な支出

- ・土地借上料 15万円

(2) 活動指標

- ・家庭菜園の貸し出し 66区画×100m²=6,600m²
六川沖東27区画、中条沖19区画、雁田沖20区画

(3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
区画数	66 区画	66 区画	66 区画	66 区画	66 区画
利用者数	32 人	39 人	41 人	42 人	39 人

農業資金の利子への補助(産業振興グループ)

予算事業名：農業総務費

当初予算額 2,929,000 円 最終予算額 2,929,000 円

決算額 2,540,120 円

農業者の経営改善や生産性の向上、合理化を目的に借り入れた資金に対し利子補給を行い、農家経営における経済負担の緩和を図りました。

(1) 主な支出

- ・農業経営基盤強化資金などの利子補給金 233 万円

(2) 活動指標

資金名	資金の内容
農業近代化資金	農業の近代化を図るための構築物、農機具資金
農業経営基盤強化資金	認定農業者が農業経営の改善を図るための資金
農業バックアップ資金	小規模農家等制度資金が利用できない方のための農業資金
認定農業者資金	認定農業者が必要とする農機具等の取得資金

(3) 成果指標

	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	対象者	補給額	対象者	補給額	対象者	補給額
農業近代化資金等利子補給	14人	13万円	10人	16万円	9人	14万円
農業経営基盤強化資金利子補給	11人	165万円	10人	114万円	8人	95万円
農業バックアップ資金利子補給	8人	7万円	7人	5万円	6人	3万円
認定農業者資金利子補給	31人	140万円	31人	134万円	31人	121万円

縁結びの会(労働力補完システム)の運営(産業振興グループ)

予算事業名：農業総務費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円

決算額 0 円

効率的で安定した農業経営体を目指す認定農業者を支援するため、農繁期における農業労働力を確保・提供する、労働力補完システムを町、県農業改良普及センター、JAが連携し運営しました。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

- ・労働力補完システムの実施

「縁結びの会」

農繁期における労働力不足の解消と非農家の新規就農者育成を図るため、農家と非農家の橋渡し（農作業のお手伝い）を行いました。

また、「ぶどう房切り等講習会」の開催による非農家の農業技術の向上を図りました。

(3) 成果指標

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
お手伝い	29人	37人	30人	15人
受入れ農家	29軒	27軒	26軒	15軒

職員人件費

予算事業名：一般職員人件費

当初予算額 40,965,000 円 最終予算額 29,672,000 円

決算額 29,171,730 円

- (1) 主な支出
職員人件費 2,917 万円

3 農業振興費 71,223,698

農作物の有害鳥獣駆除(産業振興グループ) 予算事業名：農業振興費

当初予算額 874,000 円 最終予算額 906,000 円 決算額 876,538 円

増加傾向にある野生鳥獣による農作物への被害を防ぐため、許可を受けた鳥やサル、イノシシ等の駆除を行いました。

- (1) 主な支出
・有害鳥獣駆除事業補助金 73万円
・サル駆除への謝礼 9万円

- (2) 活動指標
・有害鳥獣駆除
7月21日～10月22日(40日間)実施 駆除従事者(猟友会)14人
5月24日～3月31日 サル、イノシシの箱ワナ設置
・野生獣追い払い犬(モンキードッグ) 2頭巡回
・ムクドリ、スズメ、ドバト等 1,335羽駆除
・サル 8匹駆除
・イノシシ 7頭駆除

(3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
鳥類	1,693 羽	1,367 羽	880 羽	880 羽	1,335 羽
サル	10 匹	2 匹	7 匹	7 匹	8 匹
イノシシ	—	—	2 頭	—	7 頭

有害鳥獣対策緩衝帯の整備(産業振興グループ) 予算事業名：農業振興費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

有害鳥獣による農作物等の被害を防ぐため、地域住民やボランティアにより雁田山麓の木を伐採し、野生動物が出にくい環境を整備しました。

- (1) 主な支出 なし
- (2) 活動指標
・下枝・草刈等による里山整備 9月16日実施
実施箇所：岩松院～南方へ約300m区間
参加者：地元農家、JA部会員、ボランティア、町・県職員等100人参加

- (3) 成果指標
野生鳥獣が、畑や果樹園に出没する際、通り道や隠れ家として使われる森林荒廃地や耕作放棄地の解消ができ、里と山の間「緩衝帯」をつくることで、見通しの良い、獣たちが出没しにくい環境をつくることができました。
また、地元住民からも野生鳥獣の出没が減ったとの声があります。

畜産の振興(産業振興グループ) 予算事業名：農業振興費

当初予算額 755,000 円 最終予算額 755,000 円 決算額 754,100 円

畜産の振興と農業所得の向上を図るため、畜産農家が行う子牛の導入経費に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・家畜導入事業補助金 60万円
- ・須高家畜防疫協会負担金 11万円

(2) 活動指標

- ・導入農家数 5戸
- ・黒毛和種 84頭、ホルスタイン 6頭 計90頭

(3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
導入農家数	5 軒	4 軒	5 軒	4 軒	5 軒
黒毛和種	83 頭	82 頭	70 頭	68 頭	84 頭
ホルスタイン	10 頭	7 頭	4 頭	11 頭	6 頭
計	93 頭	89 頭	74 頭	79 頭	90 頭

認定農業者の育成(産業振興グループ)

予算事業名：農業振興費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

効率的で安定した農業経営を目指す「農業経営改善計画」について、関係団体と連携をとりながら認定に係る作成等、認定農業者の支援を行いました。

(1) 主な支出

なし

(2) 活動指標

- ・平成18年度中新規認定者 8人 更新 3人
- ・平成18年度末 認定農業者数 111人

(3) 成果指標

(単位：人)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
新規認定	9	3	1	3	8
更新	31	8	1	24	3
継続	88	120	125	76	100
年度末計	128	131	127	103	111

農作物災害緊急対策への補助(産業振興グループ)

予算事業名：農業振興費

当初予算額 0 円 最終予算額 3,844,000 円 決算額 2,758,215 円

平成18年7月の豪雨により被災した樹木に対する農薬の補助と、凍害によるぶどう改植苗木の補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・豪雨災害薬剤散布補助金 138 万円
- ・凍害苗木購入補助金 134 万円

(2) 活動指標

- ・豪雨災害薬剤散布補助
薬剤散布面積5,016 a、132件（補助率1/2）
- ・ぶどう苗木購入補助
ぶどう苗木（巨峰、ナガノパープル）2,070本、139件（補助率1/2）

農地情報の一元管理(産業振興グループ)

予算事業名：農業施設管理費

当初予算額 224,000 円 最終予算額 224,000 円 決算額 223,750 円

遊休農地を花き栽培施設用地として貸し出しを行いました。

- (1) 主な支出
 ・土地借上料 22 万円

- (2) 活動指標
 ・花き栽培施設用地の貸し出し 2件 2棟

- (3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
貸出数	2 人	2 人	2 人	2 人	2 人
貸出棟数	2 棟	2 棟	2 棟	2 棟	2 棟

6次産業センターの管理運営(産業振興グループ) 予算事業名：農業施設管理費

当初予算額 6,972,000 円 最終予算額 8,975,000 円 決算額 8,972,491 円

6次産業センターを(財)小布施町振興公社に管理委託し、施設を訪れる観光客へのサービス向上努めるとともに、花苗や農産物等の販売拡大を図りました。

- (1) 主な支出
- ・施設管理委託料 520 万円
 - ・土地借上料 173 万円
 - ・加工室衛生仕切設置工事費 100 万円
 - ・備品購入費 加工品検査機 32 万円
 - 果実洗浄機 69 万円

- (2) 活動指標
- ・6次産業センター
 農産物の販売と地場産物を使った加工品販売
 漬物、ジャム、ジュース、菓子、アイスクリーム、小布施産りんご酢の製造

新品種作物等の栽培・研究(産業振興グループ) 予算事業名：農業施設管理費・基本構想推進事業費

当初予算額 10,278,000 円 最終予算額 10,278,000 円 決算額 10,256,994 円

(財)小布施町振興公社に業務を委託し、新品種作物の栽培と販売に取り組みました。

- (1) 主な支出
- ・栽培研究委託料 1,017 万円
 - ・気象観測機設置工事 8 万円

- (2) 活動指標
- ・小布施ブランド野菜テスト栽培

高糖度パプリカ	作付3a	360 本	} 収穫	1,454 kg
アナスタシア ブラック	作付7a	555 本		
レッド及びグリーン	作付9a	1,314 本		
 - ・りんご酢の製造委託 200ml 6,140本 300ml 4,300本

- (3) 成果指標
- ・パプリカについては高品質栽培と安定出荷ができました。
 - ・アナスタシアについて、収穫は良好でしたが販路については検討が必要です。
 - ・小布施産ふじ100%の原酢をオリジナル商品として販売し、好評でした。
 - ・気象観測機(フィールドサーバー)のデータを活用し、有利な販売につなげていきたい。

ふるさと創造館の管理運営(産業振興グループ)

予算事業名：農業施設管理費

当初予算額 1,087,000 円

最終予算額 1,118,000 円

決算額 1,116,866 円

ふるさと創造館を(財)小布施町振興公社に管理委託し、農産加工室の貸し出しや加工作業の指導などを行いました。

(1) 主な支出

- ・土地借上料 93 万円

(2) 活動指標

- ・ジュース、ジャムづくりの指導 78件

(3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
指導件数	113 件	105 件	94 件	71 件	78 件

フローラルガーデンおぶせの管理運営(産業振興グループ)

予算事業名：農業施設管理費

当初予算額 20,882,000 円

最終予算額 24,280,000 円

決算額 24,218,906 円

フローラルガーデンおぶせを(財)小布施町振興公社に管理委託し、6次産業センターと連携し、施設を訪れる観光客へのサービス向上と、花苗の販売拡大や花に関する情報発信を図りました。

(1) 主な支出

- ・管理委託料 1,485 万円
- ・庭園改修工事費など 911 万円

(2) 活動指標

- ・花壇の維持管理
 - 4月 前年秋植栽のパンジー、ビオラ、葉ボタンの手入れ
 - 5月 夏花壇の植栽、マリーゴールド、サルビア、コリウス等1年草を宿根草へ移行
 - 10月 パンジー、ビオラ、葉ボタンの植栽
- ・季節に応じたイベントの開催
 - 5月 春の山野草展 など
 - 6月 第12回サツキ展
 - 7月 第11回富貴ラン展 など
 - 10月 秋の山野草展 など
 - 1月 新春洋ラン展
 - 3月 第14回おもと・春ラン展、クリスマスローズの世界展 など

(3) 成果指標

(単位：人)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
入園者数	50,059	42,307	33,986	30,130	29,553

※平成18年度から中学生以下の入園料は無料のため、カウントされていません。

地産地消の推進と米の生産調整(産業振興グループ)

予算事業名：数量調整円滑化推進事業費

当初予算額 261,000 円

最終予算額 261,000 円

決算額 215,049 円

地産地消として米の消費拡大を図るためイベント等を通じた地元産米のPR活動を行いました。また、主食である米の安定供給を目的に行われる生産調整の、生産者等に対する周知活動を行いました。

(1) 主な支出

- ・消耗品費 22万円

(2) 活動指標

- ・地産地消推進活動
米の消費拡大に向けた小布施産米の学校給食への提供
- ・地元産米のPR
おぶせ六斎市2006での試食用おむすびの配布
- ・小布施町水田農業推進協議会の事務
構成：町、JA、土地改良区、農業改良普及センター、消費者団体等

(3) 成果指標

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
水田面積	216ha	216ha	216ha
作付面積	98ha	120ha	121ha
生産数量	565 t	695 t	704 t
農業者数	899 人	676 人	649 人

農業基本構想の推進(産業振興グループ) 予算事業名：基本構想推進事業費

当初予算額 505,000 円 最終予算額 473,000 円 決算額 201,392 円

農家や農業団体との検討会を開催し、農業基本構想の見直しを行いました。

(1) 主な支出

- ・消耗品費 20万円

(2) 活動指標

- ・農家や農業団体との検討会の開催(3月)
- ・参集範囲 JA、農業委員、土地改良区、認定農業者ほか 参集者10人
- ・県との見直し協議

(3) 成果指標

- ・基本構想の見直しにより、一定条件を満たす一般企業(建設会社、食品会社等)への農地の貸し出しが可能になりました。また、営農類型、所得目標、労働時間の見直しにより、実情にあった経営改善計画書の認定指針としました。

御用聞きサイトの開設(産業振興グループ) 予算事業名：基本構想推進事業費

当初予算額 2,000,000 円 最終予算額 4,000,000 円 決算額 2,322,180 円

町内で生産される農作物などを登録し、消費者ニーズに応えられる産地として情報発信するサイトを立ち上げ、商品販売による起業を図りました。

(1) 主な支出

- ・農業農村紹介ページ作成委託料 158 万円
- ・ショッピングモール構築委託料 65 万円

(2) 活動指標

- ・全農家へ意向調査(11月)
- ・情報掲載希望農家に説明会の開催(1月～3月)
- ・農業農村紹介サイト登録農家数 81 軒

環境にやさしい農業の推進(産業振興グループ) 予算事業名：環境にやさしい農業推進事業費

当初予算額 1,250,000 円 最終予算額 1,117,000 円 決算額 664,728 円

減化学農薬・肥料の実施により、消費者が求める安心・安全な農産物の産地としての確立を図りました。また、環境に配慮した農業生産を行うため、農業用ビニールなどの適切な処理に対し支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・果樹園芸振興対策（環境保全型）事業補助金 39万円
- ・農業用プラスチック処理適正化推進事業補助金 27万円

(2) 活動指標

- ・果樹園芸振興対策
エコファーマー資格を持つ認定農業者（22人）が行う性フェロモン使用に対する補助（補助率2/10）
- ・農業用プラスチック処理適正化推進事業
農業用廃プラスチック、ビニール類の適正処理(リサイクル)に対する補助(補助率1/3以内)
事業主体 JA須高

(3) 成果指標

コンフューザ

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
コンフューザA（りんご）	206,585本 (137.9ha)	204,523本 (136.3ha)	18,860本 (13.2ha)	23,780本 (16.6ha)
コンフューザP（もも）	75,428本 (52.6ha)	74,305本 (49.5ha)	6,230本 (3.7ha)	6,040本 (3.6ha)
コンフューザN（なし）	—	—	—	1,140本 (0.7ha)

農業用プラスチック処理

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
塩化ビニールフィルム	4.8 t	2.3 t	2.6 t	1.8 t
ポリエチレンフィルム	19.4 t	16.7 t	15.5 t	18.5 t

※8月、11月回収実施

新小布施ブランド戦略の推進(産業振興グループ)

予算事業名：新ブランド戦略事業

当初予算額 2,598,000円 最終予算額 2,571,000円 決算額 1,872,789円

多様化する消費者ニーズに応えるため、新たなブランド化を図りました。地域伝統野菜など“小布施でしか手にはいらない物”を新たに小布施ブランドとして確立するよう、振興公社「小布施屋」と連携し情報発信と販売を行いました。

(1) 主な支出

- ・政策顧問活動謝礼 88万円
- ・商標登録謝礼 44万円
- ・旅費 27万円
- ・消耗品 14万円

(2) 活動指標

- ・「小布施屋」ネームの商標登録 登録日：平成18年9月29日
- ・物産展への参加
 - 軽井沢駅「観光物産フェア」 平成18年8月2日～3日
 - 東京日本橋高島屋「グルメフェア」 平成18年8月30日～9月5日
 - 横浜市「信州小布施ふるさと物産展in横浜」 平成18年9月6日～8日

(3) 成果指標

- ・都市消費地で、小布施町の農産物や特産品のPRができました。

新小布施ブランド戦略の推進(産業振興グループ) 予算事業名：新ブランド戦略事業(繰越分)
 当初予算額 0円 最終予算額 16,955,000円 決算額 16,761,000円

新たな小布施の情報発信基地となるよう、地域の食材を使った農村レストラン「OBUSE花屋」の営業を始めました(平成17年度からの繰越事業です)。

(1) 主な支出

- ・管理棟増築工事 1,005万円
- ・厨房機器設置工事 490万円
- ・設計委託料 180万円

(2) 活動指標

- ・OBUSE花屋の運営

(3) 成果指標

- ・OBUSE花屋 喫茶 営業開始 5月1日～ (延べ利用者数 998人)
- ランチ 営業開始 5月19日～ (延べ利用者数 12,632人)
- ディナー 営業開始 6月2日～ (延べ利用者数 2,307人)

信州おぶせ緑のかけ橋まつりの開催(産業振興グループ) 予算事業名：緑のかけ橋まつり事業費
 当初予算額 3,684,000円 最終予算額 9,000円 決算額 8,700円

基幹産業である「農業」を中心に、町内で生産される農産物や商工業製品を広く情報発信する場として信州おぶせ緑のかけ橋まつりを開催しました。平成18年度は「おぶせ六斎市2006」に合わせて実施しました。

(1) 主な支出

- ・消耗品費 0.9万円

(2) 活動指標

- ・収穫祭 12団体(JA、女性農業者団体、緑のかけ橋おぶせ他)
- ・物産交流市 7市町村(川上村、北海道ニセコ町他)
- ・テント 27ブース
- (詳細は、2.1.6の「おぶせ六斎市2006」の開催を参照)

4 フラワーセンター費 30,810,232

フラワーセンターの管理運営(産業振興グループ) 予算事業名：フラワーセンター管理費
 当初予算額 32,087,000円 最終予算額 32,087,000円 決算額 30,810,232円

花産業の振興を図るため、フラワーセンターでプラグ苗の生産を行い、花き農家の育成と販路の拡大を図りました。

(1) 主な支出

- | | |
|---------------|--------------|
| ・嘱託職員報酬 513万円 | ・燃料費 211万円 |
| ・臨時職員賃金 382万円 | ・光熱水費 112万円 |
| ・備品購入費 280万円 | ・種、用土代 530万円 |
| ・消耗品 580万円 | ・借地料 155万円 |
| ・修繕費等 181万円 | ・その他 71万円 |
| ・委託料 66万円 | |

(2) 活動指標

- ・花苗販売 89,962鉢、セル苗生産2,143,347本
- ・マリーゴールド、サルビア、パンジー、ビオラ等花苗のほか、アスパラ等野菜苗の発芽・育苗
- ・地元イベントに合わせフラワーセンター祭を開催(4月16日)
- ・「花苗特売日」による販売促進(毎月第4土・日)

(3) 成果指標

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
販売収入額(万円)	1,630	1,861	2,161	2,265
農家数(戸)	8	8	9	9
セル苗本数(本)	832,133	1,007,146	1,646,796	2,143,347
ポット苗本数(本)	88,628	132,405	108,580	89,962

※農家数は花苗生産者組合の会員数。

5	農地費	22,934,705	
用排水路などの改修(産業振興グループ)			予算事業名：農地対策費
当初予算額	21,734,000円	最終予算額	21,734,000円
			決算額 21,733,523円

農免道路などを整備した際の借入金に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・農道等借入補助 37路線・事業 2,173万円

土地改良事業(産業振興グループ)	予算事業名：農地対策費
当初予算額 1,102,000円	最終予算額 1,222,000円
	決算額 1,201,182円

土地改良区の運営費などの補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・日滝原土地改良区負担金 81万円
- ・長野平土地改良区負担金 26万円
- ・長野県土地改良事業団体連合会負担金 3万円

(2) 活動指標

- ・日滝原土地改良施設維持管理適正化事業
団体営、県営で行った日滝原土地改良施設維持管理適正化事業のうち、市町村割合(小布施町24.51%)による助成
- ・長野平地区国営造成施設管理体制整備促進事業
長野平土地改良区の施設強化事業に伴う市町村割合(0.9%)による助成
- ・長野県土地改良事業団体連合会負担金
平成18年7月の豪雨災害復旧事業に伴う負担金

6	集落排水施設費	15,200,000	
農業集落排水事業特別会計への繰出金(建設水道グループ)			予算事業名：農業集落排水施設費
当初予算額	21,100,000円	最終予算額	19,611,000円
			決算額 15,200,000円

農業集落排水事業特別会計へ、一般会計で負担すべき費用を支出しました。

(1) 主な支出

- ・農業集落排水事業特別会計繰出金 1,520万円

7	農業共済費	38,571,898	
農業共済の促進(産業振興グループ)			予算事業名：農業共済費
当初予算額	26,246,000円	最終予算額	26,246,000円
			決算額 22,097,802円

農業経営の安定を図るため果樹共済に加入した農家に対し、共済掛金の一部補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・果樹共済掛金一部負担金 216万円
- ・家畜基幹診療センター運営負担金 177万円
- ・事務費負担金 1,816万円

(2) 活動指標

引受実績	りんご				
	総合短縮	半相特定 暴風雨	半相特定 2セット	樹園地特定 暴風雨	樹園地特定 2セット
	142 戸 4,951 a	67 戸 2,820 a	20 戸 785 a	3 戸 175 a	12 戸 557 a
	ぶどう総合	なし総合	もも総合	合 計	
	30 戸 862 a	25 戸 465 a	10 戸 196 a	309 戸 10,811 a	

※ 半相殺：農家単位に被害樹園地の減収分について損害を把握する方式

※ 樹園地：樹園地単位に被害樹園地の減収分について損害を把握する方式

(3) 成果指標

		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
りんご	加入戸数	235戸	235戸	238戸	244戸
	加入面積	8,293a	8,530a	9,039a	9,288a
	引受金額	7,500,040円	7,921,941円	8,278,380円	9,233,379円
	支払金額	254,730円	73,849,380円	29,136,020円	53,234,242円
ぶどう	加入戸数	22戸	25戸	28戸	30戸
	加入面積	633a	706a	770a	862a
	引受金額	548,320円	510,378円	549,865円	548,114円
	支払金額	—	2,135,950円	159,040円	—
なし	加入戸数	12戸	19戸	22戸	25戸
	加入面積	218a	345a	407a	465a
	引受金額	213,949円	489,957円	501,257円	526,938円
	支払金額	—	3,309,070円	1,940,590円	155,250円
もも	加入戸数	13戸	12戸	12戸	10戸
	加入面積	239a	239a	236a	196a
	引受金額	185,289円	185,080円	187,768円	137,945円
	支払金額	41,720円	95,670円	12,270円	2,673,520円
合計	加入戸数	282戸	291戸	300戸	309戸
	加入面積	9,383a	9,820a	10,452a	10,811a
	引受金額	8,447,598円	9,107,356円	9,517,278円	10,446,377円
	支払金額	296,450円	79,390,070円	31,247,920円	56,063,012円
加入率		22.2%	22.1%	23.5%	23.7%

職員人件費

予算事業名：一般職員人件費

当初予算額 15,847,000 円

最終予算額 16,816,000 円

決算額 16,474,096 円

(1) 主な支出

職員人件費 1,647 万円

2	林業費	5,756,435
1	林業総務費	5,756,435

決算事項別明細書 P50～

松くい虫の駆除(産業振興グループ)

当初予算額 3,246,000 円 最終予算額 5,863,000 円

予算事業名：林業総務費

決算額 5,756,435 円

多発する松くい虫被害木の駆除、処理を行いました。

(1) 主な支出

- ・松くい虫被害木駆除委託料 552万円

(2) 活動指標

- ・駆除活動の内容 第1次 5月25日～6月30日
第2次 12月14日～12月27日

	第1次駆除		第2次駆除		合計	
	本	m ³	本	m ³	本	m ³
燻蒸処理	184	95.66	185	81.04	369	176.70
破砕処理	11	4.28	0	0	11	4.28
合計	195	99.94	185	81.04	380	180.98

※「燻蒸処理」は松くい虫が潜入している被害木を切断し、ビニールシートで覆い薬剤処理する方法。
(主に被害木の搬出が困難な場所で行います。)

※「破砕処理」は松を搬出し機械などで松を砕いて松くい虫を処理する方法。

(3) 成果指標

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
被害本数	50本	8本	304本	380本
被害量	19.84m ³	10.42m ³	169.28m ³	180.98m ³

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
6		商工費	48,972,919		
1		商工費	48,972,919		
	1	商工総務費	9,244,202	決算事項別明細書 P50～	
商工会事業に対する補助など(産業振興グループ)				予算事業名：商工総務費	
		当初予算額	655,000円	最終予算額	646,000円
		決算額	611,170円		
(1) 主な支出					
・臨時職員賃金 61万円					
職員人件費				予算事業名：一般職員人件費	
		当初予算額	8,562,000円	最終予算額	8,635,000円
		決算額	8,633,032円		
(1) 主な支出					
・職員人件費 863万円					
2		商工振興費	12,388,358		
商工会事業に対する補助など(産業振興グループ)				予算事業名：商工振興費	
		当初予算額	8,219,000円	最終予算額	8,000,000円
		決算額	7,999,460円		
町の商工業の発展のため、商工会が行う事業や伝統行事などに対して補助を行いました。また、雇用の安定及び工場の特定地域への立地誘導を促進するため、奨励金を交付しました。					
(1) 主な支出					
・商工会一般事業補助金 100万円					
・商工会小規模事業補助金 350万円					
・くりんこ祭り実行補助金 60万円					
・安市行事補助金 150万円					
・商工振興奨励補助金 139万円					
(2) 活動指標					
・小布施町商工会 会員数 309人					
		商工会一般事業補助金	商工会事業に対して助成		
		商工会小規模事業補助金	経営指導員に対して助成		
		くりんこ祭り実行補助金	小布施町くりんこ祭り実行委員会を組織し運営 第29回くりんこ祭り 平成18年7月29日 駅前神宮通り 30連/約1,500人参加		
		安市行事補助金	安市 平成19年1月14日～15日 皇大神社ほか		
		商工振興奨励補助金（工場用地等取得事業奨励金）	投下固定資産総額に対応する固定資産税相当額に奨励金を交付 新設 第1年度 100分の100 第2年度 100分の70 第3年度 100分の30 平成18年度 1事業所		
(3) 成果指標					
・商工振興奨励補助金（工場用地等取得事業奨励金）					
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	-	-	-	-	1件
補助金額	-	-	-	-	139万円
商店街の活性化に対する助成(産業振興グループ)				予算事業名：商工振興費	
		当初予算額	50,000円	最終予算額	0円
		決算額	0円		
地域の皆さんに親しまれる商店街をつくるため、商店の団体が行う商店街活性化事業を応援するものですが、応募はありませんでした。					

(1) 主な支出 なし

県制度資金融資保証料の補給(産業振興グループ)

予算事業名：商工振興費

当初予算額 2,500,000円 最終予算額 3,993,000円

決算額 3,980,219円

商工業者が、経営の安定のため運用資金を金融機関から借りる場合の保証料を補給しました。

(1) 主な支出

- ・県制度資金融資保証料補給金 398万円

(2) 活動指標

- ・県中小企業融資制度資金のあっせん及び融資保証料補給(県 1/2、町 1/2)

制度資金名	件数 (単位：件)	融資総額 (単位：万円)	保証料補給額 (単位：万円)
経営健全化不況対策	20	23,400	398
創業支援資金	なし	なし	なし
計	20	23,400	398

(3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	85件	63件	59件	31件	20件
融資総額	5億9,245万円	4億7,050万円	4億448万円	2億9,895万円	2億3,400万円
保証料補給額	954万円	584万円	648万円	465万円	398万円

町中小企業者等一般融資保証料の補給(産業振興グループ)

予算事業名：商工振興費

当初予算額 50,000円 最終予算額 50,000円

決算額 50,000円

商工業者の経営の安定と発展のため、商工業者が金融機関から受けた一般融資に対し、保証料補給金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・町中小企業者等一般融資保証料補給金 5万円

(2) 活動指標

- ・事業経営上必要とする設備資金及び運転資金にかかる保証料補給 3分の1 限度額5万円
- ・平成18年度対象件数 1店舗

(3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	0件	0件	1件	1件	1件
利子補給額	0万円	0万円	5万円	5万円	5万円

商工貯蓄共済融資利子の補給(産業振興グループ)

予算事業名：商工振興費

当初予算額 500,000円 最終予算額 360,000円

決算額 358,679円

商工業者が行う経営の改善に必要な資金の借り入れを円滑に受けられるよう、商工会が行う商工貯蓄還元融資に対し、利子補給金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・商工貯蓄共済融資利子の補給 36万円

(2) 活動指標

- ・商工貯蓄還元融資の利子補給 1000分の24以内
- ・平成18年度対象件数 8事業所

(3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	17件	15件	14件	7件	8件
利子補給額	60万円	56万円	47万円	40万円	36万円

鉄道軌道近代化設備への補助(産業振興グループ)

予算事業名：商工振興費

当初予算額 826,000円 最終予算額 0円 決算額 0円

鉄道事業の近代化を促進し、その経営収支の改善及び保安度の向上を図るために(株)長野電鉄が行う事業に対し補助を行うものですが、平成18年度は(株)長野電鉄が黒字決算となったため支出はありませんでした。

(1) 主な支出 なし

(3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
補助金額	なし	79万円	なし	なし	なし

中心市街地活性化計画の推進(産業振興グループ)

予算事業名：商工振興費

当初予算額 0円 最終予算額 0円 決算額 0円

地域の特性を生かした商店街づくりを行うための資料収集を行いました。

(1) 主な支出 なし

3 観光費 24,382,446

観光案内、観光パンフレットの作成など(産業振興グループ) 予算事業名：観光振興費・観光案内事業費

当初予算額 6,356,000円 最終予算額 6,224,000円 決算額 2,836,796円

美術館など町の見どころを紹介する観光パンフレットを作成し、小布施町の観光情報を全国に向けて発信しました。また、町内散策に利用できる観光マップの作成や案内看板の修理等を行いました。

(1) 主な支出

- ・観光パンフレットの増刷 107万円
- ・観光パンフレットデザイン委託 27万円
- ・観光マップの増刷 61万円
- ・案内看板修繕等 26万円
- ・案内看板用地の借上げ 56万円

(2) 活動指標

- ・観光パンフレットの増刷 20,000部
- ・観光マップの増刷 100,000部、英文3000部
- ・案内看板設置、修繕 5箇所
- ・案内看板用地の借上げ 18看板

(3) 成果指標

- ・観光パンフレット増刷数、観光マップ増刷数 (単位：部)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
パンフレット増刷数	30,000	30,000	50,000	50,000	20,000
観光マップ増刷数	100,000	300,000	330,000	350,000	250,000

小布施文化観光協会などの活動支援(産業振興グループ)

予算事業名：観光振興費

当初予算額 1,150,000 円 最終予算額 1,150,000 円

決算額 1,150,000 円

町の観光資源保護及び観光事業の振興を図るため、小布施文化観光協会などの各種事業に対し補助しました。

(1) 主な支出

- ・小布施文化観光協会補助金 100 万円
- ・ファイヤーフェスティバル補助金 15 万円

(2) 活動指標

- ・小布施文化観光協会会員数 85 会員
 - 総会、理事会及び正副会長会 7 回
 - 主な事業
 - ・県教育委員会子ども情報誌「ホリデー」情報提供
 - ・小布施文化観光協会ホームページ資料収集・編集・メンテナンス
 - ・新聞・各種観光情報誌等への情報提供・広告宣伝
 - ・パンフレット発送（県内外） 1,513 件
 - ・おぶせ大好き倶楽部 県外倶楽部員への観光イベント情報等提供
 - ・「信州ブランドを海外へ」エージェント・マスコミ視察（台湾）
 - ・県観光協会「大人の小径」事業
 - ・北信濃ひな祭り事業
 - ・小布施観光PRポスター作品の募集とコンテストの実施
 - ・地域イベント協力事業
 - 参加事業
 - ・軽井沢・小布施リレー号（しなの鉄道・長野電鉄フリーパススキップ臨時列車）でPR（平成18年4月29日～5月7日、7月15日～11月5日）
 - ・軽井沢駅自由通路での「観光物産フェア」へ出展（平成18年8月2日～3日）
 - ・信州小布施ふるさと物産展in横浜へ出展（平成18年9月6日～8日）
 - 後援・共催等
 - ・長野オリンピック記念長野マラソン（平成18年4月16日）
 - ・日本コリー犬イベント（平成18年6月4日、7月2日）
 - ・小布施国際音楽祭（平成18年7月15日～17日）
 - ・小布施見にマラソン（平成18年7月16日）
 - ・北信濃小布施映画祭（平成18年11月25日～26日）
 - 広域観光の推進
 - ・北信濃河東文化観光圏協議会へ参画
 - ・北信濃観光連盟へ参画
 - ・信州フルーツ王国振興会へ参画
 - その他
 - ・春の連休中の駐車場対策（平成18年4月29日、5月3日～5日） 会員8人出労
 - ・東京小布施会への参加（平成18年11月8日） 会長1人出席

(3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
会員数	79 人	85 人	86 人	90 人	85 人
補助額	140万円	100万円	100万円	100万円	100万円

(単位：件)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
パンフレット送付数	1,813	1,785	2,015	2,252	1,513

- ・個人、旅行会社、ホテル等へ送付（電話、メール問い合わせに対応）

東京小布施会の活動支援(産業振興グループ)

予算事業名：観光振興費

当初予算額 239,000 円 最終予算額 239,000 円

決算額 219,300 円

郷土愛を基調とし、会員相互の親睦を深め、町を語り情報を交換し、ふるさと小布施の発展に寄与するために活動している、小布施町出身で東京近郊在住者で組織する「東京小布施会」の活動を支援しました。

(1) 主な支出

- ・総会記念品 15万円
- ・旅費 7万円

(2) 活動指標

- ・東京小布施会会員数 636人
- ・交流会（総会）平成18年11月8日 東京グリーンパレス 出席者数 85人
 - 第1部 ミニ物産展
 - 第2部 町長による講演会、ソプラノ独唱、落語
 - 第3部 ふるさと交流懇親会

(3) 成果指標

(単位：人)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
会員数	541	553	664	654	636
総会出席者数	145	150	141	118	85

広域観光の推進(産業振興グループ)

予算事業名：観光振興費

当初予算額 549,000 円 最終予算額 549,000 円 決算額 516,865 円

観光振興を点から面へと広げ、地方文化の向上と観光事業の振興と繁栄を図るため、近隣市町村や観光協会で構成する協議会で観光PRなどを行いました。

(1) 主な支出

- ・北信濃河東文化観光圏協議会負担金 1万円
- ・上信越ふるさと街道協議会負担金 1万円
- ・信州北回廊プロジェクト負担金 49万円

(2) 活動指標

- ・北信濃河東文化観光圏協議会
 - 小布施町、長野市、須坂市、高山村、中野市、山ノ内町および各観光協会幹事会等を開催し、今後のあり方について検討会を開催。（年3回開催）
 - 【誘客・宣伝事業】
 - ・会員相互の連携、観光客誘致活動
 - ・各美術館、公共施設等に圏内美術館等のパンフの展示
 - 【観光宣伝資料の配布】
 - ・圏内市町村ガイドマップの配布
- ・上信越ふるさと街道協議会 22構成員（市町村、商工会議所、観光協会）
 - 商工会等の連携による加入路線市町村による広域PRの推進
 - 【観光宣伝事業の推進】
 - ・観光宣伝事業への参加
 - 【広域観光の推進と研究】
 - ・視察研修、講演会
 - 【会員間の研修と交流】
 - ・パンフレット、ポスター配布
 - ・広域観光意見交換会
- ・信州北回廊プロジェクト
 - 小布施町、長野市、須坂市、飯山市、中野市、千曲市、妙高市、山ノ内町、信濃町飯綱町、信州新町、坂城町、野沢温泉村、高山村、小川村 15市町村
 - 地域内の隠れた魅力の再発見、掘り起こしを行い、エリア全体の観光競争力を高め、首都圏に向けた継続的なプロモーションを実施する。
 - 【ブランドマーク商標登録】
 - ・平成19年1月出願（平成19年9月ごろ完了見込）
 - 【公共交通機関を活用した誘客事業】
 - ・信州北回廊パス販売、ふるさと手形割引

【広告宣伝及び誘客促進事業】

- ・新幹線「あさま」車内スッテカー広告掲出
- ・北回廊専用ホームページ開設

ふるさと交流センターなどの管理(産業振興グループ)

予算事業名：観光振興費

当初予算額 524,000 円 最終予算額 524,000 円 決算額 380,503 円

地域の交流の拠点として、また生産者自らが新鮮な農産物等を販売する中で消費者と交流し、町の文化・産業のPRを行う場としてふるさと交流センターの管理運営を行いました。

(1) 主な支出

- ・光熱水費 18万円
- ・委託料 4万円
- ・保険料 11万円
- ・その他 4万円

(2) 活動指標

- ・「栗どっこの会」による栗どっこ市の開催（毎週日曜日）

(3) 成果指標

- ・「栗どっこの会」による栗どっこ市は平成7年から実施し、地元の農産品等を販売しています。
- ・朝市として定着し、地域住民、観光客等に親しまれています。

小布施塾(ボランティアガイド)の活動支援(産業振興グループ)

予算事業名：観光振興費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

町民自らがおもてなしの心で町の観光案内を行う「小布施塾」の自主的な活動を支援しました。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

- ・発足日 平成16年6月21日
- 小布施塾登録者数 塾生数35人、顧問1人、相談役2人
- 観光案内ガイド数 延1,000人 観光案内回数39回
- 研修会の開催 5回 内容：まちづくり、葛飾北斎、小林一茶等に関する研修

町営駐車場の管理運営(産業振興グループ)

予算事業名：駐車場管理費

当初予算額 6,334,000 円 最終予算額 6,334,000 円 決算額 6,040,082 円

町に訪れる観光客が車を止めて街を散策するための拠点として、また行楽期の交通渋滞を解消するため、松村駐車場、小布施南駐車場の管理運営を行いました。

(1) 主な支出

- ・管理人賃金(2人) 158万円
- ・駐車場整理委託料(シルバー人材) 27万円
- ・駐車場清掃、樹木剪定委託料 16万円
- ・駐車場用地借上料 336万円
- ・区画線修繕料 35万円
- ・花壇整備工事 13万円

(2) 活動指標

- ・松村駐車場利用状況

自動車の種別	利用台数(台)	駐車場使用料収入(万円)	参考(平成17年度)(台)
大型車	249	30	530
普通車	15,052	482	13,385

二輪車	119	1	67
計	15,420	513	13,982

松村駐車場 4,872.6 m² 南駐車場 1,479.0 m²

(3) 成果指標

(単位：台)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
松村駐車場	18,871	15,933	12,816	13,982	15,420
東町駐車場 (参考)	21,416	28,444	34,985	33,721	30,542
北斎館駐車場 (参考)	14,539	16,738	14,853	14,709	17,183
計	54,826	61,115	62,654	62,412	63,145

シャトルバスの運行(産業振興グループ)

予算事業名：シャトルバス運行事業費

当初予算額 8,906,000 円 最終予算額 8,951,000 円 決算額 8,679,187 円

町中心部の渋滞緩和やパークアンドウォーク（車は郊外に駐車し、町の中は歩いて移動する）推進のため、町内を周遊するシャトルバスの運行を行いました。

(1) 主な支出

- ・シャトルバス運行事業負担金 806 万円
- ・その他経費 62 万円

(2) 活動指標

- ・運行日数 189日（土・日、祝日、行楽期の平日運行）
- ・運行コース ハイウェイミュージアム⇄小布施駅⇄北斎館入口⇄おぶせミュージアム⇄松村駐車場→おぶせ中国美術館→フローラルガーデン→浄光寺→岩松院
↑ ← ← ← ← ← ← ← ← ← ↓ ↑ ← ← ← ← ← ← ↓
1日7往復
- ・利用者数 個人8,837人、団体600人

(3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
利用者数	9,748人	11,453人	10,355人	10,066人	9,437人
運行日数	186日	188日	180日	186日	189日
便数	191便	198便	187便	197便	205便

アートウォークの開催(産業振興グループ)

予算事業名：アートウォーク事業費

当初予算額 1,536,000 円 最終予算額 1,536,000 円 決算額 826,198 円

町内をゆっくり散策し地域の良さを再発見するアートウォーク事業を開催しました。春は「つれづれウォーク」、秋にはおぶせ六斎市2006のイベントに合わせて「花めぐりウォーク」を開催しました。

(1) 主な支出

- ・つれづれウォーク負担金 70万円
- ・需用費 11万円
- ・その他 2万円

(2) 活動指標

- ・つれづれウォーク 平成18年4月29日 参加者 400人
コース 11km&5km 小布施総合公園～千曲川河川敷～桜堤～オープンガーデン～小布施総合公園

新たに事業の見直しを行い、SBCつれづれウォーク事業とタイアップし実施しました。県内外から多くの参加者があり、春の小布施町を楽しんで歩くことができました。また、オープンガーデンを巡る花めぐりコースも設定し、好評でした。

- ・花めぐりウォーク 平成18年10月29日 参加者 93人
コース 5.5km 小布施総合公園～飯田・山王島オープンガーデン及び飯田・大島お庭拝見巡り
近隣市町村からの参加者も多く、花の愛好家との交流が図られました。

(3)成果指標

- ・アートウォークの経過
平成8年度から実施していますがコース、協力市町村等が変わってきています。
平成8年度～ 高山村と開催
平成13年度～ 山ノ内町、中野市と開催
平成17年度～ SBCと共催し、つれづれ健康ウォークと合わせて開催
- ・参加者の声：きのこ汁や飲み物などの振る舞いをやっていただき、おもてなしが良かった。
オープンガーデンがコースにあって良かった。

オープンガーデンの充実と花仲間交流の推進(産業振興グループ) 予算事業名：花のまちづくり事業費
当初予算額 3,394,000円 最終予算額 3,394,000円 決算額 2,105,052円

町内の全域で花を介した交流が広がるよう、趣旨に賛同いただいたお宅などを来訪者に開放するオープンガーデン事業を実施しました。

(1)主な支出

- ・オープンガーデンブックの作成、印刷 148万円
- ・チラシ作成、ガーデン紹介看板、シール作成等 36万円
- ・花壇修繕費 19万円
- ・販売手数料、花の会費 8万円

(2)活動指標

- ・平成18年度登録件数 61件

(3)成果指標

(単位：件)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
個人	49	53	48	49	43
店舗	2	2	2	2	2
公共	9	12	14	16	16
登録件数	60	67	64	67	61

花のまちづくり町民会議の開催(産業振興グループ) 予算事業名：花のまちづくり事業費
当初予算額 0円 最終予算額 0円 決算額 0円

オープンガーデンやガーデニング大楽校、自治会花壇など意欲的に花づくりに取り組む皆さんの組織化について町職員内で検討しました。

(1)主な支出

なし

(2)活動指標

- 7月 第1回花プラン推進チーム会議(庁舎内会議)
「花のまちづくり推進について」
- 11月 第2回花プラン推進チーム会議(庁舎内会議)
「花の現状と課題について」

花仲間ガーデニング大楽校の開催(産業振興グループ) 予算事業名：ガーデニング大楽校事業費
当初予算額 2,146,000円 最終予算額 2,146,000円 決算額 1,628,463円

楽しく学びながらガーデニング技術を向上させることを目的に、造園や花の分野で多角的に活動している講師を招き講習会や実技等を行うガーデニング大楽校を開催しました。

(1) 主な支出

- ・講師謝礼等 100万円
- ・花代等消耗品 63万円

(2) 活動指標

- ・講習会（講座）開催 5回（5、7、9、11、2月） 受講者数 延65人
- （実習）開催 4回（5、7、9、11月） 受講者数 延47人
- ・善光寺花回廊「小布施コーナー」参加（コンテナ作り） 参加者数 4人

(3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
大楽校開催回数 （講座、実習）	6回	8回	8回	8回	9回
参加者数	232 人	244 人	177 人	192 人	112 人

4 労働諸費 2,957,913

勤労者協議会の活動支援(産業振興グループ)

予算事業名：勤労者対策費

当初予算額 500,000 円 最終予算額 500,000 円 決算額 500,000 円

勤労者協議会が活動を行う地域のボランティア活動や、勤労者の福祉向上を目的に行う事業に補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・勤労者協議会交付金 50 万円

(2) 活動指標

- ・町勤労協駅前駐輪場の管理（毎月第2日曜日の早朝、清掃）
- ・魚のつかみどり大会（8月6日開催 総合公園）
- ・くりんこ祭りイベント参加（7月29日開催 商工会館前）
- ・勤労者の祭典及び「働く人・もの」絵画展（10月29日開催 文化体育館）
- ・町政懇談会（2月24日開催 魚ふさ）町長と勤労協会員が懇談

(3) 成果指標

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
会員数	110世帯	110世帯	70世帯
補助額	54万円	54万円	50万円

県労働金庫への預託など(産業振興グループ)

予算事業名：勤労者対策費

当初予算額 2,327,000 円 最終予算額 2,327,000 円 決算額 2,205,413 円

勤労者に対する生活資金の低融資をしている長野県労働金庫へ、その原資となる預託を行いました。また、勤労者生活資金融資利子補給金等の補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・勤労者生活資金融資預託金 200 万円
- ・勤労者生活資金融資利子補給金 2 万円
- ・中小企業退職金共済加入奨励補助金 7 万円

(2) 活動指標

- ・勤労者生活資金融資
労働金庫 貸付限度額 100万円（5年以内）借受者 2人
- ・中小企業退職金共済加入奨励補助金 5社で23人

(3) 成果指標

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
預託金額	300万円	300万円	200万円	200万円	200万円
借受者	4人	0人	0人	0人	4人

駅前駐輪場の管理(産業振興グループ)

予算事業名：勤労者対策費

当初予算額 315,000 円 最終予算額 315,000 円 決算額 252,500 円

町民の駅利用にかかる便宜を図るため、駅前駐輪場の管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・駅前駐輪場管理賃金 15 万円
- ・修繕料 10 万円

(2) 活動指標

- ・管理委託日数 218日(平日) 夏休み等長期休みは除く
- ・業務内容 駐輪の指導、清掃等
- ・都住駅駐輪場塗装、トタン修理

(3) 成果指標

- ・駐輪場の管理整理により駐輪スペースの有効活用が図られ、歩道等のはみだし駐車等の減少等により美観の保持等が保たれました。なお、駐輪場2階のフラットについては、まちづくり交付金事業で整備しました。(500万円)

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
7			土木費	617,650,398		
	1		土木管理費	49,209,987		
		1	土木総務費	49,209,987		
未登記物件の処理(地域整備グループ)					予算事業名：登記事務費	
当初予算額			266,000円	最終予算額	260,000円	決算額 123,670円
未登記物件の処理として、町有地の有効活用を図るため分筆測量図の作成をしました。						
(1)主な支出						
			・ 町有財産測量図作成業務	11万円		
(2)活動指標						
			・ 分筆測量図作成業務	境界測量、地積測量図		
(3)成果指標						
			・ 適性な地積測量を行い、今後の事業推進に向け正確な登記事務を行っていきます。			
高速交通網の推進(地域整備グループ)					予算事業名：高速道新幹線対策費	
当初予算額			115,000円	最終予算額	115,000円	決算額 63,600円
上信越自動車道飯山上越間の早期4車線化、北陸新幹線長野以北の整備促進などを図るため、各期成同盟会で要望活動等を行いました。						
(1)主な支出						
			・ 北陸新幹線長野県沿線市町村連絡協議会負担金	1万円		
			・ 中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会会費	1万円		
			・ 上信越自動車道須坂・上越間建設促進期成同盟会負担金	2万円		
			・ 上信越自動車道建設促進期成同盟会負担金	2万円		
(2)活動指標						
			・ 上信越自動車道建設促進期成同盟会定期総会			
			平成18年5月25日開催 東京都「赤坂プリンスホテル」			
			【下記項目について決議】			
			1 平成19年度予算の大幅確保により、豊田飯山IC～信濃町IC間4車線化工事の建設促進を図ること。			
			2 豪雪地域の輸送の確保と安全走行の環境整備策を考慮し、信濃町IC～上越JCT間の4車線化整備計画の早期決定を図ること。			
			・ 上信越自動車道須坂・上越間建設促進期成同盟会定期総会			
			平成18年7月7日開催 上越市 ホテル「ハイマート」			
			【下記項目について決議】			
			1 平成19年度予算の大幅確保により、豊田飯山IC～信濃町IC間4車線化工事の建設促進を図ること。			
			2 豪雪地域の輸送の確保と安全走行の環境整備等を考慮し、信濃町IC～上越JCT間の4車線化整備計画の早期決定を図ること。			
			・ 北陸新幹線長野県沿線広域市町村連絡協議会定期総会			
			平成18年5月11日開催 長野市「サンパルテ山王」			
			【下記項目について決議】			
			1 長野・金沢車両基地間の建設を促進し、工期の短縮を図ること。			
			2 白山総合車両基地・敦賀間については、早期着工及び工事実施計画を一括認可し、フル規格での早期整備を図ること。			
			3 平成19年度予算を大幅確保し、建設促進を図ること。			

- 4 建設費の地域負担に対し適切な財源措置を講じること。
 - 5 長野県が北陸新幹線建設時（長野車両基地建設時）の確認書のダムに関する事項について誠意を持って協議し、早急に適切な措置を講じること。
 - 6 並行在来線の健全な経営の確保が図られるよう適切な財源措置を講じること。
 - 7 経営分離される長野以北の並行在来線については、平成9年9月26日の確認書に基づき、長野県が適切な対応を図ること。
- ・中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会通常総会
平成18年8月30日開催 東京都「都道府県開館」

(3) 成果指標

- ・上記決議項目について、関係機関に働きかけ、早期実現を図っていきます。

ETCインターチェンジ恒久設置(地域整備グループ) 予算事業名：ETC専用インターチェンジ事業費
当初予算額 2,759,000 円 最終予算額 7,327,000 円 決算額 6,058,056 円

平成18年10月に、スマートIC（ETC専用インター）を本格導入が決定しました。それに伴い本格導入に関する調査業務委託及び修正設計業務委託をし、県道との交差点工事及び標識設置工事を行っています。なお、県道部分は平成19年度に実施を予定しています。

(1) 主な支出

- ・スマートIC本格導入に関する整備効果調査業務委託 29万円
- ・スマートIC修正設計委託業務 41万円
- ・ETC専用IC関連工事 489万円
- ・小布施スマートIC標識工事 24万円

(2) 活動指標

- ・平成18年10月1日 ETC専用のスマートIC本格導入（平成17年4月24日社会実験開始）
- ・規格：上り線・下り線の出入りが可能
- ・利用台数 平成18年 4月： 972台/日
平成18年 6月：1,042台/日
平成18年10月：1,317台/日
平成19年 3月：1,285台/日

(3) 成果指標

- ・本格導入に伴い周辺整備を行い、利用者の利便性を図り、交通安全対策を行っています。

職員人件費 予算事業名：一般職人件費
当初予算額 46,299,000 円 最終予算額 43,499,000 円 決算額 42,964,661 円

(1) 主な支出

- 職員人件費 4,296万円

2	道路橋梁費	103,152,334
1	道路橋梁総務費	222,120

決算事項別明細書 P52～

国・県道の整備促進(建設水道グループ) 予算事業名：道路橋梁総務費
当初予算額 3,844,000 円 最終予算額 3,844,000 円 決算額 222,120 円

国・県道の整備促進のため、関係自治体と期成同盟会を構成し、各種行事や要望活動に参加しました。

(1) 主な支出

- ・国道403号(中野千曲間)整備促進期成同盟会負担金 1万円
- ・(主)豊野南志賀公園線改良促進期成同盟会負担金 1万円
- ・須高土木振興会負担金 14万円

- ・ 村山橋建設促進期成同盟会負担金 2万円
- ・ 千曲大橋建設促進期成同盟会負担金 1万円

(2)活動指標

- ・ 須高土木振興会 平成18年6月 長野県議会要望
平成18年11月 土木職員研修会
平成18年11月 理事者研修会
- ・ 国道403号（中野千曲間）整備促進期成同盟会他3同盟会
年1回の総会、年1回（11月頃）国・県への要望活動

(3)成果指標

- ・ 国道403号（中野千曲間）整備促進期成同盟会
中野市～山ノ内町の4市1町の構成であり、今後も要望を中心に活動
- ・ （主）豊野南志賀公園線改良促進期成同盟会
長野市～千曲市の2市2町1村で構成され、今後も要望を中心に活動
- ・ 村山橋建設促進期成同盟会
平成16年8月に片側2車線（長野市方面）完成。平成20年に完成予定
- ・ 千曲大橋建設促進期成同盟会
架橋促進、県道編入のための陳情・請願。平成18年度は道路構造等調査研究
- ・ 須高土木振興会は今後も同規模で継続

2	道路維持費	90,103,372
---	-------	------------

町道の維持管理(建設水道グループ)		予算事業名：道路維持管理費・道路補修事業費	
当初予算額	6,443,000円	最終予算額	6,708,000円
		決算額	6,470,396円

前年度に行った舗装工事、水路改良工事に係る道路台帳の補正を行いました。また、安全で安心して道路が利用できるように草刈、小修繕を行いました。

(1)主な支出

- ・ 道路台帳の補正委託 273万円
- ・ 草刈等の委託 89万円
- ・ 雪捨場河川法申請測量業務 26万円
- ・ 街路灯などの電気料 35万円
- ・ 道路補修工事 108万円
- ・ 道路補修用砕石 66万円
- ・ 道路補修用資材 5万円

(2)活動指標

- ・ 道路台帳補正 L=4,959.1m
- ・ 雪捨場 A=10,000㎡
- ・ 補修箇所：矢島、栗ガ丘、福原、雁田、松村、六川、伊勢町、中町地区等
転落防止柵 L=31.5m 歩車道境界ブロック L=3.6m 横断防止柵 L=1.5m
甲蓋 6枚 グレーチング 4枚 レンガ工 A=2㎡等
- ・ 道路補修用砕石等の箇所
林共有地、山王島共有地、大島共有地、飯田共有地、北部土木振興会、押羽共有地
雁田自治会、吉島耕作者組合、大正島耕作組合、台湾島耕作組合、中子塚自治会
- ・ 資材の支給箇所：飯田自治会

(3)成果指標

- ・ 道路法第28条に基づき道路台帳を整備、必要な平面図、調書等を作成し適正な道路管理を行っています。

- ・ 雪捨場を千曲川右岸小布施橋上流側に確保しました。
- ・ 道路補修工事は、町道の特に傷みが激しい箇所を優先的に実施しました。
- ・ 道路補修用砕石及び資材の支給は、地域住民によるよろずぶしん事業として実施しました。

除雪及び凍結防止剤の散布(建設水道グループ)

予算事業名：道路維持管理費

当初予算額 13,416,000円 最終予算額 15,872,000円 決算額 9,927,906円

通勤・通学路の除雪と凍結防止剤の散布を民間業者に委託して行いました。県のコモンズ支援事業、宝くじ助成金を活用して、各コミュニティに小型除雪機を配置しました。

(1) 主な支出

- ・ 除雪等機械借上げ 362万円
- ・ 凍結防止剤 59万円
- ・ 小型除雪機購入 572万円

(2) 活動指標

- ・ 除雪：通勤通学路を中心に77.6km、歩道3.9km、駐車場16箇所を除雪。1回出動。
- ・ 凍結防止剤：生活幹線道路、路面凍結が著しい路線13.3kmに散布、400袋購入、8回出動。
- ・ 小型除雪機配置 17台
 - 第1コミュニティ 1台
 - 第2コミュニティ 3台
 - 第3コミュニティ 2台
 - 第4コミュニティ 1台
 - 第5コミュニティ 1台
 - 第6コミュニティ 2台
 - 第7コミュニティ 2台
 - 第8コミュニティ 1台
 - 第9コミュニティ 4台

(3) 成果指標

- ・ 除雪路線以外の町道については、地域住民が地域の除雪を行えるよう小型除雪機を各コミュニティに配置（貸出し）しました。（平成17年度11台、平成18年度17台、計28台を配置）。また、凍結防止剤が必要な自治会には、要望に応じて凍結防止剤をお配りし、地域住民に自主的な散布をお願いしました。

町道の舗装修繕(建設水道グループ)

予算事業名：道路補修事業費

当初予算額 38,000,000円 最終予算額 73,706,000円 決算額 73,705,070円

幅員5.5m以上の生活幹線道路で、路面の傷みが激しい路線の舗装修繕を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 工事請負費 7,364万円

(2) 活動指標

- ・ 修繕工事の実施状況 (単位：万円)

路線名	内容	金額
町道258号線舗装修繕(その1) 工事	L = 240.8m A = 1,223m ²	447
町道258号線舗装修繕(その2) 工事	L = 162.5m A = 1,057m ²	248
町内一円舗装修繕(その1) 工事	A = 3,203m ²	447
町道349号線舗装修繕工事	L = 228.75m A = 1,322m ²	340
交通安全対策舗装修繕工事	L = 117.36m A = 225m ²	133
町内一円緊急舗装修繕工事	8箇所	19
町道177号線舗装修繕工事	L = 164.8m A = 889m ²	310

上町地区緊急舗装修繕工事	A = 5.6㎡	16
町道10号線舗装修繕工事	L = 54.5m A = 120㎡	59
町道337号線舗装修繕工事	L = 44m A = 109.8㎡	22
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その1)工事	L = 116.2m A = 883㎡	317
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その2)工事	L = 110.5m A = 841㎡	463
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その3)工事	L = 100m A = 752㎡	272
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その4)工事	L = 100m A = 765㎡	439
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その5)工事	L = 100m A = 810㎡	317
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その6)工事	L = 108m A = 822㎡	344
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その7)工事	L = 100m A = 758㎡	415
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その8)工事	L = 100m A = 760㎡	317
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その9)工事	L = 100m A = 755㎡	432
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その10)工事	L = 100m A = 759㎡	339
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その11)工事	L = 83m A = 688㎡	338
町道75号線舗装修繕(唐沢)工事	L = 22m A = 129㎡	105
町道182号線舗装修繕(中郷)工事	L = 73.8m A = 412㎡	179
町道320号線舗装修繕(三本木)工事	L = 73m A = 211㎡	110
町道339号線舗装修繕(大道上)工事	L = 28.9m A = 649㎡	310
町道358号線舗装修繕(庚申道上)工事	L = 15m A = 102㎡	42
町道358号線舗装修繕(西側屋敷)工事	L = 42.5m A = 391㎡	147
町道109号線舗装修繕(伊勢町西側)工事	L = 45m A = 317㎡	122
町道671号線舗装修繕(唐沢)工事	L = 109.35m A = 722㎡	315
計		7,364

※ L : 延長、A : 面積です。

(3) 成果指標

・5年間の実施状況

(単位：万円)

年度	箇所数	内 容	金額
14	13	L = 1,469.5m A = 10,841㎡	4,115
15	22	L = 2,110.9m A = 16,952㎡	4,094
16	14	L = 1,852.1m A = 14,838㎡	3,118
17	16	L = 1,917.6m A = 13,358㎡	3,721
18	27	L = 2,539.96m A = 19,680.4㎡	7,364

※ L : 延長、A : 面積です。

3 道路新設改良費	1,775,218		
町道の改良・舗装工事(建設水道グループ)		予算事業名：道路新設改良事業費	
当初予算額	1,223,000円	最終予算額	4,216,000円
		決算額	1,775,218円

見通しの悪い林交差点の改良工事を行いました。

(1) 主な支出

- ・用地購入 25万円
- ・交通信号機移設補償 82万円

(2) 活動指標

・改良工事の実施状況

(単位：万円)

路線名	工種	内 容	金額
林交差点改良工事	改良	L = 10.3m A = 12.3㎡	47
林交差点木柵解体工事	改良	木柵解体 一式	20
計			67

※ L : 延長、A : 面積です。

(3) 成果指標

・5年間の実施状況

(単位：万円)

年度	箇所数	内 容	金額
14	7	L=315.5m A=1,771m ²	1,524
15	5	L=584m A=814m ²	1,801
16	3	L=78.3m	890
17	3	L=475.3m A=3,853m ²	391
18	1	L=10.3m A=12.3m ²	67

※ L：延長、A：面積です。

・町道の状況

年度	実延長 (m)	改良済延長 (m)	改良率 (%)	舗装延長 (m)	舗装率 (%)
14	185,860.4	116,336.7	62.6	163,124.9	87.8
15	185,966.1	117,026.7	62.9	163,370.1	87.8
16	185,960.8	119,080.4	64.0	165,685.6	89.1
17	186,458.8	120,702.6	64.7	166,411.4	89.2
18	186,462.6	122,325.6	65.6	167,005.4	89.6

4 橋梁維持費 7,486,959

橋梁の維持管理(建設水道グループ)

予算事業名：橋梁維持管理費

当初予算額 178,000円 最終予算額 178,000円 決算額 100,209円

橋梁の機能を維持するため、必要な管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・街路灯の電気料 9万円
- ・上松川橋街灯修繕 1万円

横断暗渠(地下水路)の修繕(建設水道グループ)

予算事業名：橋梁補修事業費

当初予算額 7,400,000円 最終予算額 7,400,000円 決算額 7,386,750円

老朽化した横断暗渠(地下水路)の修繕を行いました。

(1) 主な支出

- ・橋梁暗渠等修繕工事 739万円

(2) 活動指標

・橋梁暗渠修繕工事の実施状況

(単位：万円)

路線名	内 容	金額
町道296号線横断暗渠修繕工事	横断VS250 L=6m	21
飯田大又橋地覆修繕工事	地覆 L=38m	47
町道258号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=13.7m	92
町道350号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=2m 横断VS400 L=8.7m	76
町道671号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=8m	53
町道100・671号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=9.3m 横断VS1000 L=7.5m	133
町道26号線横断暗渠修繕工事	横断VS400 L=5m 横断VS250 L=5m	53
町道586号線暗渠修繕工事	集水枿 1基	21
町道510号線横断暗渠修繕工事	横断VS250 L=10.3m	50
町道330号線横断暗渠修繕工事	横断VS600 L=10.25m	95
町内一円暗渠修繕(その1)工事	グレーチング 4枚 横断VS250 L=4m	35
町内一円暗渠修繕(その2)工事	グレーチング 8枚 横断VS250 L=2m	63
計		739

(3) 成果指標

・5年間の実施状況

(単位：万円)

年度	箇所数	内 容	金額
14	10	L=15m、グレーチング等	235
15	15	L=43.8m	533
16	9	L=108.7m	739
17	16	L=174.9m グレーチング等	890
18	10	L=91.8m 地覆修繕 グレーチング等	739

5 交通安全対策費 3,564,665

交通安全協会の活動支援(地域整備グループ)

予算事業名：交通安全対策一般経費

当初予算額 100,000 円 最終予算額 100,000 円 決算額 100,000 円

町民みんなの願いである「事故のない明るいまちづくり」を呼びかけ、活発な活動を行っている交通安全協会を支援しました。

(1) 主な支出

・町交通安全協会補助金 10万円

(2) 活動指標

- ・町交通安全協会 会員数：2,987世帯
活動状況：毎月5のつく日（5日、15日、25日）における全町一斉街頭啓発
年間延出役者数：1,800人
街頭啓発箇所数：28カ所 年間日数：31日
- ・高齢者または子どもへの交通安全啓発等の交通安全協会活動
- ・年4回の交通安全運動に合わせた啓発活動

(3) 成果指標

・町内交通事故発生件数の推移

(単位：件)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
発生件数	52	59	51	55	55
死亡事故件数	0	0	0	1	2

・シートベルト着用率（7月調査）の推移

(単位：%)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総合着用率	81.3	85.4	85.6	92.9	89.7
県下平均	84.6	87.9	91.0	93.7	95.5
順位	83位/120市町村	90位/118市町村	109位/117市町村	66位/102市町村	76位/79市町村

交通災害共済の推進(地域整備グループ)

予算事業名：交通安全対策一般経費

当初予算額 400,000 円 最終予算額 400,000 円 決算額 373,240 円

交通事故に遭ってしまった人を救済するため、北信地域町村交通災害共済への加入促進を行い、取りまとめに協力いただいた各自治会に交付金を支払いました。

(1) 主な支出

- ・交通災害共済推進交付金（28自治会） 28万円
- ・交通災害共済業務電算処理委託 10万円

(2) 活動指標

- ・加入人数 9,704人（加入率82.7%）
- ・見舞金給付人数 26人

・見舞金給付額 278万円

(3)成果指標

・加入人数と加入率の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
加入人数	10,120人	9,920人	9,704人
加入率	89.1%	87.0%	82.7%

安全な交通環境の維持と交通事故防止(地域整備グループ)

予算事業名：交通安全対策一般経費・交通安全施設設置費

当初予算額 2,828,000円 最終予算額 3,002,000円 決算額 2,965,285円

道路反射鏡などの交通安全施設の設置や修繕など維持管理を行い、安全に通行できる環境を整えました。また、町の行事では、車輛の誘導を行い、交通事故防止対策を行いました。

(1)主な支出

- ・反射鏡等の設置・修繕 248万円
- ・諸行事街頭警備委託 10万円

(2)活動指標

- ・反射鏡等設置 13カ所
- ・デリネータ等修繕 2カ所
- ・町主催行事の交通安全警戒委託(安協実施) 4行事(安市、くりんこ祭り、ロードレース大会、元旦歩き走り初め会) 延46人出動

(3)成果指標

- ・自治会からの設置要望箇所、老朽化の著しい箇所を中心に設置し、交差点等の見通しを改善するなど、交通事故防止を図りました。

違法駐車に対する指導(地域整備グループ)

予算事業名：違法駐車指導事業費

当初予算額 358,000円 最終予算額 184,000円 決算額 126,140円

行楽期に北斎館周辺に駐車指導員を配置し、違法駐車をなくすため駐車場への案内をするなど、より安全に通行できる環境づくりに取り組みました。また、観光案内としての役割も担いました。

(1)主な支出

- ・駐車指導員への謝礼 12万円

(2)活動指標

- ・駐車指導員数 9人
 - ゴールデンウィーク 5日実施 延べ18人出動 駐車指導件数：0件
 - 秋の観光シーズン中 5日実施 延べ16人出動 駐車指導件数：1件

(3)成果指標

- ・駐車場が整備され、違法駐車は減ってきていますが、駐車指導員の活動内容は駐車場の案内、観光案内が主業務となってきました。

3	河川費	21,383,734
1	河川総務費	433,870

決算事項別明細書 P53～

河川の整備促進(建設水道グループ)

予算事業名：河川総務費

当初予算額 491,000円 最終予算額 616,000円 決算額 433,870円

国・県が管理する一級河川の整備を促進するため、関係自治体と期成同盟会を構成し、各種行事や要望活動に参加しました。

(1)主な支出

- ・ 浅川改修期成同盟会負担金 1万円
- ・ 千曲川改修期成同盟会負担金 4万円
- ・ 篠井川改修促進期成同盟会負担金 5万円
- ・ 須高地区治水砂防事業促進期成同盟会負担金 27万円

(2)活動指標

- ・ 浅川改修期成同盟会
平成18年5月 総会 長野県へ要望活動
- ・ 千曲川改修期成同盟会
平成18年7月 総会 北陸地方整備局へ要望活動
平成18年7月 国土交通省、財務省、国会議員へ要望活動
平成18年10月 長野県意見交換会へ参加
- ・ 篠井川改修促進期成同盟会
平成18年6月 千曲川河川事務所へ要望活動
平成18年7月 北陸地方整備局へ要望活動
平成18年7月 国土交通省、財務省、国会議員へ要望活動
平成18年8月 総会
- ・ 須高地区治水砂防事業促進期成同盟会
平成18年6月 全国治水大会へ参加
平成18年7月 総会
平成18年11月 全国大会に併せ国会議員へ要望活動

(3)成果指標

- ・ 浅川改修期成同盟会
改修計画が再び動きだしており、未改修箇所の整備促進、内水対策ができるよう要望しています。
- ・ 千曲川改修期成同盟会
百々川樋門改修事業について、平成18年度着工になりました。
- ・ 篠井川改修促進期成同盟会
ポンプの増設については、継続して要望しています。
- ・ 須高地区治水砂防事業促進期成同盟会
深沢川、松川の河川改修を要望しています。

2	河川水路維持費	3,538,072			
河川の維持管理(建設水道グループ)			予算事業名：河川維持管理費		
当初予算額	668,000円	最終予算額	668,000円	決算額	513,044円

県が管理する一級河川深沢川の愛護活動を行っている団体に対し、助成を行いました。また、平成18年7月の梅雨前線豪雨により被害を受けた千曲川堤外地の堆積土砂の撤去、松川取水口の土砂整正を行いました。

(1)主な支出

- ・ 深沢川維持管理組合交付金 15万円
- ・ 土砂等除去機械の借上げ 14万円

(2)活動指標

- ・ 深沢川維持管理組合
7月9日 藻払い及び草刈 250人出労
- ・ 千曲川右岸堤外地の堆積土砂の撤去を行いました。
- ・ 松川取水口の土砂整正を行いました。

(3)成果指標

- ・ 地域住民の皆さんのご協力により良好な河川環境が維持されています。
- ・ 松川から安定した取水の確保に努めています。

水路の維持管理(建設水道グループ)

予算事業名：水路維持管理費

当初予算額 1,783,000 円 最終予算額 2,567,000 円 決算額 2,566,356 円

水路の機能を維持するため必要な管理を行いました。また、よろずぶしん事業で自治会の皆さんに水路の蓋かけにご協力いただきました。

(1)主な支出

- ・ 清掃業務の委託 142万円
- ・ 土砂等除去機械の借上げ 60万円
- ・ 水路の修繕 38万円
- ・ よろずぶしん事業資材購入 46万円

(2)活動指標

- ・ 大島大排水路、大島横断暗渠、北部東西線横断暗渠、横町暗渠、伊勢町暗渠、中条横断暗渠、二ノ口水門等の清掃
- ・ 松川水門ピット、大島大排水路の土砂撤去
- ・ 山王島水路、松の実水路、雁田水路、水上水路、大島水路、千両水路、中条水路等の修繕
- ・ 六川自治会、飯田自治会、中央自治会によるよろずぶしん資材支給

水路の改良と蓋かけ(建設水道グループ)

予算事業名：水路維持管理費

当初予算額 672,000 円 最終予算額 588,000 円 決算額 458,672 円

よろずぶしん事業で自治会の皆さんに水路の蓋かけにご協力いただきました。

(1)主な支出

- ・ よろずぶしん事業資材購入 46万円

(2)活動指標

- ・ 六川自治会、飯田自治会、中央自治会によるよろずぶしん資材を提供

3 | 水路新設改良費 | 14,647,500 |

水路の改良と蓋かけ(建設水道グループ)

予算事業名：水路新設改良事業費

当初予算額 16,680,000 円 最終予算額 18,198,000 円 決算額 12,757,500 円

緊急度・優先度に応じて、町内の水路の改良と蓋かけ工事を行いました。

(1)主な支出

- ・ 工事請負費 1,269万円

(2)活動指標

- ・ 水路改良工事の実施状況 (単位：万円)

路線名	工種	内容	金額
林水路	改良	木柵 L = 40m	145
松村水路	改良	VS300布設 L = 118.2m	329
六川水路	改良	VS300布設 L = 16m	69
矢島水路	改良	甲蓋設置工 L = 174.35m	163
福原水路	改良	嵩上げ L = 145.5m	274
六川水路(その2)	改良	VS300布設 L = 20m	73

松川水路(その2)	改 良	フェンス工	L = 8m	20
福原水路(その2)	改 良	甲蓋設置工	L = 9m	10
押羽水路	改 良	甲蓋設置工	L = 22.5m	146
雁田水路	改 良	VP100布設	L = 14m	17
その他改良 3件				23
計				1,269

(3) 成果指標

・5年間の実施状況 (単位：万円)

年度	箇所数	内容	金額
14	16	L=864.2m	2,290
15	16	L=1,069.5m	2,369
16	11	L=688.1m	2,070
17	12	L=966.7m	2,326
18	14	L=649.6m	1,458

水路の改良と蓋かけ(建設水道グループ)(繰越分)

予算事業名：水路新設改良事業費

当初予算額 0 円 最終予算額 1,890,000 円 決算額 1,890,000 円

水路の改良工事を平成17年度から繰越して実施しました。

(1) 主な支出

・工事請負費 189万円

(2) 活動指標

・水路改良工事の実施状況 (単位：万円)

路線名	工種	内 容	金 額
松村水路(その2)	改 良	VS300布設 L = 82m	189
計			189

4 河川公園費 2,764,292

千曲川河川公園の維持管理(地域整備グループ)

予算事業名：河川公園管理費

当初予算額 3,314,000 円 最終予算額 3,314,000 円 決算額 2,764,292 円

全長4km、600本余の八重桜「一葉」の桜堤と、広大な菜の花畑のある千曲川河川公園を良好な状態で利用していただけるよう維持管理を行いました。

(1) 主な支出

・菜種代(景観用菜種) 27万円
 ・仮設トイレ借上げ(9基) 13万円
 ・千曲川右岸堤防除草業務委託 164万円
 ・千曲川河川公園維持管理委託(山王島黄金島の会) 10万円
 ・千曲川桜堤ライトアップ委託 36万円
 ・公園管理用備品購入(刈払機1台) 3万円

(2) 活動指標

・菜の花畑の拡大と地域住民で組織する「山王島黄金島の会」による委託管理
 ・千曲川河川公園の緑の管理人等による良好な維持管理
 ・4月下旬から5月上旬にかけて桜堤の一部のライトアップと仮設トイレの設置

(3) 成果指標

・菜の花畑の管理を有償ではあるが地域住民で組織する「山王島黄金島の会」で実施しており、地域の公園という意識が高まっています。

- ・ 毎年4月29日の昭和の日に開催される地域住民の主催による「千曲川ふれあい公園まつり」の期間にあわせ、夜桜も楽しんでもらうため桜堤のライトアップを実施しました。また、地域住民により管理された菜の花畑には町民はもちろん、町外からも多くの方々が訪れています。

4	都市計画費	373,699,859	
1	都市計画総務費	69,390	決算事項別明細書 P54～

良好な都市景観・都市計画の推進(地域整備グループ) 予算事業名：都市計画総務費

当初予算額 312,000 円 最終予算額 312,000 円 決算額 69,390 円

市街化調整区域内での一部開発行為の緩和の実施に伴い、景観に配慮した秩序ある土地利用の一層の推進を図るとともに、市街化区域との均衡ある施策の推進を図りました。

(1) 主な支出

- ・ 都市計画協会会費 3万円
- ・ 全国街路事業促進協議会・長野県街路事業促進協議会負担金 1万円
- ・ 県都市施設協会会費及び負担金 1万円
- ・ 関東地方都市美協議会、研修会・情報交換会、参加負担金 1万円

(2) 活動指標

- ・ 都市計画協会等では、市町村担当職員及び関係機関の職員を対象とした研修会の開催や情報の提供を行い、秩序正しい都市計画の推進を図っています。

(3) 成果指標

- ・ 市街化を促進する「市街化区域」、良好な景観（農村風景など）を保全するため市街化を抑制する「市街化調整区域」の均衡ある土地利用（開発指導）を進めています。

2	土地区画整理費	74,150,639	
---	---------	------------	--

東町第二土地区画整理事業の支援(地域整備グループ) 予算事業名：区画整理事業費

当初予算額 10,000,000 円 最終予算額 9,791,000 円 決算額 7,614,200 円

都市計画区域における秩序ある土地利用を推進するため、土地区画整理事業の支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 小布施町東町第二土地区画整理組合補助金 536万円
- ・ 小布施町東町区画道路1号線・町道10号線交差点工事 48万円
- ・ 小布施町東町区画道路1号線交差点取付工事 126万円
- ・ 3.5.15町組松村線交差点改良に伴う実施設計業務委託 44万円

(2) 活動指標

- ・ 小布施町東町第二土地区画整理組合への補助（補助率道路築造費の30%）

(3) 成果指標

- ・ 土地区画整理事業により市街化区域内の良好な土地利用が図られました。

国土調査法に基づく調査(地域整備グループ) 予算事業名：区画整理事業費

当初予算額 1,082,000 円 最終予算額 1,291,000 円 決算額 1,050,000 円

区画整理事業の実施に併せて、国土調査法に定めた測量を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 国土調査法第19条第5項の指定に係る測量業務 105万円

(2)活動指標

- ・小布施町東町第二土地区画整理組合が施工した土地区画整理事業地の土地の地積測量から、国土調査の成果と同様に扱われるための指定を受ける申請業務及び測量業務を委託しました。

(3)成果指標

- ・国土調査法第19条第5項の指定に係る測量業務の実施により正確な地籍の把握ができ、今後の適正な町土維持が図れます。

森の駐車場の整備(地域整備グループ)

予算事業名：森の駐車場整備事業費

当初予算額 100,000,000 円 最終予算額 79,000,000 円 決算額 65,485,439 円

街中の渋滞緩和により歩行者の安全確保と観光交通の適正化を図るため、「森の駐車場」整備に着手しました。駐車場は町民の皆さんの憩いと安らぎの空間ともなる「森」のイメージを持つ、景観に配慮したものを計画しました。平成18年度は、駐車場用地を購入しました。

(1)主な支出

- ・地方道路交付金事業に伴う実施設計委託 179万円
- ・駐車場用地購入 6,231万円 (1,101万円は翌年度へ繰越し)

(2)活動指標

- ・森のイメージを大切にしたい駐車場の全体の実実施設計委託 (駐車台数45台、面積2,940.49㎡)
- ・個人分用地買収分 (1,333㎡ 地権者2人)

(3)成果指標

- ・平成20年度の開設に向け、駐車場機能だけでなく、町民の皆さんの憩いの場となるよう、「森」のイメージを大切にしたい整備を進めます。

3 公共下水道費 278,000,000

下水道事業特別会計への繰出金(建設水道グループ)

予算事業名：公共下水道費

当初予算額 322,200,000 円 最終予算額 291,425,000 円 決算額 278,000,000 円

公共下水道事業の運営を行ううえで一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。

(1)主な支出

- ・公共下水道事業特別会計繰出金 2億7,800万円

(2)活動指標

- ・雨水経費分 1億7,880万円
- ・汚水経費分 9,920万円

(3)成果指標

- ・下水道事業の内容については、下水道事業特別会計を参照

4 公園費 21,479,830

冒険の森などの維持管理(地域整備グループ)

予算事業名：都市公園管理費・都市公園整備事業費

当初予算額 2,824,000 円 最終予算額 2,824,000 円 決算額 1,916,644 円

地域住民の憩いの場として整備された都市公園(街区公園)の冒険の森、逢瀬公園、福原公園などを良好な状態で利用できるよう維持管理を行いました。

(1)主な支出

- ・街区公園野外卓等整備工事 76万円
- ・光熱水費 19万円
- ・街区公園遊具等修繕 22万円

- ・街区公園草取り・トイレ清掃委託（シルバー人材センター） 9万円
- ・岩松院ふるさとゾーン清掃・除草委託 24万円
- ・公園用地借上料 23万円

(2)活動指標

- ・街区公園の維持管理
- ・ベンチ5台、野外卓ベンチ3台（冒険の森、岩松院公園）の整備

(3)成果指標

- ・街区公園内の老朽化した野外卓等を更新・設置するとともに、利用しやすいよう管理に努めました。

小布施総合公園の維持管理(地域整備グループ) 予算事業名：都市公園管理費・総合公園整備事業費
当初予算額 25,576,000円 最終予算額 26,626,000円 決算額 19,563,186円

町民、また来訪者の憩いの場として多くの方々にご利用いただいている小布施総合公園の除草等、維持管理を行いました。

(1)主な支出

- ・緑の管理人賃金（7人） 625万円
- ・光熱水費 485万円
- ・公園内施設及び管理用機材修繕 201万円
- ・小布施総合公園噴水設備保守点検委託 210万円
- ・小布施総合公園草取り・トイレ清掃委託（シルバー人材センター） 45万円
- ・松くい虫被害木駆除業務委託（長野森林組合） 9万円
- ・ハイウェイオアシス管理委託（東日本高速道路 株式会社） 15万円
- ・土地借上料（デイキャンプ場） 33万円
- ・公園管理用備品購入（刈払機2台） 6万円
- ・都市緑化技術開発機構賛助会員会費 3万円
- ・全国ハイウェイオアシス推進協議会負担金 1万円

(2)活動指標

- ・小布施総合公園の維持管理（緑の管理人による公園内の清掃、管理、整備等）
- ・公園内施設の業者委託及び修繕（機械器具の保守点検、電灯取替等）

(3)成果指標

- ・公園施設利用状況

施設区分	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度
野外ステージ（有償利用）	件	2	6	6
マレットゴルフ場	人	3,827	6,166	8,826
（うち有償利用者）	人	931	1,132	3,840
パターゴルフ場	人	211	256	84

5	まちづくり費	69,784,612
1	まちづくり総務費	2,169,688

決算事項別明細書 P55～

雨水貯留タンクの設置に対する助成(地域整備グループ) 予算事業名：まちづくり総務費
当初予算額 200,000円 最終予算額 200,000円 決算額 41,000円

水資源の保全や水路の氾濫防止を図りながら快適な住環境を創造することを目的に、雨水貯留タンクの設置費用の一部を助成しました。

(1)主な支出

- ・雨水貯留タンク設置助成金 4万円

(2)活動指標

- ・助成件数 3件

助成対象

次のすべてに該当するもの

- ・住宅用地（事業用地）内に設置するもの
- ・貯留量が150リットル以上で、雨どいに接続されているもの
- ・雨水貯留以外の目的に使用しないこと

助成額

雨水貯留タンク購入に要する経費の1/2以内で限度額2万円

ただし、1戸（事業所）につき1回

(3)成果指標

- ・助成実績の推移

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
助成件数	1件	7件	4件	5件	3件
助成金額	10,000円	126,000円	53,000円	100,000円	41,000円

※平成14年度から制度を適用（平成14年度のみ限度額1万円）

まちづくりデザイン委員会の充実(地域整備グループ)

予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 788,000円 最終予算額 788,000円 決算額 78,554円

平成18年度に改正された「小布施町うるおいのある美しいまちづくり条例」による優良な景観建築物等の認定制度及び屋外広告物設置禁止区域の指定などについて、良好な景観づくりを推進するために委員会を開催しました。

(1)主な支出

- ・委員報酬 2万円
- ・特別委員謝礼 6万円

(2)活動指標

- ・まちづくりデザイン委員会開催 平成19年3月22日開催

- ① 屋外広告物設置禁止区域の指定
- ② 優良な景観建築物等の認定制度の今後の進め方等

(3)成果指標

- ・審議及び意見を聞き、今後の施策の推進方策を決定しました。

まちづくり講習会の開催など(地域整備グループ)

予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 710,000円 最終予算額 1,669,000円 決算額 597,359円

「わたしのすきなふるさとのけしき絵画コンクール」へ参加するとともに、「美しい景観を創る北信濃シンポジウム」を共催で開催しました。また、地域での講習会として有識者を招いてのシンポジウムを共催で開催しました。

(1)主な支出

- ・絵画コンクール景品 0.2万円
- ・美しい景観を創る北信濃シンポジウムの共催 20万円
- ・臨時職員賃金 38万円
- ・図書購入費等（景観関係） 2万円

(2)活動指標

- ・「わたしのすきなふるさとのけしき絵画コンクール」への参加

- ・美しい景観を創る北信濃シンポジウムの共催
- ・景観の理解と推進を図るため、北信5市町村（小布施、高山、須坂、中野、飯山）と共催し、多様な専門家が集まる「美しい景観を創る会」の主催でシンポジウムを開催しました。

(3)成果指標

- ・景観への取り組みは、これからの小布施町を支えていく子どもたちの成長の段階から必要です。絵画コンクールを通して、自分たちの住む町を再認識することにより景観教育へとつながり、また、保護者も共に景観について関心を持つことが期待されます。

景観に配慮した建築物などへの助成(地域整備グループ) 予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 820,000 円 最終予算額 820,000 円 決算額 400,000 円

町で進める景観形成に協力（配慮）していただいていると認められる建物の新築や、屋外広告物の撤去・改修、生け垣の設置に対して、助成金を交付しました。

(1)主な支出

- ・まちづくり事業補助金 40万円

(2)活動指標

- ・住宅・店舗等の新築 2件
- ・生け垣の設置 0件
- ・広告物の撤去・改修 0件
- ・沿道景観（街灯修理） 1件

(3)成果指標

- ・助成金実績

助成区分		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
住宅、店舗等の 新築・増改築	件	5	4	3	2	2
	万円	43	35	30	20	20
広告物の撤 去・改修	件	0	0	0	0	0
	万円	0	0	0	0	0
生け垣の設置	件	0	2	3	1	0
	万円	0	10	18	5	0
沿道景観	件	0	0	0	0	1
	万円	0	0	0	0	20

住まいづくり相談の実施(地域整備グループ) 予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 834,000 円 最終予算額 834,000 円 決算額 527,775 円

景観形成に配慮した住まいづくりを進めるため、住宅の新築・増改築等の相談を受ける「住まいづくり相談所」を開設しました。また、インターネット等による相談も受け付けました。

(1)主な支出

- ・住まいづくり相談員謝礼（2人分） 16万円
- ・政策顧問活動謝礼 37万円

(2)活動指標

- ・住まいづくり相談所開設 毎月第3水曜日 午後2時～4時
 住まいづくり相談員：宮本忠長氏、久保田三代氏

相談内容：住宅の新・増改築に関すること（間取り、下水の接続、段差解消 など）。広告物に関すること（色彩、設置箇所 など）。まちづくり助成金に関すること等

- ・インターネット、FAXによる随時相談窓口の開設 相談件数4件

- ・相談回数：12回、相談件数：38件

(3) 成果指標

- ・相談件数の推移

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
相談件数	26件	14件	16件	12件	38件

- ・住まいづくり相談は、平成元年度より実施しており、建物の形態や配置など、景観づくりの指針「住まいづくりマニュアル」で定める基準に沿ったものに近づくなど、一定の成果が得られていると思われます。また、住まいづくり相談以外でも、開発許可申請及び建築確認申請に際して指導を実施しています。

小布施景観モデル住宅基本計画の策定(地域整備グループ) 予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 1,000,000 円 最終予算額 1,529,000 円 決算額 525,000 円

ハウスメーカー製住宅の建築が増加する中で、小布施町の景観に合ったハウスメーカーによる景観モデル住宅の提案を、民間企業の協力のもと進めました。

(1) 主な支出

- ・小布施景観モデル住宅基本計画の策定委託料 0万円 (100万円は翌年度へ繰越し)
- ・起訴代理委任契約に基づく弁護士報酬 53万円

(2) 活動指標

- ・事業説明会の開催 4回開催
- ・小布施地域型住宅地整備事業に関する基本協定の締結
- ・請願、住民監査請求、裁判に対する対応
- ・裁判による口頭弁論 2回開催

(3) 成果指標

- ・景観に対する理解を求めため、景観モデル住宅整備の計画を実行する施策を進めました。

優良景観建築物等の認定(地域整備グループ) 予算事業名：景観事業費

当初予算額 186,000 円 最終予算額 186,000 円 決算額 0 円

「小布施町うるおいのある美しいまちづくり条例」の改正により、総合的に景観に優れている建築物等を「景観優良建築物等」として認定することとしており、実施に向けた基準等の検討を行いました。

(1) 主な支出

- ・なし

(2) 活動指標

- ・表彰基準の検討

(3) 成果指標

- ・平成2年4月1日から施行した「小布施町うるおいのある美しいまちづくり条例」に基づく表彰「小布施景観賞」は、平成4年度から16年度まで実施しています。

表彰実績 (5カ年分)

平成12年度 建築部門：小布施景観賞 2件、小布施景観奨励賞 1件
 広告物部門：小布施景観賞 2件、小布施景観奨励賞 該当なし
 生け垣・緑化部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 1件
 平成13年度 建築部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 2件
 広告物部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 該当なし
 生け垣・緑化部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 該当なし

平成14年度 建築部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 該当なし
 広告物部門：小布施景観賞・小布施景観奨励賞ともに該当なし
 生け垣・緑化部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 1件
 平成15年度 建築部門：小布施景観賞 2件、小布施景観奨励賞 1件
 広告物部門：小布施景観賞・小布施景観奨励賞ともに該当なし
 生け垣・緑化部門：小布施景観賞 該当なし、小布施景観奨励賞 2件
 平成16年度 建築部門：小布施景観賞 該当なし、小布施景観奨励賞 2件
 広告物部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 該当なし
 生け垣・緑化部門：小布施景観賞・小布施景観奨励賞ともに該当なし

2 まちづくり事業費 14,942,984

栗の木歩道の管理(地域整備グループ) 予算事業名：栗木歩道維持管理費

当初予算額 267,000 円 最終予算額 895,000 円 決算額 894,746 円

町のシンボルでもある「栗木歩道」を安心・安全に利用できるよう、冬期間に滑り止めマットを敷くとともに、凍結防止剤の散布を定期的に行いました。また、県道村山小布施停車場線歩道（小布施駅前南側）の歩道改良工事についての地元説明会を須坂建設事務所とともに行いました。

(1) 主な支出

・栗木歩道修繕 89万円

(2) 活動指標

- ・滑り止め用マット設置箇所 栗の小径・駅前通り南側歩道
- ・凍結防止剤の散布 平均週2回
- ・修繕箇所（中町南交差点樋田宅、小布施堂前、町道605号線）

(3) 成果指標

- ・滑り止めマットの設置、凍結防止剤の散布、老朽化した栗木歩道レンガ部分の張替修理により、歩行者の安全（転倒防止）が図られました。

沿道花壇の管理・整備(地域整備グループ) 予算事業名：沿道花壇維持管理費

当初予算額 11,050,000 円 最終予算額 10,422,000 円 決算額 9,050,738 円

町民や来訪者、道路利用者に潤いと安らぎの空間を提供するため、主要道路の沿道に花壇を設け、良好な花壇の維持管理を行いました。また、町内のボランティア団体が行う沿道花壇整備に対し花苗を提供するとともに、街路町組松村線花壇の管理をしていただける「花壇の里親」を募集し、町民の自主的な管理による協働での花壇整備を行いました。併せて経費の節減を図りました。

(1) 主な支出

・花壇用花苗及び資材等 502万円
 ・国道403号及び県道村山小布施停車場線沿道花壇維持管理委託 403万円

(2) 活動指標

- ・ボランティア団体への花苗の提供 10団体（春夏苗）
- ・フラワーハンギングバスケットの設置：駅前～町中・4月下旬～5月上旬
- ・県道村山小布施停車場線花壇の業者委託：591㎡
- ・国道403号花壇の業者委託：1,110㎡
- ・町内樽花壇の業者委託：35カ所
- ・沿道花壇への宿根草の導入
- ・街路町組松村線花壇の「花壇の里親」との協働による維持管理：31カ所を里親・その他の部分を役場職員が実施

(3)成果指標

- ・ 街路町組松村線花壇の業者委託から「花壇の里親」との協働による管理に移行したことにより、花づくりに対する更なる意識の高揚が図られました（花壇の里親：約30人）。
- ・ 沿道花壇業者委託料の推移
平成15年度 5,775,000円（3工区）
平成16年度 5,754,000円（3工区）
平成17年度 4,200,000円（2工区）
平成18年度 4,030,000円（2工区）

東京理科大学・小布施町まちづくり研究所の活動支援(地域整備グループ)

予算事業名：官学協働のまちづくり事業費

当初予算額 5,000,000円 最終予算額 5,000,000円 決算額 4,997,500円

第2ステージに向けたまちづくり・景観整備を進めるため、地域の特性を生かした景観の研究に優れた実績を持つ東京理科大学と協働で設置した「東京理科大学・小布施町まちづくり研究所」とともに研究を行いました。

(1)主な支出

- ・ 東京理科大学・小布施町まちづくり研究所共同研究委託料 400万円
- ・ 研究所員滞在施設改修工事 99万円

(2)活動指標

- ・ 平成18年8月25日、29日に栗ガ丘小学校児童と「つくろう！ぼくらの土かべ」ワークショップの開催
3年生全クラスと4年生の1クラス 180人余参加
30cm四方の土壁を作成
- ・ 平成18年11月11日：シンポジウム開催 場所 北斎ホール 96人参加
展示・研究報告・シンポジウム 「小布施まちづくりの第2ステージへ」
「身近な場所からの景観づくり～住宅・道空間を中心に」
第1部 研究報告 「小布施の景観要素と養蚕建築」「小布施の道空間」
「小布施の土壁」「景観をつくる住宅」
の4つのテーマに分けて、研究・活動を報告
第2部 シンポジウム 「小布施らしい景観づくりとは～小布施町景観計画を読み解く」
パネラー： 芦原太郎 氏（建築士）、久保田勝士 氏（高山村長）
谷川実 氏（宇多津町長）、市村良三（小布施町長）
進行役： 川向正人 氏（まちづくり研究所長）
- ・ 道空間の研究
里道と赤線 現在の赤線の状況、個々の赤線のデータ整理、沿道の土地の利用状況
回遊性を持つ道空間の検討
- ・ 地域ごとの要素の発見
押羽・雁田・町組の3地区を対象に調査を行い、住民の皆さんとのテーブルディスカッション
や道歩きワークショップを実施しました。
- ・ 小布施の土壁研究
地域特有の素材や技術により作られている土壁の研究を実施
研究内容：土壁の歴史、工夫と材料の変化、近代化の中の土壁
- ・ まちづくり研究所と栗ガ丘小学校ワークショップ
実施日：8月25日 説明会、土づくり 8月29日 まち歩き、小舞かき、土壁塗り
- ・ その他研究
小布施の養蚕建築の研究
景観をつくる住宅研究（農村部における住宅研究）
- ・ 研究所員滞在施設改修工事：旧小布施町交番
工事概要：コミュニケーションルーム、床改修など 工期：平成19年3月19日～3月30日

(3)成果指標

- ・小布施町における地域特有の素材の研究及び小学校との協働によるワークショップにより、子どもたちを交えた研究をすることにより、あらためて小布施町の建築物の歴史的な部分の掘り起こしができ、研究データの蓄積により、今後のまちづくりの推進が期待できます。

3 | 安らぎと交流の空間整備事業費 | 52,671,940 |

無電線化の調査・研究(地域整備グループ) 予算事業名：無電線化推進事業費

当初予算額 92,000 円 最終予算額 92,000 円 決算額 55,020 円

景観形成に大きな影響のある電柱・電線についての無電線化の調査・研究をしました。

(1)主な支出

- ・旅費(相談等) 6万円

(2)活動指標

- ・近隣の無電線化の調査
- ・過去の町内における無電線化の状況把握

(3)成果指標

- ・無電線化の調査を図り、引き続き今後の対応策について検討していきます。

栗の小径歩道の打換え(地域整備グループ) 予算事業名：小径整備事業費

当初予算額 0 円 最終予算額 13,000,000 円 決算額 12,610,500 円

町のシンボリックな位置づけとなっている栗の小径が老朽化等により損傷が見受けられるため、打換えを行いました。

(1)主な支出

- ・小径整備事業 栗の小径(鴻山～小布施堂) 625万円
- ・小径整備事業 おぶせミュージアム横 636万円

(2)活動指標

- ・栗の小径(同上) 延長151.7m 幅員1.3m～2.6m
- ・おぶせミュージアム横 延長153.6m 幅員1m～3m

(3)成果指標

- ・景観に配慮した小径整備を実施し、また、朽化により陥没した箇所等の修理ができ、安全で安心な歩行空間が保たれました。

里道を利用した楽しく歩ける小径の整備(地域整備グループ) 予算事業名：小径整備事業費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

里道を、町外周部の農村風景や地域の魅力を味わいながら散策できる小径として整備するため、調査研究等を行いました。

(1)主な支出

- ・なし

(2)活動指標

- ・国から譲与を受けた法定外公共物(赤線/里道)は町内に約800カ所あります。
- ・平成17年に各自治会に里道の利活用が可能な箇所を確認いただき、これを基に現地調査を行いました。

(3) 成果指標

- ・ 現地調査の結果、小径として整備が可能な箇所、約120カ所を把握しました。平成19年度から地元へ提案するとともに説明会等を開催し、年5～10カ所程度の整備を進めます。

サイクルツアー施設の整備(地域整備グループ)

予算事業名：サイクルツアー推進事業費

当初予算額 37,016,000 円 最終予算額 46,286,000 円 決算額 40,006,420 円

手軽な移動手段である自転車を活用し、サイクリングを楽しみながら、町の魅力を堪能してもらうツーリズム(サイクルツアー)の普及を図るため、イベントを開催するとともにせせらぎ緑道の舗装工事等ルート整備を行いました。

(1) 主な支出

- ・ せせらぎ緑道舗装測量設計業務委託 47万円
- ・ サイクルイベント活動支援の支援運営委託 29万円
- ・ せせらぎ緑道舗装工事 3,337万円
- ・ 小布施町駐輪場床フラット改修工事 500万円

(2) 活動指標

※小布施町は、平成16年に国土交通省から「長野県千曲川地区」としてサイクルツアー推進モデル地区に指定されています。

- ・ パワーウォーキング講習会 7月12日 参加者：約100人
- ・ サイクルツアーコース(緑道) 測量・設計委託
- ・ サイクルツアーコース(緑道) 整備舗装の実施 749.8m 冒険の森～浄光寺

(3) 成果指標

- ・ 環境に優しく、また、手軽な移動手段として注目されている自転車を活用し、サイクルツアー(自転車を利用した新たなツーリズムの普及)を推進し、町外周部を周遊するルートの確立、整備により、誰もが楽しめる憩いの空間整備が図られるとともに、町内の移動手段としての自転車の普及により環境浄化への波及効果が期待されます。

6	住宅費	3,010,507
1	住宅管理費	3,010,507

決算事項別明細書 P56～

町営住宅の維持管理(地域整備グループ)

予算事業名：町営住宅管理費

当初予算額 530,000 円 最終予算額 530,000 円 決算額 419,872 円

修繕など町営住宅の維持に必要な管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 火災保険料 31万円
- ・ 住宅の修繕 6万円

(2) 活動指標

- ・ 玄関修繕等の実施 5件

(3) 成果指標

- ・ 町営住宅管理状況(平成18年度末)
木造14棟 50戸(全戸入居)
- ・ 町営住宅の家賃収納状況 (単位：万円)

	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率(%)
住宅使用料(現年度分)	1,849	1,758	0	91	95.1
住宅使用料(過年度分)	98	45	0	53	45.9
計	1,947	1,803	0	144	92.6

※ 平成18年3月31日現在入居戸数 50戸

平成17年度滞納者数 5人

・町営住宅駐車場使用料収納状況

(単位：万円)

	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率 (%)
駐車場使用料 (現年度分)	159	148	0	12	93.1
駐車場使用料 (過年度分)	11	5	0	5	45.5
計	170	153	0	17	90.0

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績
8			消防費	174,725,514	
	1		消防費	174,725,514	
		1	常備消防費	142,700,000	決算事項別明細書 P56～
須崎市消防署小布施分署の運営(総務グループ)					予算事業名：消防分署運営費
当初予算額 143,940,000円 最終予算額 143,940,000円					決算額 142,700,000円
消防組織法に基づいて市町村に設置される常備消防（消防本部）業務・救急業務を須崎市に委託して運営しました。					
(1) 主な支出					
・消防業務の委託 14,270万円					
主な内容					
人件費 12,356万円					
運営事業費 461万円					
通信指令台・通信備品 813万円					
公債費 591万円					
(2) 活動指標					
・小布施分署 6人/3交代制（計18人）					
① 火災出動					
出動件数		住宅火災件数		損害見積額	
3		2		11,775千円	
② 救急車出動件数					
	交通	急病	一般負傷	転院ほか	計
件数	35	167	32	64	298
③ 広報、予防活動					
・家庭の防火診断（中町 130戸）、独居老人家庭の防火診断（全町 150戸）					
・消防ふれあい広場（10/15 第17回 250人来場）					
・保育園、幼稚園巡回指導（11/7 わかば保育園、11/8 つすみ保育園、11/9 栗ガ丘幼稚園）					
・普通救命講習（6回 148人参加）					
・救急講習（4回 135人参加）					
(3) 成果指標					
・火災出動件数					
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
小布施管内	6	8	6	14	3
・救急出動件数					
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
小布施管内	270	304	347	364	298
2		非常備消防費	30,600,281		
女性防災クラブの運営(総務グループ)					予算事業名：消防団運営費
当初予算額 500,000円 最終予算額 500,000円					決算額 500,000円
地域での火災予防思想の普及徹底を図り、火災の未然防止と初期消火による人命・財産の保護を目的として活動する女性クラブに対する運営に対し支援を行いました。					
(1) 主な支出					
・運営交付金 50万円					

(2)活動指標

- ・女性防災クラブ総会（5/26 事業計画、町総合防災訓練打合せ）
- ・町総合防災訓練（6/4 9訓練会場 65人参加）
- ・合同防災訓練（11/18 新生病院合同防災訓練 20人参加）
- ・ここにこ赤十字健康教室（1/18 千年樹の里 健康福祉センター 10人参加）
- ・消防団出初式へ参加（1/21 松村公園駐車場～北斎ホール 53人参加）
- ・普通救命講習会（2/15、22、3/1 消防団と合同開催 39人参加）

(3)成果指標

- ・救急法、初期消火技術、炊出しの実践等防災意識の高揚と技術の習得を図ることができました。

消防団の運営(総務グループ)

予算事業名：消防団運営費

当初予算額 24,757,000 円 最終予算額 24,757,000 円 決算額 23,037,282 円

住民の生命、身体及び財産を守るため、消防車両（タンク車・ポンプ車）やその施設及び人員を活用して、火災などの災害時に出勤し、消火・防災活動に従事する非常備消防の消防団活動を実施しました。

(1)主な支出

・消防団員の報酬	749 万円
・団員特殊勤務手当	310 万円
・団員退職報償金掛金	315 万円
・団員福祉共済掛金	75 万円
・公務災害補償等共済掛金	39 万円
・消防団員退職報奨金	556 万円
・須高消防協会研修会等負担金	50 万円
・分団運営交付金	37 万円
・消火栓維持管理負担金	60 万円
・消防無線保守管理委託料	21 万円
・技術大会、出初式等の経費	79 万円

(2)活動指標

① 訓練・演習

・月例定期巡回	（毎月第1水曜、年8回実施）	延べ	600人
・礼式、部隊幹部研修会	平成18年5月7日	参加者数	33人
・空中消火訓練	平成18年5月28日	参加者数	33人
・町防災訓練	平成18年6月4日	参加者数	180人
・消防技術大会	平成18年6月25日	参加者数	150人
・千曲川増水のための水防活動	平成18年7月19日	延べ	117人
・合同防災訓練	平成18年11月18日	参加者数	65人
・出初式	平成19年1月21日	参加者数	127人
・救急救命講習会	平成19年2月15日、22日、3月1日	参加者数	43人
② 災害出勤等	3回	延べ	252人

(3)成果指標

- ・町民の生命・財産を守るため、予防活動の強化を図っています。災害や住宅火災時には、小布施分署と協力し、災害被害を最小限に抑えています。

基金(預金)利子の積立て(総務グループ)

予算事業名：消防団運営費

当初予算額 2,000 円 最終予算額 2,000 円 決算額 2,000 円

消防賞じゅつ金を授与するについて財政の健全な運営を図るため、基金の利子の積み立てを行いました。

(1)主な支出	
・消防賞じゅつ金基金利子積立金	0.2万円

職員人件費		予算事業名：一般職人件費	
当初予算額	6,725,000円	最終予算額	7,303,000円
		決算額	7,060,999円

(1)主な支出	
職員人件費	706万円

3	消防施設費	1,148,633
----------	-------	------------------

消防施設などの維持管理(総務グループ)		予算事業名：消防施設管理費	
当初予算額	2,218,000円	最終予算額	2,218,000円
		決算額	1,148,633円

火災や災害時に常時万全の体制で出動等ができるように、消防用指令車、積載車、詰所等の維持管理、修繕等を実施しました。

(1)主な支出	
・消火用ホース、格納庫の購入	44万円
・防火水槽、消防ポール、半鐘修繕料	20万円
・庁舎火災保険料	13万円
・積載車車検、保険料等	38万円

(2)活動指標	
・消防用ホース 8本、ホース格納庫 5台、操法用管槍 2本、給水管等入れ替え	
・各分団詰所の建物災害共済分担金 9箇所	
・小型ポンプ積載車車検 4台(第1分団第1部・第2部・第3部、第2分団第1部)	

4	水防費	276,600
----------	-----	----------------

「川の防災を考える研修会」の開催(総務グループ)		予算事業名：水防費	
当初予算額	305,000円	最終予算額	251,000円
		決算額	46,200円

近年、頻繁に発生している水害を未然に防ぎ、出水や土石流の発生に対し即応できるよう、消防・防災関係者や地域住民が水防についての知識を高め、連携して応急体制がとれるよう須高3市町村合同による「川の防災を考える研修会」を開催しました。

(1)主な支出	
・看板類の作成	5万円

(2)活動指標	
・須高3市町村合同による「川の防災を考える研修会」を開催	
平成18年9月30日(土) 小布施町北斎ホール	
ビデオ上映、講演「平成18年7月豪雨による増水と水防活動」	
講師 千曲川河川事務所長 松原 誠 氏	

(3)成果指標	
・7月豪雨災害もあり非常に関心が高く、約300人の参加があり、災害時の応急体制について学び、住民の水防に対する意識の高揚につながりました。	

水防(総務グループ)		予算事業名：水防費	
当初予算額	70,000円	最終予算額	257,000円
		決算額	230,400円

水防活動に必要な資材を購入しました。また、7月豪雨災害による機材の修繕を行いました。

(1)主な支出	
・飯田排水ポンプ場エンジンポンプ等修繕料	15万円

	<ul style="list-style-type: none"> ・土のう袋、砂等の購入 7万円 <p>(2)活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千曲川増水のための水防活動 平成18年7月19日 <p>(3)成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2分団、本部役員により、合計3回延117人の水防災害復旧作業により水害を防止しました。 (積み土嚢工多数、月の輪工法3カ所)
--	---

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果及び実績
9			教育費	490,096,333	
	1		教育総務費	60,901,247	
		1	教育委員会費	7,117,327	
		2	事務局費	53,517,549	
					決算事項別明細書 P57～
			教育委員会の運営(教育文化グループ)	予算事業名：教育委員会運営費・教育委員会事務局費	
			当初予算額 3,106,000 円	最終予算額 3,106,000 円	決算額 2,656,194 円
町の教育方針の決定や教育委員会規則等の制定など、教育に関する重要な事項を決定しました。					
(1) 主な支出					
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員への報酬(4人) 129万円 ・就学指導委員への報酬など 11万円 ・委員長交際費 11万円 ・各種負担金 9万円 					
(2) 活動指標					
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 定例会12回・臨時会1回(議案15件、協議4件、報告38件) ・教育委員会人事 10月2日開催の臨時会で、教育委員長に野口純一氏を選任、任命 ・心身障害児就学指導委員会 3回開催(うち1回は就学判定会)、判定件数4件(小学校2件、幼稚園・保育園2件) ・いじめ・不登校問題に関する対策委員会 3回開催、小中学校のいじめ、不登校の現状及び対策について 					
			外国人英語教師・助手の配置(教育文化グループ)	予算事業名：外国人英語教師設置費	
			当初予算額 6,364,000 円	最終予算額 5,857,000 円	決算額 5,411,207 円
子どもたちが、英語でコミュニケーションが出来る能力を育成するとともに、外国の生活や文化に関心を深めて国際感覚を高めるため、保育園、幼稚園、小学校、中学校に外国人英語教師を配置しました。また、成人を対象に英語教室を開催しました。					
(1) 主な支出					
<ul style="list-style-type: none"> ・人件費(3人) 528万円 ・旅費 12万円 					
(2) 活動指標					
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での英語指導及び英語教室の講師(年2講座開催) ツチダ・タツノリ(平成17年7月～平成18年7月) ロバート・イラマ(平成18年8月～平成19年8月) ・保育園、幼稚園、小学校での英語指導 ジョセフ・G・ステイプルズ(平成18年8月～平成19年8月) 					
(3) 成果指標					
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校生徒が、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢が見られ、英語力の向上にもつながっています。 ・園児や小学校児童が、歌遊び等に喜んで取り組んだり、友達同士や英語教師と会話をしたりして、コミュニケーション能力を高めようとする姿勢が見られます。 ・公民館の英語教室受講生の皆さんの国際感覚の涵養と英語力の向上が継続的に図られています。 					
			児童生徒の見守り体制の充実(教育文化グループ)	予算事業名：教育委員会事務局費	
			当初予算額 136,000 円	最終予算額 321,000 円	決算額 249,125 円
地域ぐるみで犯罪から子どもたちを守るため、地域住民、自治会、育成会、保護者、学校、警察署、防犯協会などと連携して、不審者が子どもたちに近づきにくい地域づくりを進めました。					

- (1) 主な支出
- ・見守り隊帽子 22万円
 - ・メール配信システム使用料 1万円
- (2) 活動指標
- ・見守り隊(平成18年6月24日発足)登録者 245人
 - ・子どもを守る安心の家登録軒数 82軒
 - ・防犯パトロールの実施(防犯指導員やPTAなど)
 - ・同報無線による毎日の下校時間の周知
 - ・学校での安全教育の充実
- (3) 成果指標
- ・不審者メールの配信 登録数200人、配信数11件
 - ・安全マップの作成

育英金の貸付け(教育文化グループ) 予算事業名：教育委員会事務局費(育英金貸付基金運用事業)

教育の機会均等を図るため、高校生・専門学校生・短期大学生・大学生に対して育英金の貸付けを行いました。

- (1) 活動指標
- ・新規貸し付け 3人
 - ・対象者及び貸付内訳
- | | | | | | |
|---------|----|------------|-----------|----|------------|
| 大学生(公立) | 3人 | 月額 25,000円 | 専門学校生(私立) | 1人 | 月額 35,000円 |
| 大学生(私立) | 7人 | 月額 35,000円 | | | |
- (2) 成果指標
- | | | | |
|----------|--------|-----|------------|
| ・年間貸付金合計 | 平成16年度 | 27人 | 9,155,000円 |
| | 平成17年度 | 18人 | 6,684,000円 |
| | 平成18年度 | 11人 | 4,260,000円 |

基金(貯金)利子の積立て(教育文化グループ) 予算事業名：教育委員会事務局費

当初予算額	29,000円	最終予算額	29,000円	決算額	29,000円
-------	---------	-------	---------	-----	---------

教育文化施設の充実について財政の健全な運営を図るため、また、美術品等を円滑かつ効率的に取得するとともに、住民の芸術文化振興に資するために設置している基金に利子の積立て(繰出し)を行いました。

- (1) 主な支出
- ・教育文化施設基金利子積立金 0.4万円
 - ・芸術文化振興基金利子繰出金 2.5万円

特別職人件費 予算事業名：特別職人件費

当初予算額	12,671,000円	最終予算額	12,679,000円	決算額	12,675,880円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

- (1) 主な支出
- ・特別職人件費 1,267万円

一般職人件費 予算事業名：一般職人件費

当初予算額	37,723,000円	最終予算額	39,869,000円	決算額	39,613,470円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

- (1) 主な支出
- ・職員人件費 3,961万円

3	教職員住宅費	266,371		
教職員住宅の維持管理(教育文化グループ)			予算事業名：教職員住宅管理費	
当初予算額	269,000円	最終予算額	269,000円	決算額 266,371円
町が管理している教職員住宅（水上8戸、栗ガ丘2戸、中央1戸）の適切な維持管理を行いました。				
(1) 主な支出				
・水上教職員住宅のドア修繕等 19万円				
(2) 入居状況				
・水上6戸、栗ガ丘1戸、中央1戸				

2	小学校費	35,304,480		
1	学校管理費	30,734,102		決算事項別明細書 P58～
栗ガ丘小学校の管理運営(教育文化グループ)			予算事業名：小学校管理費	
当初予算額	32,120,000円	最終予算額	32,120,000円	決算額 30,717,522円
学校教育目標「たくましいからだとゆたかな心もち、自ら学び伸びゆく子ども」を基本的なねらいとし、児童に寄せる地域・社会の願いをふまえつつ具体的目標をたて、教育活動を推進しました。				
(1) 主な支出				
・嘱託職員や健康診断に係る医師などへの報酬・賃金 402万円				
・外部講師などへの謝礼 11万円				
・教科用や特別活動用などの消耗品 414万円				
・光熱水費 579万円				
・コンピュータ機器や印刷機器などの使用料 538万円				
・警備保障や火災報知器などの保守管理の委託 215万円				
・施設の修繕 189万円				
・教材備品の購入 32万円				
・各種負担金、交付金 118万円				
・図書の購入 99万円				
・保健検査料や火災保険料等 287万円				
(2) 活動指標				
・学校教育目標を具体化し、小布施町の次代を担うにふさわしい人間を育てるために、教育実践の流れを提示し学校運営を推進しました。				
・総合的な学習の時間に、東京理科大学・小布施町まちづくり研究所との協働ワークショップによる土壁作り、町内の歴史建造物などを巡るふるさと小布施ウォークラリー、巴錦菊栽培、小布施丸ナス作りなど町の特色を生かした活動を地域の方々にご協力いただき行いました。				
(3) 成果指標				
・職員の学校自己評価を行うとともに、平成18年度末に保護者に「教育活動アンケート」を実施しました。アンケート項目20項目中14項目において、17年度より良い評価をいただきました。平成16年度評価の悪かった『コンピュータ等の活用や国際理解教育が進められ、子どもたちの学習に役立っていますか』については、平成17年11月に構築された校内無線LANと同時期に更新されたコンピュータ教室のパソコン機器が、平成18年度も引き続き効果的に活用されました。さらに、平成18年度の2学期より着任している外国人講師により、本格的な英語活動がどの学年も展開され、子どもたちは英語を使って積極的にコミュニケーションをはかるとともにアンケート結果を生かした教育活動を進めました。				

小学校の食育(教育文化グループ)			予算事業名：小学校管理費	
当初予算額	174,000円	最終予算額	174,000円	決算額 16,580円
児童の「食」に対する関心を高める中で、豊かな人間性を育むため、農産物の栽培・収穫・料理体験などを行いました。				

- (1) 主な支出
- ・ 講師への謝礼など 1万円
- (2) 活動指標
- ・ 農作業体験(米作り、大豆作り)
 - ・ 料理体験(おやき作り、味噌作り、豆腐作り)
 - ・ 生活習慣病予防教室
 - ・ 給食の保護者試食会
- (3) 成果指標
- ・ つくる喜びや食べてもらう喜び、作物をつくる楽しさを「農作業体験」や「料理体験」をとおして学びました。

2	教育振興費	4,570,378
---	-------	-----------

栗ガ丘小学校の管理運営(教育文化グループ) 予算事業名：小学校管理費

当初予算額	1,850,000円	最終予算額	1,850,000円	決算額	0円
-------	------------	-------	------------	-----	----

よりきめ細かな学習指導や児童の学校生活の指導を行うため、小学校全学年で30人規模学級を実施しました。

- (1) 主な支出
- ・ なし
- 平成18年度は必要な児童数を確保できたため、教員の人件費が県の負担となり、当初予定していた町の負担はなくなりました。

- (2) 活動指標
- ・ 小学校全学年で30人規模学級を実施 23クラス 706人

- (3) 成果指標
- ・ 学年別学級別児童数 (5月1日現在)

年度 学年	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
1学年	3	102	4	112	4	129
2学年	4	125	3	101	4	110
3学年	4	114	4	123	3	101
4学年	4	125	4	118	4	122
5学年	3	95	4	125	4	121
6学年	3	97	3	98	4	123
計	21	658	22	677	23	706

- ・ 少人数での学級編制により、児童一人ひとりに解る授業を進め、きめ細やかな教育を進めることができました。

学校生活支援員の配置(教育文化グループ) 予算事業名：小学校教育振興費

当初予算額	3,568,000円	最終予算額	3,568,000円	決算額	3,092,650円
-------	------------	-------	------------	-----	------------

学校や家庭で悩みをもつ児童、保護者を対象に相談活動、生活指導を行うことができる生活支援員を配置しました。

- (1) 主な支出
- ・ 支援員への報酬 309万円
- (2) 活動指標
- ・ 不適応児童を生みださないために、生活支援員と全職員で小さな変化を見逃さず早期発見及び状況把握に努め、開かれた学級、好ましい友人関係づくり等を進めました。

- (3) 成果指標
 ・ 不登校児童数は2人でした。(30日以上欠席)

就学の援助など(教育文化グループ) 予算事業名：小学校教育振興費

当初予算額 1,725,000 円 最終予算額 1,725,000 円 決算額 1,477,728 円

経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者を対象に、学用品や給食費などの一部を援助しました。

- (1) 主な支出
 ・ 就学への援助 119 万円 ・ 自律教育就学への奨励 15 万円
- (2) 活動指標
 ・ 認定された児童の保護者へ、一定額の学用品や給食費などを援助費として支給しました。
- (3) 成果指標
 ・ 援助費により等しく教育を受ける権利が保障されました。

3	中学校費	125,003,191
1	学校管理費	121,139,886

決算事項別明細書 P59～

小布施中学校の管理運営(教育文化グループ) 予算事業名：中学校管理費

当初予算額 38,634,000 円 最終予算額 38,634,000 円 決算額 37,271,136 円

「夢・忍耐・思いやり」を学校目標とし、次のとおり取り組みました。

- ① 意欲的で粘り強い追求を通し、基礎基本を踏まえた確かな学力をつける。
- ② 特色ある学校を目指して、清掃・合唱・花づくりを行う。
- ③ 生徒会活動を中心に自主性・自立性を育てるための活動を行う。
- ④ 人権尊重の心と奉仕の心を育て、具体的な行動ができるようにする。
- ⑤ 学校自己評価を活用し、開かれた学校づくりをより一層推進する。

また、小布施の歴史や風土、交流を活かした“小布施らしい”教育を進めました。

- (1) 主な支出
- | | |
|-------------------------|-------|
| ・ 嘱託職員や健康診断に係る医師への報酬・賃金 | 505万円 |
| ・ 教師用教材 | 167万円 |
| ・ 光熱水費 | 681万円 |
| ・ 警備保障、体育館施設等に係る保守管理料 | 600万円 |
| ・ コンピュータ機器や印刷機器等保守管理 | 770万円 |
| ・ 各種負担金、補助金 | 179万円 |
| ・ 保健検査料、火災保険料、通信費等 | 205万円 |
| ・ 修繕費 | 183万円 |
- (2) 活動指標
 ・ 学校教育目標を具体化するために、全校合唱の充実、学校花壇づくり、清掃活動を三本柱にすえて、学校経営を見返し、教育課程の改善を推進しました。
- (3) 成果指標
 ・ 成果と課題を明確にするため、学校評議員会・PTA活動・地域の方々より評価いただき職員の学校自己評価を併せて今後の改善点を具体化しました。

中学校プールの改築(教育文化グループ) 予算事業者名：中学校プール改築事業費

当初予算額 92,550,000 円 最終予算額 83,950,000 円 決算額 83,868,750 円

古くなった中学校プールを全面改築して、生徒が安心、安全に泳げる環境を整備しました。

(1) 主な支出

- ・プールの改築工事費 8,083万円
- ・設計監理委託料 252万円
- ・水道利用加入金など 50万円

中学校プールの概要

- ・プール (25m×13m、6コース、ステンレス製)、附属施設 (トイレ、更衣室、機械室、薬品庫、器具庫)

(2) 活動概要

- ・7月5日竣工式及びプール開き

(3) 成果指標

- ・生徒が怪我等なく安心して水泳授業を行うことができ、また、プール専用出入り口を設け安全にも配慮しました。

2	教育振興費	3,863,305
---	-------	-----------

学校生活支援員の配置(教育文化グループ)

予算事業名: 中学校教育振興費

当初予算額 2,168,000円 最終予算額 2,165,000円 決算額 2,148,000円

学校や家庭で悩みをもつ生徒、保護者を対象に相談活動、生活指導を行うことができる生活支援員を配置しました。

(1) 主な支出

- ・支援員への報酬 214万円

(2) 活動指標

- ・あたたかな人間関係の実現をめざし、学級経営の充実を図りました。
- ・学級担任をサポートするプロジェクトチームを立ち上げ、不登校、教室に入れない生徒へのきめ細やかな対応と支援で指導にあたりました。

(3) 成果指標

- ・不登校生徒数は、4人でした。(30日以上欠席)
- ・上記2年生の不登校生徒3人及び軽度発達障害等により特別な支援が必要な生徒への対応が可能となり「個に応じた支援」が実現されました。

就学の援助など(教育文化グループ)

予算事業名: 中学校教育振興費

当初予算額 1,849,000円 最終予算額 1,852,000円 決算額 1,715,305円

経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者を対象に、学用品や給食費などの一部を援助しました。

(1) 主な支出

- ・就学への援助 136万円
- ・自律教育就学への奨励 18万円
- ・区域外通学の委託 11万円

(2) 活動指標

- ・認定された生徒の保護者へ、一定額の学用品や給食費などを援助費として支給しました。

(3) 成果指標

- ・援助費により等しく教育を受ける権利が保障されました。

4	幼稚園費	37,315,097	
1	幼稚園費	37,315,097	決算事項別明細書 P60～

栗が丘幼稚園の管理運営(教育文化グループ)

予算事業名：幼稚園管理費

当初予算額 39,671,000 円 最終予算額 39,138,000 円 決算額 37,269,350 円

「心身ともに健康でたくましい子どもを育てる」を保育目標とし、保護者・保育園児・小中学校の子どもたちとの交流や地域の人たちとのふれあいを大切にした園の運営を行い、101名の園児が通園しました。

(1) 主な支出

・教諭の人件費(6人)	2,872万円
・臨時職員等の賃金	277万円
・光熱水費	190万円
・教材費	91万円
・駐車場用地の借り上げ	67万円
・保守点検の委託	16万円

(2) 活動指標

・年齢別学級数及び園児数

年 齢	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計
学 級 数	1	2	2	5
園 児 数(人)	25	39	37	101

- ・職員構成 園長1人、教諭5人、事務1人、加配1人
- ・体験を重視した保育の充実〔野菜・花等の栽培・収穫、美術館の利用等〕
- ・地域に開かれた幼稚園づくり〔中学生・地域の人との交流等〕
- ・子育て支援の充実〔親子ふれあい交流日、絵本の読み聞かせの推奨、おはなしの会〕
- ・職員の資質向上〔研究保育、各種研修会参加、視察研修〕

(3) 成果指標

広々とした快適な環境のもと、地域の皆さんとの交流を通じて明るく健やかな園児が育ち、36人の年長児が栗が丘小学校へ、1人が町外小学校へ就学しました。

・卒園児数 (単位：人)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
44	39	43	50	37

幼稚園の食育(教育文化グループ)

予算事業名：幼稚園管理費

当初予算額 66,000 円 最終予算額 66,000 円 決算額 45,747 円

身近な人たちの協力を得ながら年齢に合った食育を進めました。

(1) 主な支出

・野菜・りんごの収穫体験の謝礼2件	0.3万円
・親子クッキング	0.7万円
・畑づくり(種・苗・肥料など)	1.3万円
・すいとん汁大会他	2.3万円

(2) 活動指標

・保育園、幼稚園での食育の推進

回	内容	栗が丘幼稚園	わかば保育園	つすみ保育園
1	紙芝居 「うんちの話」	7月19日(水) 対象園児37人	6月7日(水) 対象園児44人	6月29日(木) 対象園児22人
2	ペープサート 「何を食べたら元気になれる!？」	9月21日(木) 対象園児24人	8月22日(火) 対象園児23人	8月30日(水) 対象園児40人

3	エプロンシアター 「元気なまあちゃん」	11月17日(金) 対象園児24人	10月18日(水) 対象園児31人	11月9日(木) 対象園児14人
4	紙芝居 「やさいのおしゃべり」		12月5日(火) 対象園児17人	12月19日(月) 対象園児12人

- ・ 栄養士・保育士が紙芝居などにより、元気な身体づくりに向けた園児教育を実施しました。
- ・ 食育年間指導計画を作成するとともに、食事時のマナー等の習得を目指しました。
- ・ 野菜の種まきから収穫、調理、会食までの体験活動を身近な人たちの協力を得て体験しました。
- ・ 給食センターを見学し、自分たちが毎日食べている給食ができる過程を勉強しました。

5 社会教育費 164,022,812

1 社会教育総務費 4,343,677

決算事項別明細書 P61～

子ども教育相談(教育文化グループ)

予算事業名：社会教育総務費

当初予算額 44,000 円 最終予算額 44,000 円 決算額 33,333 円

明るく健全な子どもの育成を願い、子どもに関わる諸問題の解決に向けた相談活動を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 相談員への謝礼 3万円

(2) 活動指標

- ・ 相談員 4人
- ・ 場所：北斎ホール相談室
- ・ 年間50回開催 相談件数9件

(3) 成果指標

- ・ 相談件数 (単位：件)

平成16年度	平成17年度	平成18年度
5	5	9

成人式の開催(教育文化グループ)

予算事業名：社会教育総務費

当初予算額 370,000 円 最終予算額 370,000 円 決算額 178,492 円

新成人としての門出を祝福するため、式典と交流会を開催しました。新成人が実行委員会を組織して交流会の企画運営を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 式典記念品 8万円

(2) 活動指標

- ・ 期日：平成19年1月7日
- ・ 場所：北斎ホール
- ・ 対象：133人(出席者119人)

(3) 成果指標

式典では、多くのご来賓の方々からのお祝いや激励の言葉のほか、選挙についての話もあり、出席者の皆さんの成人としての自律を促すことができました。

社会教育委員活動の推進(教育文化グループ)

予算事業名：社会教育総務費

当初予算額 182,000 円 最終予算額 182,000 円 決算額 108,008 円

社会教育に関することを教育委員会に助言する社会教育委員の意見を聞きました。

- (1) 主な支出
 ・委員報酬 2万円
- (2) 活動指標
 ・社会教育委員 6人
 ・社会教育委員会議 5月23日開催
 ・平成17年度主要事業実績報告、平成18年度主要事業について協議
- (3) 成果指標
 ・教育委員会への助言
 「ミセスセミナーの名称に名案がありましたら？」
 内容によっては男性の人も参加いただき、あまり固定化しなくても良いのでは。
 学習意欲があるなら、名称はこだわらなくてもよいのではないかと。

文化協会等の活動の支援(教育文化グループ) 予算事業名：社会教育総務費
 当初予算額 550,000 円 最終予算額 550,000 円 決算額 550,000 円

文化・芸術など次代への継承と活性化を行っている、社会教育関係団体の活動を支援しました。

- (1) 主な支出
 ・社会教育団体補助金等
 町連合婦人会 10万円 町文化協会 45万円
- (2) 活動指標
 ・町連合婦人会の主な活動内容
 子ども教室・わんぱく教室協力 千年樹の里まつり協力 老人福祉保健福祉計画、介護
 保険事業計画懇話会への協力
- ・町文化協会の主な活動内容
 清掃奉仕活動（鴻山館・千波館ほか） カルチャー教室（囲碁、将棋、一弦琴） 芸
 能祭参加 巴錦展 講演会 子ども音楽教室発表会

地域の花づくりの推進(教育文化グループ) 予算事業名：花づくり推進事業費
 当初予算額 1,813,000 円 最終予算額 1,813,000 円 決算額 1,480,928 円

花による地域づくりを進めていただくため、花づくり推進委員会を通じて各自治会に花の苗を配布しました。また、花づくり推進委員会の活動に対して補助を行いました。

- (1) 主な支出
 ・花苗の購入 124万円
 ・花づくり推進委員会交付金 24万円
- (2) 活動指標
 ・花苗の配付 6月10日～11日 27自治会
- (3) 成果指標
 ・花による美しい地域づくりと花づくりを通じた豊かな心の育成が図られている。

職員人件費 予算事業名：一般職人件費
 当初予算額 2,074,000 円 最終予算額 2,074,000 円 決算額 1,992,916 円

- (1) 主な支出
 職員人件費 199万円

2	公民館費	12,452,148		
生涯学習町民の集いの開催(教育文化グループ)			予算事業名：公民館運営費	
当初予算額	341,000円	最終予算額	341,000円	決算額 340,305円
日頃の個人・グループの文化活動やボランティア活動などの成果を発表する機会として、生涯学習町民のつどいを開催し、町民の皆さんの参加と交流を図りました。				
(1) 主な支出				
・菊花展 小屋建方、解体、増設委託料		34万円		
(2) 活動指標				
・生涯学習町民のつどい・第46回総合文化祭				
10月28日・29日	作品展	場所／公民館・北斎ホール・文化体育館		
展示内容等	公民館／写真展・俳句展・陶芸展・短歌展・押し花展 ほか 北斎ホール／盆栽展・絵画展・版画展・手芸展・パッチワーク展 ほか 文化体育館／華道展・勤労展 参加団体等 37			
11月5日	芸能祭	場所／北斎ホール	出演数 22	
10月31日～11月11日	菊花展	場所／皇大神社境内		
公民館分館活動の支援(教育文化グループ)			予算事業名：公民館運営費	
当初予算額	1,828,000円	最終予算額	1,828,000円	決算額 1,483,440円
自治会ごとに設置された公民館の分館活動を推進するため、活動実績に応じた支援を行いました。				
(1) 主な支出				
・分館活動助成		75万円		
・分館長報酬		70万円		
(2) 活動指標				
・補助対象分館事業		119件	分館報発行	55件
(3) 成果指標				
・分館事業数の推移 (単位：件)				
平成16年度	平成17年度	平成18年度		
113	117	119		
公民館の管理運営(教育文化グループ)			予算事業名：公民館運営費	
当初予算額	10,598,000円	最終予算額	10,803,000円	決算額 10,628,403円
各種団体やサークルの活動や会合などで気持ちよくご利用いただけるよう、公民館施設の維持管理を行いました。				
(1) 主な支出				
・職員人件費		1,016万円		
・火災保険料		8万円		
・公民館補償制度掛金		11万円		
(2) 活動指標				
・学習室・講堂使用料、冷暖房収入		65万円		
3	北斎ホール費	4,171,820		
北斎ホールの維持管理(教育文化グループ)			予算事業名：北斎ホール管理費	
当初予算額	4,585,000円	最終予算額	4,585,000円	決算額 4,171,820円

勤労青少年や各種団体の活動・発表の場として気持ちよくご利用いただけるよう、北斎ホールの維持管理を行いました。

(1) 主な支出

・臨時職員賃金	134万円	・施設修繕料	67万円
・清掃業務(じゅうたん、ガラス等)	34万円	・ピアノ調律	9万円
・空調設備機器保守点検	32万円	・舞台照明設備保守点検	17万円
・舞台機構保守点検	16万円	・ロールバック保守点検	16万円
・音響設備保守点検	17万円	・地下タンク及び地下配管気密検査	4万円
・自動ドア保守点検	7万円		

(2) 活動指標

・施設使用料・冷暖房収入	154万円
--------------	-------

4	図書館費	12,818,220
---	------	------------

図書館の運営とあり方の検討(教育文化グループ) 予算事業名：図書館管理費

当初予算額	13,592,000円	最終予算額	13,833,000円	決算額	12,743,220円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

すべての人が公平に情報を得られるよう、図書や郷土史料の収集、整理、保存、提供を行いました。また、ボランティアの皆さんの協力により、読書推進活動を進めました。

(1) 主な支出

・書籍、視聴覚資料の購入	268万円
・読書推進活動(講師謝礼、ブックスタートパック、文集印刷費など)	34万円
・館内閲覧用椅子の購入	10万円
・図書館のあり方検討会(図書館学習会講師謝礼)	10万円
・職員人件費	570万円
・臨時職員の賃金	295万円

(2) 活動指標

・図書館開館日	282日
・入館者	22,560人
・図書の購入	1,575冊
・図書館利用状況 蔵書数	49,649冊(蔵書冊数のみ、H18年6月点検時現在)

区分	児童	一般	母親文庫	計
貸出冊数	10,079	24,184	89	34,352

・おはなしの会、実演講習会の開催	23回開催/348人参加
・文集「ちくまがわ」の発行、配付(母親文庫会員・関係施設)	80部
・図書館協議会	2回開催/委員9人
・図書館のあり方検討会	10回開催/視察1回

「図書館のあり方検討会報告書」提出

(3) 成果指標

・開架図書数の推移 (単位：冊)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
35,544	35,796	36,443	36,416	37,345

・ブックスタート事業

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
年間出生数の88%	同88%	同83%	同90%	同90%

※ブックスタート事業：地域のすべての赤ちゃんを対象に、絵本を通して親子が心を通わせるようメッセージを伝えながら絵本を渡す運動。

基金(貯金)利子の積立て 予算事業名：図書館管理費
 当初予算額 75,000 円 最終予算額 75,000 円 決算額 75,000 円

図書館建設のために積み立てている基金の利子を積み立てました。

- (1) 主な支出
 ・ 利子積立 7.5万円

5 歴史民俗資料館費 1,613,871

歴史民俗資料館の維持管理(教育文化グループ) 予算事業名：歴史民俗資料館管理費
 当初予算額 1,528,000 円 最終予算額 1,528,000 円 決算額 1,426,671 円

歴史資料、民俗資料等の保存及び活用を図り、町民文化の向上と学術の発展に資するため、充実した歴史民俗資料の展示ができるよう、館の運営を行いました。

- (1) 主な支出
 ・ 光熱水費 7 万円
 ・ 植木の手入れ委託 14 万円
 ・ 施設の修繕 17 万円
 ・ 臨時職員賃金 90 万円

- (2) 活動指標
 ・ 開館日 土・日曜日及び春・秋のイベント期間中
 ・ 開館時間 午前9時から午後4時
 ・ 春・秋の企画展（～体験を通して～歴史再発見）
 ・ 春・秋の特別イベント 林柳波を唄う

- (3) 成果指標
 ・ 年間入館者数の推移 (単位：人)

区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
大人	356	383	834	711	725
子ども	22	12	119	413	698

歴史民俗資料館春秋の企画展の開催(教育文化グループ) 予算事業名：歴史民俗資料館管理費
 当初予算額 387,000 円 最終予算額 387,000 円 決算額 187,200 円

子どもから大人まで楽しめる昔体験学習などの企画展を春秋に開催しました。通常は土・日・祝日のみの開館ですが、企画展期間中は毎日開館しました。

- (1) 主な支出
 ・ 体験学習など講師への謝礼 2 万円
 ・ 看板製作 2 万円

- (2) 活動指標
 ・ 春の企画展（～体験を通して～歴史再発見）4月22日～5月31日
 大人203人、子ども133人
 ・ ミニコンサート 林柳波を唄う 5月28日
 ・ 秋の企画展（昔の体験を通して歴史再発見）9月16日～10月31日
 大人168人、子ども80人
 ・ 秋の特別イベント 林柳波を唄う 10月22日

- (3) 成果指標
 ・ 企画展期間中の入館者数 (単位：人)

区分	期間	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
大人	春		194	128	203
	秋	159	164	242	168
子ども	春		77	167	133
	秋	6	42	162	80

6	高井鴻山記念館費	15,311,911			
高井鴻山記念館の維持管理（教育文化グループ）			予算事業名：高井鴻山記念館管理費		
当初予算額 15,241,000 円			最終予算額 15,241,000 円		決算額 13,797,079 円
<p>鴻山に関連した資料を収集、公開し、学習の場としての充実を図りました。また、小中学生を無料にするなど、学習機会を提供しました。より多くの皆さんにご来館いただくため、4月～9月の開館時間を午後6時まで延長しました。</p>					
(1) 主な支出					
・職員の人件費（2人）		464 万円	・光熱水費		77 万円
・臨時職員の賃金		421 万円	・施設の修繕等		73 万円
・パンフレットの印刷など		85 万円	・警備、植木手入れなどの委託		57 万円
・土地借上料		70 万円			
(2) 活動指標					
・開館日：通年（休館日12/29～12/31） 362日					
・開館時間：9：00～18：00（10月～3月は17：00まで）					
(3) 成果指標					
・年間入館者数の推移 (単位：人)					
平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
83,769	83,469	74,531	69,377	70,961	
高井鴻山記念館の常設展示（教育文化グループ）			予算事業名：高井鴻山記念館企画展費		
当初予算額 307,000 円			最終予算額 307,000 円		決算額 0 円
<p>鴻山の書画などの収蔵品を、季節ごとに内容を替えて紹介しました。</p>					
(1) 主な支出					
・なし					
(2) 活動指標					
・ 脩然楼、碧漪軒といった鴻山ゆかりの建物の展示					
・ 文庫蔵／鴻山揮毫の幟旗や遺品などを展示					
・ 屋台庫／鴻山と北斎の関係を伝える資料や北斎の画稿を展示					
・ 穀蔵／鴻山の妖怪山水画や鴻山の師・知友関係の軸物を展示					
高井鴻山記念館特別展などの開催（教育文化グループ）			予算事業名：高井鴻山記念館企画展費		
当初予算額 2,431,000 円			最終予算額 2,431,000 円		決算額 1,514,832 円
<p>春と秋に特別展を開催するとともに、恒例の鴻山席書大会を開催しました。高井鴻山生誕200年を記念し、北辰旅団による「応為と卍」演劇公演を開催しました。</p>					
(1) 主な支出					
・企画展チラシ、看板類の印刷		52 万円	・席書大会審査員謝礼		2 万円
・企画展広告料		9 万円	・席書大会入選者賞品		3 万円
・鴻山生誕200年記念公演補助金		30 万円			
(2) 活動指標					
・春の特別展	鴻山の小布施－近代化への道－	(4/21～5/31)	期間中入館者	12,167 人	
・秋の特別展	大妖怪展－鴻山の様式－	(9/22～12/3)	期間中入館者	23,952 人	
・第20回高井鴻山席書大会（総合体育館）		10/28	参加者	283 人	
・鴻山生誕200年記念「応為と卍」演劇公演（北斎ホール）		5/13	入場者	355 人	

(3) 成果指標

- ・特別展の入館者数 (単位：人)

期間	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
春	14,880	11,284	10,816	12,167
秋	16,123	15,630	15,766	23,952

- ・鴻山席書大会の参加者数 (単位：人)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
219	206	202	188	283

7 おぶせミュージアム費 76,826,217

おぶせミュージアム・中島千波館の維持管理(教育文化グループ) 予算事業名：おぶせミュージアム管理費

当初予算額 36,803,000 円 最終予算額 36,816,000 円 決算額 32,318,371 円

芸術文化に親しむ風土をつくるため、地域文化と密接な関わりを持つ貴重な文化財を保存活用し館を運営しました。常設展示では小布施町出身で現代日本画壇のトップランナー・中島画伯の代表作のほか、挿絵表紙画、スケッチなどを、季節ごとに展示内容を替えてご紹介しました。より多くの皆さんにご利用いただけるよう、4～9月の開館時間を午後6時まで延長しました。地域の文化芸術をより身近に親しんでもうらうため、小中学生の入館料を無料にしました。

(1) 主な支出

- | | | | |
|---------------|--------|-----------|--------|
| ・ 職員の人件費 (2人) | 746 万円 | ・ 施設の修繕 | 88 万円 |
| ・ 光熱水費 | 388 万円 | ・ 土地借上料 | 885 万円 |
| ・ 警備業務などの委託 | 303 万円 | ・ 臨時職員の賃金 | 628 万円 |

(2) 活動指標

- ・ 開館日：通年（休館日12/29～12/31及び展示替時）
- ・ 開館時間：9：00～18：00（10月～3月は17：00まで）

(3) 成果指標

- ・年間入館者数の推移 (単位：人)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
70,418	67,309	58,923	62,453	61,784

中島千波館作品の充実(教育文化グループ)

予算事業名：おぶせミュージアム管理費

当初予算額 39,000,000 円 最終予算額 39,000,000 円 決算額 39,000,000 円

芸術文化振興資金を活用し、中島千波作品等を購入しました。

(1) 主な支出

- ・ 美術品の購入 3,900 万円

(2) 活動指標

- ・ 中島千波画「坪井の枝垂れ桜」他3件の購入
- ・ 作品購入により、多彩な企画展の開催
- ・ 作家の代表作を購入し、収蔵作品の充実を図る

中島千波館の常設展示(教育文化グループ)

予算事業名：おぶせミュージアム企画展費

当初予算額 2,068,000 円 最終予算額 2,068,000 円 決算額 1,002,806 円

常設展示室中島千波館で、中島画伯の作品を季節ごとに内容を替えて紹介しました。

- (1) 主な支出
 ・作家への展示指導謝礼他 75万円

- (2) 活動指標
 ・通年において中島作品を鑑賞できる常設展を開催する
 ・季節に応じた展示替えにより入館増を図る
 ・中島芸術の普及

おぶせミュージアム企画展などの開催(教育文化グループ) 予算事業名：おぶせミュージアム企画展費
 当初予算額 12,455,000円 最終予算額 12,455,000円 決算額 4,505,040円

地元ゆかりの作家をはじめ、ジャンルを問わず意欲あふれる作家たちを紹介しました。また、町民の皆さんの学習の場として、作家によるギャラリートークや、ギャラリーコンサートなど体験的事業を行いました。

- (1) 主な支出
 ・企画展チラシ、看板類の印刷 119万円
 ・企画費、作品借用の謝礼など 331万円

- (2) 活動指標
- | | | | |
|---------------------------------|-------------|-----|---------|
| ・東京藝術大学デザイン科「作家の卵展」 | (1/27～5/9) | 入館者 | 11,988人 |
| ・「中島千波の世界展」～描くことは苦しくもあり、楽しくもあり～ | (5/12～6/27) | 入館者 | 11,177人 |
| ・日中友好絵手紙展 | (6/30～7/11) | 入館者 | 1,581人 |
| ・郷土の作家シリーズ「6の視点展」 | (7/14～9/19) | 入館者 | 15,292人 |
| ・「現代の絵師 中島千波展」 | (9/22～12/3) | 入館者 | 19,817人 |
| ・収蔵品展 | (12/6～2/13) | 入館者 | 3,137人 |
| ・「東京藝術大学デザイン科描画系 Sh i n P A !展」 | (2/16～5/15) | 入館者 | 12,866人 |

8 千曲川ハイウェイミュージアム費 20,480,821

千曲川ハイウェイミュージアムの維持管理(教育文化グループ) 予算事業名：ハイウェイミュージアム管理費
 当初予算額 15,663,000円 最終予算額 15,663,000円 決算額 14,609,404円

光熱水費や警備の委託など、維持管理を適正に行いました。また、より多くの皆さんにご利用いただけるよう開館時間を4月～9月は午後6時まで延長しました。

- (1) 主な支出
- | | | | |
|----------------|-------|---------|-------|
| ・職員の人件費(1人) | 248万円 | ・光熱水費 | 432万円 |
| ・臨時職員の賃金 | 406万円 | ・施設の修繕等 | 69万円 |
| ・警備、植木手入れなどの委託 | 152万円 | | |

- (2) 活動指標
 ・開館日：通年(休館日12/29～12/31及び展示替時) 354日
 ・開館時間：9：00～18：00 (10月～3月は17：00まで)

- (3) 成果指標
 ・年間入館者数の推移 (単位：人)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
16,527	33,492	39,872	37,415	34,480

千曲川ハイウェイミュージアムの企画展の開催 予算事業名：ハイウェイミュージアム企画展費
 当初予算額 8,266,000円 最終予算額 8,266,000円 決算額 5,871,417円

子どもの社会教育の場として、親子で楽しめるよう体験学習やワークショップを取り入れた企画展を開催しました。

(1) 主な支出

・チラシ、看板類の印刷	78 万円	・ワークショップ等の開催	20 万円
・企画費、作品借用の謝礼など	406 万円	・広告料	27 万円

(2) 活動指標

・「ボタニカルアート展」	(3/24～5/29)	期間中入館者	3,514 人
・「世界昆虫展」	(6/1～9/5)	期間中入館者	17,689 人
・「昭和の遊びと暮らし展」	(9/8～11/19)	期間中入館者	9,744 人
・創作人形展「物語の中の魔法使い達」	(11/22～3/5)	期間中入館者	3,033 人
・「きらめきの野鳥展」	(3/8～4/4)	期間中入館者	1,455 人

9 人権・同和教育費	1,976,205		
集会所・作業所・厚生住宅の維持管理(教育文化グループ)		予算事業名：人権・同和教育費	
当初予算額	648,000 円	最終予算額	690,000 円
		決算額	689,575 円

同和問題の認識と理解を深め、明るく住みよいまちづくりを進めるための中心施設である集会所・作業所の維持管理を行いました。

(1) 主な支出

・光熱水費	8 万円
・電話料	2 万円
・集会所などの修繕	19 万円
・火災保険料	7 万円
・中央・雁中集会所管理委託	28 万円

(2) 活動指標

- ・中央農機具置場窓工事
- ・福原作業集会所屋根修繕

差別のない明るい社会の推進(教育文化グループ)		予算事業名：人権・同和教育費	
当初予算額	20,000 円	最終予算額	20,000 円
		決算額	8,000 円

差別のない明るい社会の推進のため、研修会に参加しました。

(1) 主な支出

- ・参加資料代 0.8 万円
(第38回部落解放東日本研究集会、第44回長野県部落解放研究集会)

同和对策集会所運営委員会(教育文化グループ)		予算事業名：人権・同和教育費	
当初予算額	46,000 円	最終予算額	46,000 円
		決算額	36,800 円

同和問題の認識と理解を深め、明るく住みよいまちづくりを推めるため、集会所事業・運営事項について審議しました。

(1) 主な支出

- ・同和对策集会所運営委員報酬 3 万円

(2) 活動指標

- ・同和对策集会所運営委員会 委員 12人 1 回開催 (6月28日)

審議内容

人権促進事業年間計画について
人権問題講座 交流事業 (手芸教室・書道教室・大正琴教室・生け花教室)

(3) 成果指標

- ・ 人権問題講座・交流事業とも継続事業として成果が認められた。

人権教育の促進(教育文化グループ)

予算事業名：人権・同和教育費・人権教育促進事業費

当初予算額 1,329,000 円 最終予算額 1,287,000 円 決算額 702,061 円

あらゆる人権問題について意識を高めるための啓発や、正しい知識を持つための学習会を行い、差別を許さないまちづくりを進めるため学習会等を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 講師謝礼 55 万円
- ・ 啓発資料・ビデオ購入 2 万円
- ・ 研修会旅費 1 万円
- ・ 学校副読本購入 11 万円

(2) 活動指標

- ・ 研修会

会 場	事業の内容	時 間	延参加者数
分 館	区民人権学習会	12	150
中央・雁中同和対策集会所	人権問題学習	20	240
	地域住民交流促進事業	240	504
計		272	894

- ・ 人権同和教育啓発
あけぼの購入 小学生用 1、3、5年 369冊、中学生用103冊

(3) 成果指標

- ・ 学習会などへの積極的な参加が見られ、地域社会・学校・家庭において人権問題に関する意識が高まっています。

- ・ 研修会への延参加人数 (単位：人)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
1,149	1,235	760	450	894

部落解放教育推進委員(教育文化グループ)

予算事業名：人権・同和教育費

当初予算額 56,000 円 最終予算額 56,000 円 決算額 0 円

部落解放委員は、部落解放教育を進めるため、教育委員会の諮問に応じて審議・調査します。

(1) 主な支出

なし (教育委員会からの諮問なし)

解放子ども会(教育文化グループ)

予算事業名：人権・同和教育費・人権教育促進事業費

当初予算額 455,000 円 最終予算額 455,000 円 決算額 95,792 円

正しい知識を持ち差別に負けないリーダーを育成するため、小中学校の児童生徒を対象に人権学習・基礎学習を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 指導者謝礼 4 万円
- ・ 解放子ども会運営委員報酬 2 万円

(2) 活動指標

会 場	雁中同和対策集会所
参加児童・生徒数	4 人 (中学生 4)

指導者	中学校教員、支援加配員
時間数	92 時間
学習日	毎週 月曜日（基礎、人権学習、行事）

主な活動内容

- ・ 解放子ども会運営委員会 委員 12人 1 回開催（平成18年8月2日）
- ・ くりん子ども会発会式 平成18年8月2日
- ・ 親子学習会 平成18年10月28日
- ・ 進級・卒業を祝う会 平成19年3月9日

人権のまちづくり委員会(教育文化グループ) 予算事業名：人権・同和教育費・人権教育促進事業費

当初予算額 220,000 円 最終予算額 220,000 円 決算額 185,610 円

身近なところから人権を大切にすゝる気配りを勧めるため、地域での学習会や研修会を開催いたしました。

(1) 主な支出

- ・ 活動補助金 10 万円

(2) 活動指標

- ・ 人権のまちづくり委員（各自治会の代表者） 383人
- ・ 人権のまちづくり委員研修会
期日：9月6日
場所：公民館講堂
参加：100 人
- ・ 人権政策・確立要求基本法制定須高地区大会への参加
期日：6月21日
場所：高山村中学校
参加：700 人（須高地区全体）

人権フェスティバルの開催(教育文化グループ) 予算事業名：人権・同和教育費・人権教育促進事業費

当初予算額 245,000 円 最終予算額 245,000 円 決算額 243,367 円

すべての町民が、同和問題をはじめとする人権問題に正しい認識を持ち、一人ひとりが大切にされるまちづくりを実践していくことを誓い合う場として開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 講師謝礼 16 万円
- ・ 手話通訳謝礼 2 万円
- ・ 会場看板 1 万円
- ・ 啓発用ポスター・作文その他 4 万円

(2) 活動指標

第33回人権フェスティバル 12月2日開催 250人参加

会場	事業の内容	時間	参加者数
北斎ホール（勤労青少年ホーム）	人権問題講演会	3	250

- ・ 人権に関する作文の発表及び表彰
- ・ 講演 「落語を通じて人権を考える」
講師 落語家 三遊亭 円輔
- ・ 集会宣言

(3) 成果指標

- 平成16年度から人権フェスティバルとなり、今回で33回目を迎え、町民一人ひとりが差別をなくすことを誓い、決意を新たにす力強い大会となっています。

・ 大会の参加者数 (単位：人)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
360	380	380	250	250

人権教育研究集会の開催(教育文化グループ)

予算事業名：人権教育促進事業費

当初予算額 50,000 円 最終予算額 50,000 円 決算額 15,000 円

人権問題を自分自身の課題として捉え、明るく住みよいまちづくりを推進するため実行委員会を組織し集会を行いました。

(1) 主な支出

- 講師謝礼 1 万円

(2) 活動指標

会 場	事業の内容	時 間	参加者数
健康福祉センター	ワークショップ・講演	2	100

第6回人権教育研究集会 (平成19年3月10日開催)

- 指導 石井光男氏、浦野康彦氏、久保田博氏 ほか

10 文化財保護費 390,808

文化財の保護(教育文化グループ)

予算事業名：文化財保護費

当初予算額 1,647,000 円 最終予算額 1,647,000 円 決算額 390,808 円

有形文化財や史跡等の保護と管理を行うとともに、文化財保護審議委員により新たな文化財指定候補について調査を行いました。

(1) 主な支出

- 審議会委員報酬、調査協力の謝礼 11万円
- 重要文化財の維持管理に対する交付金 10万円
- 清掃の委託 (千両堤・古堂塚古墳・押羽水制) 12万円

(2) 活動指標

- 文化財保護審議会 2回 (文化財保存の現況、文化財の指定について検討ほか)

(3) 成果指標

- 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 15、史跡 9、天然記念物 1 (14年度末現在)
- 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 15、史跡 9、天然記念物 1 (15年度末現在)
- 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 17、史跡 9、天然記念物 1 (16年度末現在)
- 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 17、史跡 9、天然記念物 1 (17年度末現在)
- 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 17、史跡 9、天然記念物 1 (18年度末現在)

11 文化振興費 1,964,275

町民ギャラリーの維持管理(教育文化グループ)

予算事業名：文化振興事業費

当初予算額 975,000 円 最終予算額 975,000 円 決算額 838,275 円

各団体やグループ活動を行っている皆さんの発表の場として、町民ギャラリーの管理を行いました。

(1) 主な支出

- 光熱水費 36 万円
- 土地借上料 20 万円
- 施設管理委託 24 万円

(2) 活動指標

- ・施設使用 29件 (ギャラリー利用12件、和室利用17件)
(ギャラリー利用の内訳)
- 自由工房 (木工芸品展示販売) 4回 焼物クラブ (作品展示販売) 1回
- 緋くらぶ (布小物・パッチワーク展示販売) 2回 写団影法師 (写真展) 1回
- シャインアート小布施 (絵画展) 1回 その他 (個人作品展等) 3回

(3) 成果指標

- ・利用件数

平成16年度	平成17年度	平成18年度
24件	34件	29件

美術館・シャトルバスフリーパスの発行(教育文化グループ)

予算事業名：文化振興事業費

当初予算額 126,000 円 最終予算額 126,000 円 決算額 126,000 円

町内にある町営、民営の美術館9施設とシャトルバスを、年間通して利用できるフリーパスを作成し販売しました。

(1) 主な支出

- ・フリーパス・ポスター印刷費 13 万円

(2) 活動指標

- ・対象施設
 - ・町内の美術館9施設
北斎館、高井鴻山記念館、おぶせミュージアム、千曲川ハイクエイミュージアム、フローラルガーデンおぶせ、歴史民俗資料館、日本のあかり博物館
盆栽美術館「大観」、陶磁器コレクション「了庵」
 - ・町内周遊シャトルバス

(3) 成果指標

- ・フリーパスの発行数

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
226枚	211枚	127枚	140枚	115枚

小布施国際音楽祭開催の補助(教育文化グループ)

予算事業名：文化振興事業費

当初予算額 1,000,000 円 最終予算額 1,000,000 円 決算額 1,000,000 円

町民自らが行う芸術文化活動を支援するため、第7回小布施国際音楽祭の開催経費に対し補助金を交付しました。

(1) 主な支出

- ・小布施国際音楽祭への補助金 100万円

(2) 活動指標

- ・7/15 弦楽四重奏の夕 (北斎ホール)
- ・7/16 オーケストラ野外コンサート (雨天のため鳳凰アリーナ)
- ・7/17 ジョイントリサイタル (北斎ホール)
- ・街角コンサート、金昌国フルート公開講座

(3) 成果指標

- ・町補助額・総事業費 (単位：万円)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
町補助額	200	150	150	100	100
総事業費	818	809	804	752	694

12 生涯学習推進費 11,672,839

生涯学習入門講座「まなともカレッジ」(教育文化グループ)

予算事業名：生涯学習推進費

当初予算額 1,221,000 円 最終予算額 1,221,000 円 決算額 859,912 円

「自分を高め、地域に生かす」をテーマに、若者からお年寄りまで幅広い層が受講できる各種講座を開いて、広く学習機会と交流の場を提供しました。

(1) 主な支出

- ・ 講師謝礼 66 万円

(2) 活動指標

- ・ 学級・講座名、参加人数

学級・講座名	回数	延参加者数(人)
バドミントン	10	59
陶芸	15	150
フラダンス	10	140
ダンス	10	210
パソコン	10	96
絵画	10	94
紙粘土	10	69
書道	10	75
フラメンコ	10	104
IT講習会	12	200
おぶせセミナー	10	386
雁田山登山	1	44
計	118	1,627

(3) 成果指標

- ・ 延べ参加者数

区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
参加者数(人)	1,887	1,786	1,678	1,577	1,450	1,627
講座数	21	19	18	14	13	12

カルチャー大学講座・高齢者学級(教育文化グループ)

予算事業名：公民館運営費

当初予算額 222,000 円 最終予算額 222,000 円 決算額 121,331 円

時代に対応した知識や教養を身につけることを目的としたカルチャー大学と、高齢者が生きがいのある生活を送るため必要な趣味や教養を身につけることを目的とした高齢者学級を開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 講師謝礼 11 万円

(2) 活動指標

- ・ カルチャー大学 (3回) 11月23日、12月15日、平成19年1月23日
「社会教育と町づくり」
講師：前望月町長 吉川 徹氏 ほかに2講座 290人参加
- ・ 高齢者学級 (8回)
5月9日、6月6日、7月4日、8月1日、8月22日、9月5日、10月3日、11月14日
「おかげさまで」の心
講師：浄光寺住職 林 文映氏 ほかに7講座 501人参加

(3) 成果指標

・延べ参加者数

(単位：人)

区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
カルチャー大学	-	-	130	416	93	290
高齢者学級	358	420	630	549	595	501

子ども教室の管理運営(教育文化グループ)

予算事業名：子ども教室推進事業費

当初予算額 12,858,000円 最終予算額 13,061,000円 決算額 10,691,596円

小中学生の放課後や週末の保護を行うとともに、スポーツ・文化活動や農業・福祉体験などを通じてたくましい子どもを育むため支援しました。また目的ごとに教室を分け、放課後児童クラブ（東の教室）、ふれあい教室（西の教室）事業を実施し、地域の皆さんとの交流や自主的な活動を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 嘱託職員人件費 415万円
- ・ おやつ代 105万円
- ・ 施設（建具など）の修繕 5万円
- ・ 臨時職員の賃金 266万円
- ・ 光熱水費 40万円

(2) 活動指標

- ・ 子ども教室 年間 290日開所 延べ利用人数 29,000人
受入時間 学校終了時～午後6時(延長午後6時30分まで)
学校休業日 午前9時～午後3時(延長午後6時30分まで)
- ・ 親子わんぱく教室 年間 22回開催 延べ558人参加

(3) 成果指標

- ・ 子どもたちの自主性が芽生え、こういう事がしたい、こういう活動をしようということを計画し実行する力が徐々に身についてきました。また、自信をもって好きな事に取り組む姿勢が見られるようになってきました。教室を分けたことにより、利用者にもそれぞれの目的や役割を理解した上での利用を図ることができました。

6 保健体育費 20,538,816

1 保健体育総務費 3,377,321

決算事項別明細書 P65～

体育指導委員活動の推進(教育文化グループ)

予算事業名：保健体育総務費

当初予算額 522,000円 最終予算額 522,000円 決算額 355,876円

町民の皆さんにスポーツへの関心や理解を深めていただくため、魅力あるスポーツ行事の企画立案やスポーツ教室での指導を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 体育指導委員報酬 委員8人 18万円

(2) 活動指標

- ・ 体育指導委員会議 10回開催
スポーツ教室の企画・立案などを協議
- ・ レクリエーションスポーツ教室の実技指導 4回

(3) 成果指標

スポーツ教室や町民運動会の企画立案から実施まで幅広く活動しており、町のスポーツ振興、町民の体力づくりに寄与しています。

楽しくできる健康づくりの推進(教育文化グループ)

予算事業名：保健体育総務費

当初予算額 220,000円 最終予算額 79,000円 決算額 60,159円

子どもから大人まで、スポーツ経験のほとんどない人を対象にして、運動に親しむことを目的にレクリエーションスポーツ教室を開催しました。

(1) 主な支出

- ・講師謝礼等 1万円

(2) 活動指標

- ・レクリエーションスポーツ教室
平成19年3月毎週水曜日開催（計4回） 延べ120人参加

体育団体への支援(教育文化グループ)

予算事業名：保健体育総務費

当初予算額 1,450,000円 最終予算額 1,589,000円 決算額 1,589,000円

スポーツの普及のために活動している各体育団体へ支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・体育団体補助金
 - ・町体育協会 100万円
 - ・少年硬式野球連盟 10万円
 - ・全国スポーツ大会出場補助金 29万円
 - ・スポーツ少年団 15万円
 - ・早起き野球連盟 5万円

(2) 活動指標

- ・町体育協会の活動内容
町長杯・町民大会競技開催運営（バドミントン・テニス・バレー・ゴルフほか） 分館対抗球技大会運営協力 教室開催（スキー・テニスほか） 各種行事ボランティア（見にマラソン・アートウォーク） 町民運動会運営
- ・少年硬式野球連盟の活動内容
各種大会参加 シニア（信越秋季大会・東北信ブロック新人大会・ライオンズ杯・日本選手権予選ほか） リトル（信越マイナー大会・信越秋季大会・須高少年硬式大会 ジョイフル大会ほか）
- ・スポーツ少年団の活動内容
各単位団競技交流（バドミントン・野球・サッカー・ソフトテニス・剣道・バレー・サッカー・ミニバスケットボール）
- ・早起き野球連盟の活動内容
グラウンド整備 大会開催 各種大会参加（北信ダークホース・各市町村杯大会出場）

(3) 成果指標

- ・スポーツ少年団女子バレーボール 全国大会出場 など

町民運動会の開催(教育文化グループ)

予算事業名：保健体育総務費

当初予算額 1,136,000円 最終予算額 1,155,000円 決算額 1,154,945円

町民の皆さんの親睦と交流を深めることを目的に、自治会やコミュニティ対抗で行う町民運動会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・参加賞・トロフィー 91万円
- ・大会経費 24万円

(2) 活動指標

- ・期日：平成18年10月8日（日）
- ・場所：栗ガ丘小学校グラウンド

- ・参加：26自治会
優勝 押羽 準優勝 大島 3位 六川

(3) 成果指標

1年に一度の体育の祭典として伝統行事となっています。大会当日だけでなく、直前まで行われる自治会ごとの練習を通じて町民の体力向上や区民どうしの親睦が図られています。

分館対抗球技大会の開催(教育文化グループ) 予算事業名：各種競技大会経費

当初予算額 40,000 円 最終予算額 40,000 円 決算額 31,450 円

町民の体力向上や親睦を図るため、ソフトミニバレーボールとバドミントンの分館対抗の球技大会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・大会消耗品（トロフィー、ラインテープなど） 3万円

(2) 活動指標

- ・ソフトミニバレーボール大会 平成18年6月18日 25分館参加 優勝 六川
- ・バドミントン大会 平成19年3月4日 26分館参加
一部優勝 東町 二部優勝 松の実

市町村対抗駅伝大会等への出場(教育文化グループ) 予算事業名：各種競技大会経費

当初予算額 282,000 円 最終予算額 263,000 円 決算額 185,891 円

県市町村対抗駅伝競走大会へ出場しました。また、県縦断駅伝競走大会へ須高チームとして出場する須高陸上協会の経費を負担しました。

(1) 主な支出

- ・選手への謝礼 2万円
- ・県縦断駅伝競走大会の負担金 6万円

(2) 活動指標

- ・県市町村対抗駅伝競走大会 5月7日 総合27位 (参加： 57 チーム)
- ・県市町村対抗小学生駅伝競走大会 5月7日 総合26位 (参加： 51 チーム)
- ・県縦断駅伝競走大会 11月18日～19日 総合15位 (参加： 15 チーム)

2 体育施設費 17,161,495

体育施設の維持管理(教育文化グループ) 予算事業名：体育施設管理費

当初予算額 14,676,000 円 最終予算額 14,676,000 円 決算額 12,262,638 円

町民の皆さんのスポーツ活動の場として、気持ちよくご利用いただけるよう施設の維持管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・光熱水費 384万円
- ・施設の清掃委託等 86万円
- ・土地借上料 483万円

(2) 活動指標

- ・施設の修繕
 - ・総合体育館 1万円
 - ・町営グラウンド 104万円
 - ・トレーニングセンター 10万円
 - ・松川グラウンド 6万円
 - ・文化体育館 7万円
 - ・テニスコート 5万円

- ・体育施設利用者会議 年2回 (8月3日、平成19年2月8日 開催)

(3) 成果指標

- ・会議により利用者の皆さんのマナーの向上が図られています。

サマーランドの管理運営(須高行政事務組合)(教育文化グループ) 予算事業名：体育施設管理費
 当初予算額 4,858,000 円 最終予算額 4,858,000 円 決算額 4,399,000 円

須高行政事務組合が運営する総合プール(サマーランド)の運営に必要な経費を負担しました。

(1) 主な支出

- ・須高行政事務組合負担金 440万円

雁田山ハイキングコースの整備(教育文化グループ) 予算事業名：体育施設整備事業費
 当初予算額 500,000 円 最終予算額 500,000 円 決算額 499,857 円

雁田山ハイキングコースの整備、町営グラウンド北側側溝整備を行いました。

(1) 主な支出

- ・施設修繕工事 50万円

(2) 活動指標

- ・雁田山ハイキングコース整備 41万円
- ・町営グラウンド北側側溝整備 9万円

7	給食センター費	47,010,690
1	給食センター費	47,010,690

決算事項別明細書 P66～

学校給食センターの管理運営(教育文化グループ) 予算事業名：給食センター管理費
 当初予算額 48,077,000 円 最終予算額 48,128,000 円 決算額 47,010,690 円

幼稚園・小中学校の給食約1,200食を、おいしく、安全で、衛生的に提供するように努めました。また、お米は農家等の皆さんの協力を得て、小布施で収穫されたものだけを使用しました。野菜等についても、可能な限り地元産のものを取り入れ「食育」と「地産地消」を進めました。

(1) 主な支出

- ・光熱水費 532 万円
- ・調理器具の保守点検などの委託 224 万円
- ・施設用地の借上げ 170 万円
- ・臨時調理員賃金 419 万円
- ・施設の修繕料 143 万円
- ・衛生用品、調理用品 337 万円
- ・食器消毒保管庫交換 82 万円
- ・その他の経費 567 万円

(2) 活動指標

① 給食数(延べ)及び給食費

区 分	学 級 数	給食日数	給 食 数	月額給食費(円)		1食当たり(円) (5月1日より)
				5月～1月	2月	
幼 稚 園	5	202	23,634	4,300	3,864	232
				4,200(4月)		
小 学 校	25	208	152,256	4,600	4,336	242
				4,500(4月)		
中 学 校	11	208	74,256	5,400	4,240	280
				5,300(4月)		
計	41		250,146			

② 学校給食センター運営委員会の開催

- ・委員構成 町理事者代表 1人、小中学校長及び幼稚園長 3人、学校医代表 1人、
 学校薬剤師代表 1人、小中学校PTA代表 2人、幼稚園保護者会代表 1人

計9人

- ・委員会開催数 年2回開催（平成18年7月24日9人出席、平成19年3月26日7人出席）
- ・内 容 給食費の額の決定並びに決算の認定や業務計画の決定に関すること等を審議しました。

③ 学校給食会の開催

- ・委員構成 幼稚園 1人、小学校 4人、中学校 4人、教育委員会 4人、給食センター 10人
- ・委員会開催数 年2回開催（平成18年7月25日22人出席、平成19年3月26日20人出席）
- ・内 容 予算、決算及び給食会運営上の反省と給食に対する要望等を協議しました。

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績
10			公債費	749,727,319	
	1		公債費	749,727,319	
		1	元金	623,959,190	決算事項別明細書 P66～
町債(借金)の返済					予算事業名：償還元金
当初予算額 623,960,000円 最終予算額 623,960,000円 決算額 623,959,190円					
道路や教育施設、福祉施設、公園や美術館などを整備するために借り入れた町債(借金)の返済(元金)を行いました。					
(1) 主な支出及び(2)活動指標					
・ 元利償還金 6億2,396万円					
(3) 成果指標					
・ 普通会計町債残高(平成18年度末) 56億3,864万円 (普通会計町債の詳細については、「3.普通会計決算の状況」に記載)					
		2	利子	125,762,879	
町債(借金)の返済					予算事業名：支払利子
当初予算額 131,930,000円 最終予算額 131,930,000円 決算額 125,762,879円					
道路や教育施設、福祉施設、公園や美術館などを整備するために借り入れた町債(借金)の返済(利子)を支払いました。					
(1) 主な支出及び(2)活動指標					
・ 支払利子 1億2,576万円					
(3) 成果指標					
平成16年度までに民間銀行等から借り受けている高利率(3%以上)の地方債について繰上償還を行っており、将来負担となる公債費の利子が軽減されています。					
		3	公債諸費	5,250	
町債(借金)の返済					予算事業名：公債諸費
当初予算額 100,000円 最終予算額 100,000円 決算額 5,250円					
繰上償還にかかる手数料を支払いました。					
(1) 主な支出					
・ 繰上償還手数料 0.5万円					

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績
11			予備費	0	
	1		予備費	0	
		1	予備費	0	決算事項別明細書 P67～
一般会計の予備費					予算事業名：予備費
当初予算額 23,955,000円 最終予算額 16,913,000円 決算額 0円					
予備費は、予算外の支出または予算超過の支出に充てるための経費で、他の予算に充用して支出されるものです(予備費としての支出はありません)。					
(1) 主な支出					
・ 予備費 0万円					

款	項目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績	
12		災害復旧費	104,667,929		
	1	農林水産業施設災害復旧費	8,748,000		
		1 農地災害復旧費	8,748,000	決算事項別明細書 P67～	
農地の災害復旧(産業振興グループ)				予算事業名：農地災害復旧費	
当初予算額		0円	最終予算額	8,800,000円	決算額 8,748,000円
平成18年7月の豪雨により被害を受けた農地の復旧を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 復旧事業設計委託		67万円	・ 立木補償		14万円
・ 農地の土砂、ごみ撤去、砂利舗装など 794万円					
(2) 活動指標					
・ 工期 平成18年10月23日～11月30日					
・ 場所 千曲川堤外地					
・ 内容 農地排土及び雑物撤去 堆積物処分 644 m ³					
ごみ処理 12 m ³					
砂利舗装 1,305 m					
2		公共土木施設災害復旧費	95,919,929		
	1	道路橋梁災害復旧費	95,919,929	決算事項別明細書 P67～	
道路等の災害復旧(建設水道グループ)				予算事業名：国費負担道路橋りょう災害復旧事業費(凍上災害) 単独道路橋りょう災害復旧費(7月梅雨前線豪雨災害)	
当初予算額		0円	最終予算額	99,969,000円	決算額 95,919,929円
平成18年1月低温で被害を受けた道路の復旧を行いました。また、平成18年7月の梅雨前線豪雨により被害を受けた千曲川堤外地の復旧を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 道路災害復旧工事費		8,785万円	・ 堆積土砂排除機械借上げ		161万円
(2) 活動指標					
・ 災害復旧 9路線 12カ所					
(単位：万円)					
路線名		内容		金額	
町道668号線道路災害復旧(西畑)工事		L=292.1m A=1,729m ²		1,282	
町道668号線道路災害復旧(矢島沖)工事		L=412m A=2,873m ²		2,054	
町道669号線道路災害復旧(菅田)工事		L=270m A=1,450m ²		1,113	
町道669号線道路災害復旧(芦原)工事		L=160m A=867m ²		667	
町道358号線道路災害復旧(庚申道上)工事		L=297m A=1,601m ²		667	
町道358号線道路災害復旧(西側屋敷)工事		L=239.7m A=1,239m ²		532	
町道75号線道路災害復旧(唐沢)工事		L=280m A=1,514m ²		649	
町道182号線道路災害復旧(中郷)工事		L=219m A=1,041m ²		433	
町道320号線道路災害復旧(三本木)工事		L=140.5m A=483m ²		203	
町道109号線道路災害復旧(伊勢町西側)工事		L=73m A=520m ²		212	
町道339号線道路災害復旧(大道上)工事		L=324.57m A=1,435m ²		614	
町道671号線道路災害復旧(唐沢)工事		L=290m A=1,001m ²		359	
計				8,785	
・ 千曲川堤外地堆積土砂等排除					

5. 会計別決算概要

II 国民健康保険特別会計

1 決算規模及び収支

平成18年度の国民健康保険財政は、歳入で前年比1億897万9千円増の10億8,129万5千円、歳出では前年比8,109万6千円増の10億1,823万6千円となり、差し引きの残額は6,305万9千円となりました。

2 歳入

(1) 国民健康保険税

国民健康保険税は3億3,455万円で、対前年比4.2%（1,339万円）の増となりました。これは税率改正、税制改正の影響によるものです。

(2) 国庫支出金

国庫支出金は3億3,308万円で、対前年比2.1%（699万9千円）の増となりました。医療費に応じて交付される補助金の国の負担割合が減少しているにも関わらず、国庫支出金の額が増加した理由としては、加入者の応能力に応じて配分される調整交付金の増が影響しているためです。

(3) 県支出金

県支出金は4,678万円で、対前年比18.1%（715万9千円）の増となりました。医療費に応じて交付される補助金の県の負担割合が増加していることが影響しています。

(4) 療養給付費交付金

療養給付費交付金は2億1,354万8千円で、対前年比42.4%（6,360万5千円）の増となりました。退職被保険者の医療費が増加していることが影響しています。

(5) 共同事業交付金

共同事業交付金は6,117万8千円で、対前年比345.5%（4,744万6千円）の増となりました。年度途中から新たに保険財政共同安定化事業が開始されたことが影響しています。

(6) その他

繰入金は、5,226万4千円で、対前年比35.4%（2,864万7千円）の減となりました。これは、税率改正や国庫補助金が増えたことが影響しています。また、諸収入は456万円で、対前年比2535.8%（438万7千円）の増となりました。これは、第三者行為に対する求償事務により得た収入額が大幅に増加したことが影響しています。

3 歳出

(1) 総務費

総務費は769万8千円で、対前年比18.4%（119万4千円）の増になりました。これは国保関連のシステムの使用料金が平成17年度のみ値下げされたことが主な原因です。

(2) 保険給付費

保険給付費は6億9,225万1千円で、対前年比9.6%（6,047万2千円）の増になりました。これは一般被保険者では入院費用の増加、退職被保険者では外来費用の増加が影響しています。

(3) 老人保健拠出金

老人保健拠出金は1億8,585万4千円で、対前年比8.5%（1,724万8千円）の減になりました。これは、国保が老人保健に対して負担する拠出金の割合の減が影響しているためです。

(4) 介護納付金

介護納付金は6,934万9千円で、対前年比3.0%（214万7千円）の減になりました。介護保険が予防介護に重点を置くようになったことが影響しています。

(5) 共同事業拠出金

共同事業拠出金は5,644万2千円で、対前年比207.0%（3,805万4千円）の増になりました。年度途中から新たに保険財政共同安定化事業が開始されたことが影響しています。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成18年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
国民健康保険税	334,550	30.9%	321,160	33.0%	13,390	4.2%
使用料及び手数料	74	0.0%	73	0.0%	1	1.4%
国庫支出金	333,080	30.8%	326,081	33.5%	6,999	2.1%
県支出金	46,780	4.3%	39,621	4.1%	7,159	18.1%
療養給付費交付金	213,548	19.7%	149,943	15.4%	63,605	42.4%
共同事業交付金	61,178	5.7%	13,732	1.4%	47,446	345.5%
財産収入	85	0.0%	219	0.0%	△ 134	△ 61.2%
繰入金	52,264	4.8%	80,911	8.3%	△ 28,647	△ 35.4%
繰越金	35,176	3.3%	40,403	4.2%	△ 5,227	△ 12.9%
諸収入	4,560	0.4%	173	0.0%	4,387	2535.8%
合 計	1,081,295	100.0%	972,316	100.0%	108,979	11.2%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総務費	7,698	0.8%	6,504	0.7%	1,194	18.4%
保険給付費	692,251	68.0%	631,779	67.4%	60,472	9.6%
老人保健拠出金	185,854	18.3%	203,102	21.7%	△ 17,248	△ 8.5%
介護納付金	69,349	6.8%	71,496	7.6%	△ 2,147	△ 3.0%
共同事業拠出金	56,442	5.5%	18,388	2.0%	38,054	207.0%
保健事業費	6,146	0.6%	5,485	0.6%	661	12.1%
基金積立金	85	0.0%	219	0.0%	△ 134	△ 61.2%
公債費	-	-	-	-	-	-
諸支出金	411	0.0%	167	0.0%	244	146.1%
合 計	1,018,236	100.0%	937,140	100.0%	81,096	8.7%

歳入歳出差引額 63,059 35,176

款	項目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績
1		総務費	7,698,413	
	1	総務管理費	4,247,438	
		1	一般管理費	

決算事項別明細書 P80～

資格管理・レセプト点検(健康グループ)

新たに国民健康保険に加入した方に被保険者証を交付し、また他の健康保険に加入された方からは被保険者証を回収します。また、町の国保に加入する前、辞めた後に被保険者証を使っていないか確認しています。

医療機関等から請求された医療費の内容について、レセプト(診療報酬明細書)の点検を行うことにより医療費の適正化を図っています。

被保険者の状況

区 分		前年度末 現 在	本年度末 現 在	年間平均	
世 帯 数 (世帯)		2,096	2,144	2,122	
者 被 数 (保 人) 險	総 数 A	4,692	4,679	4,707	
	一般被保険者数	B	3,976	3,821	3,907
		(再掲)老人保険医療給付対象者 C	1,258	1,228	1,252
	(再掲)上記以外のもの(B-C)	2,718	2,593	2,655	
退職被保険者数 D		716	858	800	

(単位：人)

増被 減保 内 険 訳 者	本年度中増	転 入	社保離脱	生保廃止	出 生	そ の 他	計
		98	391	3	17	95	604
	本年度中減	転 出	社保加入	生保開始	死 亡	そ の 他	計
		101	328	4	72	112	617

(1) 主な支出

・ 保険証作成委託料	22 万円
・ 被保険者証の郵送	10 万円
・ レセプト点検賃金	80 万円
・ 国保被保険者事務電算共同処理事業の委託	135 万円
・ 実績報告書等作成コンピュータ保守委託	21 万円

(2) 活動指標

電算事務委託

- ・ 被保険者証の更新 10月1日
- ・ 国保被保険者事務電算共同処理事業の委託

医療費の給付確認事務等各市町村に共通する事務を電算化により共同処理

例) 高額医療費該当者一覧表作成、精神給付金該当者一覧表作成、資格確認事務
第三者行為求償事務 等

レセプト点検 点検レセプト枚数 45,780 枚

	枚 数	金 額 (万円)
再審査依頼レセプト	626	2,130
査定決定レセプト	483	401
返戻レセプト	39	147

(3) 成果指標 (単位：万円)

	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
点検レセプト枚数	37,284		39,861		42,388		45,780	
	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額
再審査依頼レセプト	257	288	224	345	471	308	626	2,130
査定決定レセプト	142	25	74	12	416	298	483	401
返戻レセプト	46	251	24	185	31	51	39	147

2 連合会負担金 990,326

連合会負担金(健康グループ)

医療機関への医療費の支払い等を委託している長野県国民健康保険団体連合会に対し負担金を支払いました。

(1) 主な支出

- ・長野県国民健康保険団体連合会負担金 99万円

(2) 活動指標

- ・医療費の審査、取りまとめ、医療費支払いの代行等を委託

3 介護納付金事務費 0

(1) 主な支出

なし

2 徴税費 3,450,975

1 賦課徴収費 3,450,975

保険税の賦課・徴収(税務グループ)

加入者に収めていただく保険税の計算と徴収を行いました。

(1) 主な支出

- ・課税及び収納業務委託(保守を含む) 201万円
- ・国保業務ソフトウェア使用料 130万円

(2) 活動指標

- ・国民健康保険税の状況(現年分)

(単位：千円)

区 分	課 税 額		割 合		金 額	
	医 療 分	介 護 分	医 療 分	介 護 分	医 療 分	介 護 分
所 得 割 額	6.56%	0.58%	44.45%	29.77%	163,067	6,432
資 産 割 額	24.30%	4.23%	11.82%	10.49%	43,349	2,265
均 等 割 額	22,500円	6,400円	28.67%	41.45%	105,187	8,954
平 等 割 額	25,800円	4,000円	15.06%	18.29%	55,264	3,952
課 税 総 額 (A)	医 療 分		介 護 分		366,867	21,603
7 割 軽 減 額	552世帯	874人	172世帯	200人	23,735	1,378
5 割 軽 減 額	143世帯	411人	82世帯	122人	6,468	554
2 割 軽 減 額	201世帯	459人	95世帯	129人	3,103	241
軽 減 額 計 (B)					33,306	2,173
限 度 超 過 額 (C)	48世帯		5世帯		17,939	235
算 出 税 額 (A)-(B)-(C)					314,306	19,585
1 世帯当り国保税 (円)					146,735	19,823
1 人当り国保税 (円)					67,231	13,999

※ 応益割合 = (均等割額 + 平等割額) ÷ (A-C)

・ 収 納 率

(単位：円)

区 分	調 定 額	収入済額	収 納 率
一 般	268,081,285	263,691,770	98.4%
退 職	68,016,215	67,177,830	98.8%
計	336,097,500	330,869,600	98.4%

(3) 成果指標

・ 収納率（現年度）の推移

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
一 般	98.5%	98.5%	96.8%	98.3%	98.4%
退 職	99.6%	99.4%	98.6%	98.9%	98.8%
計	98.7%	98.6%	97.1%	98.4%	98.4%

2	滞納処分費	0
---	-------	---

(1) 主な支出

なし

3	運営協議会費	0
---	--------	---

1	運営協議会費	0
---	--------	---

国民健康保険運営協議会の開催(健康グループ)

国保の運営上重要な事項、例えば一部負担金の負担割合、保険税の賦課方法、保健事業等の事項について協議していただきました。

(1) 主な支出

・ なし (※委員報酬は一般会計において支出)

(2) 活動指標

国保運営協議会

・ 委員 9人 (構成: 被保険者代表、保険医等代表、公益代表 各3人)

・ 協議会の開催 5回

開催日 平成18年7月20日、9月22日、11月1日、平成19年1月26日、2月15日

内 容 平成18年度国民健康保険特別会計決算見込みについて

平成19年度国民健康保険事業計画・予算(案)について

平成19年度国民健康保険税率について

精神給付金・出産育児一時金について

2	保険給付費	692,251,360
---	-------	-------------

1	療養諸費	626,171,973
---	------	-------------

1	一般被保険者療養給付費	414,991,971
---	-------------	-------------

決算事項別明細書 P80～

医療機関等へ一般被保険者の医療費の支払(健康グループ)

長野県国民健康保険団体連合会を通じ、医療機関等へ一般被保険者の医療費を支払いました。

(1) 主な支出

・ 療養給付費 4億1,499万円

(2) 活動指標

・療養給付費の状況

(単位：千円)

区 分			件 数 (件)	日 数 (日)	費 用 額	保 険 者 負 担 分	一 部 負 担 金	他 法 分	
被一 保 險 者 分 般	合 計		30,198	45,783	559,635	411,987	136,688	10,960	
	内 訳	診 療 費	入 院	505	8,583	199,198			
			入 院 外	17,660	30,042	214,059			
			歯 科	3,041	7,152	43,276			
			調 剤	8,988	12,005	87,976			
			食 事 療 養	479	21,091	15,044			
			訪 問 看 護	4	6	82			

・療養の給付費(診療費)等諸率

対 象	種 別	受 診 率 (ア)	1 件 当 り 日 数 (イ)	1 日 当 り 費 用 額 (ウ)	1 人 当 り 費 用 額 (エ)	1 件 当 り 費 用 額 (オ)
一 般	入 院	19.0件	17.0日	23,208円	75,027円	394,451円
	入 院 外	665.2件	1.7日	7,125円	80,625円	12,121円
	歯 科	114.5件	2.4日	6,051円	16,300円	14,231円
	計	798.7件	2.2日	9,973円	171,952円	21,528円

ア 受診率 = 年間診療件数 ÷ 年間平均被保険者数 … (100人当り受診件数)
 イ 1件当り日数 = 診療日数 ÷ 診療件数 … (1ヶ月における平均日数)
 ウ 1日当り費用額 = 診療費用額 ÷ 診療日数 … (1日当り費用単価)
 エ 1人当り費用額 = 診療費用額 ÷ 年間平均被保険者数 … (年間1人当りの平均費用額)
 オ 1件当り費用額 = 診療費用額 ÷ 診療件数 … (1件当りの費用単価)

(3) 成果指標

受診率は年々増加しています。これは、医療機関等を受診する頻度が増えていることがわかります。また、1人あたりの費用額も過去5年間で最高となっていますが、医療費の伸びは保険税の増額・基金の取り崩しが必要となるため、保健事業の拡充等を図っていく必要があると思われます。

・1人当り費用額の推移

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
入 院	59,938円	54,177円	59,642円	65,704円	75,027円
入 院 外	62,100円	71,849円	75,217円	79,826円	80,625円
歯 科	15,426円	16,513円	16,788円	15,680円	16,300円
計	137,464円	142,538円	151,646円	161,210円	171,952円

2 退職被保険者等療養給付費 201,434,603

医療機関等へ退職被保険者の医療費の支払(健康グループ)

長野県国民健康保険団体連合会を通じ、医療機関等へ退職被保険者の医療費を支払いました。

(1) 主な支出

・療養給付費 2億 143万円

(2) 活動指標

・療養給付費の状況

(単位：千円)

区 分		件 数 (件)	日 数 (日)	費 用 額	保 険 者 負 担 分	一 部 負 担 金	他 法 分	
被退 保 險 者 分 職	合 計	15,259	21,975	266,695	201,435	64,560	700	
	内 訳	診 療 費						
		入 院	201	2,531	84,215			
		入 院 外	9,180	15,982	112,286			
		歯 科	1,419	3,462	20,462			
		調 剤	4,459	5,722	45,231			
		食 事 療 養	194	6,179	4,501			
訪 問 看 護	0							

・療養の給付費(診療費)等諸率

対 象	種 別	受 診 率 (ア)	1 件 当 り 日 数 (イ)	1 日 当 り 費 用 額 (ウ)	1 人 当 り 費 用 額 (エ)	1 件 当 り 費 用 額 (オ)
退 職 者	入 院	25.1件	12.6日	33,273円	105,269円	418,980円
	入 院 外	1,147.5件	1.7日	7,026円	140,358円	12,232円
	歯 科	177.4件	2.4日	5,910円	25,578円	14,420円
	計	1,350.0件	2.0日	9,873円	271,204円	20,089円

(3) 成果指標

退職被保険者には主に60歳以上の方へ加入していただいているため、どうしても医療費が高額になる傾向にあります。今後、団塊の世代の退職に伴い医療費の増加が懸念されます。

・1人当り費用額の推移

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
入 院	97,858円	99,231円	97,246円	121,012円	105,269円
入 院 外	105,274円	109,298円	111,021円	121,982円	140,358円
歯 科	19,726円	24,075円	23,102円	25,433円	25,578円
計	222,858円	232,605円	231,369円	268,427円	271,204円

3 一般被保険者療養費 5,322,739

加入者等へ一般被保険者の療養費の支払(健康グループ)

国保加入者(一般被保険者)の方等へ、療養費を支払いました。

(1) 主な支出

・療養費 532 万円

(2) 活動指標

・療養費の内容

医療の内容	件数(件)	費用額(円)	保険者負担額(円)	一部負担金(円)
診療費	-	-	-	-
柔道整復師・補装具・ハリ等	688	7,204,457	5,319,022	1,885,435
計	688	7,204,457	5,319,022	1,885,435

(3) 成果指標

平成17年度と比較して件数で5件減少していますが、保険者負担額で20,322円とわずかに増加しています。

件数と金額の推移

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	593	586	609	693	688
保険者負担額	3,464,203円	4,100,504円	4,437,876円	5,261,826円	5,319,022円

4 退職被保険者等療養費	2,627,357
--------------	-----------

加入者等へ退職被保険者の医療費の支払(健康グループ)

国保加入者(退職被保険者)の方等へ、療養費を支払いました。

(1) 主な支出

- ・療養費 263 万円

(2) 活動指標

- ・療養費の内容

医療の内容	件数(件)	費用額(円)	保険者負担額(円)	一部負担金(円)
診療費	2	39,790	27,852	11,938
柔道整復師・補装具・ハリ等	252	3,298,848	2,599,505	699,343
計	254	3,338,638	2,627,357	711,281

(3) 成果指標

平成17年度と比較して件数で28件、保険者負担額で695,479円と大幅に増加しています。

- ・件数と金額の推移

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	199	186	190	226	254
保険者負担額	1,455,894円	1,308,391円	1,355,858円	1,951,294円	2,627,357円

5 審査支払手数料	1,795,303
-----------	-----------

医療内容の審査(健康グループ)

長野県国民健康保険団体連合会で行っている医療内容の審査にかかる手数料を支払いました。

(1) 主な支出

- ・審査手数料 180 万円

(2) 活動指標

- ・主な審査手数料

医療の内容	件数(件)	単価(円)	金額(円)
療養給付費	45,488	38	1,728,544
療養費	944	38	35,872
計	46,432		1,764,416

※平成18年3月診療分から平成19年2月診療分

2 高額療養費	57,735,982
---------	------------

1 一般被保険者高額療養費	42,558,889
---------------	------------

2 退職被保険者等高額療養費	15,177,093
----------------	------------

加入者へ高額医療費の支払(健康グループ)

医療費が高額となった場合、自己負担限度額を超えた額を加入者にお支払いしました。

(1) 主な支出

- ・一般被保険者高額療養費 4,256 万円
- ・退職被保険者等高額療養費 1,518 万円

(2) 活動指標

高額療養費支出状況

・一般被保険者高額療養費

(単位：円)

70歳以下			70歳以上		
区 分	件数	金額	区 分	件数	金額
①	-	-	⑦	-	-
②	143	15,209,325	⑧	1	56,850
③	60	6,335,300	⑨	33	1,130,286
④	-	-	⑩	18	101,998
⑤	104	5,215,221	⑪、⑬	24	455,852
⑥	90	5,877,014	⑫、⑭	30	129,285
長期	64	7,895,960	⑮	0	0
			総計	567	42,407,091

・退職被保険者高額療養費

70歳以下			70歳以上		
区 分	件数	金額	区 分	件数	金額
①	-	-	⑦	-	-
②	43	4,143,161	⑧	-	-
③	15	963,666	⑨	34	1,595,286
④	-	-	⑩	14	181,574
⑤	44	2,217,817	⑪、⑬	12	327,212
⑥	39	3,168,810	⑫、⑭	17	87,452
長期	24	2,492,115	⑮	-	-
			総計	242	15,177,093

自己負担限度額について（下段は平成18年10月からの限度額）

70歳以下

- ① 上位所得世帯 139,800 円（医療費が466,000円を超えた場合は、超過額の1%を追加負担）
 (150,000)（医療費が500,000円を超えた場合は、超過額の1%を追加負担）
- ② 一 般 72,300 円（医療費が241,000円を超えた場合は、超過額の1%を追加負担）
 (80,100)（医療費が267,000円を超えた場合は、超過額の1%を追加負担）
- ③ 住民税非課税の低所得世帯 35,400 円
- ④ ①において過去12カ月以内に同じ世帯で4回以上支給される場合4回目から 77,700 円
 (83,400)
- ⑤ ②において過去12カ月以内に同じ世帯で4回以上支給される場合4回目から 40,200 円
 (44,400)
- ⑥ ③において過去12カ月以内に同じ世帯で4回以上支給される場合4回目から 24,600 円

70歳以上

・一定以上所得世帯

- ⑦外来＋入院（世帯単位） 72,300 円（医療費が361,500円を超えた場合は、超過額の1%を追加負担）
 (80,100)（医療費が267,000円を超えた場合は、超過額の1%を追加負担）
- ⑧外来（個人単位） 40,200 円
 (44,400)
- ・ 一 般
- ⑨外来＋入院（世帯単位） 40,200 円 ⑩外来（個人単位） 12,000 円
 (44,400)

- ・ 住民税非課税の低所得世帯
 - ⑪外来＋入院（世帯単位） 24,600 円 ⑫外来（個人単位） 8,000 円
 - ・ 住民税非課税の低所得世帯（高齢福祉年金受給者、所得が0円となる世帯）
 - ⑬外来＋入院（世帯単位） 15,000 円 ⑭外来（個人単位） 8,000 円
 - ⑮ ⑦において過去12カ月以内に同じ世帯で4回以上支給される場合4回目から 40,200 円
(44,400)
- その他
- ・ 長期療養者
 - 人口透析実施者等 10,000 円 左の場合で上位所得者 20,000 円

3	移送費	0
1	一般被保険者移送費	0
2	退職被保険者等移送費	0

(1) 主な支出
なし

4	出産育児諸費	3,850,000
1	出産育児一時金	3,850,000

国民健康保険加入者の出産費の支払(健康グループ)

国保加入者の方の出産にかかった費用を負担しました。

- (1) 主な支出
- ・ 出産育児一時金 385 万円
- (2) 活動指標
- ・ 妊娠4カ月を超える出産に係るもの 1人 30万円(胎児数に応じて支給)×7人
1人 35万円(胎児数に応じて支給)×5人(10月から)
- (3) 成果指標
- ・ 過去の推移

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	15件	14件	18件	10件	12件
保険者負担額	450万円	420万円	540万円	300万円	385万円

5	葬祭諸費	2,920,000
1	葬祭費	2,920,000

国民健康保険加入者の葬祭費の支払(健康グループ)

国保加入者の方の葬祭にかかった費用の一部を負担しました。

- (1) 主な支出
- ・ 葬祭費 292 万円
- (2) 活動指標
- ・ 葬祭を行った者 4万円× 73件

(3) 成果指標

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	80件	74件	67件	87件	73件
保険者負担額	320万円	296万円	268万円	348万円	292万円

6 精神諸費 1,573,405

1 精神給付金 1,573,405

精神給付金の支払(健康グループ)

精神障害者の方の通院治療費の一部を負担しました。

(1) 主な支出

・精神給付金 157 万円

(2) 活動指標

・自立支援医療（旧精神通院公費）の自己負担相当額を支給 1,089件

(3) 成果指標

自立支援法施行の関係で、被保険者の一部負担額が増加し給付費も50万円程度増加しています。

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	971件	1,139件	1,233件	1,125件	1,089件
保険者負担額	82万円	95万円	113万円	107万円	157万円

3 老人保健拠出金 185,853,679

1 老人保健拠出金 185,853,679

1 老人保健医療費拠出金 182,330,345

2 老人保健事務費拠出金 3,523,334

決算事項別明細書 P82～

老人保健のための負担金の支払(健康グループ)

老人保健への医療費拠出金と事務費拠出金です。

(1) 主な支出

・老人保健拠出金 1 億 8,585 万円

4 介護納付金 69,348,613

1 介護納付金 69,348,613

1 介護納付金 69,348,613

決算事項別明細書 P83～

介護保険のための負担金の支払(健康グループ)

国保被保険者のうち介護保険の第2号被保険者より徴収した保険税を社会保険診療報酬支払基金へ納付しました。

(1) 主な支出

・介護納付金 6,935 万円

(2) 活動指標

・介護納付金

平成18年度概算 6,775 万円

1,424 人 (第2号被保険者数) 47,578 円 (第2号被保険者1人当り負担額)

平成16年度精算 160 万円

5	共同事業拠出金	56,441,864	
1	共同事業拠出金	56,441,864	
1	高額医療費共同事業拠出金	13,142,074	
2	その他共同事業拠出金	300	
3	保険財政共同安定化事業拠出金	43,299,490	決算事項別明細書 P83～
市町村間の保険事業の掛金の支払(健康グループ)			
<p>医学、薬学の進歩、疾病構造の変化等に伴い、高額な医療費が発生する機会が増加したため、国民健康保険団体連合会が事業主体となり、各保険者からの拠出金により高額医療費の発生による保険者の財政運営の安定化を図りました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額医療費共同事業拠出金 1,314万円 ・保険財政共同安定化事業拠出金 4,330万円 <p>(2) 活動指標</p> <p>高額医療費共同事業については、1,314万円の支払に対し交付金として歳入した額は1,626万円です。なお1,314万円の内657万円の財源は国・県の補助金です。</p> <p>また、保険財政共同安定化事業については、4,330万円の支払に対し交付金として歳入した額は4,492万円です。</p> <p>今年度は両事業において、拠出金よりも交付金が上回りました。これは、県内の市町村の中でも当町において高額な医療が発生したためと思われます。</p>			

6	保健事業費	6,146,504													
1	保健事業費	6,146,504													
1	保健衛生普及費	1,047,545	決算事項別明細書 P83～												
健康づくりセミナーの開催(健康グループ)															
<p>健康づくりへの意識の高揚と体力づくりのため、健康づくりセミナーを開催しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金 5万円 ・雑費(消耗品等) 5万円 ・委託料(血液サラサラチェック) 10万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 毎日続けて効果倍増！ウォーキングの魅力と実践方法 ・講師 村山敏夫健康運動指導士 ・開催日時 平成18年10月14日(土) ・場所 小布施町総合公園 等 <p>(3) 成果指標</p> <p>毎年さまざまなテーマでセミナーを開催しており、健康づくり、体力の増進に役立ててもらっています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>参加者数(人)</th> <th>平成14年度</th> <th>平成15年度</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>120</td> <td>130</td> <td>300</td> <td>80</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>				参加者数(人)	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度		120	130	300	80	60
参加者数(人)	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度										
	120	130	300	80	60										

健診結果分析ソフトの導入(健康グループ)			
<p>加入者の皆さんに対し、効率的な保健指導を行えるように、町民健診等の各種健康診査の結果を分析するためのソフトを購入しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチマーカーの購入 63万円 			

制度周知パンフレットの配付(健康グループ)

10月の保険証更新に伴い、制度周知パンフレットとエイズ啓発パンフレットを配付しました。

(1) 主な支出

- ・パンフレットの購入 22 万円

(2) 活動指標

- ・制度周知パンフレット 「みんなの国民健康保険」 2,200部
- ・エイズ啓発パンフレット 「みんなで知ろう エイズ・H I V」 2,100部

(3) 成果指標

- ・保険証の更新に伴ってパンフレットを配付することで、効率的に周知活動ができました。

2	疾病予防費	5,098,959
---	-------	-----------

医療費通知の郵送(健康グループ)

医療費通知の作成料と郵送料です。

(1) 主な支出

- ・医療費通知郵送料 37 万円
- ・医療費作成委託料 14 万円

人間ドック費用の補助(健康グループ)

加入者の皆さんの人間ドックにかかる費用を補助しました。

(1) 主な支出

- ・人間ドック受診補助金 457 万円

(2) 活動指標

- ・人間ドック補助数

区 分	一 般			節 目 (40、50歳)		
	一日ドック	一泊ドック	一泊脳ドック	一日ドック	一泊ドック	一泊脳ドック
補助単価 (万円)	2	3	6	3.5	4.5	7.5
補助人数 (人)	157	33	3	3	2	1

(3) 成果指標

- ・健康管理に対する意識の高まりから、多くの方が人間ドックを受診しています。
- ・人間ドック受診者数 (単位：人)

受診者数 (人)	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	151	217	203	190	199

3	在宅医療等推進支援事業費	0
---	--------------	---

(1) 主な支出

なし

7	基金積立金	85,000
1	基金積立金	85,000
1	基金積立金	85,000

決算事項別明細書 P84～

財政調整基金など基金への積立(健康グループ)

財政調整基金など、基金への積み立てを行いました。

- (1) 主な支出
 ・基金積立金 9万円

- (2) 活動指標
 ・基金の状況 (単位：万円)

区 分	平成17 年度末	平成18年度			平成18 年度末	
		積立金額				取崩額
		積 立	利 子	計		
財政調整基金	13,281		8	8	13,289	
出産資金貸付基金	100			0	100	
高額医療費資金貸付基金	1,007		1	1	1,008	

- (3) 成果指標
 ・基金残高の推移 (単位：万円)

区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
財政調整基金	23,327	20,138	16,160	13,281	13,289
出産資金貸付基金	100	100	100	100	100
高額医療費資金貸付基金	1,004	1,004	1,006	1,007	1,008

※地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額 3,306万円

8	公債費	0	
1	公債費	0	
1	利子	0	決算事項別明細書 P84～
	(1) 主な支出		
	なし		
9	諸支出金	411,200	
1	償還金及び還付加算金	411,200	
1	一般被保険者保険税還付金	399,500	
2	退職被保険者等保険税還付金	0	決算事項別明細書 P84～
保険税の還付(税務グループ)			
	(1) 主な支出		
	・保険税の還付 40万円		
3	償還金	0	
	(1) 主な支出		
	なし		
4	一般被保険者還付加算金	11,700	
	(1) 主な支出		
	・還付加算金 1万円		
5	退職被保険者等還付加算金	0	
	(1) 主な支出		
	なし		
6	返納金	0	
	(1) 主な支出		
	なし		

5. 会計別決算概要

Ⅲ 老人保健特別会計

1 決算規模及び収支

平成 18 年度の老人保健特別会計は、歳入で前年比 9,812 万 8 千円 (9.9%) 増の 10 億 9,357 万 3 千円、歳出で前年比 9,811 万 2 千円 (9.9%) 増の 10 億 9,355 万 7 千円となり、差し引きの残額は 1 万 6 千円となりました。

歳出の 99.8%を占める医療諸費は、10 億 9,162 万 1 千円となり、前年比 9,806 万円、9.9%の増となっています。

反面、医療給付件数については 3 万 3,124 件、前年比 609 件の減となっており、1 人当たりの医療費は増加傾向にあります。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成18年度 老人保健特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
支払基金交付金	584,909	53.5%	567,962	57.1%	16,947	3.0%
国庫支出金	319,772	29.2%	264,147	26.5%	55,625	21.1%
県支出金	80,301	7.3%	69,044	6.9%	11,257	16.3%
繰入金	107,657	9.8%	93,083	9.4%	14,574	15.7%
繰越金	1	0.0%	969	0.1%	△ 968	△ 99.9%
諸収入	933	0.1%	240	0.0%	693	288.8%
合 計	1,093,573	100.0%	995,445	100.0%	98,128	9.9%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総務費	1,936	0.2%	1,884	0.2%	52	2.8%
医療諸費	1,091,621	99.8%	993,561	99.8%	98,060	9.9%
合 計	1,093,557	100.0%	995,445	100.0%	98,112	9.9%

歳入歳出差引額

16

0

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																																																																
1		総務費	1,936,543	決算事項別明細書 P89～																																																																
	1	総務費	1,936,543																																																																	
		1	総務費			1,936,543																																																														
レセプト点検・電算共同処理委託																																																																				
<p>診療や投薬等の処方が適切か否かを判断するためのレセプト点検賃金、老人保健受給者異動、高額医療費の算定と支給者名簿作成、保険者等への医療費通知等に係る電算共同処理委託料等を支払いました。</p> <p>・老人保健医療対象者（平成19年3月末現在）（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>70歳以上の者</th> <th>65歳以上70歳未満で障害認定を受けた者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国民健康保険</td> <td>市 町 村</td> <td>1,150</td> <td>36</td> <td>1,186</td> </tr> <tr> <td>組 合</td> <td>48</td> <td>3</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">健康保険</td> <td>政府（日雇特例被保険者保険を除く）</td> <td>180</td> <td>5</td> <td>185</td> </tr> <tr> <td>政府（日雇特例被保険者保険）</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">組 合</td> <td>105</td> <td>0</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td colspan="2">船員保険</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">共済組合</td> <td>33</td> <td>0</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,516</td> <td>44</td> <td>1,560</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前年計</td> <td>1,579</td> <td>43</td> <td>1,622</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前年比</td> <td>△ 63</td> <td>1</td> <td>△ 62</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レセプト点検等 67万円 ・電算共同処理委託料（電算、国保連合会） 85万円 ・老健保険者別医療費通知手数料（診療報酬支払基金） 31万円 ・第三者行為損害賠償求償事務共同事業委託料（国保連合会） 2万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レセプト点検 <p>(3) 成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レセプト点検処理件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成14年度</th> <th>平成15年度</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>44,712</td> <td>43,555</td> <td>42,466</td> <td>41,139</td> <td>39,557</td> </tr> </tbody> </table>						区 分		70歳以上の者	65歳以上70歳未満で障害認定を受けた者	計	国民健康保険	市 町 村	1,150	36	1,186	組 合	48	3	51	健康保険	政府（日雇特例被保険者保険を除く）	180	5	185	政府（日雇特例被保険者保険）	0	0	0	組 合		105	0	105	船員保険		0	0	0	共済組合		33	0	33	計		1,516	44	1,560	前年計		1,579	43	1,622	前年比		△ 63	1	△ 62	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	44,712	43,555	42,466	41,139	39,557
区 分		70歳以上の者	65歳以上70歳未満で障害認定を受けた者	計																																																																
国民健康保険	市 町 村	1,150	36	1,186																																																																
	組 合	48	3	51																																																																
健康保険	政府（日雇特例被保険者保険を除く）	180	5	185																																																																
	政府（日雇特例被保険者保険）	0	0	0																																																																
組 合		105	0	105																																																																
船員保険		0	0	0																																																																
共済組合		33	0	33																																																																
計		1,516	44	1,560																																																																
前年計		1,579	43	1,622																																																																
前年比		△ 63	1	△ 62																																																																
平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度																																																																
44,712	43,555	42,466	41,139	39,557																																																																
2		医療諸費	1,091,620,790	決算事項別明細書 P89～																																																																
	1	医療諸費	1,084,003,731																																																																	
		1	医療給付費			1,039,639,374																																																														
医療給付費の支払																																																																				
<p>入院、通院、歯科診療、調剤報酬、食事療養費として、医療機関等に支払いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療給付費 10億3,963万円 																																																																				

(2) 活動指標

・医療費の給付の内訳

区 分		件 数 (件)	日 数 (日)	一 部 負担金 (万円)	給付額 (万円)	1件当り 日数(日)	1件当り 費用額 (円)	1人当り 費用額 (円)	
医 科	入院	公費0割	29	492	147	1,589	17.0	59,862	1,070
		公費3～5割	1,243	23,380	3,697	51,059	18.8	44,051	33,758
	外来	公費0割	1,017	1,851	343	2,010	1.8	2,314	1,451
		公費3～5割	21,852	43,578	3,017	28,956	2.0	1,463	19,712
歯 科	入院	公費0割							
		公費3～5割							
	外来	公費0割	82	172	24	82	2.1	1,293	65
		公費3～5割	1,647	3,976	269	2,417	2.4	1,631	1,656
調 剤	公費0割	547		207	631	-	1,532	517	
	公費3～5割	12,115		1,605	14,447	-	1,325	9,896	
食 事 療 養 費	医 科	公費0割	29	1,330	35	58	45.9	3,207	57
		公費3～5割	1,179	59,053	1,630	2,636	50.1	3,618	2,630
施 設 療 養 費	歯 科	公費0割							
		公費3～5割							
通 所	入 院	公費0割							
		公費3～5割							
看 訪 護 問	通 所	公費0割							
		公費3～5割							
		公費0割							
		公費3～5割	11	87		786,240			484,735
合 計			38,543	73,449	10,974	890,125	1.9	23,379	555,548

(3) 成果指標

・医療給付費の推移

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
10億4,369万円	10億4,850万円	10億1,081万円	10億7,409万円	10億3,963万円

2 医療支給費 7,771,470

医療支給費の支払

柔道整復、コルセット等補装具代として柔道整復師、補装具制作会社に支払いました。

(1) 主な支出

・医療支給費 777万円

(2) 活動指標

・療養費支給の内訳

(単位：円)

区 分	件 数 (件)	一部負担金	給 付 額	1件当り費用額	1人当り費用額
柔道整復	466	795,208	7,039,084	16,812	4,830
補 装 具	27	82,197	716,267	29,573	492
マッサージ					
鍼 灸					
そ の 他					
計	493	877,405	7,755,351	46,385	5,322

(3) 成果指標

・医療支給費の推移

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
674万円	621万円	780万円	750万円	777万円

3	審査手数料	4,206,551
---	-------	-----------

審査手数料の支払

レセプトの審査、医療機関への診療報酬支払いに要する手数料として、社会保険診療報酬支払基金に支払いました。

(1) 主な支出

- ・審査手数料 421万円

(2) 活動指標

- ・審査支払手数料 (単位：円)

区 分	厚生労働大臣が定める基準額	件 数 (件)	審査支払手数料
国 保	111.60	31,551	3,521,091
国保 (柔整・補装具)	38.00	485	18,430
社 保	医科・歯科・施設・訪問看護分	4,698	667,030
	調剤審査分	25	
	調剤審査以外の調剤分	2,306	
計			4,206,551

(3) 成果指標

- ・審査手数料の推移

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
489万円	475万円	452万円	435万円	421万円

4	返還金	32,386,336
---	-----	------------

返還金

医療給付費や審査支払手数料に充当する社会保険診療報酬支払基金からの平成17年度分交付金、レセプト点検の賃金等に充当する平成17年度分国庫支出金について、精算額が確定したため、差額を返還しました。

(1) 主な支出

- ・老人保健特別会計から一般会計への繰出金 3,236万円
- ・支払基金交付金返還金 2万円

2	高額医療費	7,617,059
---	-------	-----------

1	高額医療費	7,617,059
---	-------	-----------

高額医療費の支払

医療費の自己負担額を超える金額を、高額医療費として、該当者に支給しました。

(1) 主な支出

- ・高額療養費 762万円

(2) 活動指標

- ・高額療養費の件数 (単位：円)

区 分	件 数 (件)	支 給 額	1件当たり支給額	1人当たり支給額
高額療養費	1,077	7,617,059	7,072	4,696

(3) 成果指標

- ・高額療養費の推移

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
99万円	645万円	793万円	555万円	762万円

5. 会計別決算概要

IV 介護保険特別会計

1 決算規模及び収支

平成18年度の介護保険特別会計の決算額は、歳入総額6億5,830万4千円、歳出総額6億837万2千円で、形式収支額は4,993万2千円となり、翌年度に繰り越すべき財源113万2千円を控除した実質収支額は4,880万となりました。これを前年度と比較すると、歳入においては3,067万9千円、4.9%の増、歳出においては1,366万7千円、2.2%の減、実質収支においては4,321万3千円、773.5%の増となりました。

2 歳入

(1) 保険料

保険料収入は、1億3,416万6千円で、対前年比31.5%（3,213万5千円）の増になりました。これは平成18年4月に介護保険料の見直しを行ったことによるものです。

(2) 国庫支出金

国庫支出金は1億6,208万5千円で、対前年度比1.2%（185万2千円）の増になりました。これは、前年度よりも介護給付費が増加することを見越したことによるものです。

(3) 支払基金交付金

支払基金交付金は、1億7,751万2千円で対前年比11.2%（2,238万8千円）の減になりました。これは前年度の返還額を今年度の交付金から差し引いたことに加え、介護給付費が5.1%減少したことによるものです。

(4) 県支出金

県支出金は8,928万8千円で、対前年度比16.5%（1,263万円）の増になりました。これは、前年度よりも介護給付費が増加することを見越したことによるものです。

(5) その他

一般会計繰入金は、対前年度比4.1%（354万2千円）増の8,910万6千円になりました。

3 歳出

前年度に比べ、保険給付費全体で5.1%（3,126万5千円）の減になりました。これは、施設入所者が減少したことと、前年度途中から施設利用者の食費・居住費が全額自己負担になったことによる施設介護サービス給付費の減によるものと考えられます。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成18年度 介護保険特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
保 険 料	134,166	20.4%	102,031	16.3%	32,135	31.5%
使用料及び手数料	559	0.1%	7	0.0%	552	7885.7%
国庫支出金	162,085	24.6%	160,233	25.5%	1,852	1.2%
支払基金交付金	177,512	27.0%	199,900	31.9%	△ 22,388	△ 11.2%
県支出金	89,288	13.6%	76,658	12.2%	12,630	16.5%
財産収入	1	0.0%	23	0.0%	△ 22	△ 95.7%
繰 入 金	89,106	13.5%	85,564	13.6%	3,542	4.1%
繰 越 金	5,586	0.8%	3,209	0.5%	2,377	74.1%
諸 収 入	1	0.0%	-	-	1	皆 増
町 債	-	-	-	-	-	-
合 計	658,304	100.0%	627,625	100.0%	30,679	4.9%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総 務 費	12,136	2.0%	9,632	1.5%	2,504	26.0%
保険給付費	577,531	94.9%	608,796	97.9%	△ 31,265	△ 5.1%
地域支援事業費	14,917	2.5%	-	-	14,917	皆 増
財政安定化基金拠出金	756	0.1%	574	0.1%	182	31.7%
基金積立金	1	0.0%	23	0.0%	△ 22	△ 95.7%
諸支出金	24	0.0%	6	0.0%	18	300.0%
公 債 費	3,007	0.5%	3,007	0.5%	0	0.0%
合 計	608,372	100.0%	622,038	100.0%	△ 13,666	△ 2.2%

歳入歳出差引額	49,932	5,587	
(うち繰越明許費繰越額)	(1,132)		

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績																																																																																											
1			総務費	12,135,674	<p>介護保険料運営の総務管理(福祉グループ)</p> <p>介護保険を運営するためのシステムの保守や関連団体との情報交換を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費 (事務用品の購入) 33 万円 ・ 介護保険システム保守委託料(資格記録管理等) 955 万円 ・ 通信料 (WISH接続料等) 7 万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険システムの概要 資格記録管理 (資格取得登録、被保険者証発行など) 保険料納付管理 (納入通知書発行、督促状発行など) 受給者管理 (認定登録など) 給付実績管理 (償還払い申請登録など) 																																																																																											
	1		総務管理費	3,906,517																																																																																												
		1	一般管理費	3,906,517				決算事項別明細書	P95～																																																																																							
<p>2</p> <p>徴収費 763,995</p> <p>1 賦課徴収費 763,995</p> <p>介護保険料の徴収(福祉グループ)</p> <p>第1号被保険者から介護保険制度を運営するための保険料徴収に要する経費を支出しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 納入通知書郵送料ほか 10 万円 ・ 特別徴収開始通知書印刷委託ほか 50 万円 <p>(2) 活動指標</p> <p>① 平成18年度保険料 (単位: 円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1段階</th> <th>第2段階</th> <th>第3段階</th> <th>第4段階</th> <th>第5段階</th> <th>第6段階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年 額</td> <td>23,400</td> <td>23,400</td> <td>35,100</td> <td>46,700</td> <td>58,400</td> <td>70,100</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 平成18年度調定額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">特別徴収</th> <th colspan="2">普通徴収</th> <th colspan="2">合 計 (実人員)</th> </tr> <tr> <th>人 員 (人)</th> <th>調定額(万円)</th> <th>人 員 (人)</th> <th>調定額(万円)</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1段階</td> <td>8</td> <td>19</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>内併徴者 0</td> </tr> <tr> <td>第2段階</td> <td>227</td> <td>472</td> <td>75</td> <td>118</td> <td>302</td> <td>内併徴者 40</td> </tr> <tr> <td>第3段階</td> <td>158</td> <td>533</td> <td>17</td> <td>25</td> <td>175</td> <td>内併徴者 8</td> </tr> <tr> <td>第4段階</td> <td>1,216</td> <td>5,238</td> <td>241</td> <td>680</td> <td>1,457</td> <td>内併徴者 122</td> </tr> <tr> <td>第5段階</td> <td>770</td> <td>3,777</td> <td>168</td> <td>537</td> <td>938</td> <td>内併徴者 80</td> </tr> <tr> <td>第6段階</td> <td>263</td> <td>1,687</td> <td>92</td> <td>362</td> <td>355</td> <td>内併徴者 40</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,642</td> <td>11,726</td> <td>597</td> <td>1,731</td> <td>3,239</td> <td>内併徴者290</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 収 納 率 (現年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>調 定 額 (円)</th> <th>収入済額 (円)</th> <th>収 納 率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別徴収保険料</td> <td>117,249,800</td> <td>117,249,800</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>普通徴収保険料</td> <td>17,301,400</td> <td>16,807,600</td> <td>97.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>134,551,200</td> <td>134,057,400</td> <td>99.6</td> </tr> </tbody> </table>						第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	年 額	23,400	23,400	35,100	46,700	58,400	70,100	区 分	特別徴収		普通徴収		合 計 (実人員)		人 員 (人)	調定額(万円)	人 員 (人)	調定額(万円)			第1段階	8	19	4	9	12	内併徴者 0	第2段階	227	472	75	118	302	内併徴者 40	第3段階	158	533	17	25	175	内併徴者 8	第4段階	1,216	5,238	241	680	1,457	内併徴者 122	第5段階	770	3,777	168	537	938	内併徴者 80	第6段階	263	1,687	92	362	355	内併徴者 40	計	2,642	11,726	597	1,731	3,239	内併徴者290	区 分	調 定 額 (円)	収入済額 (円)	収 納 率 (%)	特別徴収保険料	117,249,800	117,249,800	100.0	普通徴収保険料	17,301,400	16,807,600	97.1	計	134,551,200	134,057,400	99.6
	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階																																																																																										
年 額	23,400	23,400	35,100	46,700	58,400	70,100																																																																																										
区 分	特別徴収		普通徴収		合 計 (実人員)																																																																																											
	人 員 (人)	調定額(万円)	人 員 (人)	調定額(万円)																																																																																												
第1段階	8	19	4	9	12	内併徴者 0																																																																																										
第2段階	227	472	75	118	302	内併徴者 40																																																																																										
第3段階	158	533	17	25	175	内併徴者 8																																																																																										
第4段階	1,216	5,238	241	680	1,457	内併徴者 122																																																																																										
第5段階	770	3,777	168	537	938	内併徴者 80																																																																																										
第6段階	263	1,687	92	362	355	内併徴者 40																																																																																										
計	2,642	11,726	597	1,731	3,239	内併徴者290																																																																																										
区 分	調 定 額 (円)	収入済額 (円)	収 納 率 (%)																																																																																													
特別徴収保険料	117,249,800	117,249,800	100.0																																																																																													
普通徴収保険料	17,301,400	16,807,600	97.1																																																																																													
計	134,551,200	134,057,400	99.6																																																																																													

(3) 成果指標

・収納率の推移

(単位：%)

区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
特別徴収保険料	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
普通徴収保険料	93.3	99.0	98.1	99.7	97.1
計	99.9	99.8	99.7	99.7	99.6

3 介護認定審査会費 7,253,482

1 認定調査費 3,680,482

介護認定調査(福祉グループ)

介護保険サービスを受けるための認定調査や、主治医意見書の作成、長野広域連合への判定依頼を行いました。

(1) 主な支出

- ・臨時職員賃金(認定調査等3人) 146万円
- ・主治医意見書作成委託料 209万円
- ・訪問調査委託料 10万円

(2) 活動指標

・平成18年度判定件数

	区 分	単価(税込:円)	件 数	金 額(円)
在 宅	新 規	5,250	94	493,500
	継 続	4,200	252	1,058,400
施 設	新 規	4,200	83	348,600
	継 続	3,150	60	189,000

2 認定審査会共同設置負担金 3,573,000

認定審査会共同設置負担金(福祉グループ)

長野広域連合に認定審査会を設置するための負担金を支払いました。

(1) 主な支出

- ・認定審査会共同設置負担金 357万円

(2) 活動指標

- ・400件の介護認定申請に対し、認定審査会(保健、医療、福祉の学識経験者で構成)にて、主治医意見書や訪問調査の結果をもとに介護認定申請者がどのくらいの介護が必要かの審査・認定を行いました。

(3) 成果指標

・認定申請者数の推移

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
第1号被保険者	314	334	366	363	393
第2号被保険者	9	13	12	13	7
計	323	347	378	376	400

4 趣旨普及費 211,680

1 趣旨普及費 211,680

介護保険利用のためのリーフレットの作成(福祉グループ)

平成18年4月の制度改正後、最初の介護保険料納付書発送時にリーフレットを同封し、介護保険料の納付に理解と関心を深めてもらいました。また、窓口での説明時にも利用、配布しました。

(1) 主な支出	・介護保険リーフレット作成	21万円
(2) 活動指標	・介護保険リーフレット作成部数	3,000部

2	保険給付費	577,530,738	決算事項別明細書 P95～
1	介護サービス等諸費	528,729,047	
1	居宅介護サービス給付費	241,649,679	

居宅介護サービス(福祉グループ)

訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーションなどの在宅サービスに対して給付を行いました。

(1) 主な支出
 ・居宅介護サービス給付費 2億4,165万円

(2) 活動指標
 ・年間居宅介護サービス受給者延人数と給付額 (H18.4～H19.3審査) (単位:人)

	1号被保険者	2号被保険者	人数	給付額(万円)
経過的要介護	201	14	215	471
要介護1	829	4	833	4,843
要介護2	355	1	356	3,454
要介護3	459	3	462	5,432
要介護4	333	30	363	5,689
要介護5	246	5	251	4,276
計	2,423	57	2,480	2億4,165

(3) 成果指標
 ・居宅介護サービス受給者延人数と給付額の推移

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総数(人)	1,597	1,656	1,898	1,997	2,385	2,508	2,480
給付額(万円)	1億5,729	1億6,891	1億9,996	2億1,578	2億3,902	2億5,466	2億4,165

・過年度に比べ、総数が減少傾向に転じ、給付額も減少しました。

2	地域密着型介護サービス給付費	14,985,756
---	----------------	------------

地域密着型介護サービス(福祉グループ)

認知症対応型通所介護、認知症対応型共同生活介護に対して給付を行いました。

(1) 主な支出
 ・地域密着型介護サービス給付費 1,499万円

(2) 活動指標
 ・年間地域密着型サービス受給件数と給付額

	第1号被保険者	第2号被保険者	総数	給付額(万円)
認知症対応型通所介護(件)	27	0	27	279
認知症対応型共同生活介護(件)	56	0	56	1,220
計	0	0	83	1,499

(3) 成果指標

- ・ 地域密着型サービス受給件数と給付額

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総数(件)	3	19	23	40	83
給付額(万円)	37	371	521	884	1,499

- ・ 利用件数は毎年増加しており、ニーズの高いサービスということがわかります。今後も施設の定員との兼ね合いもありますが、増加していくことが予想されます。

3 施設介護サービス給付費 242,754,370

施設介護サービス(福祉グループ)

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の施設サービスに対して給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 施設介護サービス給付費 2億4,275 万円

(2) 活動指標

- ・ 年間施設介護サービス受給者延人数と給付額 (単位：人)

	1号被保険者	2号被保険者	人 数	給付額
介護老人福祉施設	567	34	601	1億4,236万円
介護老人保健施設	348	0	348	8,471万円
介護療養型医療施設	45	0	45	1,569万円
計	960	34	994	2億4,275万円

(3) 成果指標

- ・ 施設介護サービス受給者延人数と給付額の推移

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総数(人)	716	990	1,070	1,004	1,048	1,073	994
給付額(万円)	21,604	29,407	26,464	29,031	30,716	29,937	24,275

- ・ 制度改正による影響と思われるのですが、前年度に比べ、延人数と給付額が減少しました。これは、施設利用者の食費・居住費が全額自己負担となった(平成17年10月より)ことが影響していると思われます。

4 居宅介護福祉用具購入費 388,301

要介護者対象の福祉用具購入費の支給(福祉グループ)

入浴や排泄などに使用する福祉用具の購入者に対し、費用の9割を支給しました。

(1) 主な支出

- ・ 居宅介護福祉用具購入費 39万円

(2) 活動指標

- ・ 福祉用具購入費の支給
腰掛便座、特殊尿器、入浴補助用具、簡易浴槽、移動用リフトのつり具
合計件数 24件

(3) 成果指標

- ・ 福祉用具購入延人数と給付額の推移

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総数(人)	32	31	27	30	31	36	24
給付額(万円)	65	80	60	87	73	76	39

- ・ 前年度に比べ、福祉用具を購入した方が少なく、件数、給付額ともに減少しました。

5	居宅介護住宅改修費	1,712,381
---	-----------	-----------

要介護者対象の住宅改修費の支給(福祉グループ)

手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修をした方の、費用の9割を支給しました。

(1) 主な支出

- ・ 居宅介護住宅改修費 171万円

(2) 活動指標

- ・ 対象事業費(上限) 20万円
- ・ 住宅改修(手すり・段差解消等) 17件

(3) 成果指標

- ・ 住宅改修延人数と給付額の推移

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総数(人)	24	25	22	14	20	26	17
給付額(万円)	231	240	195	145	231	266	171

- ・ 前年度に比べ、住宅改修をした方が少なく、件数、給付額ともに減少しました。

6	居宅介護サービス計画給付費	27,238,560
---	---------------	------------

居宅介護サービス計画作成費の支給(福祉グループ)

介護サービスを利用される方のケアプラン作成費用を支給しました。

(1) 主な支出

- ・ 居宅介護サービス計画給付費 2,724万円

(2) 活動指標

- ・ 年間居宅サービス計画作成延件数と給付額

介護度	件数	給付額(万円)
経過的要介護	218	187
要介護1	843	834
要介護2	361	357
要介護3	459	580
要介護4	358	453
要介護5	247	313
合計	2,486	2,724

(H18.4～H19.3審査)

(3) 成果指標

- ・ 居宅介護サービス計画作成延件数と給付額の推移

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総数(人)	1,898	1,995	2,392	2,479	2,486
給付額(万円)	1,464	1,703	2,052	2,126	2,724

- ・ 介護保険への需要の増加が、件数、給付額の増加に反映されています。

2	介護予防サービス等諸費	16,761,461
---	-------------	------------

1	介護予防サービス給付費	14,131,242
---	-------------	------------

居宅介護予防サービス(福祉グループ)

訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーションなどの在宅サービスに対して給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 居宅介護予防サービス費 1,413万円

(2) 活動指標

- ・ 年間居宅介護予防サービス受給者延人数と給付額 (H18.4～H19.3審査) (単位:人)

	1号被保険者	2号被保険者	総数	給付額(万円)
要支援1	200	1	201	471
要支援2	216	3	219	942
計	416	4	420	1,413

(3) 成果指標

- ・ 居宅介護予防サービス受給者延人数と給付額の推移

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総数(人)	216	231	236	245	359	431	420
給付額(万円)	662	702	780	728	1,143	1,002	1,413

- ・ 前年度に比べて、総数は減少し、給付額は増加していることから、一人あたりの給付額が増加しているといえます。

2 介護予防福祉用具購入費 229,613

要支援者対象の福祉用具購入費の支給(福祉グループ)

入浴や排泄などに使用する福祉用具の購入者に対し、費用の9割を支給しました。

(1) 主な支出

- ・ 居宅介護予防福祉用具購入費 23万円

(2) 活動指標

- ・ 福祉用具購入 合計件数 10件
(腰掛便座、特殊尿器、入浴補助用具、簡易浴槽、移動用リフトのつり具)

(3) 成果指標

- ・ 福祉用具購入延人数と給付額の推移

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総数(件)	4	0	1	0	3	5	10
給付額(万円)	5	0	5	0	5	6	23

- ・ 前年度に比べ、今年度は福祉用具を購入して使用される方が多く、件数、給付額ともに大きく増加しています。

3 介護予防住宅改修費 368,326

住宅改修費の支給(福祉グループ)

手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修をした際、費用の9割を支給しました。

(1) 主な支出

- ・ 居宅介護予防住宅改修費 37万円

(2) 活動指標

- ・ 対象事業費(上限) 20万円
- ・ 住宅改修(手すり・段差解消等) 4件

(3) 成果指標

- ・住宅改修延人数と給付額の推移

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総数(人)	24	25	22	14	20	6	4
給付額(万円)	231	240	195	145	231	50	37

- ・平成18年4月の制度改正により、要支援認定該当者が増えたにもかかわらず、前年度に比べて、件数ともに給付額が減少しています。要支援者の住宅改修に対する需要は低いと思われます。

4	居宅介護予防サービス計画給付費	2,032,280
---	-----------------	-----------

居宅介護予防サービス計画作成費の支給(福祉グループ)

介護サービスを利用される方のケアプラン作成費用を全額支給しました。

(1) 主な支出

- ・居宅介護予防サービス計画給付費 203万円

(2) 活動指標

- ・年間居宅サービス計画作成延件数と給付額

介護度	件数	給付額(万円)
要支援1	203	106
要支援2	219	97
計	422	203

(3) 成果指標

- ・居宅介護予防サービス計画作成延件数と給付額の推移

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総数(人)	240	246	377	440	422
給付額(万円)	156	205	321	376	203

- ・平成18年4月の制度改正により、要支援認定該当者が増えたにもかかわらず、前年度に比べ、件数、給付額ともに減少しています。これは、認定者の身体の状態が安定し、認定の更新を頻繁に行う必要が少なくなったことなどが影響していると考えられます。

3	その他諸費	896,580
---	-------	---------

1	審査支払手数料	896,580
---	---------	---------

国保連合会への認定審査依頼(福祉グループ)

要介護状態区分を判定するために「介護認定審査会」へ審査依頼を行いました。

(1) 主な支出

- ・審査支払手数料 90万円

(2) 活動指標

- ・審査依頼件数 10,548件×単価 85円

(3) 成果指標

- ・審査支払手数料の推移

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
件数	7,847	8,203	9,728	10,502	10,548
手数料(万円)	92	66	83	89	90

- ・前年度に比べ、制度の認知度と需要が高まり介護認定申請件数が増加し、審査依頼件数が増加したため、年間支払い手数料合計も増加しました。

4	高額介護サービス等諸費	7,252,230
---	-------------	-----------

1	高額介護サービス費	7,252,230
---	-----------	-----------

高額介護サービス費の支給(福祉グループ)

世帯内で1ヶ月のサービスにかかる利用者負担の上限額を超える場合に、超えた分を払い戻しました。

(1) 主な支出

- ・高額介護サービス費 725万円

(2) 活動指標

- ・所得段階別給付状況 (単位：円)

所得段階	件数	給付額
老齢福祉年金受給者等	55	554,558
利用者負担第二段階	437	4,677,532
利用者負担第三段階	160	967,195
利用者負担第四段階	139	1,052,945
合計	791	7,252,230

(3) 成果指標

- ・高額介護サービス費支給延人数と給付額の推移

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総数(人)	571	492	516	688	791
給付額(万円)	310	222	233	430	725

- ・平成17年度実績に対し、平成18年度は給付額、件数ともに増加しています。これは、制度改正前に世帯単位で負担上限額が定められていたものが、個人単位でも負担上限額が定められた為、支給対象件数が増加したものと考えられます。

2	高額介護予防サービス費	0
---	-------------	---

(1) 主な支出 なし

5	特定入所者介護サービス給付費	23,891,420
---	----------------	------------

1	特定入所者介護サービス給付費	23,891,420
---	----------------	------------

特定入所介護サービス費の支給(福祉グループ)

低所得の被保険者の方が介護保険施設に入所(入院)したときや短期入所サービスを利用したときの負担を軽減するため食費・居住費について補足的な給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・特定入所介護サービス費 2,389万円

(2) 活動指標

	食費	居住費	総数	給付額(万円)
要支援1	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0
要介護1	20	11	31	31
要介護2	71	20	91	234
要介護3	176	61	237	660
要介護4	165	57	222	560
要介護5	254	104	358	904
計	686	253	939	2,389

(3) 成果指標

	平成17年度	平成18年度
件数	430	939
給付額(万円)	1,054	2,389

- 平成17年10月から、施設入所者の食費・居住費（滞在費）が全額自己負担となりました。所得の低い方には、負担限度額が設けられ、負担を軽減しています。

3	地域支援事業費	14,917,310
1	介護予防事業費	4,497,223
1	介護予防特定高齢者施策事業費	327,212
2	介護予防一般高齢者施策事業費	4,170,011

決算事項別明細書 P98～

高齢者の介護予防(福祉グループ)

高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく、健康でいきいきとした生活を送れるよう、各種教室の開催を、ボランティアの皆さんにご協力をいただきながら実施しました。

(1) 主な支出

- ・社会福祉協議会等への事業の委託 171万円・各種教室講師、出演者等の謝礼 43万円
- ・敬老会「ふれあい寄席」出演者の謝礼 122万円・在宅保健師等の賃金 49万円
- ・短期宿泊サービス事業の委託 6万円・高齢者スポーツ大会の補助 13万円

(2) 活動指標

事業名	内容等	回数	延人員 (実人員)	費用 (万円)	
転倒予防教室	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力づくり。ストレッチ、ウォーキングピクス、歩行訓練、調理実習ほか。	10回	160人 (20人)	7	
認知症予防教室	ダンスで脳元気教室	音楽で体を動かし、脳を刺激して認知症の予防と改善をする。フォークダンス	11回	241人 (37人)	379
	チャレンジのど自慢教室	歌を歌うことで心身ともにリフレッシュし、認知症を予防する。カラオケ	11回	129人 (24人)	
	はつらつお笑い演芸会	6/28寸劇、コンサート・9/8ふれあい寄席 10/15千年樹の里まつり(和太鼓、フラメンコ、マジック他) 3/14寸劇、大道芸パフォーマンス	4回	1,450人	
	ボケ予防講演会	「ボケは防げる・治せる」 浜松医科大学講師・臨床心理士 高槻絹子氏 6/17 健康福祉センター	1回	160人	
認知症予防教室	脳のリハビリ教室	脳のいきいき度チェック、個人面談、生活指導等。リズム運動、ゲーム、パズルほか。	20回	237人 (16人)	
	脳のリフレッシュ教室 (東町・上町:新規)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、散策、クリスマス会、紙相撲大会等。講師エイジングライフ研究所 高槻忠男氏、高槻絹子氏。	11回	207人 (36人)	
	脳のリフレッシュ教室 (飯田:新規)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、散策、クリスマス会、紙相撲大会等。講師エイジングライフ研究所 高槻忠男氏、高槻絹子氏。	12回	258人 (32人)	
自主活動	転倒予防教室 (継続)「ひまわり」	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力づくり。ストレッチ、ウォーキングピクス、歩行訓練ほか。	12回	209人 (28人)	
	ダンスで脳元気教室 (継続)「フレッシュ」	音楽で体を動かし、脳を刺激して認知症の予防と改善をする。フォークダンス	13回	240人 (36人)	
	脳のリハビリ教室 (フォロー)	脳のいきいき度チェック、個人面談、生活指導等。リズム運動、ゲーム、パズルほか。	15回	175人 (24人)	
	脳のリフレッシュ教室 (山王島:継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	3回	102人 (44人)	
	脳のリフレッシュ教室 (北部:継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	13回	161人 (16人)	

脳のリフレッシュ教室 (東部：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	13回	206人 (25人)
脳のリフレッシュ教室 (西部：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	12回	230人 (31人)
脳のリフレッシュ教室 (都住：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	13回	121人 (22人)

(3) 成果指標

- ・脳のリフレッシュ教室(新規)の脳機能の改善率

東町・上町地区 64% (11人中 7人) 飯田地区 90% (21人中 19人)

介護予防に最も重要なのは「認知症予防」であるという理念に立ち、他に先駆けて取り組んだ各種認知症予防教室は、上記の数字的な成果だけでなく、参加者の皆さんが目に見えて元気になっていくのが分かります。また、教室ボランティアも育ちつつあり、自主活動地区を支える大きな力となっています。

2	包括的支援事業費	7,490,537
1	介護予防ケアマネジメント事業費	6,330,090
2	総合相談支援・権利擁護事業費	974,427
3	包括的・継続的マネジメント事業費	186,020

在宅介護支援センター(地域包括支援センター)の運営(福祉グループ)

在宅介護に関する総合的な相談に応じ、各種保険福祉サービスを総合的に受けられるよう、地域住民の助け合い活動なども含め、関係機関との連絡調整を行い、高齢者とその家族等の福祉の向上を図りました。

(1) 主な支出

・保健師給料・手当等人件費	537万円	・臨時職員賃金	75万円
・在宅介護支援システム等保守料・使用料	96万円	・認知症実務研修等の旅費	6万円
・認知症予防実務研修負担金	6万円	・電話料金等	19万円
・センター運営協議会委員等への謝礼	9万円		

(2) 活動指標

- ・在宅介護等に関する総合相談・助言・指導(来所による面接・電話・訪問)

項目	延件数	主な内容
他機関との連絡調整	1,018	
状況把握	319	
福祉サービスに関する相談	316	サービス内容、利用の対象になるか等の相談
事業所からの相談	292	
予防給付に関する相談	269	
介護保険に関する相談	267	介護保険、ケアプラン、在宅サービスの内容についての問合せ
予防給付(町との連絡調整)	110	
認定調査	100	新規分のみ
認知症(痴呆)に関する相談	82	認知症かどうかの判断、認知症高齢者への対応の方法について
住宅改修に関する相談	65	
介護用品に関する相談	62	介護用品の紹介、使用方法について
施設入所に関する相談	59	施設の紹介、入所申込み、施設の空き具合について
介護予防に関する相談	38	
ケース検討会	35	
介護方法に関する相談	32	在宅での介護方法について(体位交換、排泄介助等)
定期訪問指導	23	健康相談、生活指導等
医療等に関する相談	22	医療費、受診する病院についての問い合わせ

健康相談（状況確認）	19	
高齢者虐待	12	
療養上の精神的支援	1	
その他（家庭内関係等）	98	経済、法律、家庭内関係等
計	3,239	

・時間外・祝祭日相談受付件数

- ・介護予防事業関係 2件、福祉サービス関係 12件
その他114件（認定調査に関すること、教室等の問い合わせ等）

※昼間は社会福祉協議会の日直者が、時間外は携帯電話により在宅介護支援センター職員が対応

・要援護高齢者の情報集約と実態把握

- ・要援護高齢者の家庭訪問 延訪問件数 318件
訪問実人員 310人 要指導者（介護認定自立判定者・要観察者等）15人、介護家族者141人
寝たきり高齢者121人、認知症高齢者20人、その他 13人

・地域ケア会議の開催

保健・福祉・医療に係るサービスの総合調整を図るため、居宅介護支援事業所、サービス事業所等関係機関が集まり、定期または随時会議を開催しました。

①在宅支援連絡会 年12回(月1回)

各関係機関相互の情報交換、連絡調整、課題の検討等を行いました。

②ケース検討会 年35回

個別の困難事例を、関係者により相談、検討しました。

・ケアマネジャー等サービス事業者の指導支援

ケアマネジメント研修（対象：介護保険サービス事業所に従事する職員、ケアマネジャー等）

- ・H18. 4. 12 介護予防ケアマネジメントシステム操作説明
講師：㈱電算 14人出席
- ・H18. 11. 21 新予防給付に係るケアマネジメント及びサービス事業所研修
講師：小出保健師（町在宅介護支援センター） 22人出席

・地域包括（在宅介護）支援センター運営協議会 年1回

5/25 平成17年度事業報告及び平成18年度事業計画について

(3) 成果指標

・相談件数の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
相談件数	1,818件	2,341件	2,656件	3,239件

24時間体制の総合相談は年々利用者が増えています。中でも、介護保険外の福祉サービスに関する相談件数や関係機関との連絡調整に費やす件数が大きく伸びており、地域ケア体制の要としての大きな役割を果たしています。

3	任意事業費	2,929,550
1	家族介護支援事業費	691,550
2	その他事業費	2,238,000

家族介護の支援(福祉グループ)

介護者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るため、家庭介護に携わっている方たちの連絡会や交流事業などを行いました。

(1) 主な支出

- ・社会福祉協議会への事業の委託（家族介護支援） 67万円
- ・社会福祉協議会への事業の委託（食の自立支援） 224万円
- ・在宅保健師等賃金 2万円

(2) 活動指標

- ・要援護高齢者を抱える家族の会 年6回 参加者延47人
- ・在宅介護者のつどい(社会福祉協議会委託) 12月19日 参加者46人
- ・在宅介護者リフレッシュの旅(社会福祉協議会委託) 1月25日 参加者17人
日本海フィッシャーマンズ'ケープ（新潟県柏崎市）
- ・介護講座 平成19年2月20日、27日、3月6日、13日、20日（計5日間） 参加者14人
- ・おむつ給付サービス 対象52人
- ・食の自立支援（ふれあい給食） 対象46人 2,055食

(3) 成果指標

- ・事業等への参加者数の推移 (単位：人)

項目	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
要援護高齢者を抱える家族の会	65	76	42	47
在宅介護者のつどい	40	47	48	46
在宅介護者リフレッシュの旅	8	14	18	17
介護講座	16	9	15	14
おむつ給付サービス	73	67	68	52
食の自立支援（ふれあい給食）	47	49	50	46

介護者間の情報交換や悩みを共有する場としての家族の会が徐々に定着しつつあります。リフレッシュのための事業への参加も誘い合って参加するなど、介護者間のコミュニケーションも前より深まっています。

4	財政安定化基金拠出金	755,393	
1	財政安定化基金拠出金	755,393	
1	財政安定化基金拠出金	755,393	決算事項別明細書 P100～
財政安定化基金拠出金(福祉グループ)			
予想を上回る給付費の伸びなどに備えるため基金へ拠出金(同じ目的のために出し合うお金)を支出しました。			
(1)主な支出			
・財政安定化拠出金 76万円			
5	基金積立金	1,000	
1	基金積立金	1,000	
1	介護給付費準備基金積立金	1,000	決算事項別明細書 P100～
介護給付費準備基金積立金(福祉グループ)			
介護保険財政の健全な運営を行うため介護給付費準備基金に積み立てを行いました。			
(1)主な支出			
・介護給付費準備基金積立金 0.1万円			
6	諸支出金	24,300	
1	償還金及び還付加算金	24,300	
1	第1号被保険者保険料還付金	19,300	決算事項別明細書 P100～

介護保険料の還付(福祉グループ)		
所得更正によって過年度に賦課した保険料額に変更が生じたため、還付金を支払いました。		
(1)主な支出		
・ 過年度分還付金 2万円		
2	償還金	5,000
交付金に対する償還(福祉グループ)		
平成16年度介護給付費財政調整交付金の積算根拠変更に伴い、交付金の額が変更になり、返還金を支払いました。		
(1)主な支出		
・ 交付金に対する償還額 0.5万円		
3	第1号被保険者還付加算金	0
長期間経過後の介護保険料の還付(福祉グループ)		
(1)主な支出 なし		
2	繰出金	0
1	他会計繰出金	0
繰出金(福祉グループ)		
(1)主な支出 なし		
7	公債費	3,007,333
1	公債費	3,007,333
1	元金	3,007,333
決算事項別明細書 P101~		
公債費の元金(福祉グループ)		
平成14年度に、給付費の支払いのために借り入れた2,385万円の償還金を支払いました。平成15年度から平成20年度までの6年償還です。		
(1)主な支出		
・ 元金 301万円		
(2)活動指標		
・ 平成14年度23,856,000円借入(6年償還)平成20年度まで		
8	予備費	0
1	予備費	0
1	予備費	0
決算事項別明細書 P101~		
予備費(福祉グループ)		
(1)主な支出 なし		

5. 会計別決算概要

V 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計

1 決算規模及び収支

平成 18 年度同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計は、3 件分・1 人（昭和 58 年度貸付、昭和 60 年度貸付、平成 7 年度貸付）の繰上げ償還があり、公債費及び諸収入が増額となりました。

2 歳入

諸収入は、繰上げ償還により、5,144 千円の増となりました。

3 歳出

公債費は、繰上げ償還により、3,348 千円の増となりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成18年度 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
財産収入	1	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
繰入金	552	6.5%	2,350	45.7%	△ 1,798	△ 76.5%
繰越金	15	0.2%	24	0.5%	△ 9	△ 37.5%
諸 収 入	7,911	93.3%	2,767	53.8%	5,144	185.9%
合 計	8,479	100.0%	5,141	100.0%	3,338	64.9%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
住宅新築資金等貸付事業費	7	0.1%	12	0.2%	△ 5	△ 41.7%
積立金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
公債費	8,462	99.9%	5,114	99.8%	3,348	65.5%
合 計	8,469	100.0%	5,126	100.0%	3,343	65.2%

歳入歳出差引額

10

15

款	項目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績	
1		住宅新築資金等貸付事業費	6,816	決算事項別明細書 P104～	
	1	総務費	6,816		
	1	貸付事業総務費	6,816		
住宅新築資金等貸付事業(教育文化グループ)					
<p>予算書、決算書の印刷など、住宅新築資金等貸付事業にかかる経費です。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 0.6万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度決算書の印刷 ・平成18年度予算書の印刷 					
2		積立金	0	決算事項別明細書 P104～	
	1	積立金	0		
	1	積立金	0		
(1) 主な支出 なし					
3		公債費	8,462,207	決算事項別明細書 P104～	
	1	公債費	8,462,207		
	1	元金	7,534,349		
住宅新築資金等貸付事業(元金)(教育文化グループ)					
<p>住宅新築資金等の貸付金の徴収、借入金の返済を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元金償還金 753万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付金の徴収 756万円 <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度末貸付返済件数 ・新築資金 5件 うち償還猶予 1件 ・宅地取得資金 4件 うち償還猶予 1件 ・改築資金 2件 うち償還猶予 1件 計 11件 3件 18年度末残高 2,785万円 					
	2	利子	927,858	決算事項別明細書 P104～	
住宅新築資金等貸付事業(利子)(教育文化グループ)					
<p>住宅新築資金等の貸付金の徴収、借入金に対する利子を支払いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利子の支払い 92万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付金の徴収(利子分) 34万円 					

5. 会計別決算概要

VI 霊園事業特別会計の状況

1 決算規模及び収支

霊園事業特別会計は、町営霊園の維持管理を行っており、平成 18 年度においては、陽光霊園（玄照寺境内地内）、福聚霊園（伝教寺境内地内）の通路及び生け垣など共有部分の清掃・管理を実施しました。

決算額は、平成 17 年度全ての区画の永代使用許可を終えたことから、歳入においては、使用料収入がなくなり清掃料のみとなったことから、歳入総額 275 万 3 千円、歳出においては、当初霊園整備時に一般会計から繰り入れたことに伴う一般会計への繰出が不要となったことから、歳出総額 18 万円となり、実質収支額は 257 万 3 千円となりました。

これを前年度と比較すると、歳入においては 158 万 4 千円、36.5%の減、歳出においては、208 万 9 千円、92.1%の減、実質収支においては、50 万 5 千円、24.4%の増となりました。

2 収支状況

(1) 実質収支

実質収支は、257 万 3 千円となりました。

(2) 単年度収支

平成 17 年度からの繰越金を除いた単年度収支は 50 万 5 千円となりました。

3 歳入

(1) 使用料

使用料は 68 万 4 千円で、対前年度比 72.4%（179 万 5 千円）の減になりました。これは、霊園使用料がなくなったことによるものです。

(2) 繰越金

繰越金は 206 万 8 千円で、対前年度比 11.3%（21 万円）の増になりました。

4 歳出

平成 17 年度全ての区画の永代使用許可を終えたことから、繰出が不要となり、維持管理に伴う清掃に要する経費のみ 18 万円を支出しました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成18年度 霊園事業特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
使用料及び手数料	684	24.8%	2,479	57.2%	△ 1,795	△ 72.4%
繰越金	2,068	75.1%	1,858	42.8%	210	11.3%
諸収入	1	0.0%	-	-	1	0.0%
合 計	2,753	100.0%	4,337	100.0%	△ 1,584	△ 36.5%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
霊園事業費	180	100.0%	2,269	100.0%	△ 2,089	△ 92.1%
合 計	180	100.0%	2,269	100.0%	△ 2,089	△ 92.1%

歳入歳出差引額 2,573 2,068

款 項 目	款 項 目 名	決 算 額 (円)																	
1	霊園事業費	180,066	主要な施策の成果説明及び実績 決算事項別明細書 P107～																
1	総務費	180,066																	
1	総務費	180,066																	
霊園の管理運営(生活環境グループ)																			
陽光霊園250区画、福聚霊園97区画の管理を行いました。																			
(1) 主な支出																			
・清掃業務委託料 14 万円 ・印刷製本費等 3 万円																			
(2) 活動指標																			
・清掃業務(草取り、植木の剪定等) 須高広域シルバー人材センターへ委託 陽光霊園/8日/13人 福聚霊園/13日/18人																			
(3) 成果指標																			
・管理区画数																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">区 分</th> <th style="width: 25%;">区画総数</th> <th style="width: 25%;">販売済区画</th> <th style="width: 25%;">残(返納) 区 画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陽光霊園</td> <td style="text-align: center;">250</td> <td style="text-align: center;">249</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>福聚霊園</td> <td style="text-align: center;">97</td> <td style="text-align: center;">97</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">347</td> <td style="text-align: center;">346</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	区画総数	販売済区画	残(返納) 区 画	陽光霊園	250	249	1	福聚霊園	97	97	0	計	347	346	1
区 分	区画総数	販売済区画	残(返納) 区 画																
陽光霊園	250	249	1																
福聚霊園	97	97	0																
計	347	346	1																
※平成19年3月返還：1区画																			

5. 会計別決算概要

Ⅶ 下水道事業特別会計

1 決算規模及び収支

平成 18 年度末の下水道への接続率は 87.9%となり、前年度より 0.9%の伸びとなりました。

決算額は歳入総額 5 億 2,473 万円、歳出総額 5 億 2,361 万 5 千円で、翌年度に繰り越すべき財源 20 万 6 千円を控除した実質収支額は 90 万 9 千円となりました。

これを前年と比較すると、歳入においては 823 万 1 千円、1.6%の増、歳出においては 871 万 1 千円、1.7%の増となりました。

2 歳入

分担金及び負担金収入は 878 万 1 千円（前年度比 513 万円の増）になりました。これは、東町第二土地区画整理地分の受益者負担金の増によるものです。

町債収入は 6,490 万円（前年度比 4,420 万円の増）になりました。これは、東町第二土地区画整理地下水道管布設工事及び特別措置分の借入の増によるものです。

3 歳出

工事請負費は 6,002 万 3 千円（前年度比 1,436 万円の増）になりました。これは東町第二土地区画整理地下水道管布設工事費の増によるものです。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成18年度 下水道事業特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
分担金及び負担金	8,781	1.7%	3,650	0.7%	5,131	140.6%
使用料及び手数料	149,491	28.5%	147,038	28.5%	2,453	1.7%
国庫支出金	20,000	3.8%	20,000	3.9%	0	0.0%
繰入金	278,000	53.0%	322,100	62.4%	△ 44,100	△ 13.7%
繰越金	1,506	0.3%	2,891	0.6%	△ 1,385	△ 47.9%
諸収入	2,052	0.4%	30	0.0%	2,022	6740.0%
町 債	64,900	12.4%	20,700	4.0%	44,200	213.5%
合 計	524,730	100.0%	516,409	100.0%	8,321	1.6%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
下水道費	164,513	31.4%	152,300	29.6%	12,213	8.0%
公債費	359,102	68.6%	362,603	70.4%	△ 3,501	△ 1.0%
合 計	523,615	100.0%	514,903	100.0%	8,712	1.7%

歳入歳出差引額	1,115	1,506	
(うち繰越明許費繰越額)	(206)		

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																																																																							
1			下水道費	164,512,458	<p style="text-align: right;">決算事項別明細書 P111～</p>																																																																							
	1		総務管理費	8,570,360																																																																								
		1	一般管理費	8,570,360																																																																								
公共下水道事業の運営(建設水道グループ)																																																																												
<p>人件費・負担金等下水道事業を運営していくための経費です。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本下水道協会等負担金 12万円 ・ 職員人件費 632万円 <p>公共下水道事業の概要</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>整備状況</th> <th>区 分</th> <th>整備状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全 体 計 画 面 積</td> <td>280 ha</td> <td>処 理 区 域 内 人 口</td> <td>9,357 人</td> </tr> <tr> <td>整 備 面 積</td> <td>280 ha</td> <td>水 洗 化 人 口</td> <td>8,332 人</td> </tr> <tr> <td>全 体 計 画 人 口</td> <td>10,700 人</td> <td>管 渠 延 長</td> <td>56.6 km</td> </tr> <tr> <td>処 理 面 積 (告 示)</td> <td>280 ha</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 公共下水道への接続状況 (単位：戸)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接 続</td> <td>2</td> <td>△ 3</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>△ 3</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>△ 4</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>累 計</td> <td>2,366</td> <td>2,363</td> <td>2,371</td> <td>2,372</td> <td>2,379</td> <td>2,387</td> <td>2,390</td> <td>2,393</td> <td>2,390</td> <td>2,391</td> <td>2,398</td> <td>2,394</td> <td>2,394</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 接続率の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>14年度末</th> <th>15年度末</th> <th>16年度末</th> <th>17年度末</th> <th>18年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>84.2%</td> <td>84.2%</td> <td>85.9%</td> <td>87.0%</td> <td>87.9%</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	整備状況	区 分	整備状況	全 体 計 画 面 積	280 ha	処 理 区 域 内 人 口	9,357 人	整 備 面 積	280 ha	水 洗 化 人 口	8,332 人	全 体 計 画 人 口	10,700 人	管 渠 延 長	56.6 km	処 理 面 積 (告 示)	280 ha			区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	接 続	2	△ 3	8	1	7	8	3	3	△ 3	1	7	△ 4	30	累 計	2,366	2,363	2,371	2,372	2,379	2,387	2,390	2,393	2,390	2,391	2,398	2,394	2,394	14年度末	15年度末	16年度末	17年度末	18年度末	84.2%	84.2%	85.9%	87.0%	87.9%
区 分	整備状況	区 分	整備状況																																																																									
全 体 計 画 面 積	280 ha	処 理 区 域 内 人 口	9,357 人																																																																									
整 備 面 積	280 ha	水 洗 化 人 口	8,332 人																																																																									
全 体 計 画 人 口	10,700 人	管 渠 延 長	56.6 km																																																																									
処 理 面 積 (告 示)	280 ha																																																																											
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																																															
接 続	2	△ 3	8	1	7	8	3	3	△ 3	1	7	△ 4	30																																																															
累 計	2,366	2,363	2,371	2,372	2,379	2,387	2,390	2,393	2,390	2,391	2,398	2,394	2,394																																																															
14年度末	15年度末	16年度末	17年度末	18年度末																																																																								
84.2%	84.2%	85.9%	87.0%	87.9%																																																																								
2			維持管理費	16,466,159	<p>公共下水道施設の維持管理(建設水道グループ)</p> <p>下水道施設の機能を維持するため管渠・マンホールの清掃・修繕、また、マンホールポンプ・雨水排水ポンプ場の修繕・保守点検を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マンホールポンプとマンホール維持点検の委託 612万円 ・ 雨水排水ポンプ場維持点検の委託 176万円 ・ 汚水管渠と雨水管清掃の委託 239万円 ・ 管の補修工事 126万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マンホールポンプ管理業務 日常管理、異常時対応（年間24回対応） 使用開始から10年以上経過しており、施設の老朽化による異常も増えてきているが、専門家による迅速な対応ができています。 ・ 雨水排水ポンプ場保守点検業務 年4回 定期的な点検を行うことにより、河川の増水時に正常にポンプが作動しています。 ・ 管渠・マンホール清掃調査業務委託 清掃 L=3,325m 調査 L=2,089m (L…延長) <p>定期的な清掃調査を行うことにより、施設の機能維持、破損箇所等の早期発見ができ迅速な対応ができています。</p>																																																																							
	1		施設管理費	16,466,159																																																																								

3	下水道建設費	82,136,476
1	公共下水道建設費	82,136,476

下水道整備に伴う設計委託(建設水道グループ)

東町第二土地区画整理事業に伴う下水道設計委託を行いました

(1) 主な支出

- ・ 設計委託 263万円 L=370m (L…延長)

受電設備工事及び建設に係る事務費など(建設水道グループ)

山王島第2樋門の受電設備工事と、下水道を接続したお宅の検査口設置工事を行いました。また、消費税を納付しました。

(1) 主な支出

- ・ 山王島第2樋門受電設備工事 156万円
- ・ 検査口設置工事 15万円
- ・ 消費税 1,022万円

(2) 活動指標

- ・ 飯田樋門受電設備工事 一式

受電設備工事を行うことにより、樋門の開閉等の作業が容易になり、維持管理の作業効率があがりました。

- ・ 検査口設置工事 36件

36件の検査口設置工事を行い接続率が87.9%となり、昨年度より0.9%アップしました。

雨水幹線の整備(建設水道グループ)

浸水区域の解消を図るため雨水幹線工事を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その1)工事 814万円
- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その2)工事 828万円
- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その3)工事 1,594万円
- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その4)工事 359万円

(2) 活動指標

- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その1)工事 Φ1350mm L=56.34m
- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その2)工事 Φ1100mm L=75.64m
- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その3)工事 Φ1100mm L=83.31m
- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その4)工事 Φ1100mm L=31.59m

(Φ…管の太さ L…延長)

(3) 成果指標

平成5年度から着手した、雨水計画区域(認可区域)105haの内、千曲川第1号(13ha)・第2号(13ha)・第3号(36ha)・4-1号(23ha)・4-2号(20ha)の雨水幹線整備が平成19年度で概ねの整備が完了します。

今後、雨水幹線へ接続される水路の大きさの検討を行うとともに、併せて整備を行うことにより、より幹線を整備した効果が得られると思われま。

汚水管の整備(東町地区)(建設水道グループ)

東町第二土地区画整理事業工事に伴う汚水管の布設工事を行いました。

- (1) 主な支出
- 東町第二土地区画整理事業管渠布設工事 1,277 万円
- (2) 活動指標
- 東町第二土地区画整理事業管渠布設工事 Φ200mm L=388.2m
(Φ…管の太さ L…延長)
- (3) 成果指標
- 東町第二土地区画整理事業に伴い、本工事を施工することにより下水道接続可能になりました。

職員人件費

- (1) 主な支出
- 職員人件費 725万円

4	流域下水道事業費	57,339,463
1	流域下水道事業費	57,339,463

流域下水道事業負担金(建設水道グループ)

町の公共下水道をつなぎ込んでいる千曲川流域下水道・クリーンピア千曲の維持管理費と建設費の経費の一部を負担しました。

- (1) 主な支出
- 千曲川流域下水道事業費建設負担金 90 万円
 - 千曲川流域下水道促進協議会負担金 6 万円
 - 千曲川流域下水道維持管理負担金 5,638 万円
- (2) 活動指標
- 千曲川流域下水道維持管理負担金 910,157m³×59円×1.05 (消費税)
 - 千曲川流域下水道事業建設負担金 平成22年度まで (現在の事業認可期間)

2	公債費	359,102,293
1	公債費	359,102,293
1	元金	199,235,946
2	利子	159,866,347

決算事項別明細書 P112~

下水道施設の借金の返済(建設水道グループ)

下水道施設を建設するために借りたお金の返済を行いました。

- (1) 主な支出
- 元金の返済 1億9,920万円
 - 利子の支払い 1億5,990万円

- (2) 活動指標 (単位：千円)

償還金額			未償還元金 (平成18年度末現在高)
元金	利子	計	
199,236	159,866	359,102	4,006,560

- (3) 成果指標
- 起債残高の推移 (単位：千円)

14年度末	15年度末	16年度末	17年度末	18年度末
4,638,569	4,485,632	4,315,896	4,140,895	4,006,560

5. 会計別決算概要

Ⅷ 農業集落排水事業特別会計

1 予算規模及び収支

平成 18 年度末の農業集落排水への接続率は 93.8%となり、前年度末より 0.5%の伸びとなりました。

決算額は、歳入総額 6,311 万 4 千円、歳出総額 6,299 万円 1 千円で実質収支額は 12 万 3 千円となりました。これを前年と比較すると、歳入においては 241 万 4 千円、3.7%の減、歳出においては 130 万 5 千円、2.0%の減となりました。

2 歳入

繰入金収入は 1,520 万円（前年度 210 万円の減）になりました。これは、修繕料等支出額の減によるものです。

3 歳出

需用費が 764 万 1 千円（前年度 399 万 9 千円の減）になりました。これは、北部処理場の機械等修繕料の減によるものです。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成18年度 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
分担金及び負担金	1,036	1.6%	833	1.3%	203	24.4%
使用料及び手数料	28,757	45.6%	28,695	43.8%	62	0.2%
繰入金	15,200	24.1%	17,300	26.4%	△ 2,100	△ 12.1%
繰越金	1,232	2.0%	1,335	2.0%	△ 103	△ 7.7%
諸収入	389	0.6%	365	0.6%	24	6.6%
町債	16,500	26.1%	17,000	25.9%	△ 500	△ 2.9%
合 計	63,114	100.0%	65,528	100.0%	△ 2,414	△ 3.7%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成18年度		平成17年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
集落排水事業費	49,343	78.3%	51,005	79.3%	△ 1,662	△ 3.3%
公債費	13,648	21.7%	13,291	20.7%	357	2.7%
合 計	62,991	100.0%	64,296	100.0%	△ 1,305	△ 2.0%

歳入歳出差引額

123

1,232

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																																																																																																																												
1			集落排水事業費	49,343,132	<p style="text-align: center;">農業集落排水事業の運営(建設水道グループ)</p> <p>農業集落排水事業を運営していくための経費です。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員人件費 1,077万円 <p style="text-align: center;">農業集落排水事業の概要</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>北 部</th> <th>雁 中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事 業 名</td> <td>農業集落排水事業</td> <td>農業集落排水事業</td> </tr> <tr> <td>地 区 名</td> <td>北 部</td> <td>雁 中</td> </tr> <tr> <td>世帯数(計画)</td> <td>410戸</td> <td>192戸</td> </tr> <tr> <td>世帯数(現在)</td> <td>408戸</td> <td>209戸</td> </tr> <tr> <td>人 口(計画)</td> <td>1,930人</td> <td>886人</td> </tr> <tr> <td>人 口(現在)</td> <td>1,593人</td> <td>799人</td> </tr> <tr> <td>供用開始日</td> <td>昭和63年3月1日</td> <td>昭和63年3月1日</td> </tr> <tr> <td>供用人口</td> <td>1,590人</td> <td>792人</td> </tr> <tr> <td>供用率</td> <td>99.8%</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td>処 理 方 式</td> <td>J A R U S - III</td> <td>J A R U S - I</td> </tr> <tr> <td>管 種</td> <td>V U管</td> <td>V U管</td> </tr> <tr> <td>管 径</td> <td>150mm~350mm</td> <td>150mm~200mm</td> </tr> <tr> <td>管路延長</td> <td>L = 10,600m</td> <td>L = 5,870m</td> </tr> <tr> <td>中継ポンプ</td> <td>2箇所</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>処理施設敷地面積</td> <td>1,355㎡</td> <td>995㎡</td> </tr> <tr> <td>計画日平均汚水量</td> <td>521㎡/日</td> <td>239㎡/日</td> </tr> <tr> <td>日最大汚水量</td> <td>442㎡/日</td> <td>222㎡/日</td> </tr> <tr> <td>放流水質(計画)</td> <td>BOD20mg/l S S 30mg/l</td> <td>BOD20mg/l S S 30mg/l</td> </tr> <tr> <td>放流水質(実績)</td> <td>BOD 7mg/l S S 17mg/l</td> <td>BOD 5mg/l S S 15mg/l</td> </tr> <tr> <td>放 流 先</td> <td>準用河川 赤川</td> <td>通 堰</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 公共下水道への接続状況 (単位：戸)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接 続</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>累 計</td> <td>574</td> <td>574</td> <td>576</td> <td>576</td> <td>577</td> <td>578</td> <td>578</td> <td>578</td> <td>579</td> <td>579</td> <td>579</td> <td>579</td> <td>579</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 接続率の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>14年度末</th> <th>15年度末</th> <th>16年度末</th> <th>17年度末</th> <th>18年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90.2%</td> <td>91.8%</td> <td>92.5%</td> <td>93.3%</td> <td>93.8%</td> </tr> </tbody> </table>										区 分	北 部	雁 中	事 業 名	農業集落排水事業	農業集落排水事業	地 区 名	北 部	雁 中	世帯数(計画)	410戸	192戸	世帯数(現在)	408戸	209戸	人 口(計画)	1,930人	886人	人 口(現在)	1,593人	799人	供用開始日	昭和63年3月1日	昭和63年3月1日	供用人口	1,590人	792人	供用率	99.8%	98.9%	処 理 方 式	J A R U S - III	J A R U S - I	管 種	V U管	V U管	管 径	150mm~350mm	150mm~200mm	管路延長	L = 10,600m	L = 5,870m	中継ポンプ	2箇所	—	処理施設敷地面積	1,355㎡	995㎡	計画日平均汚水量	521㎡/日	239㎡/日	日最大汚水量	442㎡/日	222㎡/日	放流水質(計画)	BOD20mg/l S S 30mg/l	BOD20mg/l S S 30mg/l	放流水質(実績)	BOD 7mg/l S S 17mg/l	BOD 5mg/l S S 15mg/l	放 流 先	準用河川 赤川	通 堰	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	接 続			2		1	1			1				5	累 計	574	574	576	576	577	578	578	578	579	579	579	579	579	14年度末	15年度末	16年度末	17年度末	18年度末	90.2%	91.8%	92.5%	93.3%	93.8%
区 分	北 部	雁 中																																																																																																																															
事 業 名	農業集落排水事業	農業集落排水事業																																																																																																																															
地 区 名	北 部	雁 中																																																																																																																															
世帯数(計画)	410戸	192戸																																																																																																																															
世帯数(現在)	408戸	209戸																																																																																																																															
人 口(計画)	1,930人	886人																																																																																																																															
人 口(現在)	1,593人	799人																																																																																																																															
供用開始日	昭和63年3月1日	昭和63年3月1日																																																																																																																															
供用人口	1,590人	792人																																																																																																																															
供用率	99.8%	98.9%																																																																																																																															
処 理 方 式	J A R U S - III	J A R U S - I																																																																																																																															
管 種	V U管	V U管																																																																																																																															
管 径	150mm~350mm	150mm~200mm																																																																																																																															
管路延長	L = 10,600m	L = 5,870m																																																																																																																															
中継ポンプ	2箇所	—																																																																																																																															
処理施設敷地面積	1,355㎡	995㎡																																																																																																																															
計画日平均汚水量	521㎡/日	239㎡/日																																																																																																																															
日最大汚水量	442㎡/日	222㎡/日																																																																																																																															
放流水質(計画)	BOD20mg/l S S 30mg/l	BOD20mg/l S S 30mg/l																																																																																																																															
放流水質(実績)	BOD 7mg/l S S 17mg/l	BOD 5mg/l S S 15mg/l																																																																																																																															
放 流 先	準用河川 赤川	通 堰																																																																																																																															
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																																																																																																				
接 続			2		1	1			1				5																																																																																																																				
累 計	574	574	576	576	577	578	578	578	579	579	579	579	579																																																																																																																				
14年度末	15年度末	16年度末	17年度末	18年度末																																																																																																																													
90.2%	91.8%	92.5%	93.3%	93.8%																																																																																																																													
1			総務管理費	11,326,846	<p style="text-align: center;">農業集落排水施設の維持管理(建設水道グループ)</p> <p>下水道施設の機能を維持するため管渠マンホールの清掃、修繕及びマンホールポンプ及び処理場の点検、修繕を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理施設の修繕 105万円 																																																																																																																												
1			一般管理費	11,326,846																																																																																																																													
2			維持管理費	18,034,786	<p style="text-align: center;">農業集落排水施設の維持管理(建設水道グループ)</p> <p>下水道施設の機能を維持するため管渠マンホールの清掃、修繕及びマンホールポンプ及び処理場の点検、修繕を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理施設の修繕 105万円 																																																																																																																												
1			施設管理費	18,034,786																																																																																																																													

- ・ 処理場管理保守点検の委託 882万円
- ・ 管の清掃委託 100万円

(2) 活動指標

- ・ 処理施設の修繕 脱水機・混合機・破砕機改修一式
- ・ 処理場運転管理 週2～3日

供用開始から20年を経過しようとしており、平成9年度には機能強化事業も行いました。施設のオーバーホールも必要と思われませんが、日頃の運転管理及び点検による破損箇所の早期発見修繕等に対応し経費節減を図っています。

- ・ 管渠清掃業務 L=3,600m (L…延長)

定期的な清掃を行うことにより、施設の機能維持、破損箇所等の早期発見ができ迅速な対応ができています。

3	集落排水事業建設費	19,981,500
1	集落排水事業建設費	19,981,500

污水管の整備(砂川地区)(建設水道グループ)

未整備箇所の解消を図るため、砂川地区の污水管の布設工事を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 砂川地区管渠布設工事 1,730万円

(2) 活動指標

- ・ 砂川地区管渠布設工事 Φ200mm L=270.1m
(Φ…管の太さ L…延長)

2	公債費	13,647,250
1	公債費	13,647,250
1	元金	8,412,172
2	利子	5,235,078

決算事項別明細書 P117～

農業集落排水施設の借金の返済(建設水道グループ)

下水道施設を建設するために借りたお金の返済を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 元金の返済 841万円
- ・ 利子の支払い 524万円

(2) 活動指標

(単位：千円)

償還金額			未償還元金 (平成18年度末現在高)
元金	利子	計	
8,412	5,235	13,647	159,988

(3) 成果指標

- ・ 起債残高の推移

(単位：千円)

14年度末	15年度末	16年度末	17年度末	18年度末
148,881	141,770	142,990	151,900	159,988

5. 会計別決算概要

IX 水道事業会計

(営業)

平成 19 年 3 月 31 日現在の給水人口は、11,753 人で普及率は 99.9%となりました。

給水戸数は 3,487 戸で、平成 17 年度と比較して給水人口は 19 人減少、給水戸数は 34 戸増加しました。

給水量は 7 月豪雨等の記録的な大雨はあったものの、8 月以降は晴れの日が多く、全体として高温であったため 1,341,155 m³となり、平成 17 年度 (1,351,982 m³) と比較して 0.8%の減となりました。

給水収益を有収水量で除した給水単価は、158 円 93 銭で前年度対比 20 銭の増、総費用を有収水量で除した給水原価は 136 円 62 銭で前年度対比 34 銭の減となりました。

(建設改良)

平成 18 年度の建設改良工事の総事業費は 13,657,350 円 (消費税込み) で、林、押羽地区で配水管布設替 316.5mを行いました。また、裏町水源取水ポンプ制御盤更新移設工事を行いました。

(経理)

平成 18 年度の収益的収支は、事業収益 217,266,958 円 (消費税抜き) に対し、事業費用 183,222,545 円 (消費税抜き) で、34,044,413 円の利益を生じました。

事業収益の内、給水収益は 213,146,880 円で、前年度対比 0.7% (214,597,094 円) の減、受託工事収益は皆減で、その他営業収益等は 4,120,078 円で前年度対比 1.6% (4,054,358 円) の増でありました。事業費用の内、営業費用は 130,462,388 円で前年度比 0.7% (129,599,606 円) の増、営業外費用は 52,760,157 円で 5.7% (55,936,001 円) の減となりました。

資本的収支は、収入 7,297,500 円 (消費税込み) に対し、支出 76,703,452 円 (消費税込み) で、不足する額 69,405,952 円は過年度分損益勘定留保資金 69,068,887 円、当年度分消費税資本的収支調整額 342,065 円で補てんしました。

資本的収入は、水道事業負担金が 7,297,500 円で前年度対比 81.7% (4,016,250 円) の増でありました。資本的支出の内、建設改良費は 14,609,665 円で 2.11 倍 (6,909,791 円)、企業債償還金は 62,093,787 円で前年度比 0.4% (61,871,045 円) の増となりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成18年度 水道事業会計決算の状況

1. 収益的収入及び支出

【収入】 (単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
第1款 水道事業収益	219,475	227,917	8,442	うち仮受消費税 10,650
第1項 営業収益	217,365	225,580	8,215	うち仮受消費税 10,650
第2項 営業外収益	2,110	2,337	227	うち仮受消費税 0

【支出】 (単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	備 考
第1款 水道事業費用	206,776	193,524	13,252	うち仮払消費税 2,368
第1項 営業費用	145,030	132,830	12,200	うち仮払消費税 2,368
第2項 営業外費用	60,746	60,694	52	うち仮払消費税 0
第3項 予備費	1,000		1,000	

2. 資本的収入及び支出

【収入】 (単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
第1款 資本的収入	2,362	7,298	4,936	うち仮受消費税 348
第1項 負担金	2,362	7,298	4,936	うち仮受消費税 348

【支出】 (単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	備 考
第1款 資本的支出	78,063	76,703	1,360	うち仮払消費税 690
第1項 建設改良費	15,969	14,609	1,360	うち仮払消費税 690
第2項 企業債償還金	62,094	62,094	0	

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 69,406千円は、過年度分損益勘定留保資金 69,064千円、当年度分消費税資本的収支調整額 342千円で補てんしました。

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
1		水道事業費用	193,523,944		
1		営業費用	132,830,271		
2		営業外費用	60,693,673		
3		予備費	0		
水道事業費用					
(1) 職員数 総括参事 1人、グループリーダー 1人、主査1人 (0.5人分は農業集落排水事業特会で措置)					
(2) 給水					
		計画給水人口	14,700人	現在給水人口	11,753人
(3) 業務					
		配水能力	8,400m ³ /日	有収水量	1,341千m ³ /年
(4) 料金					
基本料金（13mm 1ヶ月、消費税含む）				987円	
10m ³ 当り料金（基本料金含む1ヶ月、消費税含む）				1,318円	
(5) 施設					
		水源数	5箇所	浄水施設数	2箇所
		消火栓数	411基	導配送水管延長	85,790m
		配水池	3箇所		
水道事業の運営					
人件費、営業経費等水道事業を運営していくための経費です。					
(1) 主な支出					
・ ポンプの動力費 1,866 万円					
・ 電算システム賃借料など 360 万円					
・ 検針業務の委託 188 万円					
・ 職員人件費 2,423 万円					
(2) 活動指標					
・ 深井戸ポンプ動力費 4カ所 送水ポンプ動力費 3カ所					
・ 水道料金・企業会計システム賃借					
・ 検針業務委託者数 個人6人 シルバー人材センターへ委託					
水道施設の減価償却					
水道施設の減価償却を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 有形固定資産減価償却費 5,549 万円					
・ 有形固定資産除却費 187 万円					
水道施設の維持管理					
安全な水を安定して供給できるよう、水道施設の適正な維持管理、水質の検査を行い水道水の安全を確認しました。					
(1) 主な支出					
・ 水道施設の維持管理 2,107 万円					
・ 水道水質検査 88 万円					

(2) 活動指標

- ・ 高圧受電盤保安業務
- ・ 雁田浄水場浄水設備点検
- ・ 雁田浄水場消石灰注入設備点検
- ・ 水道施設保守点検
- ・ 水道施設草刈り委託
- ・ 検満量水器交換業務
- ・ 中松水源送水ポンプ修繕

(3) 成果指標

- ・ 平成19年3月1日現在の水質調査結果

項目	p h 値	塩化物イオン	有機物の量	一般細菌	大腸菌	臭気	味	色度	濁度
基準値	5.8以上8.6以下	200mg/l以下	5mg/l以下	100CFU/以下	検出されないこと	異常でないこと	異常でないこと	5度以下	2度以下
調査結果	6.8	24.3	0.2	0	検出なし	異臭なし	異味なし	0.5度未満	0.1度未満

水道事業基本計画の作成

配水池の耐震診断を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 基本計画作成業務配水池耐震診断業務の委託 185万円

(2) 活動指標

- ・ 配水池の耐震診断を行い、今後の事業整備の基礎資料としました。

水道施設の借金の返済[企業債利息] (建設水道グループ)

水道管や水道施設を建設するために借りたお金を返済しました。

(1) 主な支出

- ・ 利子の支払い 5,275万円

2	資本的支出	76,703,452
1	建設改良費	14,609,665
2	企業債償還金	62,093,787

林地区上水道配水管の取り換え(建設水道グループ)

下水道雨水幹線工事と合わせて老朽配水管の取り換えを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 取り換え工事 382万円

(2) 活動指標

- ・ 林地区(その1) 工事 Φ100mm L=58.4m
- ・ 林地区(その2) 工事 Φ100mm L=78.5m
- ・ 林地区(その3) 工事 Φ100mm L=80.5m
- ・ 林地区(その4) 工事 Φ100mm L=32.0m

(3) 成果指標

雨水幹線工事と合わせて布設することにより、効率的に耐応年数を過ぎた老朽管の取り換えを行うことができました。老朽管の取替え工事については、他の事業と合わせて実施するなどして効率的に進めていきます。

押羽地区上水道配水管の取り換え(建設水道グループ)

農業集落排水事業排水管設置工事と合わせて老朽配水管の取り換えを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 取り換え工事 109 万円

(2) 活動指標

- ・ 押羽地区工事 $\Phi 75\text{mm}$ L = 66.3m

(3) 成果指標

農業集落排水事業と合わせて布設することにより、効率的に耐応年数を過ぎた老朽管の取り換えを行うことができました。老朽管の取替え工事については、他の事業と合わせて実施するなどして効率的に進めていきます。

水道施設の借金の返済[元金の返済](建設水道グループ)

水道管や水道施設を建設するために借りたお金を返済しました。

(1) 主な支出

- ・ 元金の返済 6,209 万円

予備ポンプの購入など(建設水道グループ)

古くなった量水器や新設に伴う量水器を購入しました。

(1) 主な支出

- ・ 量水器の購入 95 万円
- ・ 大日堂水源予備ポンプ購入 238 万円

(2) 活動指標

- ・ 計量法によるメーターの取替え 425個

6. 第四次総合計画・後期基本計画評価指標の達成度

政策	施策の方向	評価指標	現況値		平成18年度	目標値	
			値	年度	値	値	年度
ゆったり歩ける歩行者空間の創出	人にやさしい道の整備	町営松村駐車場利用者の町内滞在平均時間(休日、普通車)	1時間48分	H16	/	2時間	H22
	和める小路の整備						
循環型社会の形成と環境保全の推進	地球環境の保全	公害に関する苦情件数	24件	H16	24件	0件	H22
	ごみの適正処理の推進	可燃ごみ年間排出量	2,616t	H16	2,340t	1,831t	H22
		資源物排出量	559t	H16	703t	727t	H22
し尿処理対策	下水道接続率	87.2%	H16	89.0%	95%	H22	
整理整頓された美しいまちの形成	環境美化の推進	狂犬病予防注射未実施犬数	11頭	H16	15頭	0頭	H22
		環境美化運動の日参加者数	4,537人	H16	4,863人	7,000人	H22
汚水・雨水排水の推進	公共下水道の整備促進	下水道接続率	87.2%	H16	89.0%	95%	H22
防災機能の強化と危機管理体制の整備	防災対策の推進と意識の高揚	総合防災訓練参加者数	1,000人	過去平均	950人	2,000人	H22
防火・救急体制の充実	火災予防対策の充実	火災発生件数(建物、車両、その他)	6件	H16	3件	0件	H22
防犯活動の推進	防犯体制の強化	犯罪に対する安全さや風紀のよさに対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	46%	H17	/	66%	H22
交通安全の推進	交通安全対策の強化	町内交通事故発生件数	51件	H16	55件	25件	H22
		交通死亡事故発生件数	1件	H16	2件	0件	H22
		シートベルト着用率	85.6%	H16	89.7% (平均95.5%)	県下平均	H22
消費生活の安定	消費者の自立支援の充実	消費生活相談件数	60件	H16	34件	0件	H22
家庭における子育て環境の整備	子どもの健やかな成長支援	妊婦検診受診率	前期98.7% 後期94.9%	H16	前期98.8% 後期97.6%	100%	H22
		赤ちゃん訪問(第1子)	75%	H16	78.1%	95%	H22
		乳幼児健診受診率	91.2%	H16	89.2%	95%	H22
子育てと仕事の両立のための環境整備	保育サービスの充実	12時間保育実施園数 11時間半保育実施園数	なし	なし	/	1園	H20
		特定保育実施園数	なし	なし	/	2園	H20
		休日保育実施園数	なし	なし	/	1園(エンゼルランド)	H20
	子育て支援サービスの充実	エンゼルランドセンター事業への父親参加組数	7組	H17	23組	15組 30組	H18 H19
	子ども・青少年の育つ環境の整備	ファミリーサポートセンター登録人数	なし	なし	9人 (依頼会員)	50人 100人	H18 H22
子育て支援ネットワークの構築	子育てサポーター	なし	なし	/	20人	H18	
健康づくりの推進	生涯を通じた健康の保持・増進	基本健診受診率(※)	36.6%	H16	40.0%	65%	H24
		健康相談利用者数	161件	H16	216件	250件	H22
保健・医療の充実	予防・衛生の充実	個別保健指導者数(※)	なし	なし	/	40%	H24
地域ぐるみの福祉の推進	福祉ボランティアの育成と人材の確保	ボランティア登録団体数	15団体	H16	20団体	50団体	H22
高齢者福祉の充実	介護予防と自立支援	脳のリフレッシュ教室(自主活動)実施箇所数	5カ所	H17	7カ所	10カ所	H22
		お茶のみサロン実施箇所	4カ所	H17	4カ所	10カ所	H22
障害者の自立と社会参加の推進	障害者の自立支援	一般就労への移行(共同作業所)	0人	H16	0人	5人	H18~22
社会保険(保障)制度の充実	国民健康保険・老人保健の充実	一人あたり医療費(一般国保)	189,245円	H16	213,499円	200,800円	H22

政策	施策の方向	評価指標	現況値		平成18年度	目標値	
			値	年度	値	値	年度
多彩な学習と交流の推進	生涯学習活動の推進	公民館事業など教養を高める機会に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	25%	H17		50%	H22
	総合的な学習・情報拠点の整備	ブックスタート	年間出生数の83%	H16	年間出生数の90%	年間出生数の95%	H22
		開架図書数	34,316冊	H16	37,345冊	80,000冊	H22
持続的な小布施農業の振興	都市農村交流の促進	遊休荒廃農地面積(農業委員会調査面積)	14.3ha	H16	14.8ha	15ha	H22
水と緑に彩られた生活空間の整備	公園管理の充実	公園・広場・子どもの遊び場に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	45%	H17		50%	H22
郷土の自然環境の保全	郷土の自然環境の保全	緑の豊かさや自然環境に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	69%	H17		75%	H22
町政への町民参加の推進	町民参加機会の拡充	町政への町民の関心度(町民アンケートで「関心がある」「やや関心がある」と答えた人の割合)	69.1%	H17		75%	H22
町民との情報の共有化の推進	情報の公開と共有化の推進	ホームページアクセス数	15,000件	H17	15,583件	30,000件	H22
		メール配信サービス読者数(上:生活情報、下:観光情報)	250人 650人	H17	242人 305人	500人 1,300人	H22
		情報公開など広報・広聴に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	32%	H17		50%	H22
国際感覚の育成と異文化交流の推進	国際交流・国際教育の充実	国際交流に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	17%	H17		33%	H22
町民に親しまれる町政と行政改革の推進	役場組織の機能の強化・充実	役場窓口での対応に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	38%	H17		75%	H22
効率的で安定した行政運営の推進	財政基盤の充実 適正な財政運営	町税徴収率	97.7%	H16	97.1%	98%	H22
		財政調整基金残高	4.9億円	H16	5.5億円	2.4億円	H22
		普通会計町債残高	60.8億円	H16	56.4億円	48.0億円	H22

※の部分は、国による目標年が設定されたため、目標値と目標年度を変更しています